EPSON
EXCEED YOUR VISION

CRYSTARIO

Epson Professional Portrait Printing System

ユーザーズガイド

CMP0319-00
© 2020 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.

はじめに

本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、写真の編集から印刷までを一貫して行えるハードウェア、ソフトウェア一体型の、写真スタジオ用に設計されたシステムです。
本製品を十分に活用していただくため、この『ユーザーズガイド』をいつでも手に取れる場所に保管してください。

マークの意味

本書中で使用しているマークの意味は、次の通りです。

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照先を示しています。
【Windows】	Windows での操作です。
【Mac OS】	Mac OS での操作です。
【Windows のみ】	Windows でのみ操作できます。
【Mac OS のみ】	Mac OS でのみ操作できます。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する画面は、基本的に Windows Vista の画面を使用しています。特に操作が異なる場合は Mac OS の画面を使用する場合もあります。

EPPServer の表記について

EPPServer は印刷や印刷ジョブ管理などを扱うサーバです。
オペレーションガイドに記載されている“サーバ”、“プリントサーバ”は EPPServer を示します。

Windows の表記

Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

本書では「Mac OS X バージョン 10.6 以降」の総称として「Mac OS」を使用しています。

商標

「EPSON」、「EPSON EXCEED YOUR VISION」、「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。
Mac、Mac OS、OS X、QuickTime は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Reader は Adobe （アドビ）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsystems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

こんなことができます.....5

こんなことができます.....6

EPPLayout で写真を編集する ... 6
EPPWorks で写真を編集する（Windows のみ）... 7

基本操作の流れ.....13

写真を割り付けて印刷する 14

EPPLayout を起動する ... 15
用紙を選択する ... 16
テンプレートに写真を割り付ける ... 17
印刷の準備をする ... 22
印刷する ... 23
EPPLayout を終了する ... 24

写真を編集して保存する 25

EPPWorks を起動する ... 26
編集する写真を選択する ... 27
カラーマネージメントを設定する ... 29
写真を編集する ... 30
編集した写真を保存する ... 33
EPPWorks を終了する ... 36

オペレーションガイド.....37

はじめに 38

ソフトウェアについて ... 38
オペレーションガイドについて ... 40

画像ファイルを準備する 41

使用できる画像ファイルについて ... 42
ICC プロファイルを添付する ... 42
写真編集の流れ ... 43
EPPWorks を起動する ... 45
編集する写真を選択する ... 46
カラーマネージメントを設定する ... 51
写真を回転させたり、トリミングする ... 53
写真をレタッチする ... 57
ツールバーを使う ... 60
写真の色や色調を調整する ... 61
編集した画像ファイルを保存する ... 69
EGG ファイルだけを保存する ... 71

テンプレートを作成し、管理する 72

電源を入れる ... 73
EPPTemplate を起動する ... 74
EPPTemplate を終了するには ... 76
テンプレートを作成 / 選択する ... 77
テンプレートを編集する ... 87
テンプレートの新規作成または編集が
終了したら ... 123
テンプレートの名称を設定する ... 124
テンプレートをローカルフォルダに保存する ... 126
テンプレートをサーバに保存する ... 128
パッケージを作成し、管理する ... 130
テンプレートを管理する ... 138

写真をレイアウトして印刷する 147

電源を入れる ... 148
EPPLayout を起動する ... 149
用紙を選択する ... 152
［テンプレート］モードと
［フリーレイアウト］モードの違い ... 154
［テンプレート］モードで写真を
レイアウトする ... 155
［フリーレイアウト］モードで写真を
レイアウトする ... 171
印刷の準備をする ... 179
写真を印刷する ... 186

印刷ジョブを管理する.....190

EPPMonitor を起動する ... 191
印刷ジョブを確認する ... 193
印刷ジョブを検索して、更新する ... 195
印刷ジョブの設定を変更する ... 197
プリンタの状態を確認する ... 207
プリンタの有効 / 無効を設定する ... 212

写真の取り扱いと保管方法.....213

写真の取り扱い ... 214
写真を保管するときの注意 ... 215
写真を飾るときの注意 ... 216
写真の寿命について ... 216

メンテナンス 217
システムの安定性を保つ（電源を切る）... 218
用紙をセットする（EX-1V、EX-3V）... 219
用紙をセットする（EX-6550/EX-5002/EX-5800/EX-7550/9550）... 220
EPPServer にログインする ... 221
EPPServer で用紙設定を変更する ... 223
EPPServer で手差しモードに変更する ... 224
EPPServer でロール紙の切断方法を設定する ... 226
プリンタの設定情報を確認する ... 228
ノズルチェックする ... 230
プリンタヘッドをクリーニングする ... 232
プリンタヘッドを調整する ... 235
消耗品を交換する（EX-1V、EX-3V）... 237
インクカートリッジを交換する（EX-6550/EX-5002/EX-5800/EX-7550/9550）... 238
色調整用のテストチャートを印刷する ... 239
印字品質を調整する ... 241
印刷モードを設定する ... 244
カラープロファイル・ColorBase 補正値ファイルを更新する ... 246
再印刷データを自動削除する ... 248
印刷ジョブを整理する ... 250
表示する用紙サイズや用紙種類を設定する ... 252
印刷時の通知を設定する（Windows のみ）... 253
エラー時の通知音を設定する ... 255
ネットワークを設定する ... 256
低解像度印刷時の解像度を設定する ... 261
その他の設定をする ... 262
EPPServer のバージョンを確認する ... 264

ユーザーやクライアントコンピュータを追加する 265
新しいユーザーを追加する ... 266
Studiomaster のパスワードを登録する ... 273
クライアントコンピュータを追加する ... 275

仕様 278
プリンタ部 ... 278
外部インタフェース ... 278
動作環境 ... 278
プリンタの構成 ... 278
寸法 ... 279

困ったときには 280

はじめに 281
エラーや警告メッセージに対処する ... 281

プリンタのトラブルを解決する 282
プリンタのエラー状態と解決方法 ... 282
印刷画質に関するトラブルと解決方法 ... 283
用紙に関するトラブルと解決方法 ... 285

ソフトウェアのトラブルを解決する 286
EPPServer に関するトラブルと解決方法 ... 286
EPPLayout に関するトラブルと解決方法 ... 286
EPPTemplate に関するトラブルと解決方法 ... 288
EPPWorks（Windows のみ）に関するトラブルと解決方法 ... 288
EPPMonitor に関するトラブルと解決方法 ... 288

ヘルプについて 289

ヘルプの使い方 290
ヘルプを起動する ... 290

索引 291

1 こんなことができます

ここでは、EPPLayout を使って写真をレイアウトしたりトンボを付ける方法や、EPPWorks（Windows のみ）を使って写真を編集する方法などをサンプル写真とともに紹介します。

こんなことができます 6

こんなことができます

EPPLayout で写真を編集する

EPPLayout を使うと、下記のようなレイアウトができます。

異なる写真を 4 面付けする

①テンプレートタブの［一覧］をクリック。
②テンプレートを選択。
③サムネイルをフレームにドラッグ。

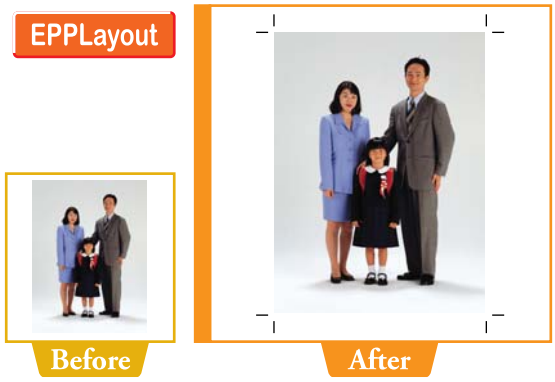
☞ヘルプ
「こんなときには」-
「用意されているテンプレートを選択したい」



写真にトンボを付けて印刷する

①[印刷オプション］の［写真情報］をチェック。
②[トンボ］をチェックして […] をクリック。
③[写真］を選選択し、トンボの長さ、位置、線幅、色を設定。

☞ヘルプ
「こんなときには」-
「印刷する情報を指定したい」



写真に写真枠を付けて印刷する

①[印刷オプション］の［写真情報］をチェック。
②[写真枠］をチェックして、[…] をクリック。
③[写真］を選択し、枠の線幅と色を設定。

☞ヘルプ
「こんなときには」-
「印刷する情報を指定したい」



写真にスタジオ名、顧客名などの情報を印刷する

①[印刷オプション]の［ページ情報］をチェック。
②[その他の設定]をクリック。
③印刷したい情報をチェック。

☞ヘルプ
「こんなときには」-
「印刷する情報を指定したい」



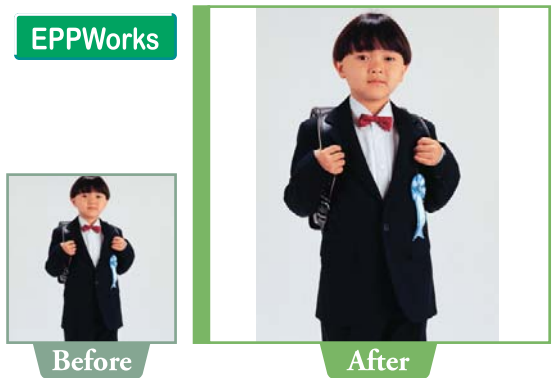
EPPWorks で写真を編集する（Windows のみ）

EPPWorks を使うと、下記のように写真の編集ができます。EPPWorks は Windows のみで使用できます。

写真の左右をトリミングする

①[トリミング]をクリック。
②左のハンドルにポインタを合わせ、右にドラッグ。
③右のハンドルにポインタを合わせ、左にドラッグ。

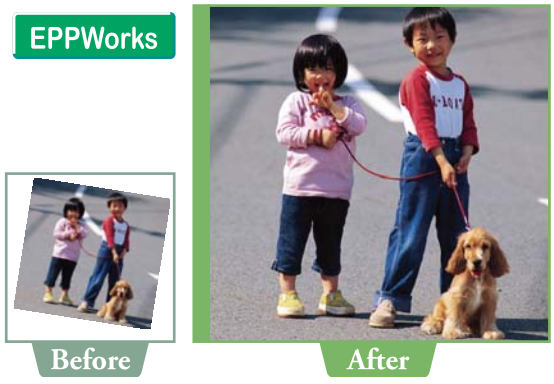
☞ヘルプ
「こんなときには」-
「写真をトリミングしたい」



斜めになっている写真を垂直になるまで回転する

①[トリミング]をクリック。
②[1 ▶]または［0.1 ▶ ］をクリックすると、写真が時計回りに回転。
③[◀ 1]または［◀ 0.1］をクリックすると、写真が反時計回りに回転。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[トリミング]画面」



部分的に明度を上げる

①[レタッチ]をクリック。
②[覆い焼き（明るく）]ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ]画面 - ツール設定」



部分的に明度を下げる

①[レタッチ]をクリック。
②[焼き込み（暗く）]ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ]画面 - ツール設定」



部分的に彩度を上げる

①[レタッチ]をクリック。
②[鮮やかに]ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ]画面 - ツール設定」



部分的に彩度を下げる

①[レタッチ]をクリック。
②[色を抜く]ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ]画面 - ツール設定」



部分的にぼかしを入れる

①[レタッチ]をクリック。
②[ぼかし]ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ]画面 - ツール設定」



部分的にシャープにする

①[レタッチ]をクリック。
②[シャープ]ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

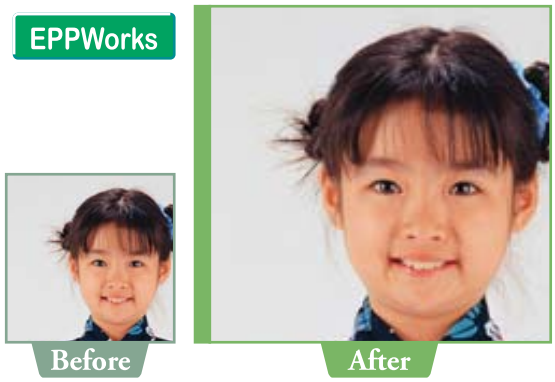
☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ]画面 - ツール設定」



部分的に入ったノイズを目立たなくする

①[レタッチ] をクリック。
②[ノイズ軽減] ツールを選択。
③レタッチする部分にブラシを合わせ、クリック。
明るい髪の毛などに現れる、赤や緑色の“ノイズ”を目立たなくします。EPPWorks 画面では効果をより鮮明に確認できます。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ] 画面 - ツール設定」



写真を部分的にコピーする

①[レタッチ] をクリック。
②[コピー] ツールを選択。
③コピーしたい部分にブラシを合わせ、Option キー /Alt キーを押しながらクリック。
④コピー先の部分にブラシを合わせ、ドラッグ。

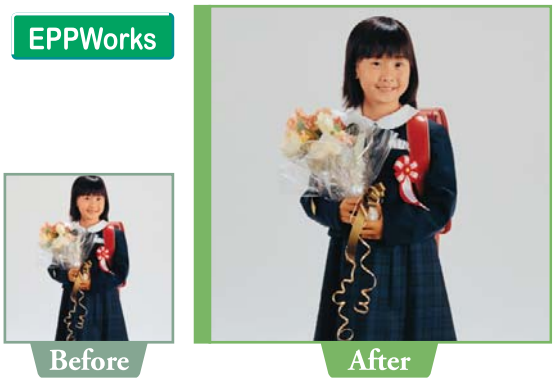
☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[レタッチ] 画面 - ツール設定」



ポートレート風に仕上げる

①[カラー / トーン] をクリック。
②[プリセット] タブをクリック。
③[自動画像調整] フィルタから [ポートレート] を選択。
明るさやコントラストなどを調整して、人物がよりきれいに見えるように仕上げます。EPPWorks 画面では効果をより鮮明に確認できます。

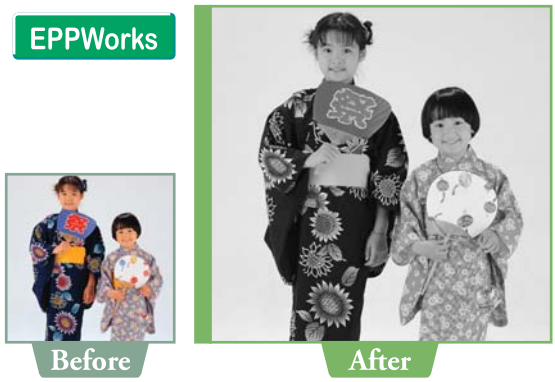
☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - プリセット」



カラー写真をモノクロ写真にする

①[カラー / トーン] をクリック。
②[プリセット] タブをクリック。
③[自動画像調整] フィルタから［モノクローム］を選択。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - プリセット」



写真を明るくする

①[カラー / トーン] をクリック。
②[プリセット] タブをクリック。
③[自動画像調整] フィルタから［ライト］を選択。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - プリセット」



写真を暗くする

①[カラー / トーン] をクリック。
②[プリセット] タブをクリック。
③[自動画像調整] フィルタから［ヘビー］を選択。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - プリセット」



写真をシャープにする

①[カラー / トーン] をクリック。
②[プリセット] タブをクリック。
③[自動画像調整] フィルタから［シャープ］を選択。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - プリセット」



写真をソフトにする

①[カラー / トーン] をクリック。
②[プリセット] タブをクリック。
③[自動画像調整] フィルタから［ソフト］を選択。

☞ヘルプ
「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - プリセット」



2 基本操作の流れ

ここでは、EPPLayout を使って写真をレイアウトする方法と、EPPWorks（Windows のみ）を使って写真を編集する方法をチュートリアル形式で説明しています。

写真を割り付けて印刷する 14
写真を編集して保存する 25

写真を割り付けて印刷する

ここでは Windows 用のアプリケーションを例に説明していますが、Mac OS 用アプリケーションでもほぼ同じ操作で印刷できます。

作業の前に

- サーバおよびプリンタとお使いのコンピュータの電源を入れます。本製品の電源の入れ方がわからない場合は、148 ページ「電源を入れる」をご覧ください。
- 用紙をセットします。本製品で印刷できる用紙の種類は、別紙「対応用紙一覧」をご覧ください。
- プリンタにセットした用紙の種類を EPPServer 上で設定します。設定方法は、223 ページ「EPPServer で用紙設定を変更する」をご覧ください。
- 印刷したい画像ファイルを、お使いのコンピュータのハードディスクにコピーします（任意のフォルダにコピーできますので、コピー先を忘れないでください）。
  ☞ 本書 42 ページ「使用できる画像ファイルについて」

作業の流れ

15 ページ「EPPLayout を起動する」

↓

16 ページ「用紙を選択する」

↓

17 ページ「テンプレートに写真を割り付ける」

↓

22 ページ「印刷の準備をする」

↓

23 ページ「印刷する」

↓

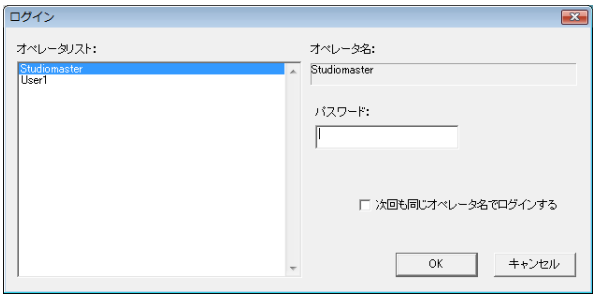
24 ページ「EPPLayout を終了する」

EPPLayout を起動する

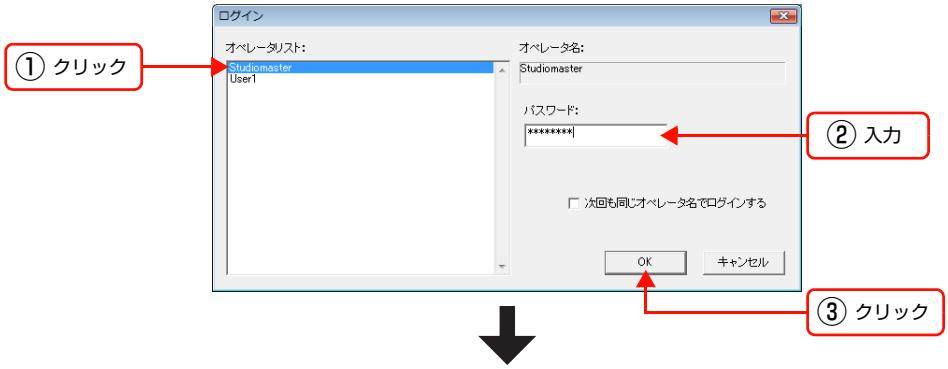
1 **EPPLayout を起動します。**

- 【Windows】
  ［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPPLayout］をクリックします。
- 【Mac OS】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPLayout のアイコン（ ）をダブルクリックします。

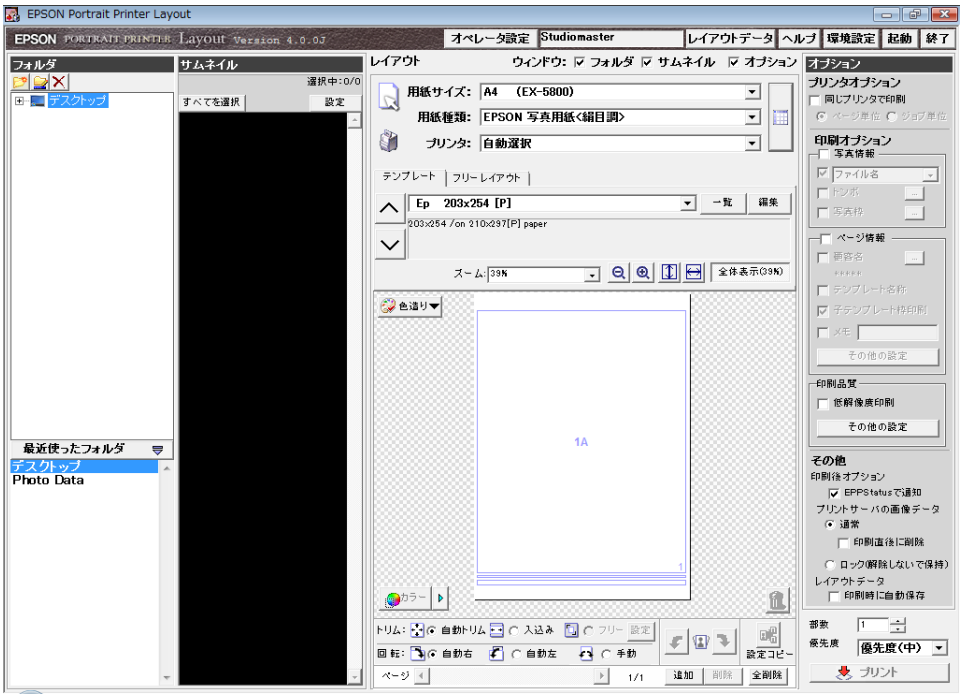
［ログイン］画面が表示されます。



2 **オペレータ名を［オペレータリスト］から選択し、パスワードを入力して［OK］をクリックします。**

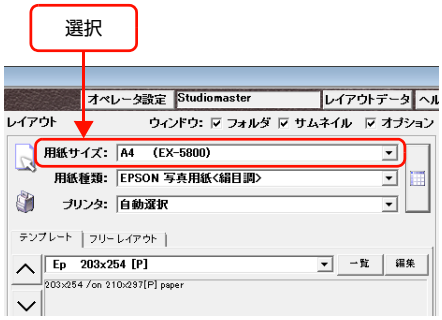


EPPLayout 画面が表示されます。

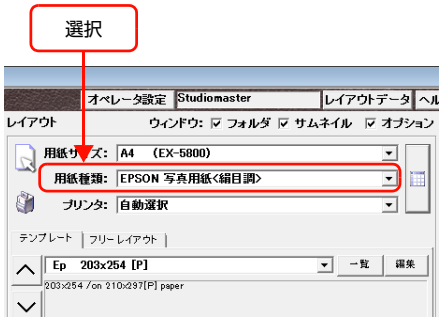


用紙を選択する

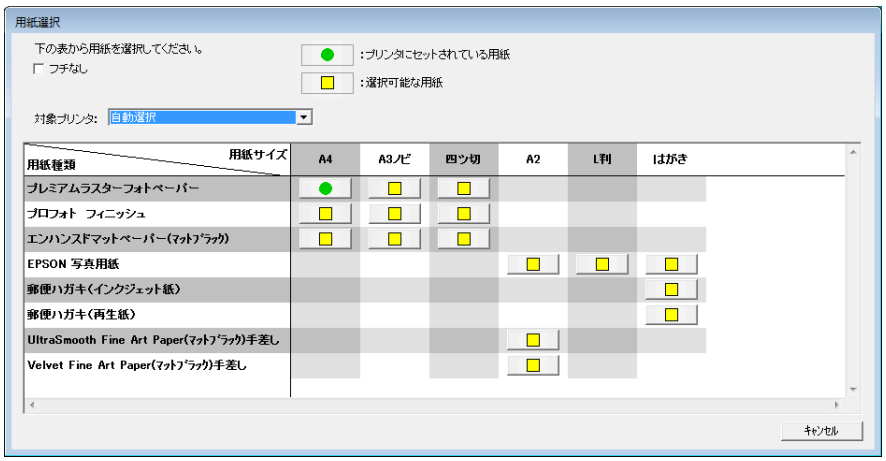
3 ［用紙サイズ］の ▼ をクリックし、プルダウンメニューからプリンタにセットされている用紙サイズを選択します。



4 ［用紙種類］の ▼ をクリックし、プルダウンメニューからプリンタにセットされている用紙を選択します。



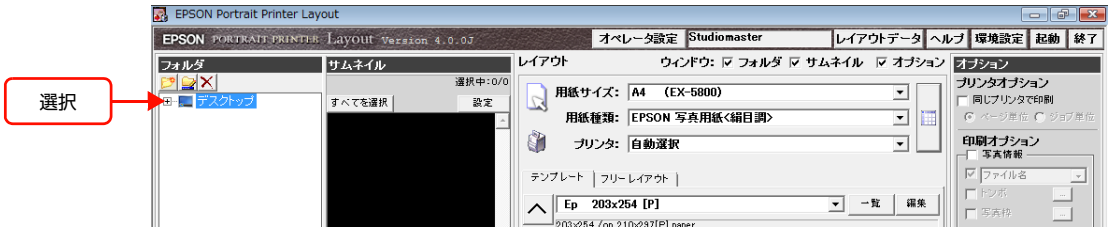
参考 ▦ をクリックすると、以下の［用紙選択］画面が表示されます。印刷するプリンタで使用できる用紙サイズと用紙種類の組み合わせを一覧表から選択できます。



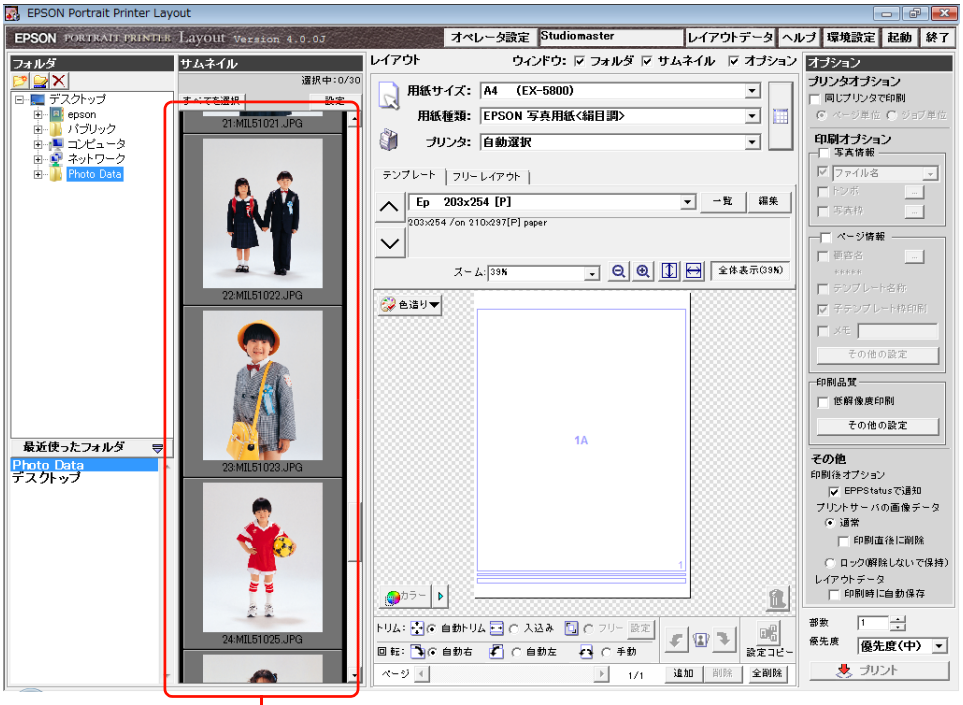
- ● サーバで設定されている用紙種類とサイズの組み合わせが一致しているのでそのまま印刷できます。
- □ サーバで用紙種類とサイズの設定をしてから印刷を実行します。

テンプレートに写真を割り付ける

5 **画面左にある［フォルダ］ウィンドウで、印刷したい画像ファイルが入っているフォルダをクリックして選択します。**



［サムネイル］ウィンドウにサムネイルが表示されます。



サムネイルが表示される。

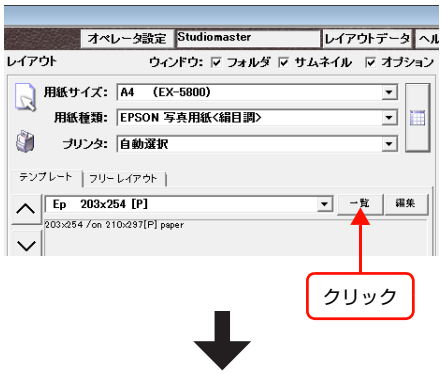
> **重要** 選択したフォルダ内に使用できる画像ファイルがないと、［サムネイル］ウィンドウには何も表示されません。
> ☞ 本書 42 ページ「使用できる画像ファイルについて」

6 **［テンプレート］タブをクリックします。**

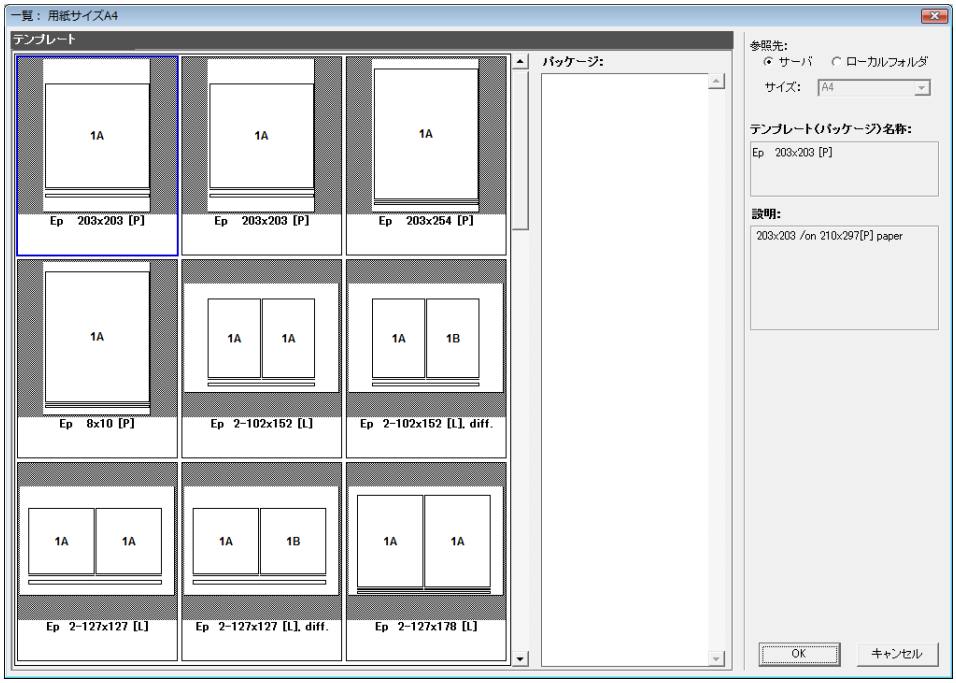
［レイアウト］ウィンドウの中央にテンプレートが表示されます。



7 ［一覧］をクリックします。



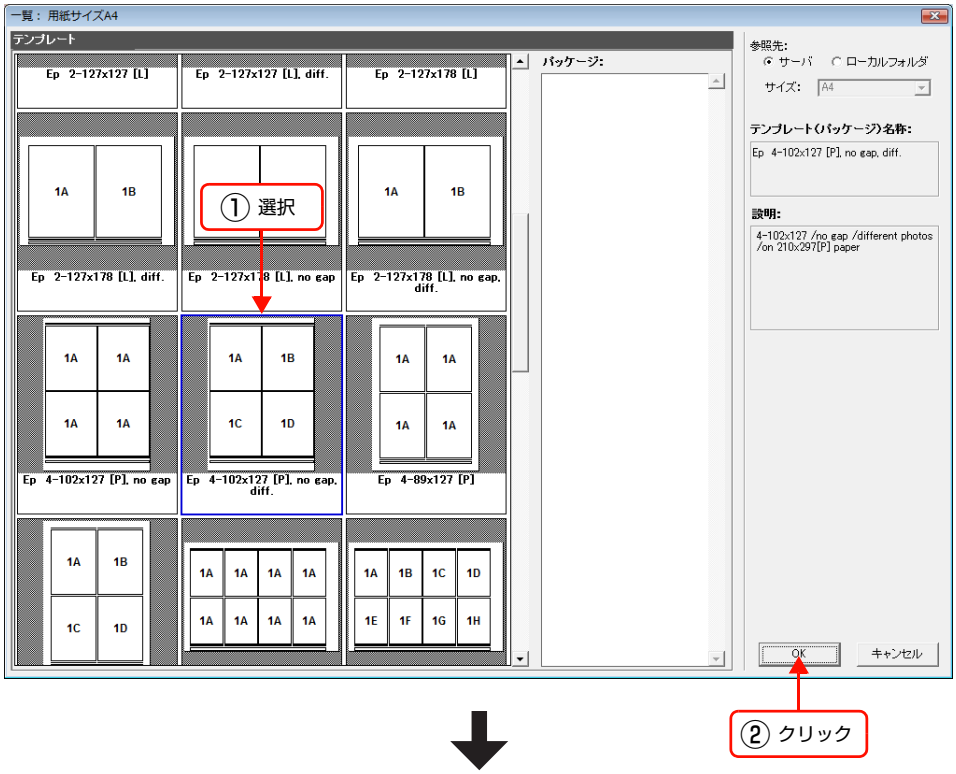
テンプレートの［一覧］画面が表示されます。



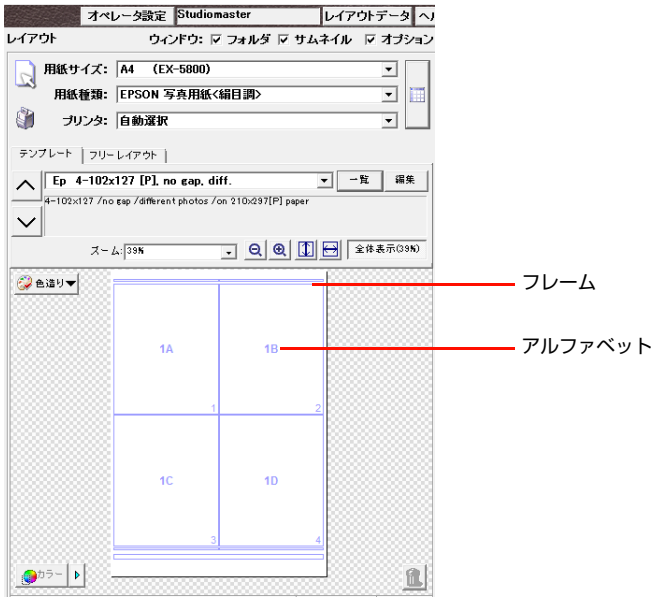
参考　画面右上の［参照先］を選択することによって、テンプレートが保存されている場所を選択できます。

8 ［一覧］画面からテンプレートを選択します。

ここでは、４面付け用のテンプレートを選択します。

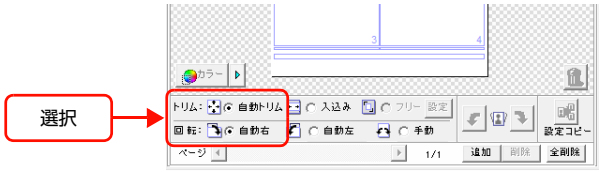


［一覧］画面で選択したテンプレートが、［レイアウト］ウィンドウに表示されます。



上記のテンプレートの場合、A,B,C,D それぞれに別の写真をレイアウトできます。

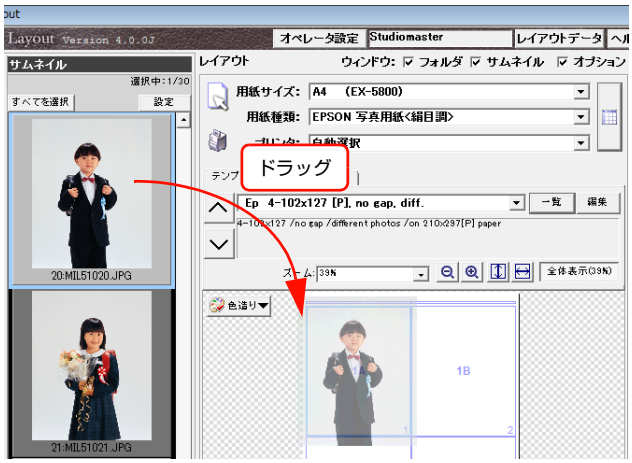
9 ［レイアウト］ウィンドウの下にある［トリム］、［回転］で、［自動トリム］、［自動右］を選択します。



写真をフレームに割り付けると、［自動トリム］は写真の縦横比を固定したまま、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。［自動右］は横長の写真を右回りに 90 度回転してフレームに収めます。

> 参考　［トリム］の詳しい設定については 165 ページ「写真を切り取る」、［回転］については 166 ページ「写真を回転させる」をご覧ください。

10 ［サムネイル］ウィンドウの写真をテンプレートにドラッグします。



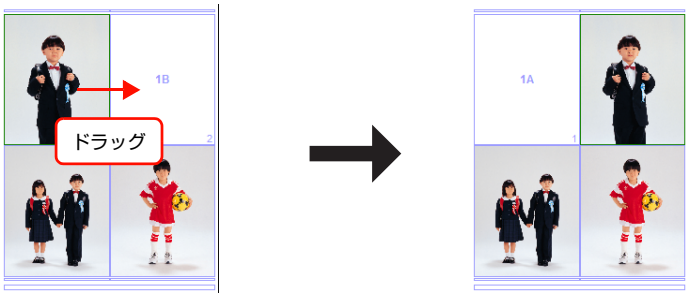
4 枚の写真がテンプレートに割り付けられました。



ワンポイントアドバイス

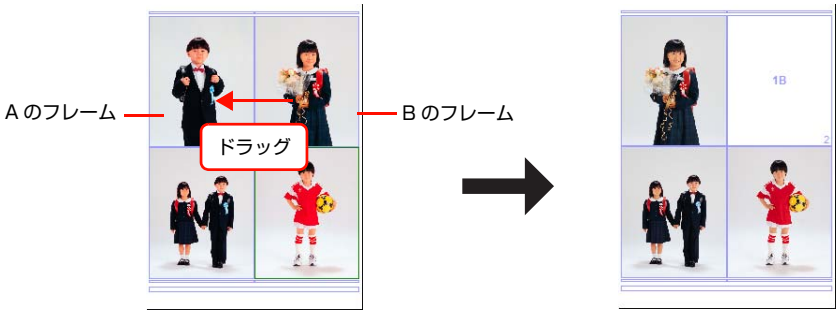
写真をほかのフレームに移動するには

割り付けられている写真を空いたフレームにドラッグすると移動できます。



ほかの写真と置き換えるには

［サムネイル］ウィンドウの写真をテンプレートに割り付けられている写真の上にドラッグすると置き換えることができます。また、割り付けられている写真をほかの写真の上にドラッグしても置き換えることができます。



B のフレームの写真を A のフレームへドラッグすると、A のフレームに B のフレームの写真が置き換わる。
A のフレームの写真はテンプレートから削除されます。

フレームから写真を削除するには

削除したい写真をクリックして選択し、 をクリックします。フレームから写真を削除しても、写真は［サムネイル］ウィンドウやフォルダからは削除されません。



印刷の準備をする

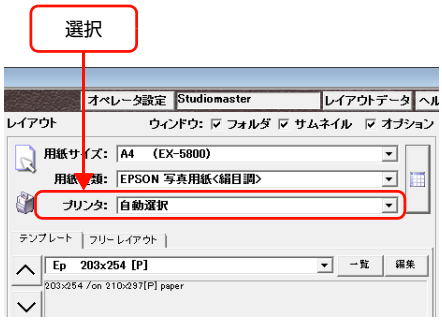
11 ［オプション］ウィンドウの必要な項目をチェックします。



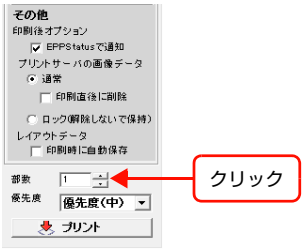
参考 ［オプション］ウィンドウを設定すると、写真にトンボやファイル名、スタジオ名などを付けて印刷できます。
☞ 本書 179 ページ「印刷の準備をする」

印刷する

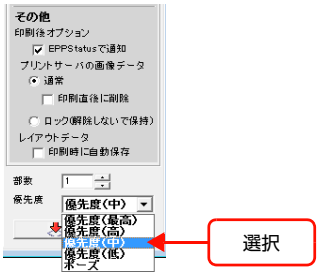
12 ［プリンタ］の をクリックし、プルダウンメニューから［自動選択］を選択します。



13 ［部数］の をクリックして印刷部数を設定します。

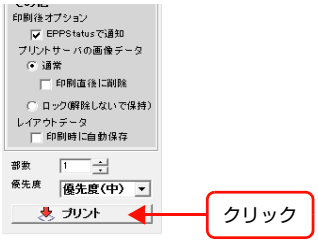


14 ［優先度］の をクリックし、プルダウンメニューから優先度を選択します。



> 参考 ［優先度］では印刷の優先順位を設定できます。
> ☞ 本書 186 ページ「写真を印刷する」

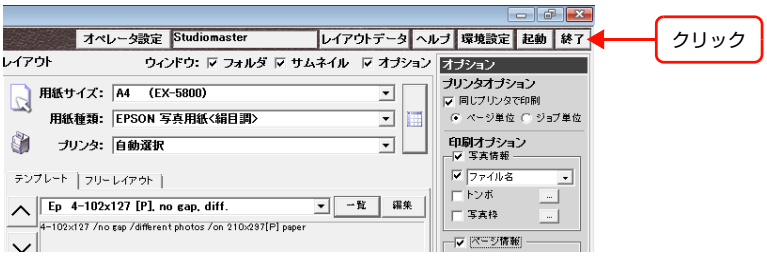
15 ［プリント］をクリックします。



レイアウトした写真が用紙に印刷されます。

EPPLayout を終了する

16 **EPPLayout 画面右上の［終了］をクリックします。**



Mac OS では［EPPLayout］メニューから［EPPLayout を終了］を選択することもできます。

写真を編集して保存する

ここでは、Windows で EPPWorks を使用して写真を編集する方法を説明します。EPPWorks は Windows のみで使用できます。

画像の編集には、Adobe Photoshop などの画像編集ソフトウェアも使えます。

作業の前に

- お使いのコンピュータの電源を入れます。
- 編集したい画像ファイルを、お使いのコンピュータのハードディスクにコピーします（任意のフォルダにコピーできますので、コピー先を忘れないでください）。
  ☞ 本書 42 ページ「使用できる画像ファイルについて」

作業の流れ

26 ページ「EPPWorks を起動する」

↓

27 ページ「編集する写真を選択する」

↓

29 ページ「カラーマネージメントを設定する」
（[レタッチ]、[カラー / トーン] モード*）

↓

30 ページ「写真を編集する」
（書き出しモード）

↓

33 ページ「編集した写真を保存する」

↓

36 ページ「EPPWorks を終了する」

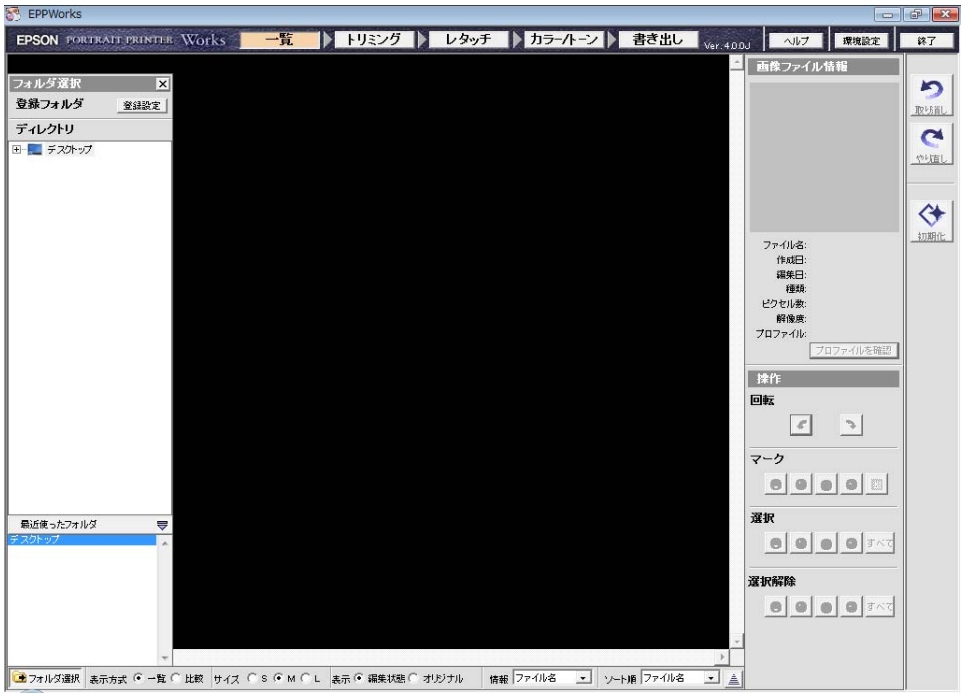
* ここでは［カラー / トーン］モードで写真を編集します。

EPPWorks を起動する

1 **EPPWorks を起動します。**

［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPPWorks］をクリックします。

［一覧］モードの画面が表示されます。



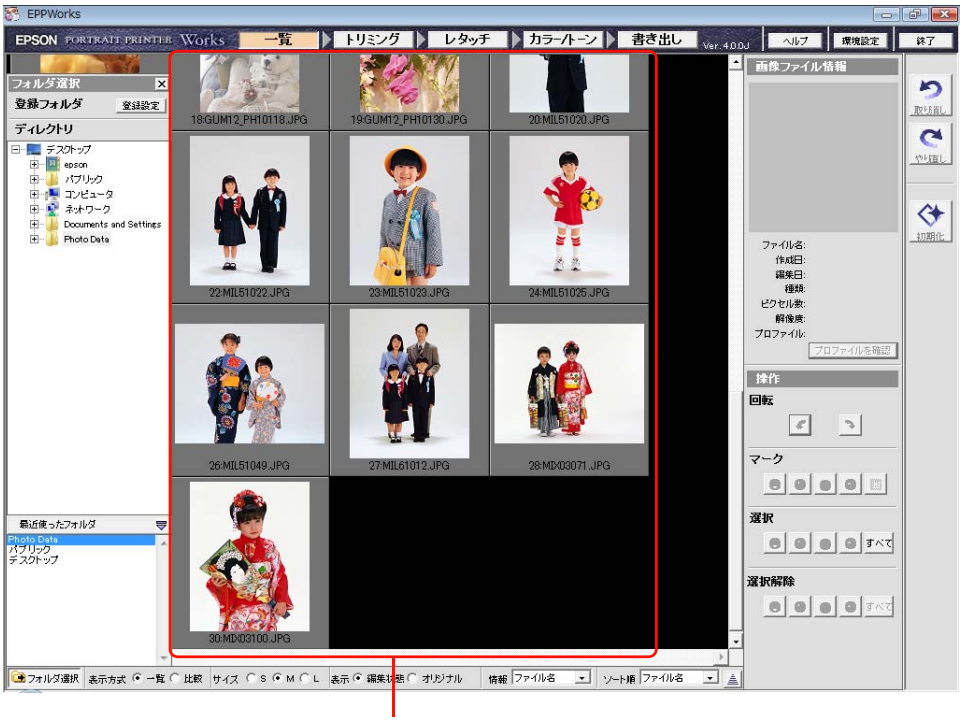
編集する写真を選択する　一覧

［一覧］モードでは［サムネイル］ウィンドウに写真のサムネイルを表示させ、編集する写真を選択します。

2 **［フォルダ選択］ウィンドウで、画像ファイルが入っているフォルダをクリックします。**



サムネイルが画面に表示されます。



3 画面左下の［フォルダ選択］をクリックして［フォルダ選択］ウィンドウを閉じます。



［フォルダ選択］ウィンドウの背後に隠れていたサムネイルが表示されます。



［フォルダ選択］をもう一度クリックすると、再び［フォルダ選択］ウィンドウが開きます。

4 編集したいサムネイルをクリックします。



カラーマネージメントを設定する 一覧

写真の編集を始める前に、モニタに表示される写真の色を印刷される色にできるだけ近付けるために、カラーマネージメントを設定します。

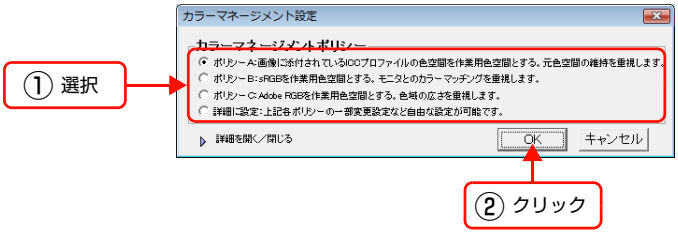
5 **画面右上の［環境設定］をクリックし、プルダウンメニューから［カラーマネージメント設定］を選択します。**



6 **［カラーマネージメントポリシー］を選択します。**

あらかじめ用意されている［ポリシー A］、［ポリシー B］、［ポリシー C］から選択するだけで、カラーマネージメントを簡単に設定できます。

☞ 本書 51 ページ「カラーマネージメントを設定する」



写真を編集する　トリミング　レタッチ　カラー/トーン

項目	内容
［トリミング］モード	写真をトリミングしたり回転したりできます。
［レタッチ］モード	ブラシを使って写真をレタッチできます。
［カラー / トーン］モード	写真の色調を調整できます。

ここでは、［カラー / トーン］モードの［プリセット］シートにある［自動画像調整］フィルタを使って写真の色調を調整します。

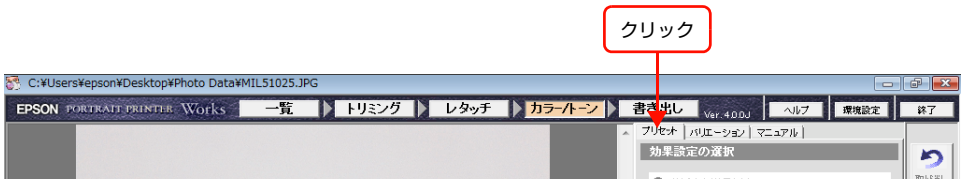
7 ［カラー / トーン］をクリックします。



選択した写真がプレビューエリアに表示されます。



8 ［プリセット］タブをクリックします。



［効果設定の選択］エリアが表示されます。



［効果設定の選択］エリア

9 ［自動画像調整］の一覧からフィルタを選択します。

［自動画像調整］フィルタには［スタンダード］、［ポートレート］、［モノクローム］、［ライト］、［ヘビー］、［シャープ］、［ソフト］が用意されています。
ここでは、少し暗い色調の写真を明るい色調に調整したいので、［ライト］をクリックします。
プレビューエリアの画像に［ライト］のフィルタが適用されます。画像の色調を確認してください。



ワンポイントアドバイス

操作をやり直すには

EPPWorks 画面右上の［取り消し］、［やり直し］をクリックすると、行った操作を元に戻したりやり直すことができます。



［取り消し］をクリックすると、最後に行った操作を取り消します。

［やり直し］をクリックすると、最後に［取り消し］された操作を元に戻します。

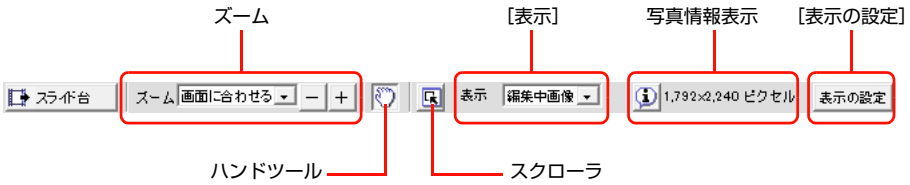
［初期化］をクリックすると、現在のモードに切り替えたときの最初の画像の状態に戻します。

［トリミング］または［カラー / トーン］モードでは、［取り消し］と［やり直し］は 10 回まで行うことができます。［レタッチ］モードでは、ハードディスクに空き容量があれば何回でも繰り返すことができます。通常、100 回以上行えます。

写真の表示を変更するには

EPPWorks 画面下に、編集している写真の表示を変更するツールバーがあります。このツールを使って編集結果を詳細に確認したり、編集前と編集中の写真を比較したりできます。

次に作業する［書き出し］モードでも、写真を保存する前にこれらのツールを使って写真を確認できます。

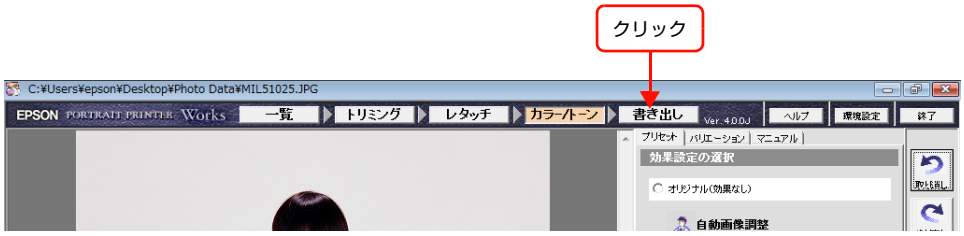


項目	内容
［ズーム］	プレビュー画像を拡大したり、縮小します。 プルダウンメニューから倍率を選択するか、［−］/［+］をクリックします。
［ハンドツール］	プレビュー画像を拡大したときに、スクロールできます。
［スクローラ］	クリックすると［スクローラ］画面が表示され、拡大表示したプレビュー画像が、写真全体のどの部分なのかを赤い枠で示します。赤い枠内をドラッグすると、プレビュー画像をスクロールできます。
［表示］	プレビューエリアの画像表示を［編集中画像］、［編集前画像］、［比較表示］から選択します。 ［比較表示］を選択すると、編集中と編集前の画像が 2 枚並んで表示されます。
写真情報表示（［トリミング］モードにも共通）	をクリックすると、タッチパッドのボタンを押している間だけ写真サイズと解像度が表示されます。
［表示の設定］（［トリミング］モードにも共通）	［モニタカラーマネージメント］、［背景表示色］、［単位］、［解像度］を設定します。

編集した写真を保存する　書き出し

編集した写真を保存します。

10　**［書き出し］をクリックします。**



編集内容を反映した写真がプレビューエリアに表示され、ファイルの情報と使用した編集ツールの概要が［画像情報］に表示されます。



> **参考**　印刷された写真の白飛びを防ぎたい場合は、［自然なコントラストに（印刷時の白飛び防止）］をチェックします。そのままのコントラストでよい場合は、チェックする必要はありません。

EGG ファイルとは

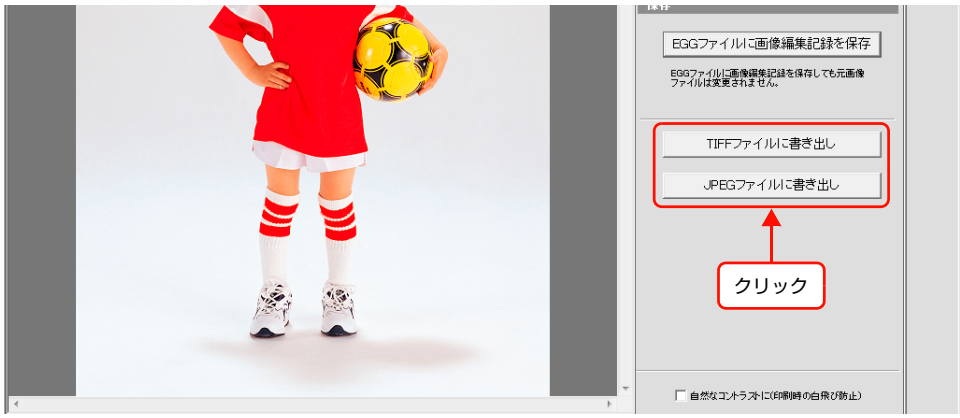
EGG ファイルには写真の編集内容が記録されます。EGG ファイルは 1 枚の写真につき 1 つだけ作成されますが、写真を編集すると編集記録が上書きされるので最新の編集内容を保存できます。オリジナルの写真とは独立しているファイルなので、オリジナルの写真が編集されてしまうことはありません。

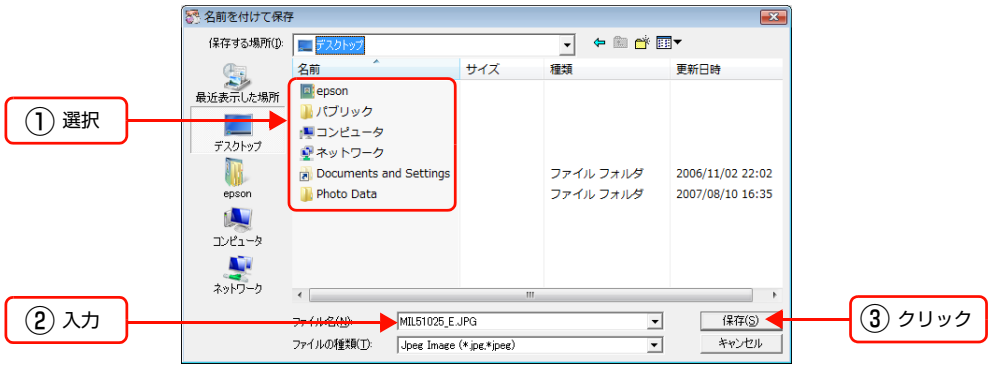
> **参考** オリジナルの写真を初めから編集するには、EGG ファイルを削除します。
> [一覧] モードでニワトリ（ ）かタマゴ（ ）のアイコンが付いているサムネイルを選択し、[ファイル] メニューから [EGG ファイルを削除] を選択すると、EGG ファイルを削除する確認のメッセージ画面が表示されます。
> [はい] をクリックすると EGG ファイルが削除され、オリジナルの画像ファイルが選択できるようになります。

11 **[TIFF ファイルに書き出し] または [JPEG ファイルに書き出し] をクリックします。**

EPPLayout を使ってレイアウトし、印刷するためには、編集効果が反映された画像ファイルを TIFF または JPEG で保存する必要があります。

ファイルを保存するフォルダを選択し、[別名で保存] にファイル名を入力して [保存] をクリックします。





> **参考** [TIFF ファイルに書き出し] を選択した場合、LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。

EGG ファイルを保存するか確認するメッセージ画面が表示されます。保存する場合は [保存] をクリックします。EGG ファイルはオリジナルの画像ファイルと同じフォルダに保存され、TIFF または JPEG ファイルは選択したフォルダに保存されます。

[保存しない] をクリックすると EGG ファイルは保存されず、TIFF または JPEG ファイルだけが選択したフォルダに保存されます。

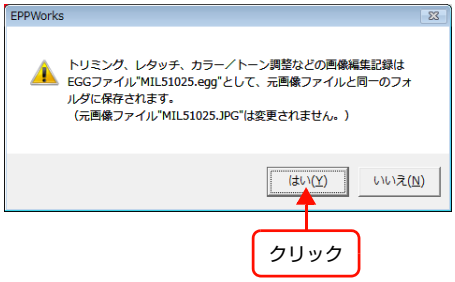
写真の編集から保存までの一連の作業はこれで終了しました。

編集記録を保存した EGG ファイル、EPPLayout で使用するための TIFF または JPEG ファイル、そして何も編集されていないオリジナルの画像ファイルの 3 種類のファイルがハードディスクに存在することになります。

次回、編集効果を反映したファイルから編集を始めるには EGG ファイル、または JPEG や TIFF ファイルを使います。

EGG ファイルだけを保存するには

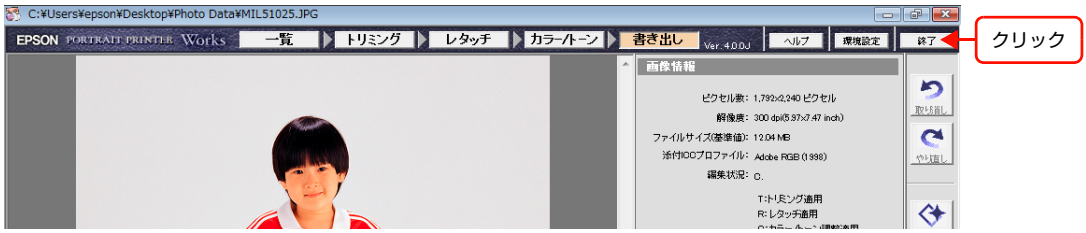
［EGG ファイルに画像編集記録を保存］をクリックします。［はい］をクリックすると、編集記録が EGG ファイルに保存されます。EGG ファイルはオリジナルの画像と同じフォルダに保存されますが、オリジナルの画像ファイルが編集されてしまうことはありません。次回から EGG ファイルを編集し直したり、オリジナルの画像ファイルを編集することもできます。



重要 オリジナルの画像ファイルの保存場所を変更する場合は、その画像の EGG ファイルも同じフォルダに移動させてください。

EPPWorks を終了する

12 EPPWorks 画面右上の［終了］をクリックします。



3 オペレーションガイド

ソフトウェアの使い方、印刷データの管理や本体のメンテナンスまで、本システム全体の使用方法が詳細に記載されています。また、お客様に提供する印刷物の保管方法も記載されていますので、是非ご一読ください。

はじめに 38
画像ファイルを準備する 41
テンプレートを作成し、管理する 72
写真をレイアウトして印刷する 147
印刷ジョブを管理する 190
写真の取り扱いと保管方法 213
メンテナンス 217
ユーザーやクライアントコンピュータを追加する 265
仕様 278

はじめに

本製品は写真の編集から印刷までを一貫して行えるシステムです。ハードウェア、ソフトウェア一体型の本システムは簡便かつ優れた操作性を備え、写真スタジオにおけるプロ技術者からの要望に応えられる、高画質かつ劣化の少ないデジタル印刷を提供します。

☞「ソフトウェアについて」38 ページ
☞「オペレーションガイドについて」40 ページ

ソフトウェアについて

本システムでは以下のソフトウェアを使用します。EPPServer 以外のソフトウェアは「クライアントソフトウェア CD」からインストールできます。EPPServer は本体のサーバにあらかじめインストールされているソフトウェアです。

EPPWorks（イーピーピーワークス）(Windows のみ)

トリミングやレタッチなどの機能を使って写真を編集し、RGB カラーの JPEG または TIFF* ファイル形式で保存します。これらのファイルを EPPLayout でレイアウトし、サーバに送信して印刷します。

＊ EPPWorksはLZW圧縮されたTIFF形式の画像ファイルを読み込んで編集できますが、TIFF形式で保存する場合はLZW圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。

EPPTemplate（イーピーピーテンプレート）

サーバからサンプルテンプレートをダウンロードして、お好みに合わせて編集したり、新規にテンプレートを作成できます。作成したテンプレートをサーバに保存すると、ほかのユーザーとテンプレートを共有でき、EPPLayout のテンプレートとして使えます。

EPPLayout（イーピーピーレイアウト）

テンプレートに写真を配置し、印刷データをサーバに送信して印刷します。トリミングや回転などの機能を使って写真を適切に配置し、トンボや写真情報など、印刷する際のオプションも設定できます。

EPPMonitor（イーピーピーモニタ）

本体に搭載されているプリンタの使用状況を確認できます。印刷ジョブの設定を変更したり、印刷ジョブの削除もできます。

EPPStatus（イーピーピーステータス）(Windows のみ)

警告やエラーメッセージをクライアントコンピュータに表示して、使用中のプリンタ、用紙やインクの状態を知らせます。

EPPServer（イーピーピーサーバ）

本体の LCD モニタ画面でプリンタの用紙設定、ノズルチェック、プリンタヘッドのクリーニングや調整、画質調整など、主にメンテナンスに関する設定を行います。

システム動作環境について

【Windows】

CPU	DualCore 3GHz 以上
OS	Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows 10
メモリ	1GB 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX 以上
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

参考　PSD 形式（Photoshop 形式）の画像を読み込むときは、QuickTime が必要です。

【Mac OS】

CPU	DualCore 3GHz 以上
OS	Mac OS X v10.6 以降
メモリ	1GB 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX 以上
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

オペレーションガイドについて

オペレーションガイドをよく読んで、本システムを正しくお使いください。オペレーションガイドは以下のように構成されています。

1. 画像ファイルを準備する
EPPWorks（Windows のみ）を使って、画像を編集し、保存するまでの操作を説明します。

2. テンプレートを作成し、管理する
EPPTemplate を使って、テンプレートを作成、編集、管理し、サーバへ保存するまでの操作を説明します。

3. 写真をレイアウトして印刷する
EPPLayout を使って写真をテンプレートに配置し、写真の向きを調整したりトリミングし、印刷するまでの操作を説明します。

4. 印刷データを管理する
EPPMonitor、EPPStatus（Windows のみ）、EPPServer を使ってサーバに送信した印刷ジョブの状況やプリンタの状態を確認する方法について説明します。印刷ジョブの優先度、用紙種類の変更、再印刷、一時停止、印刷ジョブ削除などについても説明します。

5. 写真の取り扱いと保管方法
写真の取り扱い方、保管方法、飾り方について説明します。

6. メンテナンス
本システム全体を維持・管理するための機能などについて説明します。

7. ユーザーやクライアントコンピュータを追加する
ユーザーを追加する場合の登録方法や、クライアントコンピュータを追加する方法について説明します。

8. 仕様
本機の仕様について説明します。

画像ファイルを準備する

写真編集ソフトウェア EPPWorks（Windows のみ）を使って画像を編集できます。画像をお好みにあわせて編集した後、レイアウト用ソフトウェア EPPLayout を使ってレイアウトできます。画像の編集には、Adobe Photoshop などの画像編集ソフトウェアも使えます。

ここでは、EPPWorks を使って画像ファイルを印刷データとして適したファイルにしたり、写真を編集する基本的な方法について説明します。さらに詳しい EPPWorks の使い方や機能については、「EPPWorks ヘルプ」をご覧ください。EPPWorks 画面右上の［ヘルプ］をクリックすると、「EPPWorks ヘルプ」が表示されます。

☞「使用できる画像ファイルについて」42 ページ
☞「ICC プロファイルを添付する」42 ページ
☞「写真編集の流れ」43 ページ
☞「EPPWorks を起動する」45 ページ
☞「編集する写真を選択する」46 ページ
☞「カラーマネージメントを設定する」51 ページ
☞「写真を回転させたり、トリミングする」53 ページ
☞「写真をレタッチする」57 ページ
☞「ツールバーを使う」60 ページ
☞「写真の色や色調を調整する」61 ページ
☞「編集した画像ファイルを保存する」69 ページ
☞「EGG ファイルだけを保存する」71 ページ

使用できる画像ファイルについて

使用できる画像ファイル

- JPEG（RGB モード）8bit
- TIFF（RGB モード）8bit/16bit
- TIFF（LZW 圧縮）8bit/16bit
- PSD 8bit（Windows は QuickTime がインストールされている場合のみ）

使用できない画像ファイル

- JPEG（CMYK モード）
- TIFF（α チャンネル付き）
- TIFF（CMYK モード）
- TIFF（グレースケール）

重要

- 画像ファイルはクライアントコンピュータのハードディスクにコピーし、必ずフォルダに入れてください。
- 本システムに接続されているプリンタは、「モノクロ写真印刷」機能が無効になります。モノクロ印刷をしたい場合は、モノクロデータを用意してください。［自動画像調整］機能で［モノクローム］を選択してもモノクロ印刷ができます。

参考

EPPWorks で作業する前に、モニタに表示される画像の色が印刷される色にできるだけ近くなるように、クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行ってください。

ICC プロファイルを添付する

印刷用に写真を編集したりレイアウトする前に、画像ファイルに ICC プロファイルを添付したいときは、Adobe Photoshop などの画像編集ソフトウェアを使って JPEG または TIFF 形式のファイルを開いてください。RGB 色空間を使って ICC プロファイルが添付できます。

☞ EPPWorks ヘルプ「付録」-「ファイル形式について」

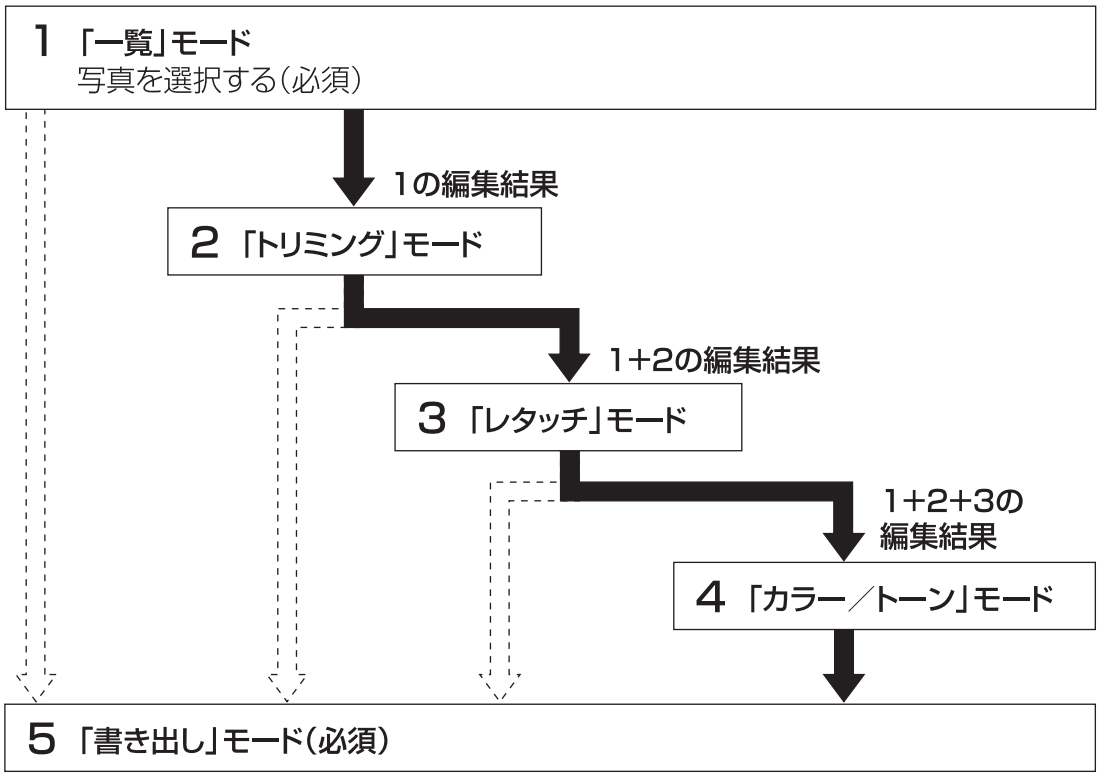
写真編集の流れ

EPPWorks には編集機能別に［一覧］、［トリミング］、［レタッチ］、［カラー / トーン］、［書き出し］の 5 つのモードが用意されています。EPPWorks を起動し、以下の流れに沿って写真を編集します。

［一覧］モードで編集したい写真を選択、評価する→［トリミング］画面で写真を回転、トリミングする→［レタッチ］モードで写真をレタッチする→［カラー / トーン］モードで色と色調を補正する→［書き出し］モードで編集した写真を保存する

この流れに沿って編集すると、次のように写真に加工が加えられます。

［一覧］モードでの編集が［トリミング］モードに反映される
↓
［トリミング］モードでの編集が［レタッチ］モードに反映される
↓
［トリミング］と［レタッチ］モードでの編集が
［カラー / トーン］モードに反映される
↓
［トリミング］、［レタッチ］、［カラー / トーン］モードでの編集が
［書き出し］モードに反映される



参考

- ［トリミング］から［カラー / トーン］モードまでの編集を必要に応じて省くことができます。例えば、［一覧］モードから［レタッチ］や［カラー / トーン］モードに切り替えたり、［一覧］モードから直接［書き出し］モードに進むこともできます。ただし、［一覧］モードで写真を選択せずにほかのモードに切り替えることはできません。
- ［トリミング］から［書き出し］までのモードを必要に応じて切り替えることができます。モードを切り替えても編集内容は保持されています。例えば、［カラー / トーン］から［レタッチ］モードに切り替えて編集し直したり、［トリミング］モードに切り替えてトリミング領域を変更することもできます。
- 編集作業の“流れの後”にあるモードから“流れの前”のモードに切り替えると、“流れの後”のモードの編集内容はプレビュー画像に反映されません。例えば、［カラー / トーン］で行った編集は［レタッチ］モードのプレビュー画像には表示されません。再度［カラー / トーン］や［書き出し］モードなどの“流れの後”にあるモードに切り替えると、そのモードまでに行ったすべての編集内容が反映されたプレビュー画像が表示されます。
- ［トリミング］、［レタッチ］、［カラー / トーン］モードで編集した後、［一覧］モードに切り替えたり、［書き出し］モードで画像ファイルを保存せずに［一覧］モードに切り替えると、編集記録を EGG ファイルに保存するかを確認する画面が表示されます。編集記録を保存したいときは、［保存］をクリックします。
- EPPWorksでJPEGやTIFFの画像ファイルを編集し、保存するときに編集内容がすべて入ったEGGファイルを作成することもできます。EGG ファイルを作成するとオリジナルの JPEG または TIFF ファイルは編集されず、そのままの状態で残すことができます。

重要

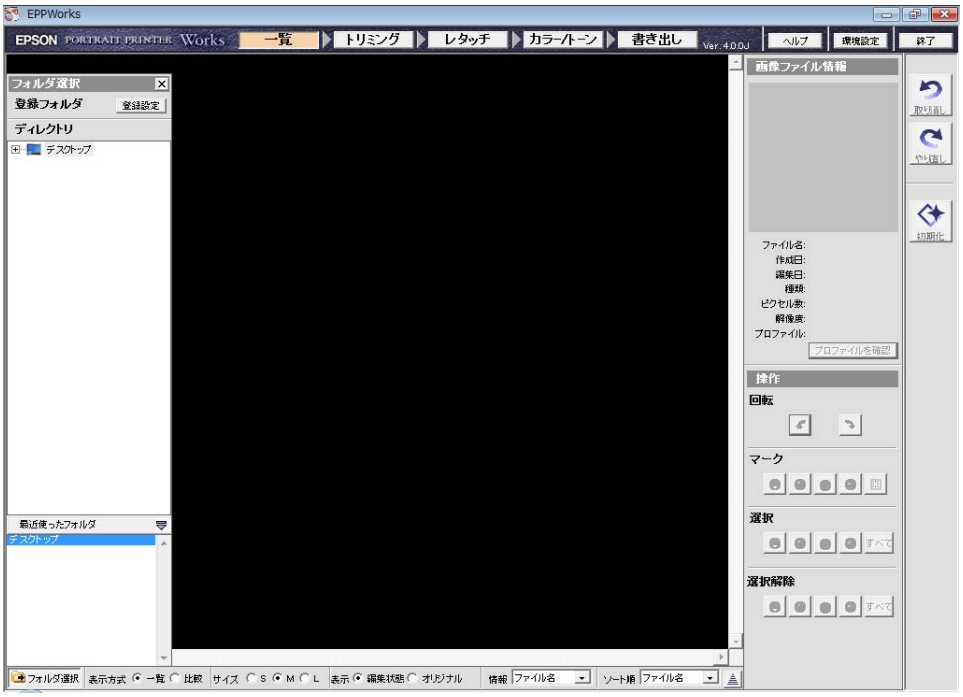
- EPPWorks は必ずクライアントコンピュータにインストールしてください。
- クライアントコンピュータのEPPWorksプログラムファイルを編集したり削除しないでください。EPPWorksが正常に働かなくなります。
- 画像ファイルは必ずクライアントコンピュータのハードディスクのフォルダにコピーしてください。CD-ROM、MO、フロッピーディスクなどに入れたまま作業しないでください。

EPPWorks を起動する

1 **EPPWorks を起動します。**

［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPPWorks］をクリックします。

［一覧］モードの画面が表示されます。



参考

以下の方法でも EPPWorks を起動できます。

- EPPWorks のアイコンに画像ファイルをドラッグする。
- EPPWorks のアイコンに拡張子［.egg］が付いたファイルをドラッグする。

EPPWorks を終了するには

EPPWorks 画面右上の［終了］をクリックするか、画面右上隅にある ☒ をクリックします。

編集する写真を選択する　一覧

［一覧］モードでは［サムネイル］ウィンドウに写真のサムネイルを表示させ、編集する写真を選択します。

1 **［フォルダ選択］ウィンドウで、画像ファイルが入っているフォルダをクリックします。**



サムネイルが画面に表示されます。



参考

- ［最近使ったフォルダ］には、これまでに使ったフォルダが新しいものから 20 個まで表示されます。［最近使ったフォルダ］ウィンドウからフォルダを選択することもできます。
- よく使うフォルダを登録し、［登録フォルダ］に表示できます。
  ☞ EPPWorks ヘルプ「こんなときには」-「よく使うフォルダを登録したい」
- フォルダ内にサブフォルダがあると、▷がフォルダの左側に表示されます。▽をクリックすると▷に変わり、サブフォルダが表示されます。
- ［フォルダ選択］ウィンドウ内でのフォルダの移動、コピー、削除、フォルダ名の変更はできません。

!重要

異なる OS 環境でレタッチを行ったファイルの場合、レタッチ結果がサムネイルに表示されない場合があります。その場合は以下の手順でサムネイルの再作成を行ってください。
ウィンドウの一番左上をクリックし、［ファイル］メニューから［サムネイル再生成］を選択して、EGG ファイルを再作成します。

2 画面左下の［フォルダ選択］をクリックして［フォルダ選択］ウィンドウを閉じます。



［フォルダ選択］ウィンドウの背後に隠れていたサムネイルが表示されます。［フォルダ選択］をもう一度クリックすると、再び［フォルダ選択］ウィンドウが開きます。



3 編集したいサムネイルをクリックして選択します。

選択されたサムネイルは青い枠で囲まれ、背景色が薄いグレーに変わります。選択されたサムネイルと画像ファイルの情報が、右側の［画像ファイル情報］エリアに表示されます。



［トリミング］、［レタッチ］、［カラー / トーン］、［書き出し］モードに切り替えると、選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。

複数のサムネイルをまとめて選択する場合

EPPWorks では、一度に 1 枚の写真しか編集できませんが、［一覧］モードで複数のサムネイルを選択しておくと、ほかのモードではそれらのサムネイルがスライド台に表示されます。

複数のサムネイルは以下の方法で選択します。

- 離れた位置にあるサムネイルを選択するには、サムネイルを 1 枚クリックし、［Ctrl］キーを押しながら、ほかのサムネイルをクリックします。
- 並んでいるサムネイルを連続して選択するには、1 枚目のサムネイルをクリックし、［Shift］キーを押しながら、最後のサムネイルをクリックします。
- すべてのサムネイルを選択するには、右側の［操作］エリアにある［選択］の［すべて］をクリックします。すべての選択を解除するには、［選択解除］の［すべて］をクリックします。

サムネイルにマークを付ける

サムネイルに 4 段階評価のマークを付けられます。画質などの目安になるので、どの写真を編集したり印刷するのかを選択するときに便利です。サムネイルを選択し、［マーク］にある 4 段階評価のマークをクリックして、サムネイルに評価を付けます。複数のサムネイルを選択しておくと、それらのサムネイルに同じマークを一度に付けられます。

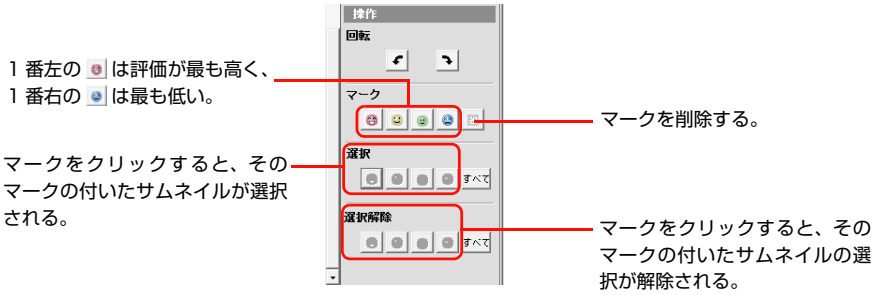
また、マークを付けてから、マーク別にサムネイルを選択したり、選択を解除したりできます。

マーク別にサムネイルを選択する

［選択］欄にある 4 種類のマークのうち、どれかをクリックします。クリックしたマークの付いているサムネイルだけが選択されます。

マーク別にサムネイルの選択を解除する

［選択解除］欄にある 4 種類のマークのうち、どれかをクリックします。クリックしたマークが付いているサムネイルの選択が解除されます。複数のサムネイルが選択されているときに操作できます。



参考

- サムネイルの下部にカーソルを合わせると、マークと回転のポップアップウィンドウが表示されます。マークをクリックして、サムネイルに 1 枚ずつマークを付けることもできます。
- ここで付けたマークは、EPPLayout のサムネイルにも表示されます。
- サムネイルの下部（下から 1/3 の高さまで）にカーソルを合わせることで、ポップアップウィンドウからマークの選択ができます。

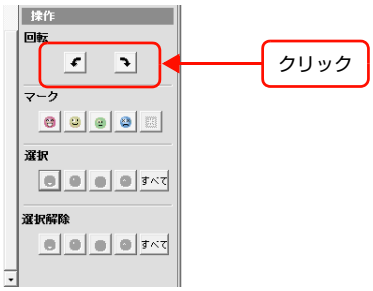
サムネイルを回転させる

サムネイルを選択し、 または をクリックします。複数のサムネイルを選択しておくと、同時に回転できます。

- をクリックするたびに、サムネイルが 90 度ずつ反時計回りに回転します。
- をクリックするたびに、サムネイルが 90 度ずつ時計回りに回転します。

［トリミング］モードでは、回転角度を設定して写真を回転できます。

☞ 本書 53 ページ「写真を回転させたり、トリミングする」

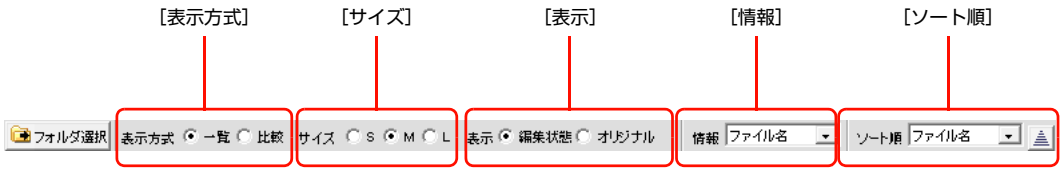


参考

- サムネイルの下部にカーソルを合わせると、マークと回転のポップアップウィンドウが表示されます。 または をクリックしてサムネイルを 1 枚ずつ回転できます。
- サムネイルの下部（下から 1/3 の高さまで）にカーソルを合わせことで、ポップアップウィンドウからサムネイルの回転ができます。

ツールバーを使う

サムネイルの表示の仕方を選択できるツールが［一覧］モード画面の下部にあります。
☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「一覧画面 - ツールバー」



項目		内容
［表示方式］	［一覧］	すべてのサムネイルを、同じ大きさで［サムネイル］ウィンドウ全体に表示します。
	［比較］	離れた位置にあるサムネイルを近付けて比較したり、拡大して比較できます。
［サイズ］		サムネイルの表示サイズを S、M、L から選択します。
［表示］	［編集状態］	編集後のサムネイルを表示します。
	［オリジナル］	編集されていないオリジナル写真のサムネイルを表示します。
［情報］		サムネイルの下部に表示させる画像ファイルの情報を選択します。
［ソート順］		どの情報によってサムネイルを並べるかを選択します。昇順、降順も選択できます。

参考 ［一覧］モードで［表示］の［編集状態］を選択すると、編集後のサムネイルが表示され、ニワトリのアイコン（ ）が付きます。［オリジナル］を選択すると、編集前のオリジナル写真のサムネイルが表示され、タマゴのアイコン（ ）が付きます。

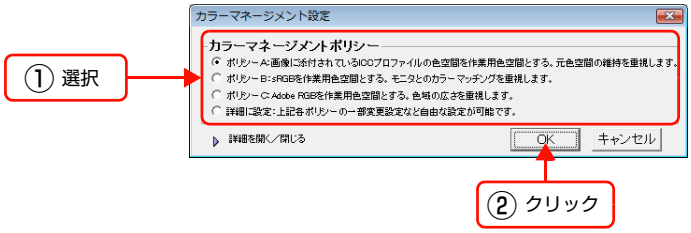
カラーマネージメントを設定する 一覧

写真の編集を始める前に、モニタに表示される写真の色を印刷される色にできるだけ近付けるために、カラーマネージメントを設定します。レタッチや色の調整をモニタで確認するためには、必ずこの設定をしてください。

1 **画面右上の［環境設定］をクリックし、［カラーマネージメント設定］を選択します。**



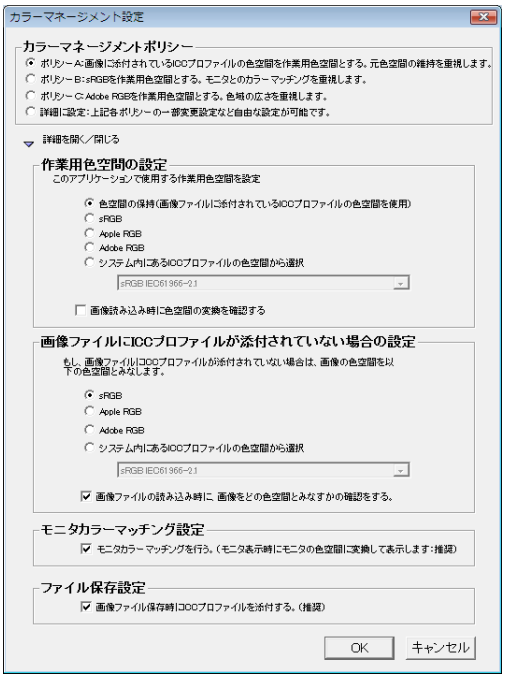
2 **［カラーマネージメントポリシー］を選択します。**



あらかじめ用意されている［ポリシー A］、［ポリシー B］、［ポリシー C］から選択するだけで、カラーマネージメントを簡単に設定できます。

項目	内容
［ポリシー A］	画像ファイルに添付されている ICC プロファイルの色空間を使って、オリジナル写真と印刷された写真とのカラー誤差を最小限にします。オリジナル写真の色を生かしたい場合は、この設定にします。本システムではこの設定をお薦めします。初期設定ではこの設定が選択されています。
［ポリシー B］	モニタの色空間を写真に適用し、モニタと印刷された写真とのカラーマッチングを最適化します。この設定の色空間は狭く、主にモニタでの写真表示に適しています。特にポートレート写真を編集するときは、この設定をお薦めします。
［ポリシー C］	Adobe RGB を適用しています。プリンタのような広い色域をもつ色空間に近く、出力はやや暗めになります。
［詳細に設定］	カラーマネージメントを独自に設定できます。

参考 ［ポリシー A］、［ポリシー B］、［ポリシー C］を選択した後でも［詳細を開く / 閉じる］をクリックすると、［作業用色空間の設定］、［画像ファイルに ICC プロファイルが添付されていない場合の設定］、［モニタカラーマッチング設定］、［ファイル保存設定］を設定できます。



!重要	コンピュータでモニタのカラー補正も行ってください。

写真を回転させたり、トリミングする　トリミング

［一覧］モードで選択した写真を回転させたりトリミングしたりできます。回転やトリミングを設定すると、プレビューエリアの写真に反映されます。

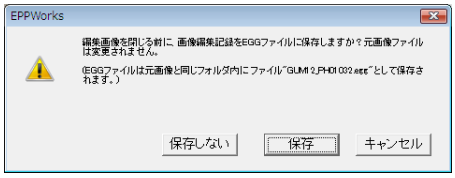
1　**［トリミング］をクリックします。**



［トリミング］モード画面が表示され、プレビューエリアに選択した写真が表示されます。



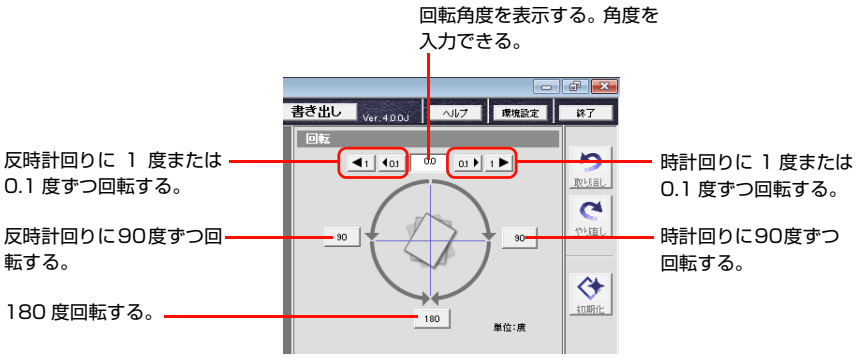
参考
- ［スライド台］をクリックすると、［一覧］モードで選択したサムネイルが表示されます。編集したいサムネイルをクリックすると、プレビューエリアに表示されます。
- プレビューエリアの写真がすでに編集されている場合、スライド台からほかのサムネイルを選択すると、以下の画面が表示されます。



編集記録を EGG ファイルに保存するには、［保存］をクリックします。
保存しないときは、［保存しない］をクリックします。編集内容は破棄されます。
どちらの場合もスライド台で選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。
［キャンセル］をクリックすると、プレビューエリアの写真はそのまま表示されます。

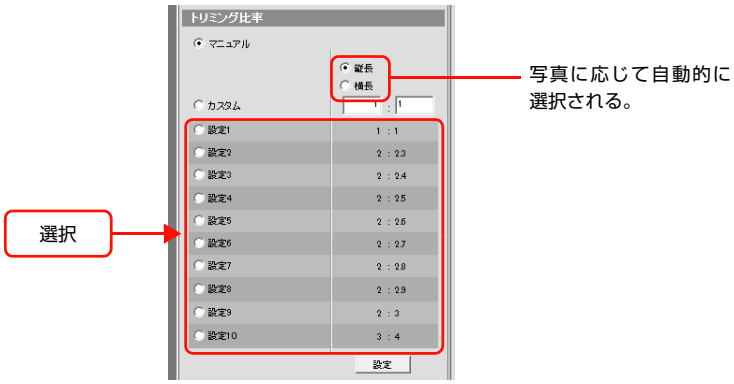
2 ［回転］エリアで、回転させたい角度を設定します。

- ［◀ 1］または［◀ 0.1］をクリックすると、反時計回りに 1 度または 0.1 度ずつ回転します。
- ［1 ▶］または［0.1 ▶］をクリックすると、時計回りに 1 度または 0.1 度ずつ回転します。
- ［90］、［180］をクリックすると、90 度または 180 度回転します。
- 回転角度がボックスに表示されます。反時計回りに回転させると、角度に－（マイナス）が付きます。
- ボックスに角度を入力し回転できます。



3 ［トリミング比率］エリアで、トリミングする幅：高さの比率を設定します。

写真が縦長か横長かによって、トリミング比率の［縦長］、［横長］が自動的に選択されます。用意されている 10 種類のトリミング比率から選択します。



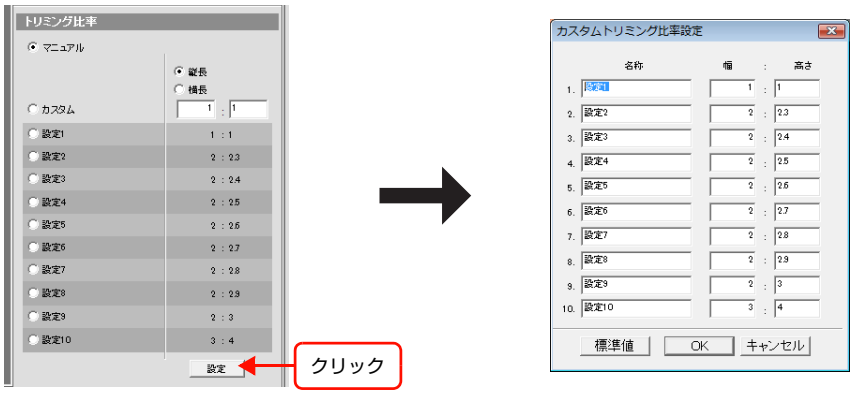
以下の方法でもトリミング比率を設定できます。
- ［縦長］［横長］の下にある［カスタム］のボックスに幅：高さの比率を入力してトリミング比率を設定できます。
- プレビュー画像のトリミング領域のハンドルをドラッグしてサイズを変更できます。
［設定 1 ～ 10］や［カスタム］でトリミング比率を設定してからドラッグすると、比率を固定したままトリミング領域のサイズを変更できます。［マニュアル］を選択すると、トリミング比率を固定せずにトリミング領域のサイズを変更できます。また、ポインタをトリミング領域の内側に置いてドラッグすると、トリミング領域を移動できます。

参考
- ［縦長］と［横長］は、必要に応じて選択できます。
- ± 90 度または± 270 度回転すると、［縦長］と［横長］の設定が切り替わります。
- 幅と高さが同じ写真の場合は、［縦長］の設定になります。

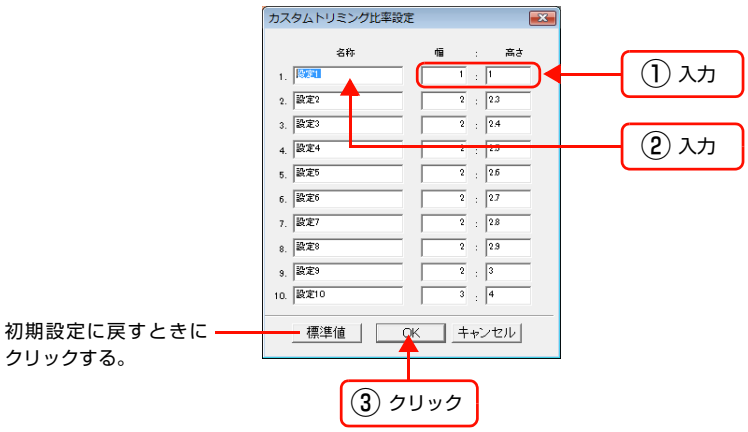
トリミング比率設定を編集する

トリミング比率の幅：高さ、名称を変更し、ユーザー独自の使いやすい設定を登録できます。

1 **［トリミング比率］の［設定］をクリックします。**
［カスタムトリミング比率設定］が表示されます。



2 **［幅］と［高さ］に比率を入力し、［名称］に設定名を入力し、［OK］をクリックします。**
変更したトリミング比率が［トリミング比率］エリアに表示されます。



参考 ［標準値］をクリックすると、［設定 1］～［設定 10］のすべての名称とトリミング比率が初期設定に戻ります。

操作をやり直す



［トリミング］［レタッチ］［カラー / トーン］モードで行った操作を元に戻したり、やり直したりする場合は、［取り消し］または［やり直し］をクリックします。

［取り消し］をクリックすると、最後に行った操作を取り消します。

［やり直し］をクリックすると、最後に［取り消し］された操作を元に戻します。

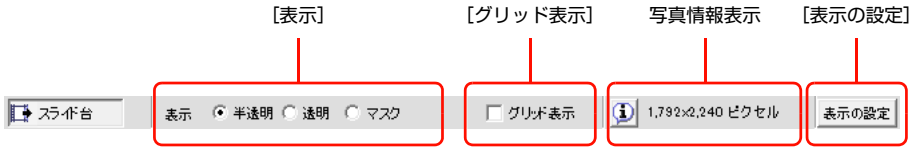
［初期化］をクリックすると、現在のモードに切り替えたときの最初の画像の状態に戻します。

［トリミング］または［カラー / トーン］モードでは、［取り消し］と［やり直し］は 10 回までできます。［レタッチ］モードでは、ハードディスクに空き容量があれば何回でも繰り返せます。通常、100 回以上行うことができます。

ツールバーを使う

トリミングに便利なツールが［トリミング］モード画面の下部にあります。

☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「［トリミング画面］ツールバー」



項目	内容
［表示］	トリミング領域の外側の色を設定します。
［グリッド表示］	トリミング領域にグリッドを表示します。写真の傾きを補正するときの目安になります。
写真情報表示	をクリックしている間だけ写真サイズと解像度が表示されます。
［表示の設定］	［モニタカラーマネージメント］、［背景表示色］、［単位］、［解像度］を設定します。

写真をレタッチする　レタッチ

［レタッチ］モードでは効果ツールやペイントツールを設定し、ブラシを使って写真を部分的にレタッチできます。レタッチの効果は、プレビューエリアの写真に反映されます。

> **重要**　一度レタッチを行った画像に対して、異なる OS 環境を使用して再レタッチを行うと、レタッチを行った箇所の色が微妙に変化してしまう可能性があります。再レタッチ作業は、最初に作業を行った環境と同一の環境で行ってください。

1　［レタッチ］をクリックします。

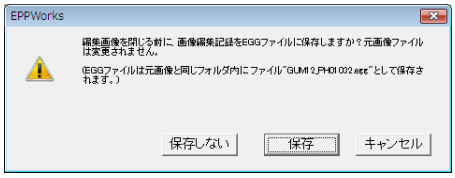


［レタッチ］モード画面が表示され、プレビューエリアに選択した写真が表示されます。



参考

- ［スライド台］をクリックすると、［一覧］モードで選択したサムネイルが表示されます。編集したいサムネイルをクリックすると、プレビューエリアに表示されます。
- プレビューエリアの写真がすでに編集されている場合、スライド台からほかのサムネイルを選択すると、以下の画面が表示されます。



編集記録を EGG ファイルに保存するには、［保存］をクリックします。
保存しないときは、［保存しない］をクリックします。編集内容は破棄されます。
どちらの場合もスライド台で選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。［キャンセル］をクリックすると、プレビューエリアの写真はそのまま表示されます。

2 ［効果ツール］または［ペイントツール］からツールを選択します。

［効果ツール］および［ペイントツール］の機能については、「EPPWorks ヘルプ」をご覧ください。
☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「［レタッチ画面］- ツール設定」



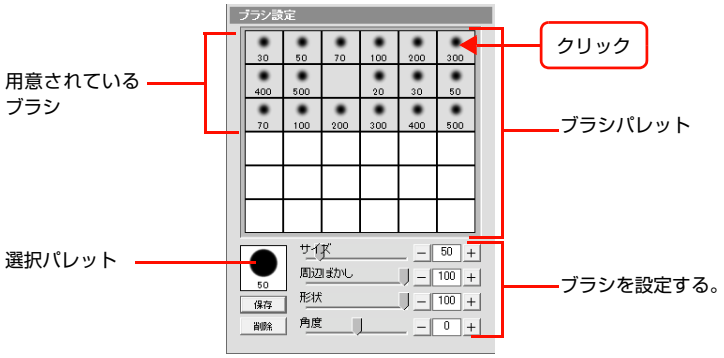
3 ［適用量］スライダをドラッグして、ツールの適用量を設定します。

レタッチしたい部分を 1 回クリックしたときの効果の強さが、ツールの適用量になります。1（最も弱い）から 100（最も強い）まで設定できます。



4 **［ブラシ設定］のブラシをクリックします。**

ブラシパレットにはあらかじめ 18 個のブラシが用意されています。2 段目と 3 段目のブラシの端には “ぼかし” が入っているので、効果を加える部分と加えない部分の境界をぼかすことができます。ブラシの下の数値は、半径（ピクセル）を示します。



［サイズ］、［周辺ぼかし］、［形状］、［角度］のスライダをドラッグして、お好みに合わせたブラシを作ることもできます。選択パレットでブラシの形を確認できます。

作成したブラシを保存するには［保存］をクリックし、［ブラシの保存］画面でパレットの空きボックスを選択し［保存］をクリックします。

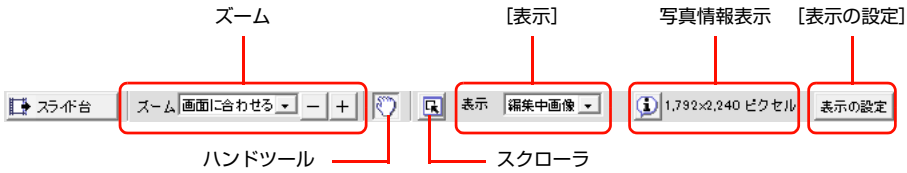
5 **レタッチしたい部分にブラシを合わせ、お好みの仕上り状態になるようにクリックまたはドラッグします。**

6 **手順 2 ～ 5 を繰り返して、写真をレタッチします。**

ツールバーを使う　レタッチ　カラー/トーン　書き出し

［レタッチ］、［カラー / トーン］、［書き出し］モードに共通したツールバーが画面下部に表示されます。編集結果を詳細に確認したり、編集前と編集中の写真を比較したりできるように、ズームやスクローラなどのツールがあります。

☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「［レタッチ］画面 - ツールバー」



項目	内容
［ズーム］	プレビュー画像を拡大したり、縮小します。プルダウンメニューから倍率を選択するか、［−］/［+］をクリックします。
［ハンドツール］	プレビュー画像を拡大したときに、スクロールできます。
［スクローラ］	クリックすると［スクローラ］画面が表示され、拡大表示したプレビュー画像が、写真全体のどの部分なのかを赤い枠で示します。赤い枠内をドラッグすると、プレビュー画像が連動してスクロールされます。
［表示］	プレビューエリアの画像表示を［編集中の画像］、［編集前の画像］、［比較表示］から選択します。［比較表示］を選択すると、編集中と編集前の画像が 2 枚並んで表示されます。
写真情報表示（［トリミング］モードにも共通）	をクリックしている間だけ写真サイズと解像度が表示されます。
［表示の設定］（［トリミング］モードにも共通）	［モニタカラーマネージメント］、［背景表示色］、［単位］、［解像度］を設定します。

写真の色や色調を調整する カラー/トーン

［カラー / トーン］モードには、［プリセット］、［バリエーション］、［マニュアル］の 3 種類のシートがあり、これらのシートを使用して写真の色や色調を調整できます。調整結果はプレビューエリアの写真に反映されます。

- ［プリセット］シート：あらかじめ用意されている色調のフィルタを選択して、色調を調整します。
- ［バリエーション］シート：［プリセット］や［マニュアル］シートで調整した画像を複数のサンプル画像で表示します。これらの画像を比較して、より適正な調整を視覚的に選択できます。［プリセット］や［マニュアル］シートを使わずに、直接［バリエーション］シートでバリエーション画像を表示することもできます。
- ［マニュアル］シート：［プリセット］や［バリエーション］シートで調整した画像の色と色調を、パラメータを設定してさらに詳細に調整できます。［プリセット］や［バリエーション］シートを使わずに、直接［マニュアル］シートでパラメータを設定することもできます。

1 ［カラー / トーン］をクリックします。

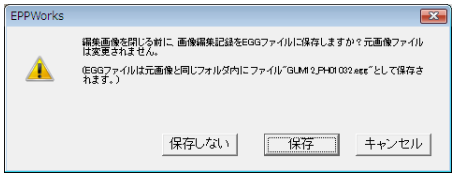


プレビューエリアに選択した写真が表示されます。



参考

- ［スライド台］をクリックすると、［一覧］モードで選択したサムネイルが表示されます。編集したいサムネイルをクリックすると、プレビューエリアに表示されます。
- プレビューエリアの写真がすでに編集されている場合、スライド台からほかのサムネイルを選択すると、以下の画面が表示されます。

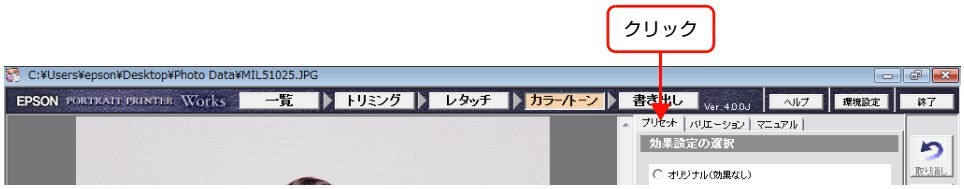


編集記録を EGG ファイルに保存するには、［保存］をクリックします。
保存しないときは、［保存しない］をクリックします。編集内容は破棄されます。
どちらの場合もスライド台で選択したサムネイルがプレビューエリアに表示されます。
［キャンセル］をクリックすると、プレビューエリアの写真はそのまま表示されます。

［プリセット］シートを使って色調を調整する

あらかじめ用意されている 7 種類の［自動画像調整］フィルタを使って、色調を調整します。

1 **［プリセット］タブをクリックします。**

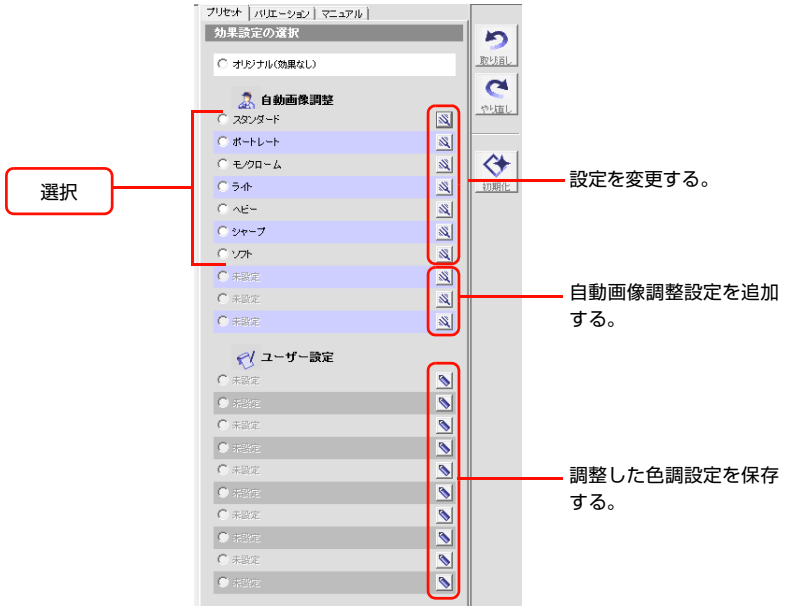


［効果設定の選択］エリアが表示されます。



2 **［自動画像調整］からフィルタを選択します。**

- 選択した設定がプレビュー画像に適用されます。ワンタッチで設定できるので、プレビュー画像を見ながら何種類かの設定を試し、最適な設定を選択してください。自動画像調整の設定で十分な色調が得られたら、［カラー / トーン］モードでの編集は終わりです。
- より細かく色調を調整したいときは、64 ページ「［バリエーション］シートを使って色調を調整する」や 67 ページ「［マニュアル］シートを使って色調を調整する」に進んでください。



自動画像調整のパラメータの設定を変更したり、設定を追加するには

［自動画像調整］の設定名の右の をクリックすると、［自動画像調整設定］画面が表示されます。お好みに合わせてパラメータの設定を変更できます。変更した設定を保存することもできます。

［自動画像調整］の［未設定］の右の をクリックすると、［自動画像調整設定］画面が表示されます。パラメータは標準値になっています。お好みに合わせて設定し、［自動画像調整］に追加できます。

☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「［カラー / トーン］画面 - プリセット」

［バリエーション］シートや［マニュアル］シートで調整した色調設定を［ユーザ設定］に保存するには

［バリエーション］シートや［マニュアル］シートで画像の色調を調整し、［プリセット］タブをクリックします。［ユーザー設定］の［未設定］の右の をクリックすると、［プリセット］画面が表示されます。［現在の設定値をメニューにセットする］を選択し、設定名を入力して［OK］をクリックします。［ユーザー設定］に保存され、設定名が表示されます。

このほかに、すでに［マニュアル］シートに保存されている設定を［ユーザ設定］に登録することもできます。

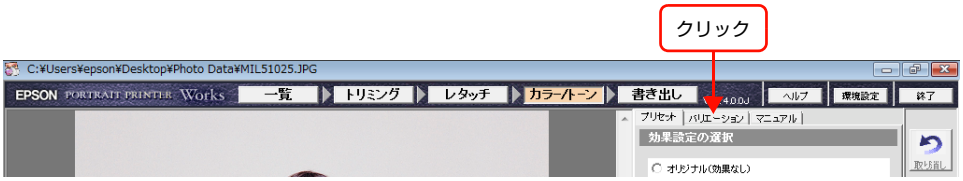
☞ EPPWorks ヘルプ「こんなときには」-「ユーザー設定フィルタを登録したい」

> **参考** ［バリエーション］または［マニュアル］シートで、より細かく色や色調を設定できます。調整した内容は［バリエーション］と［マニュアル］シート間で互いに反映されるので、さまざまな調整を試すことができます。

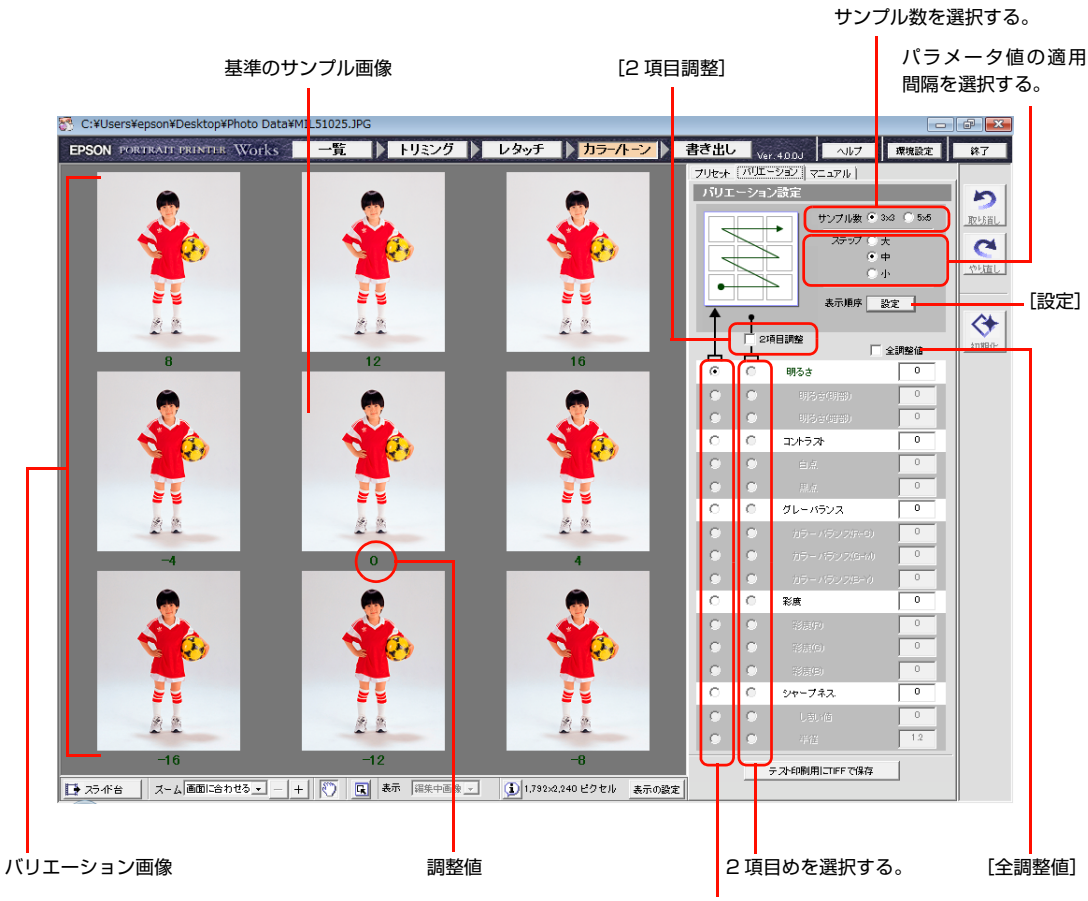
[バリエーション]シートを使って色調を調整する

[プリセット] シートのフィルタで調整した画像をバリエーション画像で表示します。バリエーション画像とは、パラメータの調整値を少しずつ増減した複数のサンプル画像のことです。サンプル画像を比較して、最適な色調の調整を視覚的に選択できます。

1 **[バリエーション] タブをクリックします。**



バリエーション画像と［バリエーション設定］エリアが表示されます。



バリエーション画像の中央に、基準になるサンプル画像が表示されます。［バリエーション］タブをクリックする前にプレビューエリアに表示されていた写真が、基準のサンプル画像です。基準のサンプル画像のパラメータの調整値を増減したサンプルがその周りに配置されます。調整値はサンプルの下に表示されます。

2 **設定を何回か変更し、試してください。**

以下の項目を設定し、適切に調整されたサンプルを見つけます。

項目	内容
[サンプル数]	[3 × 3]（9 サンプル）、[5 × 5]（25 サンプル）から表示するサンプル数を選択します。調整値の増減の間隔を［大］（8 ずつ）、［中］（4 ずつ）、［小］（2 ずつ）から選択します。
[ステップ]	
[パラメータ]	5 つの基本パラメータ［明るさ］、［コントラスト］、［グレーバランス］、［彩度］、［シャープネス］からパラメータを選択します。各パラメータを選択し、調整値の増減に応じてサンプルがどのように調整されるかを確認します。すべてのパラメータから選択するには［全調整値］をチェックします。
[2 項目調整]	パラメータを 2 つ選択できます。例えば、［明るさ］と［シャープネス］の調整値を増減したサンプルを表示できます。組み合わせを変えて試してください。選択したパラメータ名や各サンプルの調整値は、1 項目めは緑で、2 項目めは赤で表示されます。［2 項目調整］を選択すると、［設定］は選択できません。
[設定]	4 種類の表示順序からサンプルの並べ方を選択します。

3 **お好みの調整が適用されているサンプルをクリックします。**



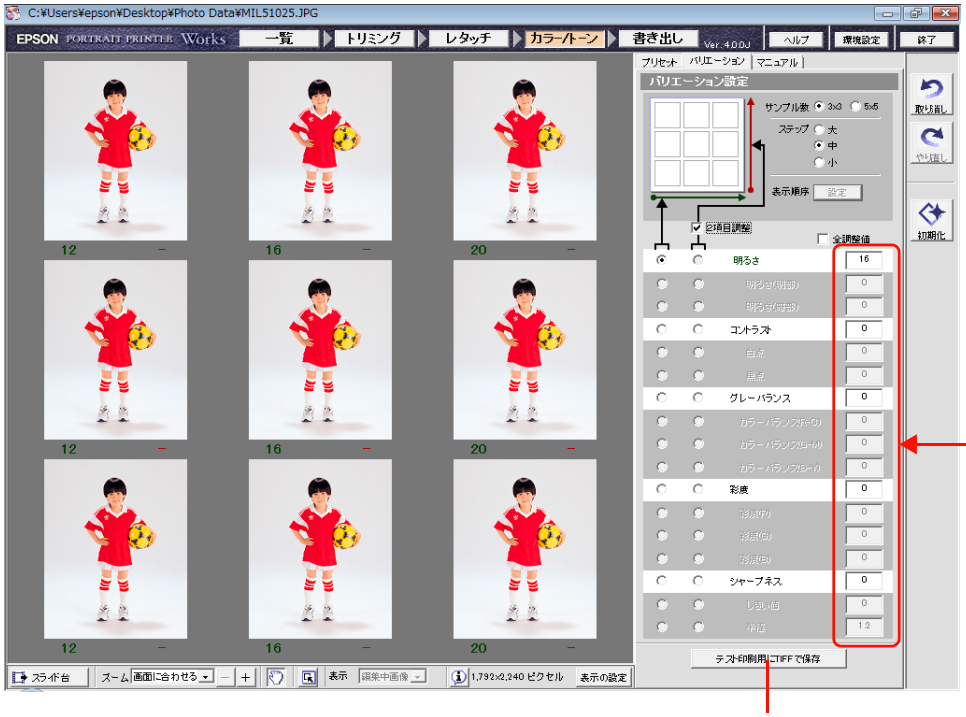
クリックされたサンプルはサンプル群の中央に移動します。このサンプルが［プリセット］シートや［マニュアル］シート、［書き出し］モードに切り替えたときのプレビュー画像となります。

中央に移動したサンプルのパラメータ値を基準にして、すべてのサンプルが更新されます。別のサンプルをクリックすると、そのサンプルが中央に移動します。この操作を繰り返してもお好みのサンプルが見つからないときは、手順 4 に進んでください。

4 パラメータ値を入力します。

パラメータ値は半角英数字で入力してください。

☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面 - バリエーション」

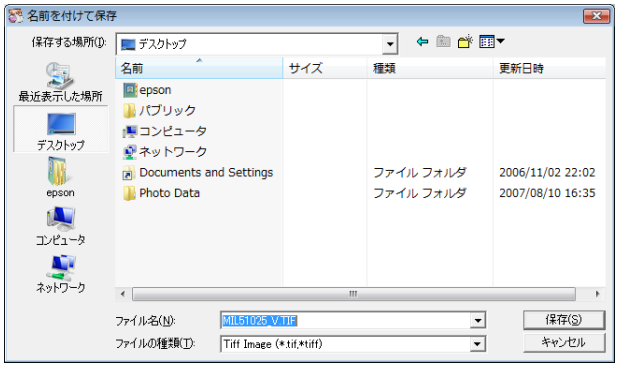


5 手順 2 ～ 4 を行い、写真に最適な色調を適用します。

バリエーション画像を印刷するには

バリエーション画像を TIFF* で保存し、印刷して調整結果を実際に確認できます。[テスト印刷用に TIFF で保存] をクリックします。

＊ LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。



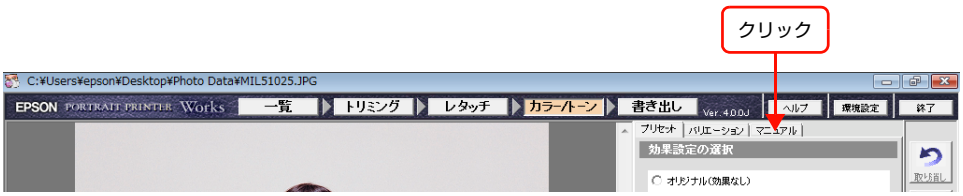
バリエーション画像を保存したいフォルダを選択して、[保存] をクリックします。バリエーション画像ファイルを印刷するには、EPPLayout を起動しテンプレートに割り付けます。印刷方法については、186 ページ「写真を印刷する」をご覧ください。

[マニュアル]シートを使って色調を調整する

[プリセット] や [バリエーション] シートで調整した画像の色と色調を、パラメータを設定してさらに詳細に調整できます。また、トーンカーブやヒストグラムを確認しながら調整できます。

[プリセット] や [バリエーション] シートを使わずに、直接 [マニュアル] シートでパラメータを設定することもできます。

1 **[マニュアル] タブをクリックします。**

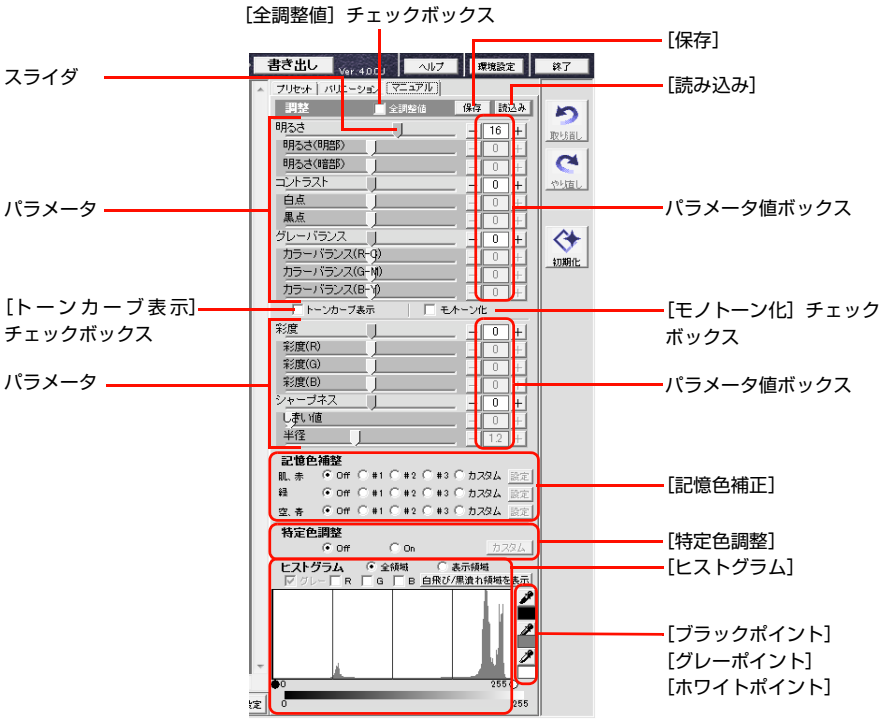


[調整] エリアが表示されます。



2 パラメータ値、[記憶色補整] などを細かく設定します。

プレビュー画像、トーンカーブ、ヒストグラムで調整を確認できます。



詳しい調整の方法については、「EPPWorks ヘルプ」をご覧ください。

☞ EPPWorks ヘルプ「各画面の説明」-「[カラー / トーン] 画面ーマニュアル」

パラメータ値を調整する

パラメータのスライダをドラッグするか、[−] / [+] をクリックしてパラメータ値を変更します。パラメータボックスに数値を半角英数字で入力することもできます。[全調整値] をチェックするとすべてのパラメータを調節できます。

トーンカーブを表示して調整する

[トーンカーブ表示] をチェックすると、トーンカーブが表示されます。トーンカーブを確認しながら [明るさ]、[コントラスト]、[グレーバランス] のパラメータを調節します。

モノトーン写真に変換する

[モノトーン化] をチェックすると、カラー写真はモノクロ写真に変換されます。

[記憶色補整] を使う

[肌、赤]、[緑]、[空、青] 色の RGB 値を補整できます。簡単に補整できるように、各色に対して RGB 値を設定したパラメータが 3 種類（#1、#2、#3）用意されています。RGB 値をお好みに合わせて設定し、カスタムパラメータとして保存することもできます。

[特定色調整] を使う

画像を HSB（色相、彩度、明度）モードに変換し、スポイトで採取した色のカラーバランスを調整します。

[ヒストグラム] を確認しながら調整する

ヒストグラムは画像のピクセルのカラー分布を示します。ヒストグラムの左部分はシャドウ、中央部は中間調、右部分はハイライトを示します。ピクセルが幅広く分布していると、高画質の印刷結果が得られます。

[グレー] を選択すると、[白飛び / 黒潰れ領域を表示] を使ってプレビュー画像のどの部分が白飛びや黒潰れしていないかを確認できます。印刷したときに暗くなり過ぎる部分や、白飛びするような部分をパラメータで調整できます。

[ブラック / グレー/ ホワイトポイント] を指定して調整する

ブラック、グレー、ホワイトに設定したい場所の色を [ブラックポイント]、[グレーポイント]、[ホワイトポイント] に指定して、ヒストグラムを変更します。[ブラックポイント] を指定する場合は、[ブラックポイント] のスポイトをクリックしてから、画像の中で黒色に設定したい部分をクリックします。指定した位置の色が黒として設定され、ヒストグラムも変更されます。[グレーポイント]、[ホワイトポイント] の操作も同様です。

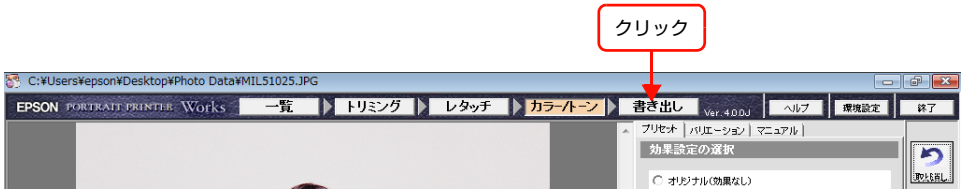
[マニュアル] シートの設定を保存する、保存した設定を読み込む

[保存] をクリックすると、[マニュアル] シートでの設定を保存できます。[読込み] をクリックすると、保存した設定を画像に適用できます。[マニュアル] シートで保存した設定を [プリセット] シートの [ユーザ設定] に登録することもできます。

編集した画像ファイルを保存する 書き出し

編集した画像ファイルを保存します。

1 ［書き出し］をクリックします。



編集内容を反映した写真がプレビューエリアに表示され、ファイルの情報と使用した編集ツールの概要が［画像情報］に表示されます。

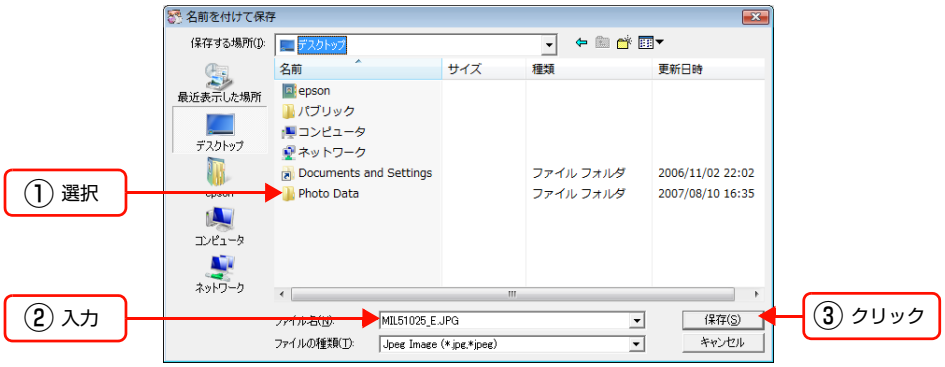


参考 印刷された写真の白飛びを防ぎたい場合は、［自然なコントラストに（印刷時の白飛び防止）］をチェックします。そのままのコントラストでよい場合は、チェックする必要はありません。

2 **［TIFF ファイルに書き出し］または［JPEG ファイルに書き出し］をクリックします。**

EPPLayout を使ってレイアウトし、印刷するためには、編集効果が反映された画像ファイルを TIFF または JPEG で保存する必要があります。ファイルを保存するフォルダを選択し、［別名で名前］にファイル名を入力して［保存］をクリックします。





> **参考** ［TIFF ファイルに書き出し］を選択した場合、LZW 圧縮されない通常の TIFF 形式で保存されます。

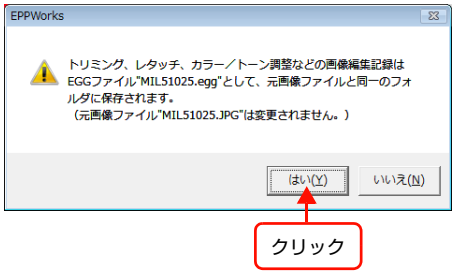
EGG ファイルを保存するか確認するメッセージ画面が表示されます。
保存する場合は［保存］をクリックします。EGG ファイルはオリジナルの画像ファイルと同じフォルダに保存され、TIFF または JPEG ファイルは選択したフォルダに保存されます。
［保存しない］をクリックすると EGG ファイルは保存されず、TIFF または JPEG ファイルだけが選択したフォルダに保存されます。
画像の保存が終わり、スライド台の画像を保存する場合は、スライド台からサムネイルを選択し、手順 1 ～ 2 を行ってください。

写真の編集から保存までの一連の作業はこれで終了しました。編集記録を保存した EGG ファイル、EPPLayout で使用するための TIFF または JPEG ファイル、そして何も編集されていないオリジナルの画像ファイルの 3 種類のファイルがハードディスクに存在することになります。

> **参考** オリジナルの写真を初めから編集するには、EGG ファイルを削除します。

EGG ファイルだけを保存する

［EGG ファイルに画像編集記録を保存］をクリックします。［はい］をクリックすると、編集記録が EGG ファイルに保存されます。EGG ファイルはオリジナルの画像と同じフォルダに保存されますが、オリジナルの画像ファイルが編集されてしまうことはありません。



参考　次回、編集効果を反映したファイルから編集を始めるには EGG ファイル、または JPEG や TIFF ファイルを使います。

重要　オリジナルの画像ファイルの保存場所を変更する場合は、その画像の EGG ファイルも同じフォルダに移動させてください。

テンプレートを作成し、管理する

本システムのテンプレート作成ソフトウェア EPPTemplate を使って、レイアウト用のサンプルテンプレートをサーバからダウンロードし、お好みに合わせて編集したり、新しくオリジナルのテンプレートやパッケージ作成できます。EPPLayout を使ってこれらのテンプレートに写真をレイアウトし、印刷できます。編集したテンプレートをサーバに保存すれば、サーバを共有しているほかのユーザーも使用できます。また、テンプレート管理機能やパッケージ管理機能を使ってテンプレートやパッケージの移動、コピー、および削除ができます。

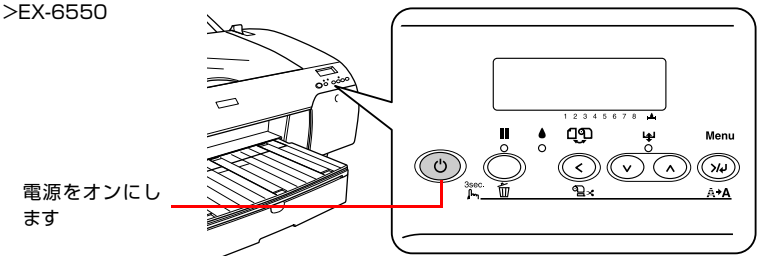
ここでは、EPPTemplate を起動し、テンプレートを作成、編集、管理し、保存するための操作を説明します。

☞「電源を入れる」73 ページ
☞「EPPTemplate を起動する」74 ページ
☞「EPPTemplate を終了するには」76 ページ
☞「テンプレートを作成 / 選択する」77 ページ
☞「テンプレートを編集する」87 ページ
☞「テンプレートの新規作成または編集が終了したら」123 ページ
☞「テンプレートの名称を設定する」124 ページ
☞「テンプレートをローカルフォルダに保存する」126 ページ
☞「テンプレートをサーバに保存する」128 ページ
☞「パッケージを作成し、管理する」130 ページ
☞「テンプレートを管理する」138 ページ

電源を入れる

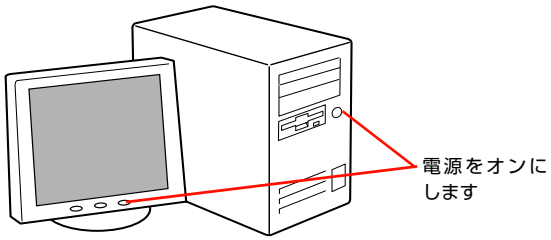
1 プリンタの電源をオンにします。

＜例＞EX-6550

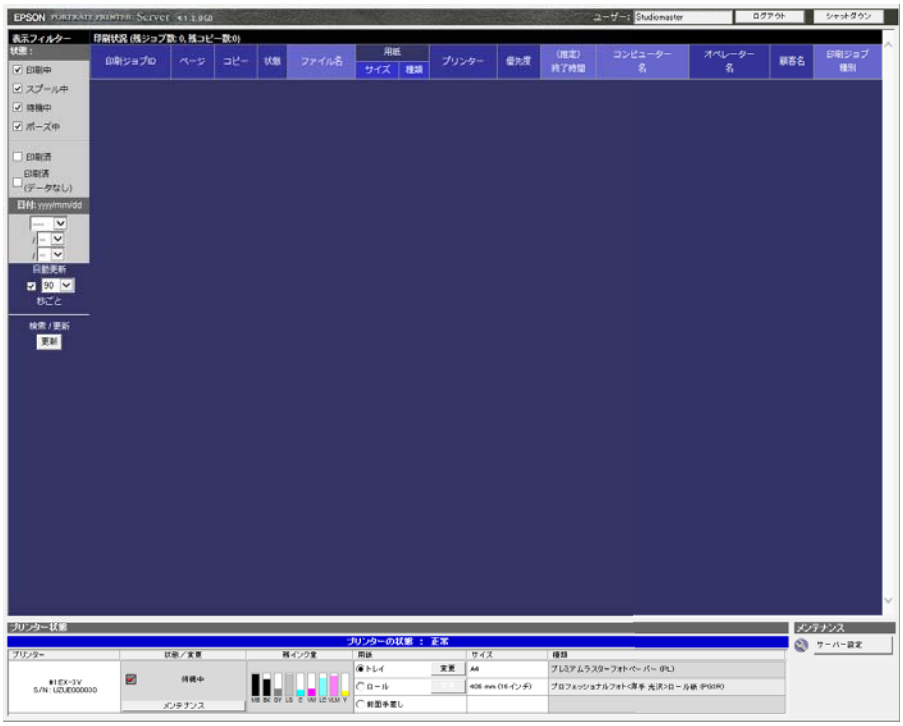


重要 サーバの電源を入れる前にプリンタにエラーが発生していないか必ず確認してください。エラーが発生していると本体の起動に時間がかかります。

2 サーバの LCD モニタの電源と、サーバ本体の電源をオンにします。



本体の電源が入ると、EPPServer が起動して LCD モニタに［EPPServer］画面が表示されます。



重要
- システムの安定性を維持するために、週 1 回は本体の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- 電源を切るときは、すべての印刷が終了したことを確認してから本体サーバの画面右上の［シャットダウン］をクリックしてください。電源が完全に切れるまで約 1 分かかります。再度電源を入れる場合は、電源が完全に切れてから約 1 分以上待ってから電源を入れ直してください。

3 クライアントコンピュータの電源を入れます。

EPPTemplate を起動する

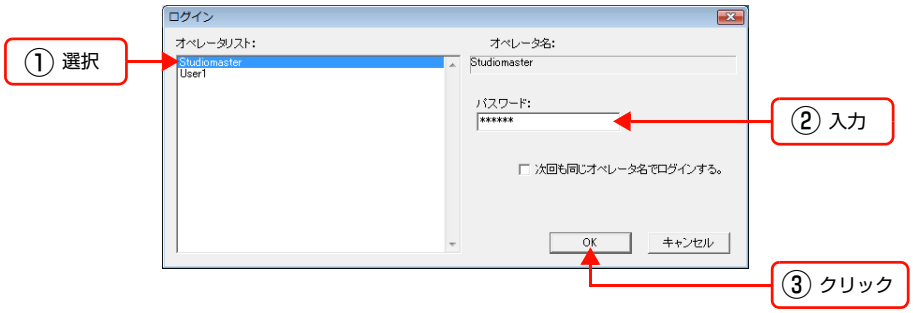
複数のサーバがある場合は、EPPTemplate の［編集］メニューから［サーバ接続設定］を選択して、サーバを切り替えて接続できます。編集したテンプレートやパッケージは、現在接続しているサーバに保存できます。

1 **EPPTemplate を起動します。**

- 【Windows】
  ［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPPTemplate］をクリックします。
- 【Mac OS】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPTemplate のアイコン（ ）をダブルクリックします。

重要 ［テンプレート作成］に対する［操作権限］のないユーザーは EPPTemplate を起動できません。Studiomaster がそのユーザーに［操作権限］を与えると、起動できます。
☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」

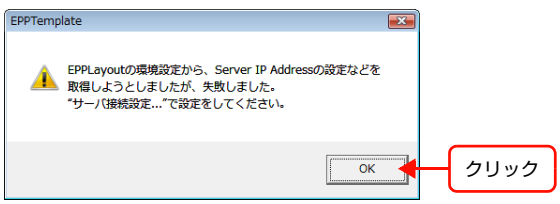
2 **オペレータ名を［オペレータリスト］から選択し、パスワードを入力して［OK］をクリックします。**



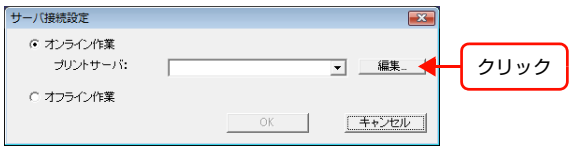
参考
- パスワードは半角英数字で入力してください。
- ログインの設定を省く場合は、[次回も同じオペレータ名でログインする。] をチェックします。次回から［ログイン］画面は表示されません。
- EPPTemplate はオフラインでも起動できます。
- EPPLayout を使って作業しているときでも EPPTemplate を起動できます。
  【Windows】
  ［起動］-［テンプレート編集（EPPTemplate)］をクリック
  【Mac OS】
  ［ファイル］-［テンプレート編集（EPPTemlate)］をクリック
  EPPLayout の［ファイル］メニューに［テンプレート編集（EPPTemplate）］が表示されないときは、EPPTemplate のアイコンをダブルクリックして直接起動してください。一度アイコンから起動した後は、EPPLayout の［ファイル］メニューから［テンプレート編集（EPPTemplate)］を選択して起動できるようになります。

サーバ IP アドレスを設定していない場合

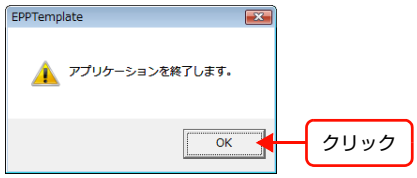
サーバ IP アドレスが EPPLayout で設定されていない場合、EPPTemplate を起動すると以下のエラー画面が表示され、［OK］をクリックすると［サーバ接続設定］画面が表示されます。



［編集］をクリックして使用するプリントサーバを設定して、使用するプリントサーバをメニューから選択します。EPPLayout でサーバで IP アドレスを設定していない場合は、150 ページ「［環境設定］画面が表示されたら」をご覧ください。

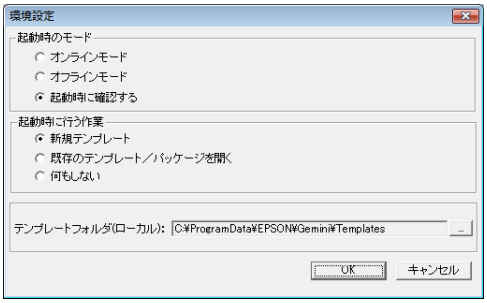


［キャンセル］をクリックすると、以下のメッセージが表示され、［OK］をクリックすると EPPTemplate が終了します。



ソフトウェアをインストールした後、初めて EPPTemplate を起動した場合

［環境設定］画面が表示されます。



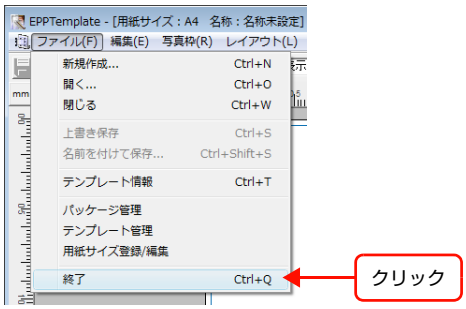
起動時のモードと起動後に作業したい項目を選択し、［OK］をクリックします。一度設定すると次回からは［環境設定］画面は表示されません。

項目		内容
起動時のモード	オンラインモード	サーバに接続して起動します。 サーバ内のテンプレートを使用するときや作成したテンプレートやパッケージをサーバに保存するときは、オンラインモードで起動してください。 サーバに保存するとサーバを共有している他のユーザーも使用できます。
	オフラインモード	サーバに接続しないで起動します。 サーバに接続しなくてもテンプレートを作成したり編集したりできます。保存はローカルフォルダのみになります。
	起動時に確認する	起動時に［サーバ接続確認］画面を表示して、オンラインまたはオフラインで起動するかを確認します。
起動時に行う作業	新規テンプレート	［新規テンプレート］画面を表示します。
	既存のテンプレート/パッケージを開く	［テンプレート選択］画面を表示します。
	何もしない	テンプレート画面は表示しません。［ファイル］メニューから作業したい項目を選択してください。［キャンセル］をクリックすると、［何もしない］と同じ画面が表示されます。
テンプレートフォルダ（ローカル）		テンプレートを保存するフォルダを選択できます。このフォルダは EPPLayout と共通で使用されます。

参考　設定を変更する場合は、以下の手順で画面を開き、設定します。
- Windows：［編集］メニュー - ［環境設定］
- Mac OS：［EPPTemplate］メニュー - ［環境設定］

EPPTemplate を終了するには

1 **［EPPTemplate］メニューの［EPPTemplate を終了］をクリックします。**



ファイルを保存していないと次のメッセージが表示されます。



保存して終了する場合は［保存］、保存しないで終了する場合は［保存しない］、EPPTemplate を終了しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

テンプレートを作成 / 選択する

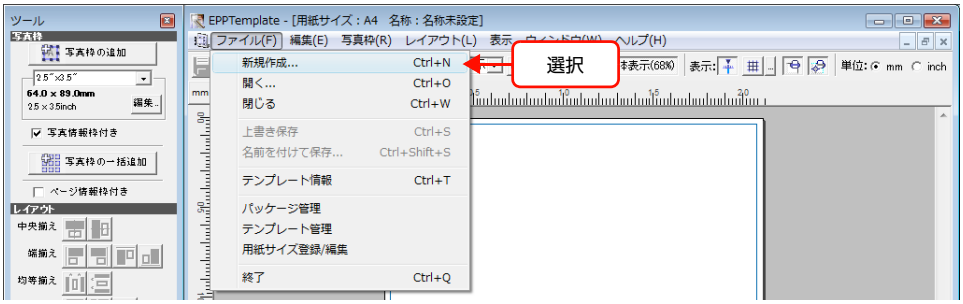
新規にテンプレートを作成したり、既存のテンプレートを開いて編集することができます。

テンプレートを作成する

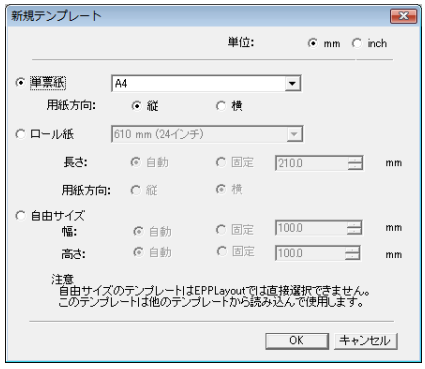
定形サイズの単票紙、定形の幅のロール紙のテンプレートを作成します。ロール紙の長さは自由に設定できます。

ロール紙の用紙の長さを決めておきたいときは、用紙サイズを登録しておくことができます。テンプレートを作成する前に、用紙サイズの登録をしてください。用紙サイズの登録方法は 78 ページ「用紙サイズの登録 / 編集」をご覧ください。

1 ［ファイル］メニューから［新規作成］を選択します。

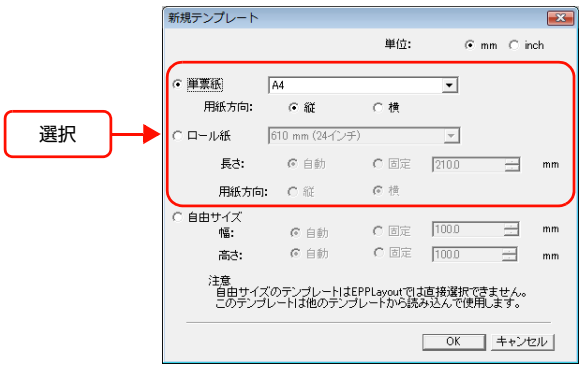


［新規テンプレート］画面が表示されます。



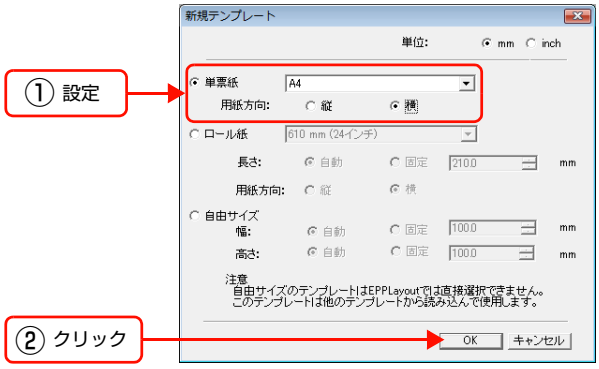
> **参考** ［環境設定］の［起動時に行う作業］の設定で［新規テンプレート］を選択した場合は、起動時に［新規テンプレート］画面が表示されています。

2 ［単票紙］または［ロール紙］の中から使用する用紙を選択します。

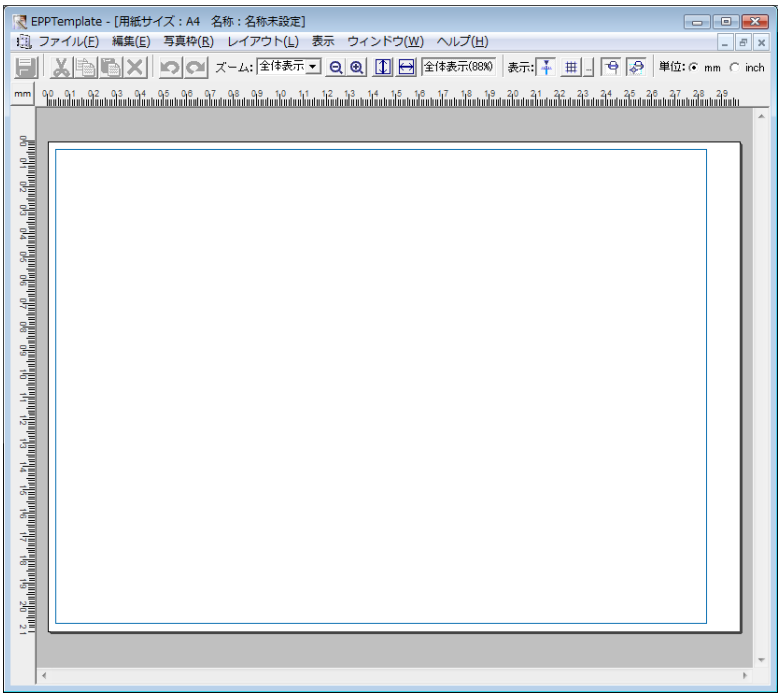


> **参考**
> - ［ロール紙］の［長さ］を［自動］にすると、配置する写真枠に合わせて、用紙サイズが自動的に変わります。
> - ［用紙サイズの登録 / 編集］で登録した用紙は、［単票紙］から選択してください。

3 **［用紙サイズ］や［用紙方向］などを設定して、［OK］をクリックします。**



新規テンプレート編集画面が表示されます。



操作が終わったら、87 ページ「テンプレートを編集する」に進んでください。

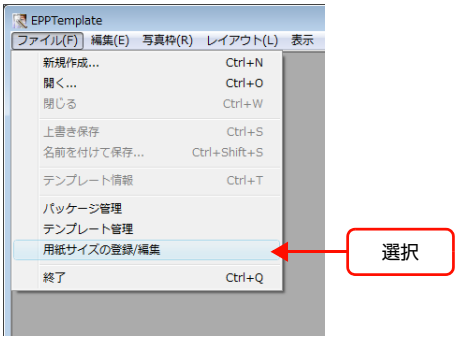
用紙サイズの登録 / 編集

ロール紙の用紙サイズを登録 / 編集します。

ここで登録した用紙サイズは、テンプレートを新規作成する際に、単票紙のリストボックスから選択できます。77 ページ「テンプレートを作成する」をご覧ください。

1 **［ファイル］メニューから［用紙サイズの登録 / 編集］を選択します。**

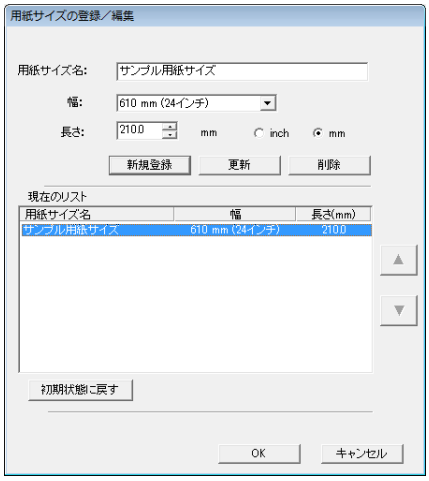
［用紙サイズの登録 / 編集］は、ロール紙をサポートしているプリンタがサーバに接続されているときに有効になります。



2 **新規登録または登録済みの用紙サイズの編集をします。**

新規登録の場合：［用紙サイズ名］、［幅］、［長さ］を設定し、［新規登録］をクリックします。

編集の場合：編集したい用紙サイズ名を選択してから［用紙サイズ名］、［幅］、［長さ］を変更して、［更新］をクリックします。



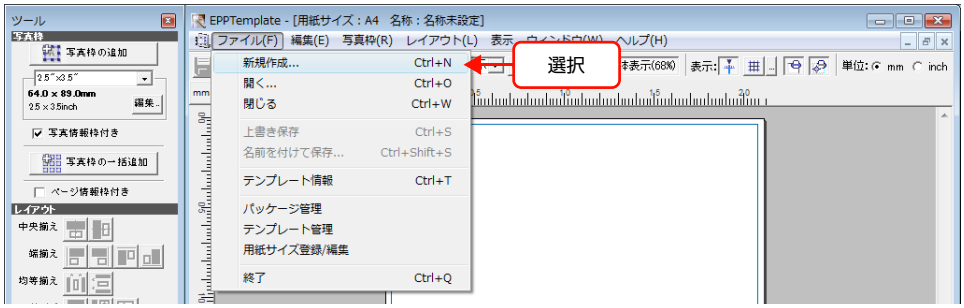
3 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

自由サイズのテンプレートを作成する

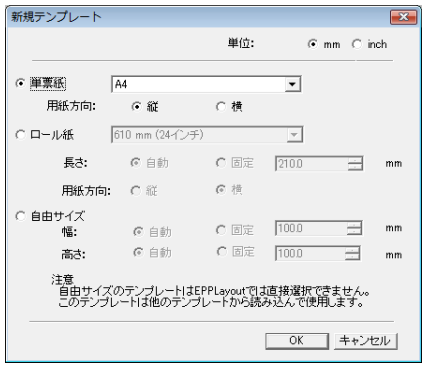
テンプレートの中に挿入するテンプレート（子テンプレート）を作成して保存することができます。よく使う子テンプレートを作成しておけば、一から写真枠を追加したり調整したりする作業が省け、効率よくテンプレートを作成することができます。

自由サイズのテンプレートは、子テンプレートとしてのみ使用できます。子テンプレートの使い方は 105 ページ「テンプレートの中にテンプレートを追加する」をご覧ください。

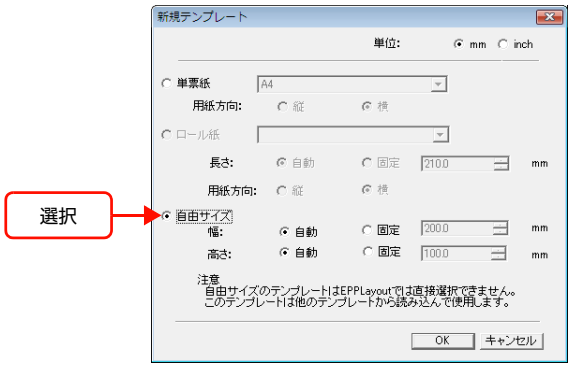
1 **［ファイル］メニューから［新規作成］を選択します。**



［新規テンプレート］画面が表示されます。



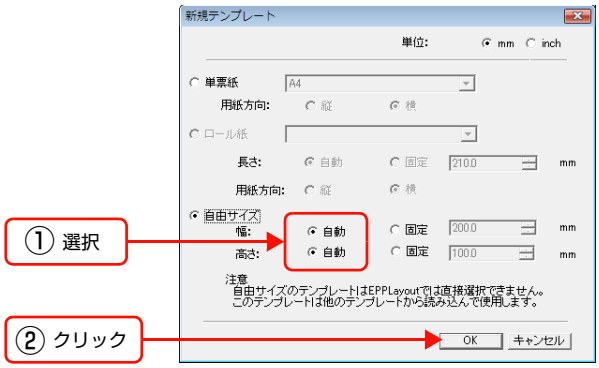
2 ［自由サイズ］を選択します。



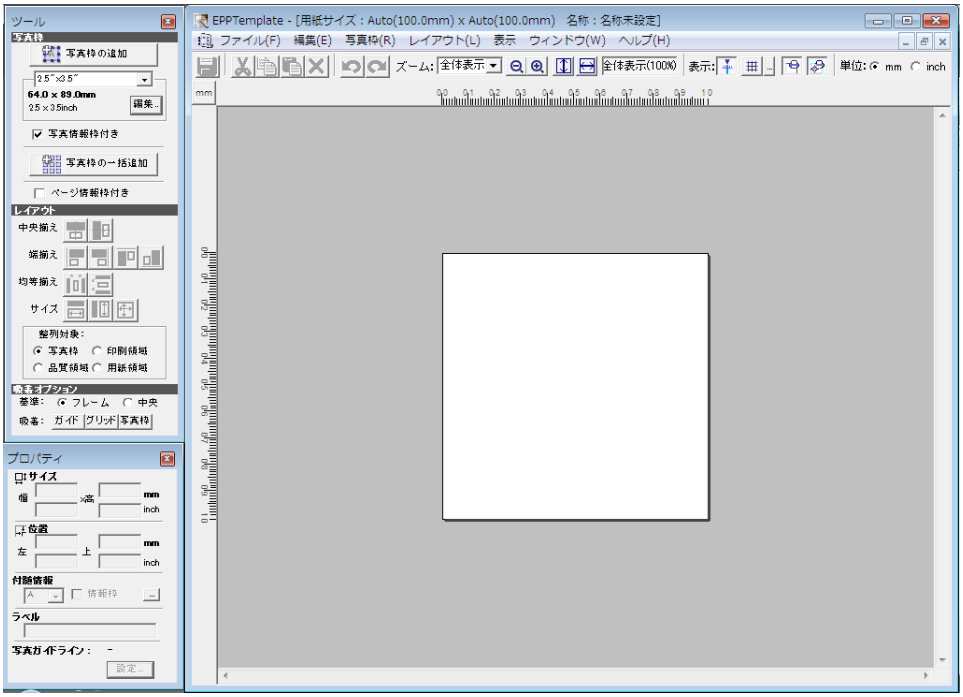
3 ［幅］または［高さ］（または両方）で［自動］を選択して、［OK］をクリックします。

［自動］にすると、テンプレートのサイズが写真枠や子テンプレートに合わせて自動的に調整されます。

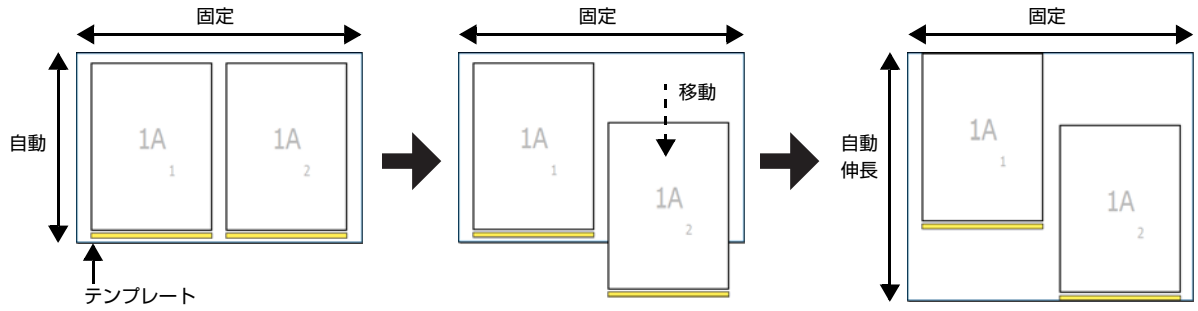
> **重要** ご使用のプリンタで使用できる最大用紙サイズを超える子テンプレートは使用できません。



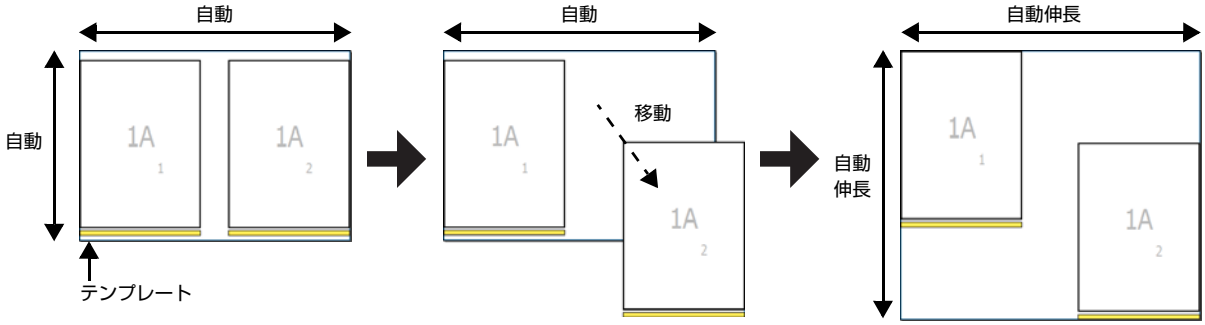
新規テンプレート編集画面が表示されます。



幅:固定 / 高さ:自動の場合



幅 / 高さ:自動の場合

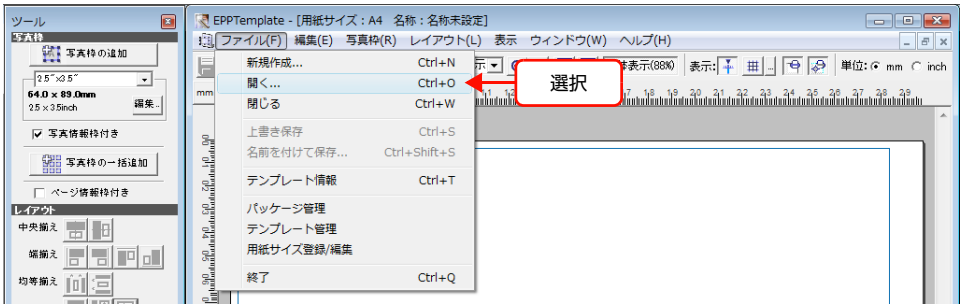


操作が終わったら、126 ページ「テンプレートをローカルフォルダに保存する」または、128 ページ「テンプレートをサーバに保存する」に進んでください。

サーバからテンプレートをダウンロードする

サーバからテンプレートまたはパッケージをダウンロードして開きます。操作が終わったら、87 ページ「テンプレートを編集する」へ進んでください。パッケージをダウンロードしたときは、130 ページ「パッケージを作成し、管理する」へ進んでください。

1 **[ファイル] メニューから [開く] を選択します。**

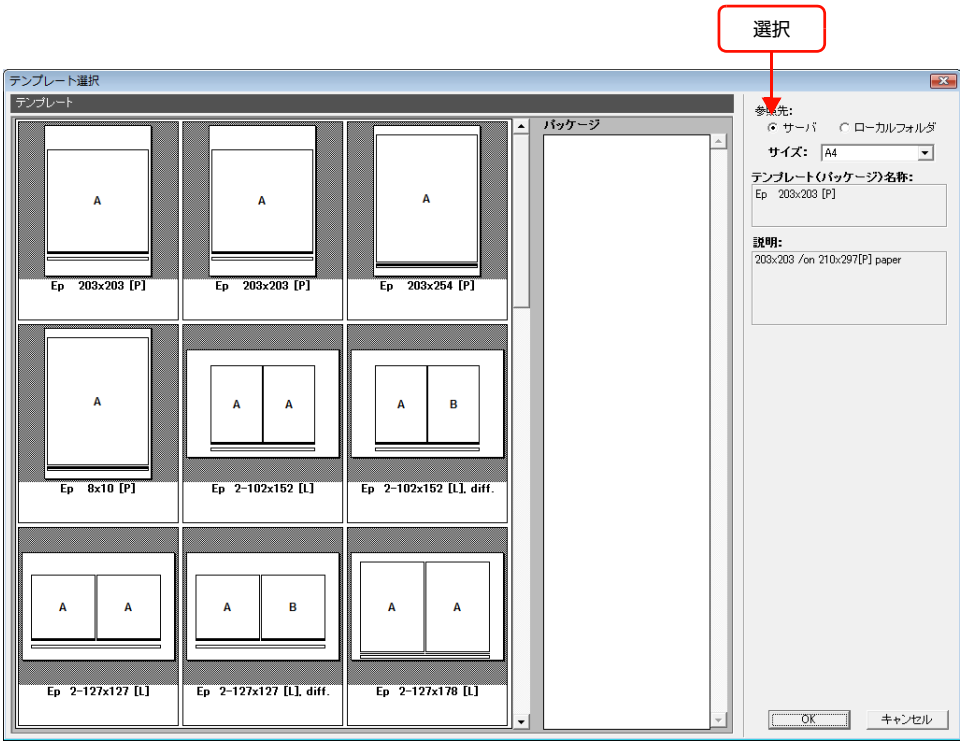


[テンプレート選択] 画面が表示されます。

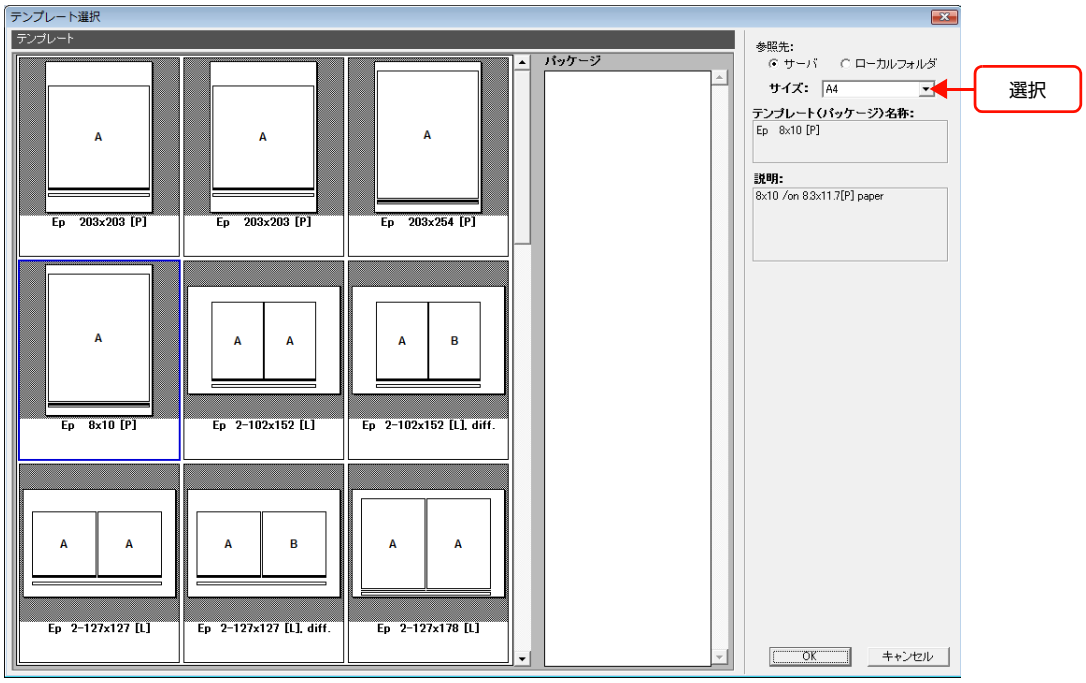
参考 ［環境設定］の［起動時に行う作業］の設定で［既存のテンプレート / パッケージを開く］を選択した場合は、起動時に［テンプレート選択］画面が表示されています。



2 ［参照先］で［サーバ］を選択します。



3 [サイズ] プルダウンメニューから用紙サイズを選択します。

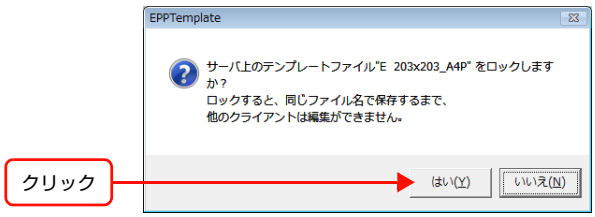


4 [テンプレート] エリアのサムネイルからダウンロードしたいテンプレートまたはパッケージを選択します。



テンプレートを選択するには

① テンプレートのサムネイルをクリックして、[OK] をクリックします。サムネイルをダブルクリックしても選択できます。
次の画面が表示されます。

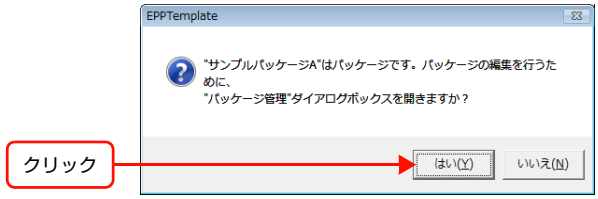


② テンプレートを編集している間、ほかのユーザーが同じテンプレートを使用できないようにロックするには [はい] を、ロックしない場合は [いいえ] をクリックします。
選択したテンプレートの編集画面が表示されます。

操作が終わったら、87 ページ「テンプレートを編集する」に進んでください。

パッケージを選択するには

① パッケージのサムネイルをクリックして、[OK] をクリックします。
パッケージをダブルクリックしても選択できます。
次の画面が表示されます。

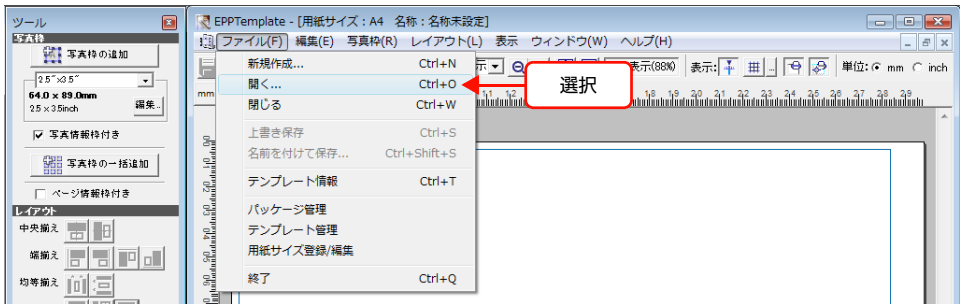


② [パッケージ管理] 画面を開く場合は [はい]、開かない場合は [いいえ] をクリックします。
[はい] をクリックすると、[パッケージ管理] 画面が開きます。
130 ページ「パッケージを作成し、管理する」へ進んでください。

ローカルフォルダに保存されているテンプレートを開く

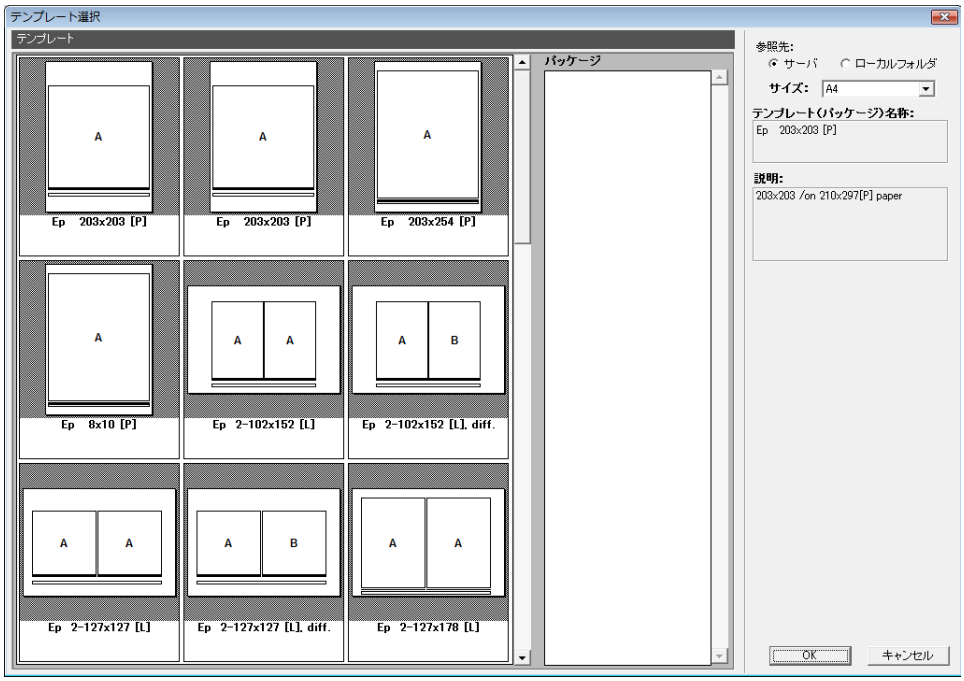
[環境設定] で指定しているローカルテンプレートフォルダにテンプレートを保存しているときは、次の手順でテンプレートを開きます。

1 **[ファイル] メニューから [開く] を選択します。**



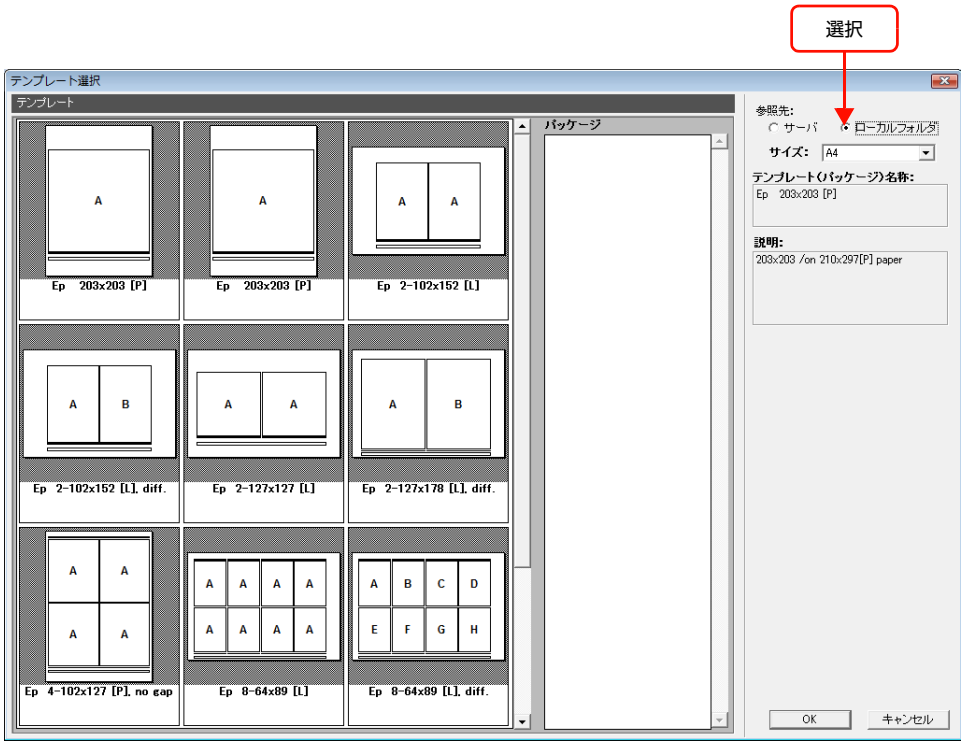
[テンプレート選択] 画面が表示されます。

参考 ［環境設定］の［起動時に行う作業］の設定で［既存のテンプレート / パッケージを開く］を選択した場合は、起動時に［テンプレート選択］画面が表示されています。

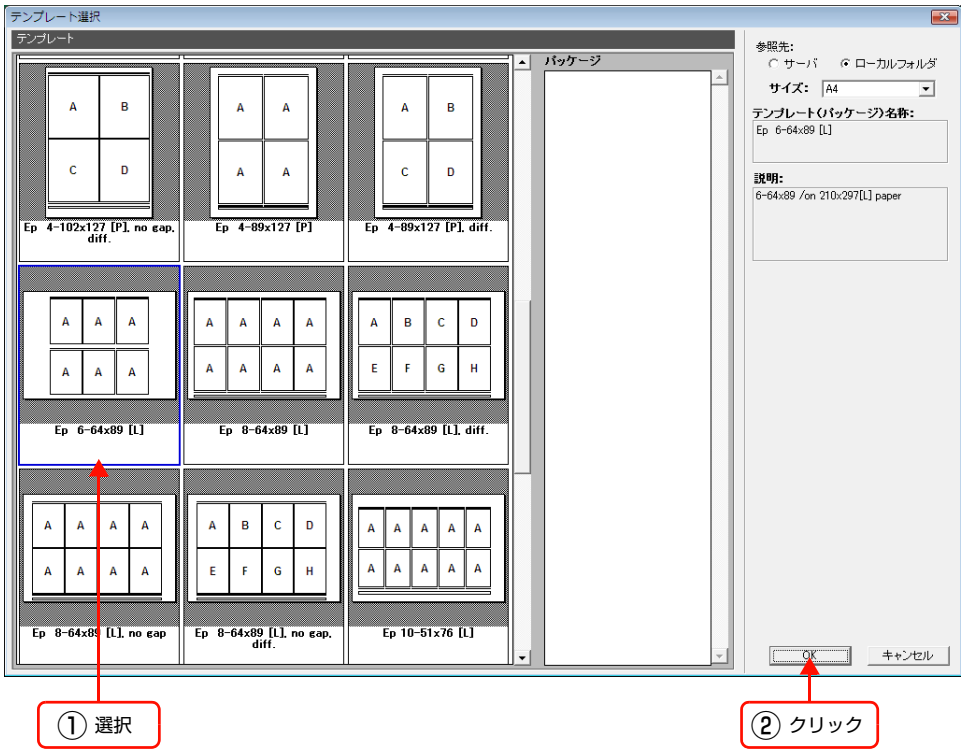


参考 ［環境設定］画面で指定されているフォルダに保存されたテンプレートが、サムネイル表示されます。フォルダを変更するときは、［環境設定］画面で変更してください。

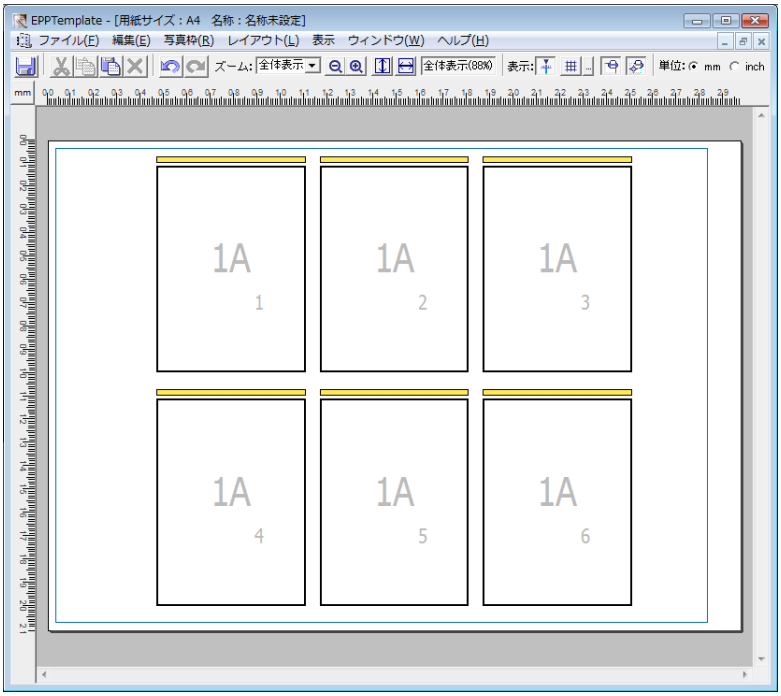
2 ［参照先］で［ローカルフォルダ］を選択します。



3 テンプレートを選択して、[OK] をクリックします。



選択したテンプレートの編集画面が表示されます。



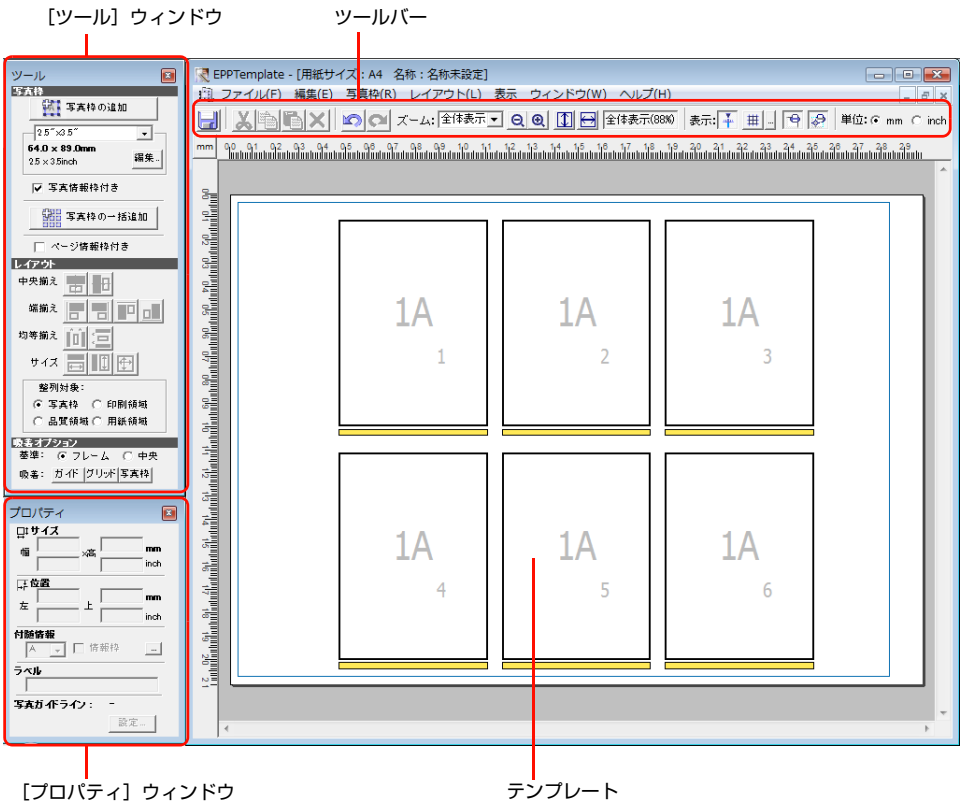
テンプレートを編集する

テンプレート編集画面で、写真枠、写真情報枠やページ情報枠などを設定してテンプレートを編集します。

テンプレート編集画面について

テンプレート編集画面は、［ツール］ウィンドウ、［プロパティ］ウィンドウ、ツールバー、テンプレートで構成されています。ツールバーや［ツール］ウィンドウ、［プロパティ］ウィンドウを使ってテンプレートを編集できます。

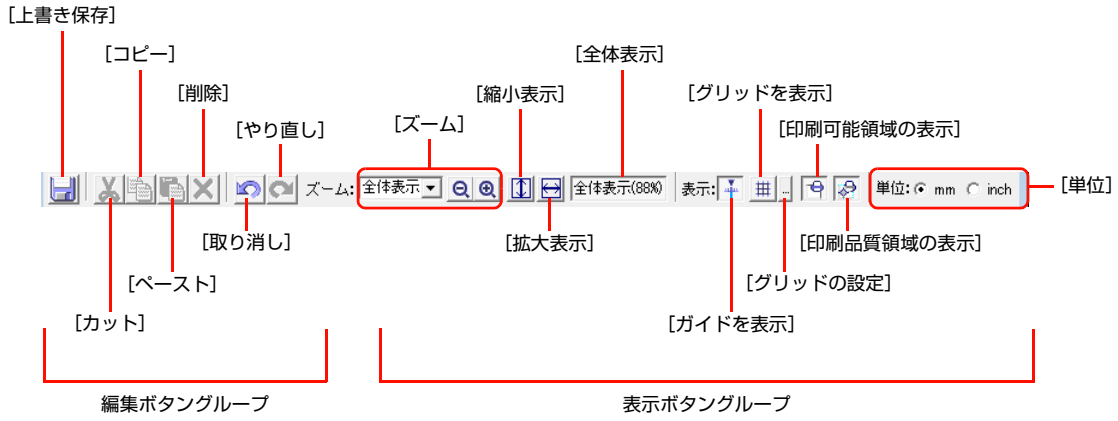
［ツール］ウィンドウ、［プロパティ］ウィンドウ、テンプレートウィンドウのバーをドラッグし、作業しやすい位置に移動できます。［ツール］ウィンドウと［プロパティ］ウィンドウのクローズボックスをクリックして非表示にすることもできます。



参考　EPPTemplate での“写真枠”は、EPPLayout での“フレーム”のことです。

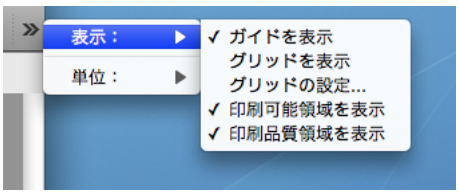
ツールバーを使う

ツールバーは左側の編集ボタングループと右側の表示ボタングループで構成されています。ボタンにポインタを合わせると、ボタン名（機能名）が表示されます。

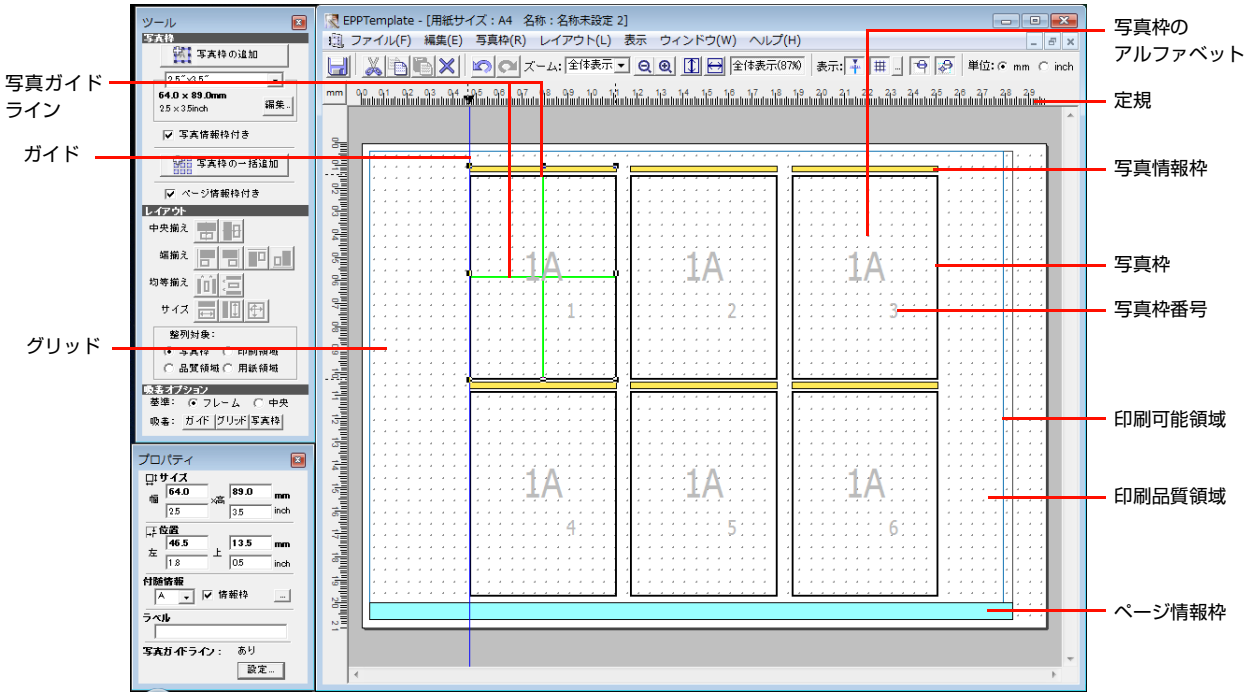


項目	内容
［上書き保存］	新規作成または編集したテンプレートファイルをサーバまたはローカルフォルダに保存するときにクリックします。
［カット］	写真枠やテキストをカットするときにクリックします。
［コピー］	写真枠やテキストをコピーするときにクリックします。
［ペースト］	コピーまたはカットした写真枠やテキストをペーストするときにクリックします。
［削除］	選択した写真枠やテキストを削除するときにクリックします。
［取り消し］	クリックするたびに最後に行った操作から順番に取り消します。最初に行った操作まで取り消せます。
［やり直し］	クリックするたびに最後に取り消した操作から順番にやり直します。
［ズーム］	画面表示の倍率をプルダウンメニューから選択します。
［縮小表示］	画面表示を縮小するときにクリックします。
［拡大表示］	画面表示を拡大するときにクリックします。
［全体表示］	画面に合わせてテンプレート全体が表示されます。
［ガイドを表示］*	クリックするとガイドが表示されます。もう一度クリックすると、ガイドが非表示になります。
［グリッドを表示］*	クリックするとグリッドが表示されます。もう一度クリックすると、グリッドが非表示になります。
［グリッドの設定］*	クリックすると［グリッドの設定］画面が表示され、グリッドの間隔を 0.1 ～ 50.0mm の範囲で設定できます。
［印刷可能領域の表示］*	クリックすると印刷可能領域が表示されます。もう一度クリックすると、印刷可能領域が非表示になります。
［印刷品質領域の表示］*	クリックすると印刷品質領域が表示されます。もう一度クリックすると、印刷品質領域が非表示になります。
［単位］*	定規の単位を［mm］と［inch］から選択できます。

＊　Mac OS では、画面サイズを小さくすると下図のように表示されます。



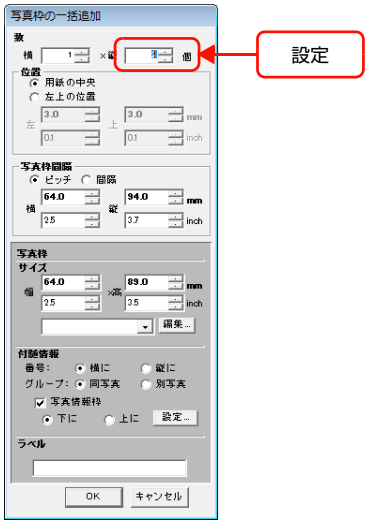
テンプレートの構成要素



項目	内容
印刷可能領域	印刷できる境界を示したもので、黒い枠で表示されます。印刷品質領域よりも外側に表示された場合、印刷可能領域内であれば写真枠を配置できます。ただし、この領域の印刷画質は低下することがあります。印刷可能領域は用紙サイズによって異なります。印刷可能領域を表示するには、ツールバーの［印刷可能領域の表示］ボタンをクリックするか、［表示］メニューの［印刷可能領域を表示］をチェックします。
印刷品質領域	印刷可能領域の中で、高画質印刷が可能な境界を示したもので、水色の点線で表示されます。印刷品質領域を表示するには、ツールバーの［印刷品質領域の表示］ボタンをクリックするか、［表示］メニューの［印刷品質領域を表示］をチェックします。
写真情報枠	写真枠に写真情報枠を付けると、EPPLayout で写真のファイル名などを挿入できます。
写真枠	写真を割り付ける場所に写真枠を配置します。写真ガイドラインが設定されている場合は、ガイドラインを表示します。写真ガイドラインの設定方法については、118 ページ「写真枠にガイドラインを付ける」をご覧ください。
写真ガイドライン	写真ガイドラインが設定されている場合は、ガイドラインを表示します。写真ガイドラインの設定方法については、118 ページ「写真枠にガイドラインを付ける」をご覧ください。
ページ情報枠	ページにページ情報枠を付けると、EPPLayout でスタジオ名、コンピュータ名などのページ情報を挿入できます。
写真枠のアルファベット	写真枠にはアルファベットが付いています。同じアルファベットが付いた写真枠には同じ写真が配置されます。アルファベットが異なれば異なる写真を配置できます。
写真枠番号	写真枠には写真枠番号が付いています。写真枠番号順に写真が配置されます。
定規	テンプレートの用紙サイズに合わせて定規が表示されます。
ガイド	ガイドを表示させておくと、複数の写真枠の配置位置を合わせるときなどに便利です。ガイドを引くには、定規上にポインタを置いてクリックします。▼が定規に表示され、▼から垂直または水平にガイドが引かれます。ガイドを移動するには▼をドラッグします。定規や▼をクリックすると、用紙の左右または上下からの位置が mm または inch で表示されます。ツールバーの［ガイドを表示］ボタンをクリックするか、［表示］メニューの［ガイドを表示］をチェックするとガイドが表示されます。ガイドを削除するときは、ガイドの▼を ⃠ マークが表示されるまで定規の外にドラッグします。表示されているガイドをすべて削除するときは、［表示］メニューの［ガイドをすべて解除］を選択します。
グリッド	グリッドは写真枠をそろえるときに使います。グリッドを表示するには、ツールバーの［グリッドを表示］ボタンをクリックするか、［表示］メニューの［グリッドを表示］をチェックします。

数値を指定するには

［ツール］ウィンドウの設定画面、［プロパティ］ウィンドウ、またそのほかの設定画面には数値を指定する項目が数多くあります。▲ や ▼ をクリックして数値を１単位ずつ増減する方法と、ボックスに数値を入力する方法があります。入力する場合は、半角英数字で入力します。mm と inch 両方のボックスがある場合、どちらか一方の数値を指定すると、もう一方の数値も連動して変わります。



印刷可能領域 / 印刷品質領域

本製品の印刷可能領域と印刷品質領域は、用紙から下記の余白を除いた領域です。

		印刷可能領域	印刷品質領域
単票紙	上端	3 mm	3 mm
	下端	14 mm	14 mm
	右端	3 mm	3 mm
	左端	3 mm	3 mm
ロール紙	上端	3 mm	3 mm
	下端	3 mm	3 mm
	右端	3 mm	3 mm
	左端	3 mm	3 mm

例外：EX-3V/EX-5002/EX-5800 の USFA（UltraSmoothFineArt）の A2 サイズ

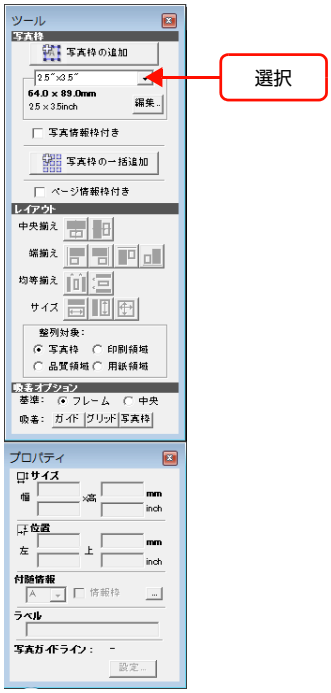
		印刷可能領域	印刷品質領域
単票紙	上端	3 mm	3 mm
	下端	14 mm	15 mm
	右端	3 mm	3 mm
	左端	3 mm	3 mm

写真枠をひとつずつ追加する

ローカルフォルダから開いたテンプレートや、サーバからダウンロードしたテンプレートに写真枠を追加したり、新規のテンプレートにお好みのサイズの写真枠をひとつずつ配置できます。なお、作成できる写真枠の数は、1 テンプレート内に最大 1378 個までです。

1 **［写真枠］エリアのプルダウンメニューから写真枠サイズを選択します。**

選択したい写真枠サイズがプルダウンメニューにないときは、次ページの［プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する］を行ってください。

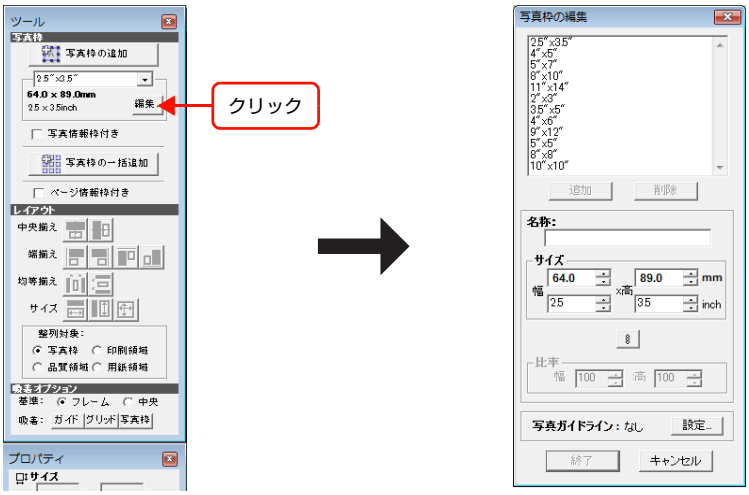


> **参考** ローカルフォルダから開いたテンプレートや、サーバからダウンロードしたテンプレートに配置されている写真枠をクリックすると、［プロパティ］ウィンドウにその写真枠のサイズ、位置、付随情報、ラベルが表示されます。すでに配置されている写真枠と同じサイズの写真枠を追加するときは、ここに表示されているサイズと同じものをプルダウンメニューから選択します。

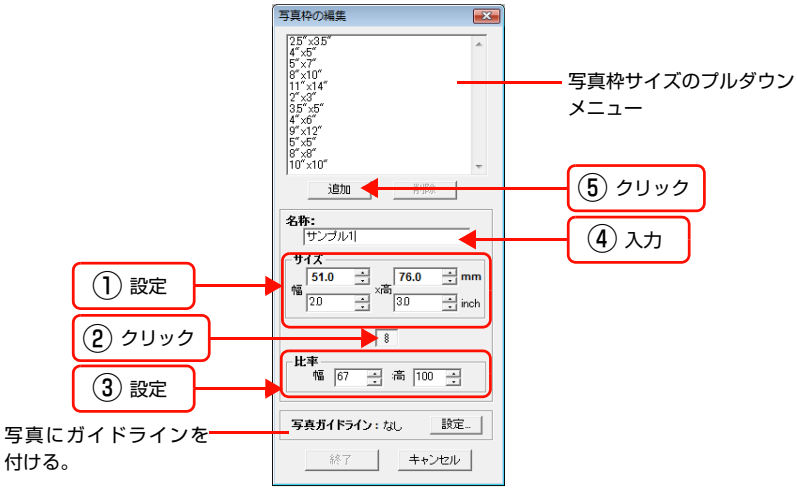
プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する

写真枠サイズを設定し、プルダウンメニューに追加します。

① [写真枠] エリアの [編集...] をクリックします。
[写真枠の編集] 画面が表示されます。



② 写真枠サイズを設定します。
[サイズ] の [幅] と [高さ] を設定します。写真枠の幅と高さの比率を固定してから設定する場合は、 をクリックし、[比率] の [幅] と [高さ] を指定してから、[サイズ] の [幅] と [高さ] を指定します。
新しく設定した写真枠サイズの名称を入力して [追加] をクリックします。写真枠サイズのプルダウンメニューに追加されます。

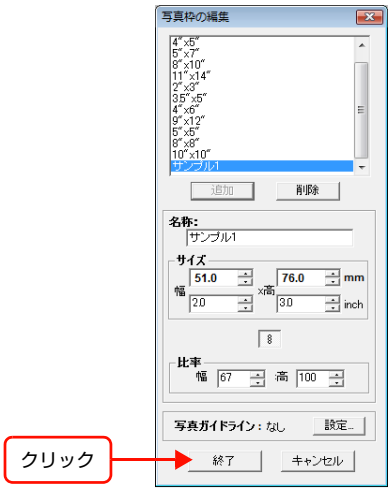


参考

- [写真ガイドライン] については、118 ページ「写真枠にガイドラインを付ける」] をご覧ください。
- 写真枠サイズのプルダウンメニューから設定を削除する場合は、削除したい写真枠サイズを選択し、[削除] をクリックします。

重要 [写真枠の編集] では新規に追加する写真枠サイズを設定します。すでに登録されている写真枠サイズは変更できません。

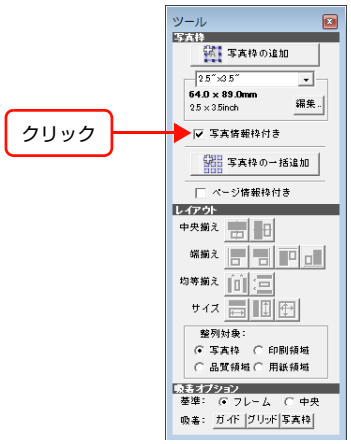
③ 設定が終了したら、［終了］をクリックします。



プルダウンメニューから追加した写真枠サイズを選択できます。

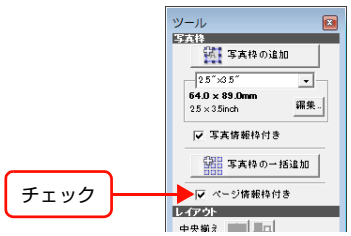
2 **写真枠に写真情報枠を付けるには、［写真情報枠付き］をチェックします。**

EPPLayout で写真のファイル名を挿入できます。



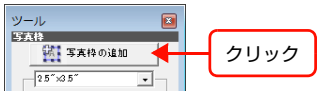
> **参考**
> - ［写真枠］メニューの［写真情報枠付き］をチェックしても設定できます。
> - 写真情報枠の編集については、120 ページ「写真情報枠を編集する」をご覧ください。

3 **ページにページ情報枠を付けるには、［ページ情報枠付き］をチェックします。**

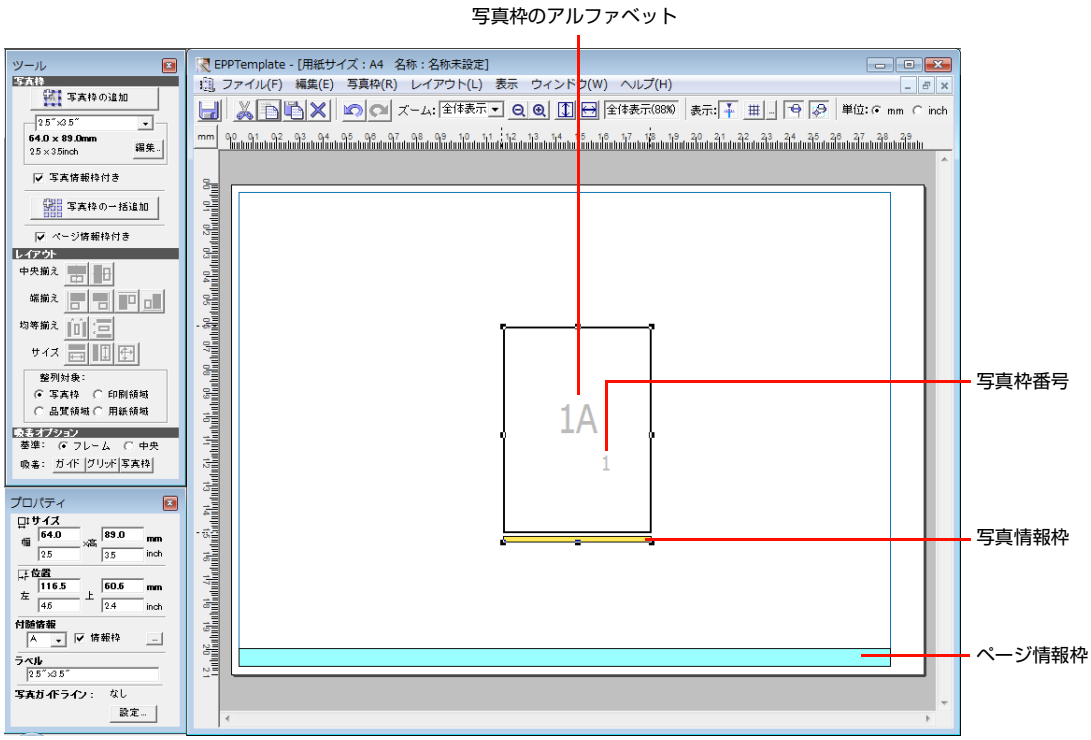


> **参考**
> - ［写真枠］メニューの［ページ情報枠を使用］をチェックしても設定できます。
> - ページ情報枠の編集については、122 ページ「ページ情報枠を挿入する」をご覧ください。

4 **［写真枠の追加］をクリックします。**



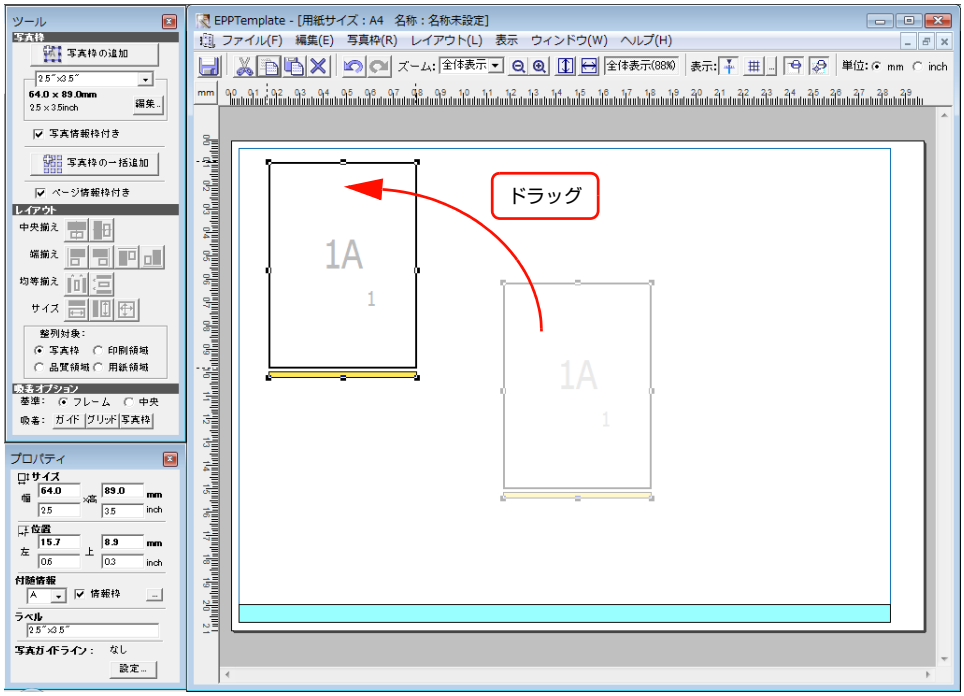
設定したサイズの写真枠が写真枠のアルファベットの A と写真枠番号とともにテンプレートの中央に表示されます。すでに写真枠が配置されていると、写真枠番号は次の番号から順に割り当てられます。



参考　［写真枠］メニューから［写真枠の追加］を選択しても、写真枠を挿入または追加できます。

5 写真枠内にカーソルを置き、ドラッグして写真枠を移動します。

ガイドやグリッドを使ったり、定規を目安にして写真枠の位置を決めます。［プロパティ］ウィンドウの［位置］には、写真枠の位置が表示されます。用紙の左端と上から何 mm（inch）の位置に写真枠を配置したか確認できます。



参考
- ［位置］の［左］と［上］に数値を入力しても写真枠を移動できます。
- 写真枠をそろえたり、写真枠のアルファベットや写真枠番号を変更するなど、テンプレートを整えるための便利な機能が用意されています。写真枠を追加したら、107 ページ「写真枠を移動する」以降をご覧ください。

6 **続けて写真枠を追加する場合は、手順 1 ～ 5 の操作を繰り返します。**

同じサイズの写真枠は、［写真枠の追加］をクリックするだけで追加できます。追加した順に写真枠番号が割り当てられます。

写真枠を削除するには

写真枠内をクリックし、［delete］キーを押します。写真枠内をクリックし、［編集］メニューから［削除］を選択しても削除できます。

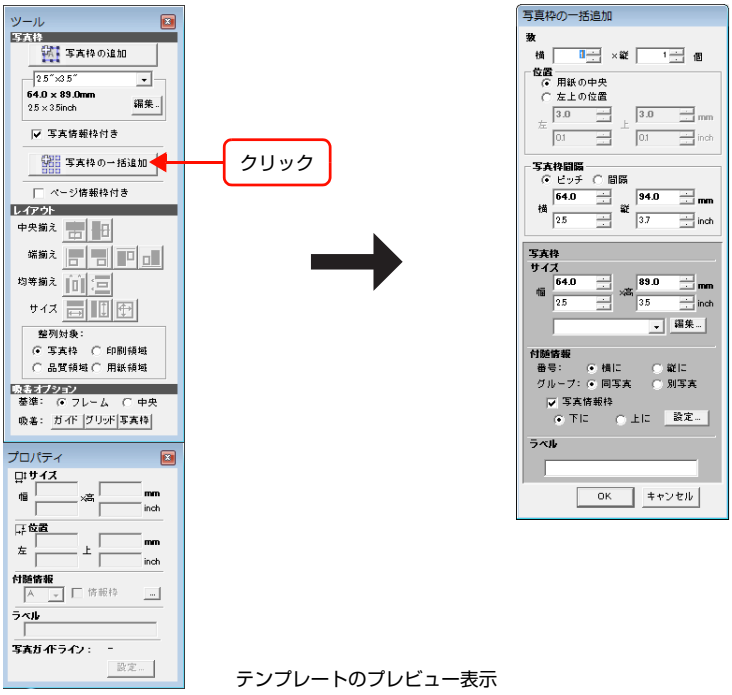
写真枠を一括して配置する

同じサイズの写真枠を数や位置などを設定し、一括してテンプレートに配置できます。新規のテンプレートに同じサイズの写真枠を複数配置するときに便利です。なお、作成できる写真枠の数は、1 テンプレート内に最大 1378 個までです。

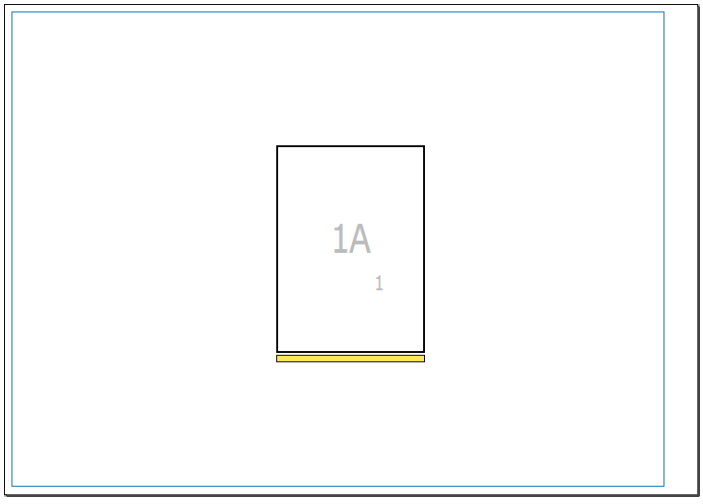
1 **［写真枠］エリアの［写真枠の一括追加］をクリックします。**

［写真枠の一括追加］画面が表示されます。テンプレートには、前回設定した写真枠がプレビュー表示されます。［写真枠の一括追加］の各項目を設定するごとに、プレビューの写真枠が設定に応じて変更されます。［写真枠の一括追加］の設定が終了するまでは、写真枠をドラッグするなどの操作はできません。

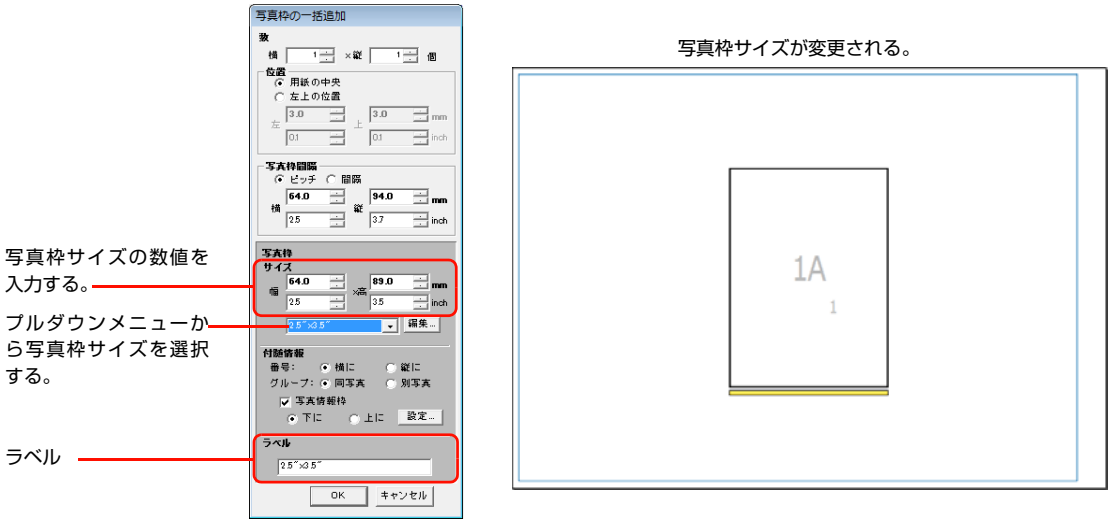
> 参考　［写真枠］メニューから［写真枠の一括追加］を選択しても、［写真枠の一括追加］画面が表示されます。



テンプレートのプレビュー表示



2 **[写真枠] の [サイズ] の [幅] と [高さ] を指定するか、プルダウンメニューから写真枠サイズを選択します。**
プレビュー表示の写真枠サイズが変更されます。



> **参考**
> - ［写真枠］のプルダウンメニューからサイズを選択すると、［ラベル］に選択した写真枠サイズの名称が表示されます。
> - 選択したい写真枠サイズがプルダウンメニューにないときは、次の［プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する］を行ってください。

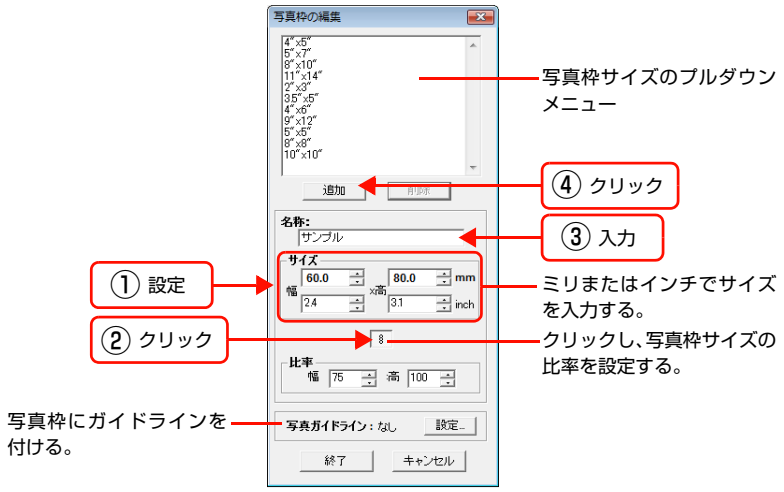
プルダウンメニューに写真枠サイズを追加する

写真サイズを設定し、プルダウンメニューに追加します。

①［写真枠］の［編集...］をクリックします。
［写真枠の編集］画面が表示されます。



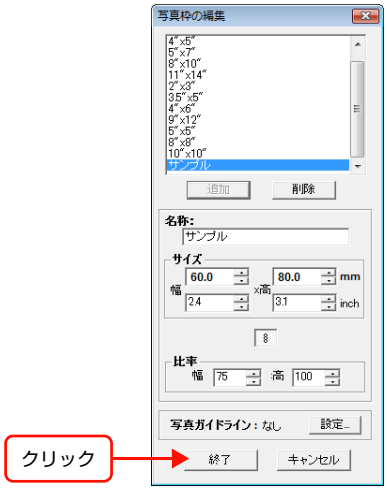
② 写真枠サイズを設定します。
［サイズ］の［幅］と［高さ］を指定します。写真枠の幅と高さの比率を固定してから設定する場合は、8 をクリックし、［比率］の［幅］と［高さ］を指定してから、［サイズ］の［幅］と［高さ］を指定します。
新しく設定した写真枠サイズの名称を入力して［追加］をクリックします。写真枠サイズのプルダウンメニューに追加されます。



参考
- ［写真ガイドライン］については、118 ページ「写真枠にガイドラインを付ける」］をご覧ください。
- 写真枠サイズのプルダウンメニューから設定を削除する場合は、削除したい写真枠サイズを選択し、［削除］をクリックします。

重要 ［写真枠の編集］では新規に追加する写真枠サイズを設定します。すでに登録されている写真枠サイズは変更できません。

③ 設定が終了したら、［終了］をクリックします。



プルダウンメニューから追加した写真枠サイズを選択できます。

3 ［数］の［横］と［縦］に写真枠の数を指定します。

指定した数のプレビュー表示の写真枠がテンプレートに配置されます。



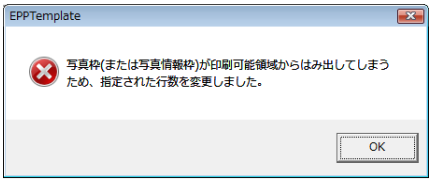
指定

［横］に 3、［縦］に 2 を指定したとき



参考

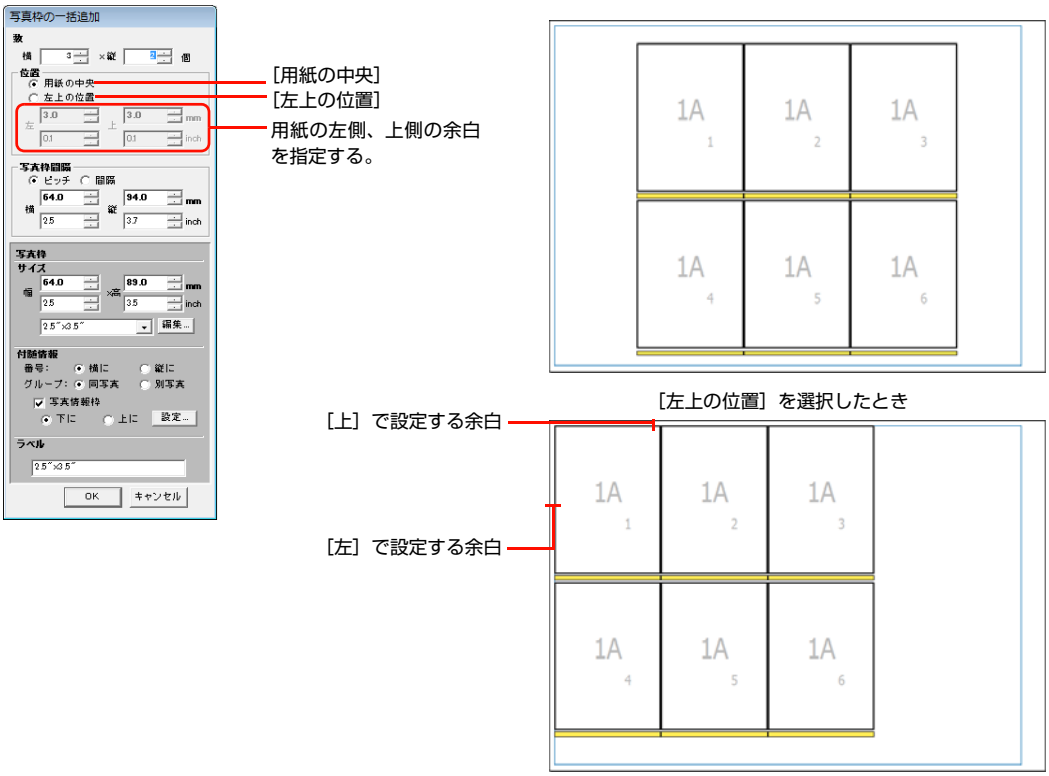
指定した数の写真枠を配置すると、写真枠が印刷可能領域をはみ出てしまう場合、次の画面が表示されます。



［OK］をクリックします。印刷可能領域内に収まるように、横と縦の写真枠の数が自動的に減らされます。サイズよりも数を優先する場合は、写真枠サイズを小さくしたり、写真枠間隔を狭くしてから写真枠の数を設定し直してください。

4 ［位置］で写真枠の位置を設定します。

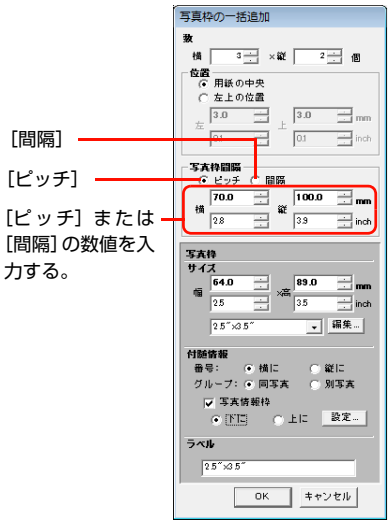
項目	内容
［用紙の中央］	写真枠が用紙の中心に配置されます。
［左上の位置］	用紙の左上から配置したい場合にクリックします。［左］には用紙枠左辺から写真枠左辺までの余白の数値を、［上］には用紙枠上辺から写真枠上辺までの余白の数値を指定します。

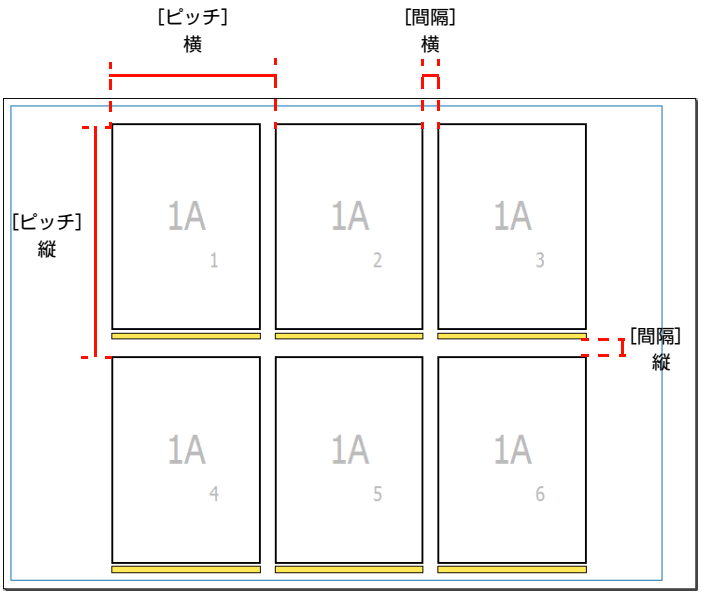


5 ［写真枠間隔］で写真枠間の余白を設定します。

［ピッチ］の数値と［間隔］の数値は連動して変更されます。［ピッチ］、［間隔］のどちらか使いやすい方で設定してください。

項目	内容
［ピッチ］	［横］で写真枠左辺から隣の写真枠左辺までの距離を、［縦］で写真枠上辺からその下の写真枠上辺までの距離を指定します。
［間隔］	［横］で写真枠から隣の写真枠までの間隔を、［縦］で上の写真枠からその下の写真枠までの間隔を指定します。



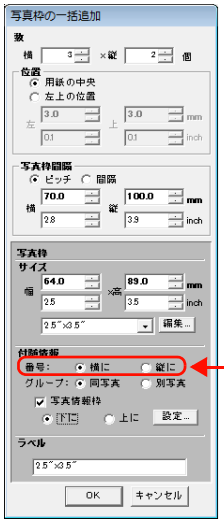


参考

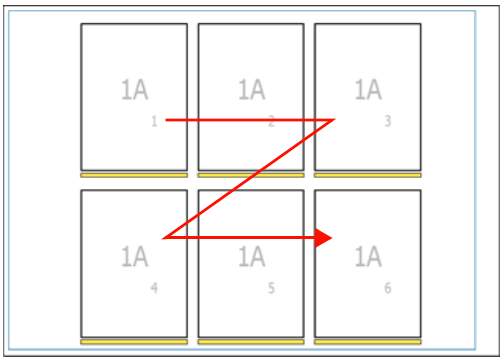
- ［ピッチ］の下限は、写真枠サイズと同じになります。写真情報枠が付いていると、［ピッチ］の［縦］の下限は、“写真サイズの高さ＋写真情報枠の高さ＋写真情報枠の隙間”になります。［間隔］の下限は、0.0mm（inch）です。写真情報枠が付いていると、［間隔］の［縦］の下限は、“写真情報枠の高さ＋写真情報枠の隙間”になります。これ以下の数値を指定しても、下限の数値が自動的に設定されます。写真情報枠の高さや隙間は［写真情報枠］の［設定］で設定できます。120 ページ「写真情報枠を編集する」をご覧ください。
- ［ピッチ］や［間隔］の上限は、写真枠または写真情報枠が印刷可能領域に達するまでの数値となります。印刷可能領域をはみ出すと、写真枠の縦または横の数が自動的に減らされます。

6 ［付随情報］の［番号］で、写真枠番号を付ける方向を選択します。

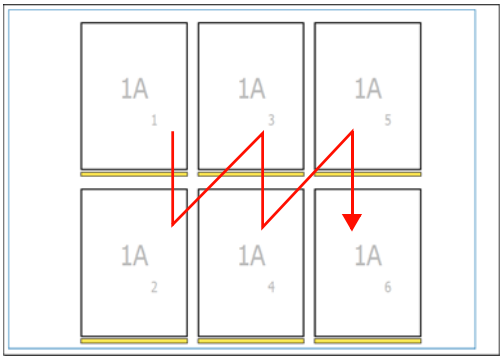
項目	内容
［横に］	写真枠番号が横方向に付きます。
［縦に］	写真枠番号が縦方向に付きます。



［横に］を選択したとき



［縦に］を選択したとき

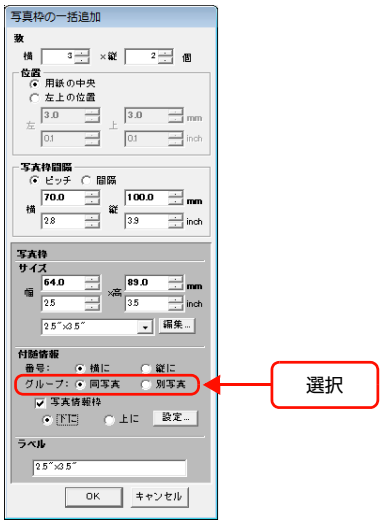


参考 ［写真枠の一括追加］を終了した後で設定を変更する場合は、120 ページ「写真情報枠を編集する」をご覧ください。

7 ［付随情報］の［グループ］で、［同写真］または［別写真］を選択します。

写真枠すべてに同じ写真を配置するのか、または異なる複数の写真を配置するのか選択します。

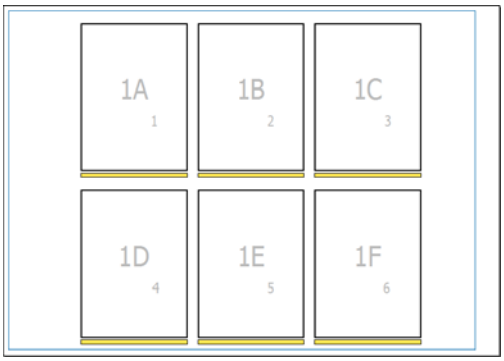
項目	内容
［同写真］	すべての写真枠に同じ写真を配置する設定になります。すべての写真枠に同じアルファベット（例：A1、A2、A3）が付きます。
［別写真］	すべての写真枠に異なる写真を配置する設定になります。すべての写真枠に続きのアルファベット（例：A1、B2、C3）が付きます。



同一写真を配置する写真枠



異なる写真を配置する写真枠



参考 ［写真枠の一括追加］を終了した後で設定を変更する場合は、116 ページ「写真枠のアルファベットを変更する」をご覧ください。

8 ［付随情報］の［写真情報枠］を設定します。

写真情報枠の位置を設定する

［写真情報枠］をチェックして、［上に］または［下に］で写真情報枠の位置を選択します。テンプレート上のすべての写真枠に写真情報枠が付きます。

項目	内容
［下に］	写真枠の下に写真情報枠が付きます。
［上に］	写真枠の上に写真情報枠が付きます。

写真情報枠を付けると、EPPLayout で写真のファイル名を写真情報枠に挿入できます。
写真情報枠を付けないときは、［写真情報枠］チェックを外します。



［上に］を選択したとき

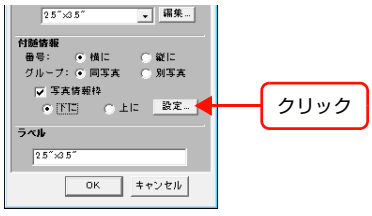


［下に］を選択したとき

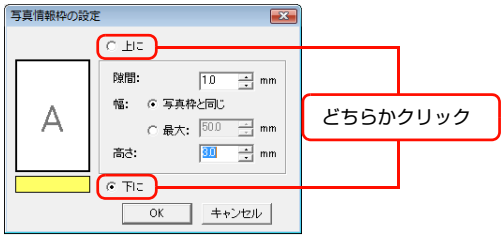


［写真情報枠の設定］画面で位置やサイズを設定する

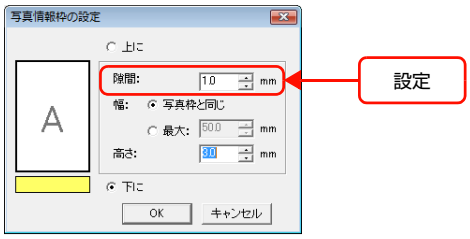
①［設定...］をクリックします。
　［写真情報枠の設定］画面が表示されます。



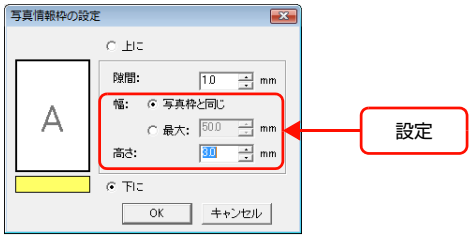
②［上に］または［下に］をクリックして写真情報枠を付ける位置を選択します。



③［隙間］で写真枠と写真情報枠間の隙間を設定します。



④ 写真情報枠の［幅］と［高さ］を設定します。



⑤［OK］をクリックします。

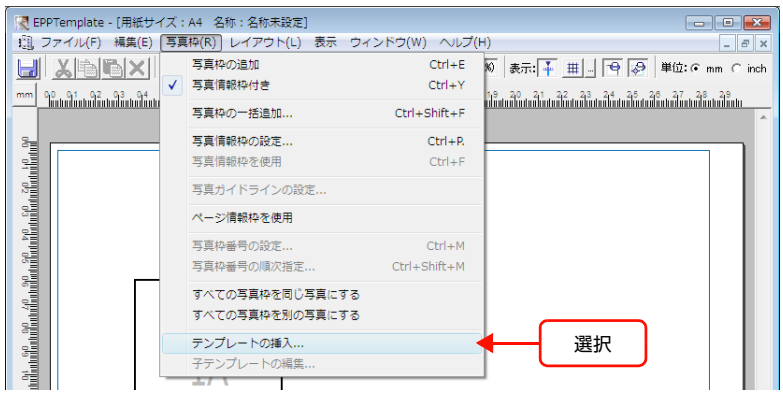
9 ［写真枠の一括追加］設定が終わったら、［OK］をクリックします。



テンプレートの中にテンプレートを追加する

テンプレートの中に、新規に作成したテンプレートやサーバからダウンロードしたテンプレートを挿入することができます。よく使うテンプレートをあらかじめ作成して子テンプレートとして使用すると、効率よくテンプレートを作成できます。

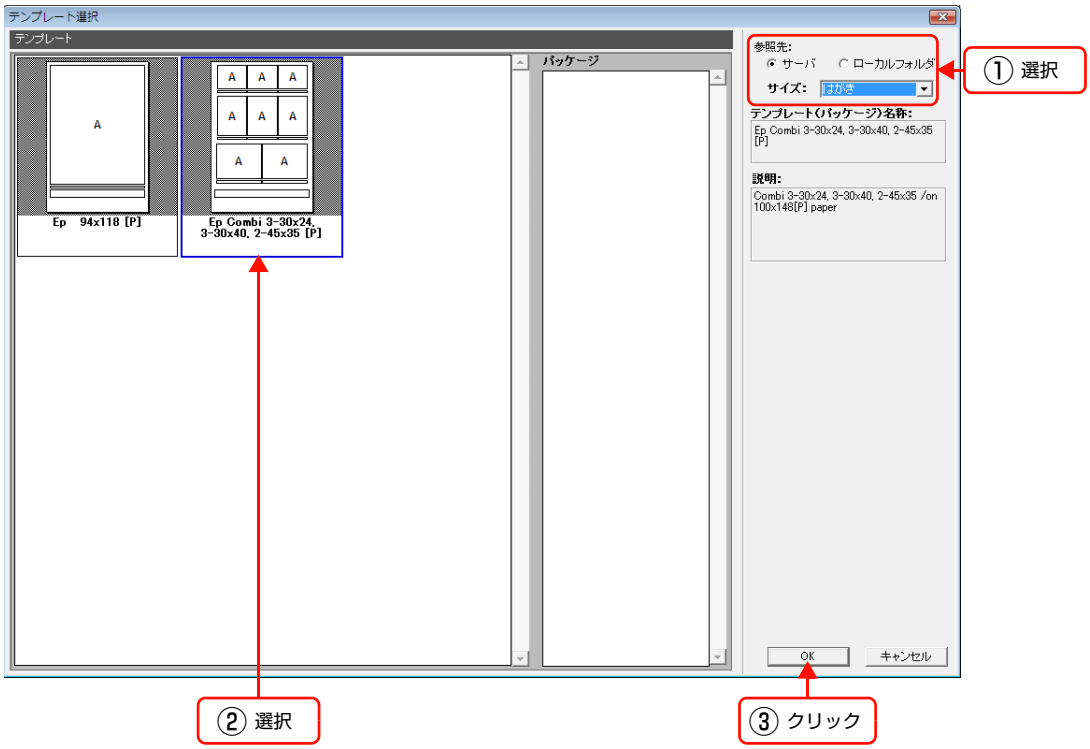
1 **［写真枠］メニューから［テンプレートの挿入］を選択します。**



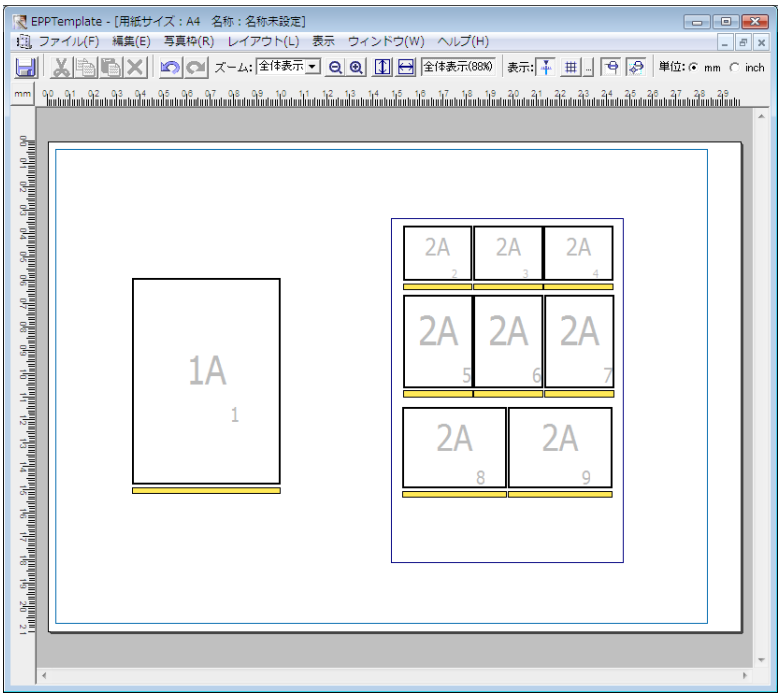
［テンプレート選択］画面が表示されます。

2 **［参照先］と［サイズ］を選択して、挿入するテンプレートを選択します。**

［テンプレート選択］画面には、挿入先のテンプレートより大きいサイズのテンプレートは表示されません。

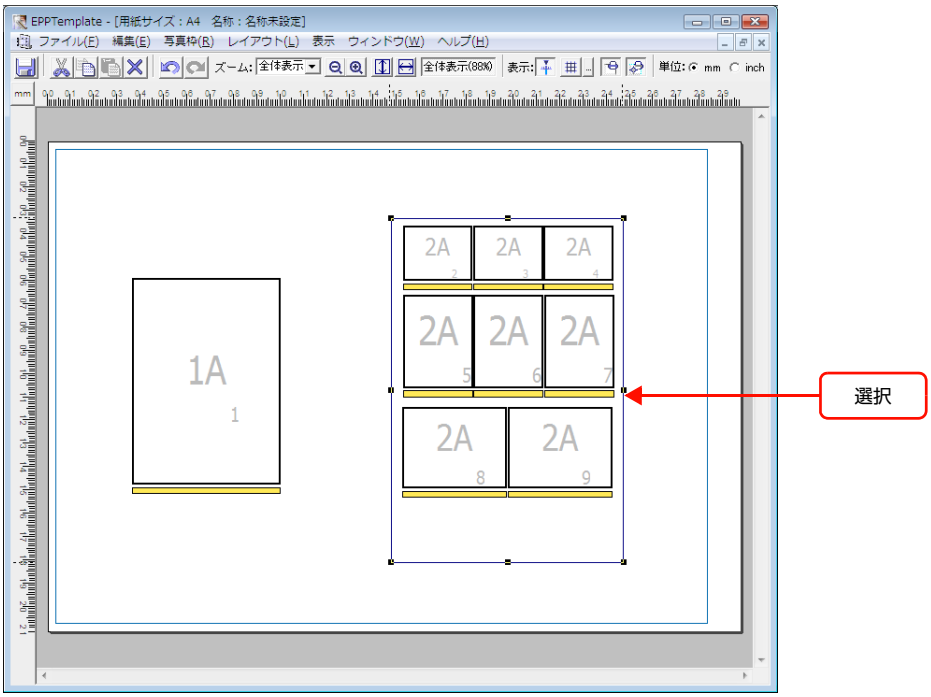


選択したテンプレートが挿入されます。

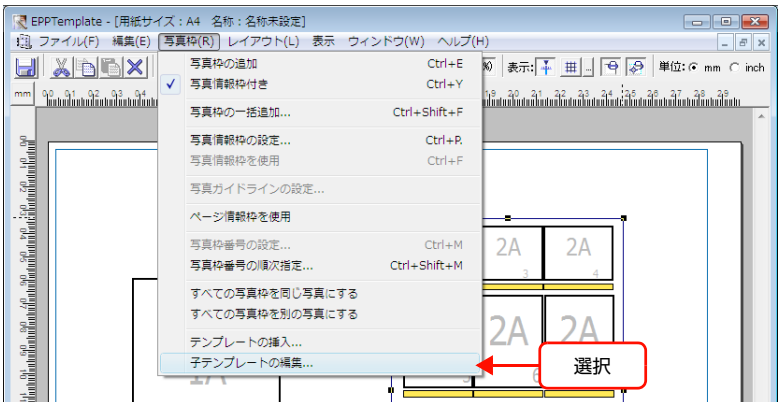


挿入したテンプレートを編集するには

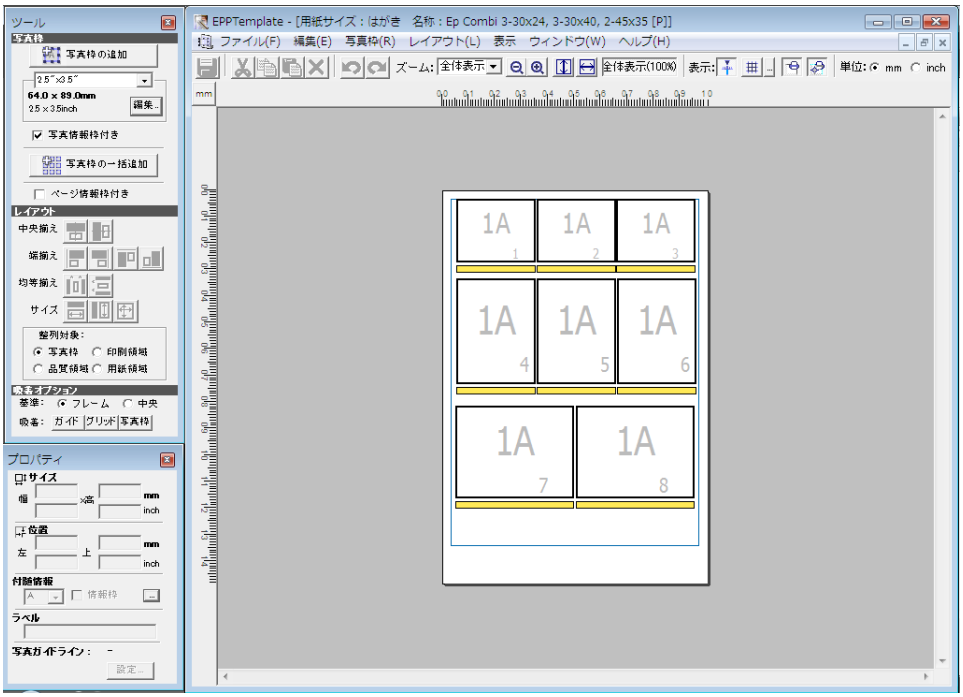
① 挿入したテンプレートを選択します。



② ［写真枠］メニューから［子テンプレートの編集］を選択します。



挿入したテンプレートの編集画面が表示されます。
写真枠、写真情報枠、ページ情報枠などを設定してテンプレートを編集します。



③ 編集が終わったら、テンプレートを保存して編集画面を閉じます。

写真枠を移動する

写真枠内をドラッグすると写真枠を移動できます。［Shift］キーを押しながら写真枠をドラッグすると、垂直または平行に移動できます。

> **参考**　写真枠を移動してガイドやグリッドに合わせる場合、吸着機能を使うと便利です。詳しくは 111 ページ「吸着機能を設定する」をご覧ください。

写真枠を削除する

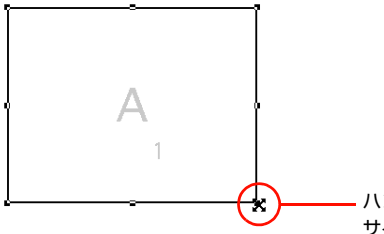
削除したい写真枠をクリックして［delete］キーを押すと削除できます。

写真枠サイズを変更する

写真枠をドラッグするか、［プロパティ］ウィンドウで写真枠のサイズを指定します。

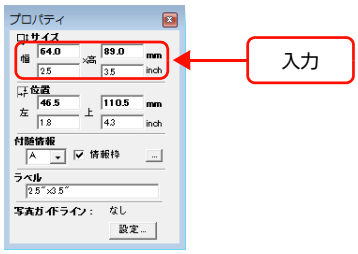
写真枠をドラッグする

写真枠をクリックすると、写真枠の上下、左右、角にハンドルが表示されます。［Shift］キーを押しながらハンドルをドラッグすると、幅と高さの比率を固定して写真枠のサイズを変更できます。幅と高さの比率を固定しないで写真枠のサイズを変更するには、［Shift］を押さずにハンドルをドラッグします。



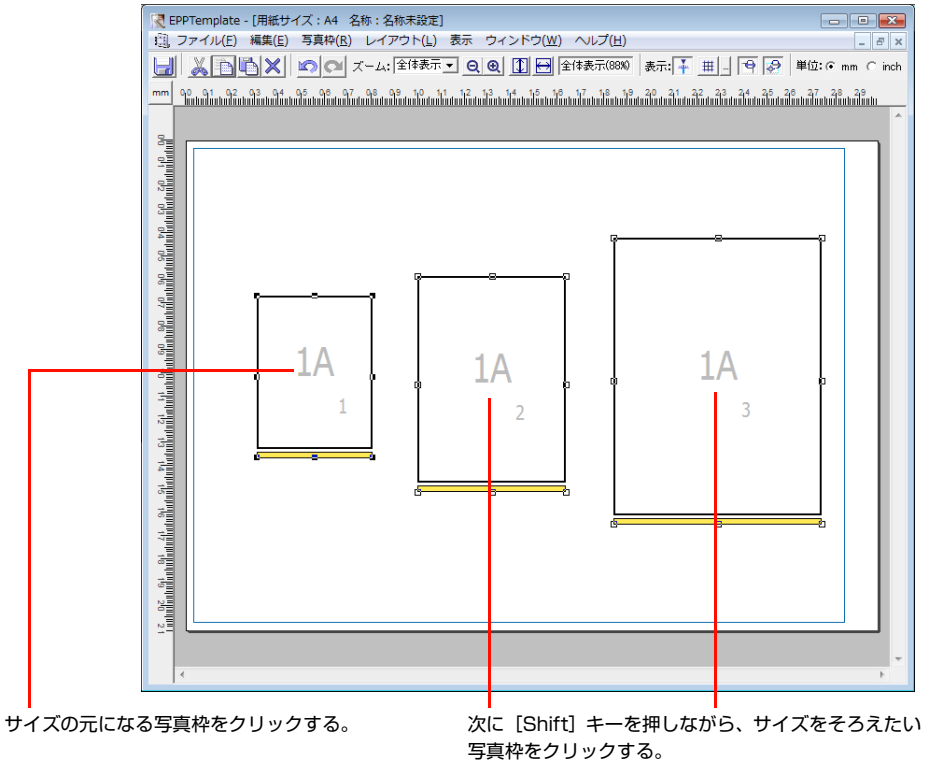
［プロパティ］ウィンドウで写真枠のサイズを指定する

［プロパティ］ウィンドウの［サイズ］の［幅］と［高さ］に数値を入力します。

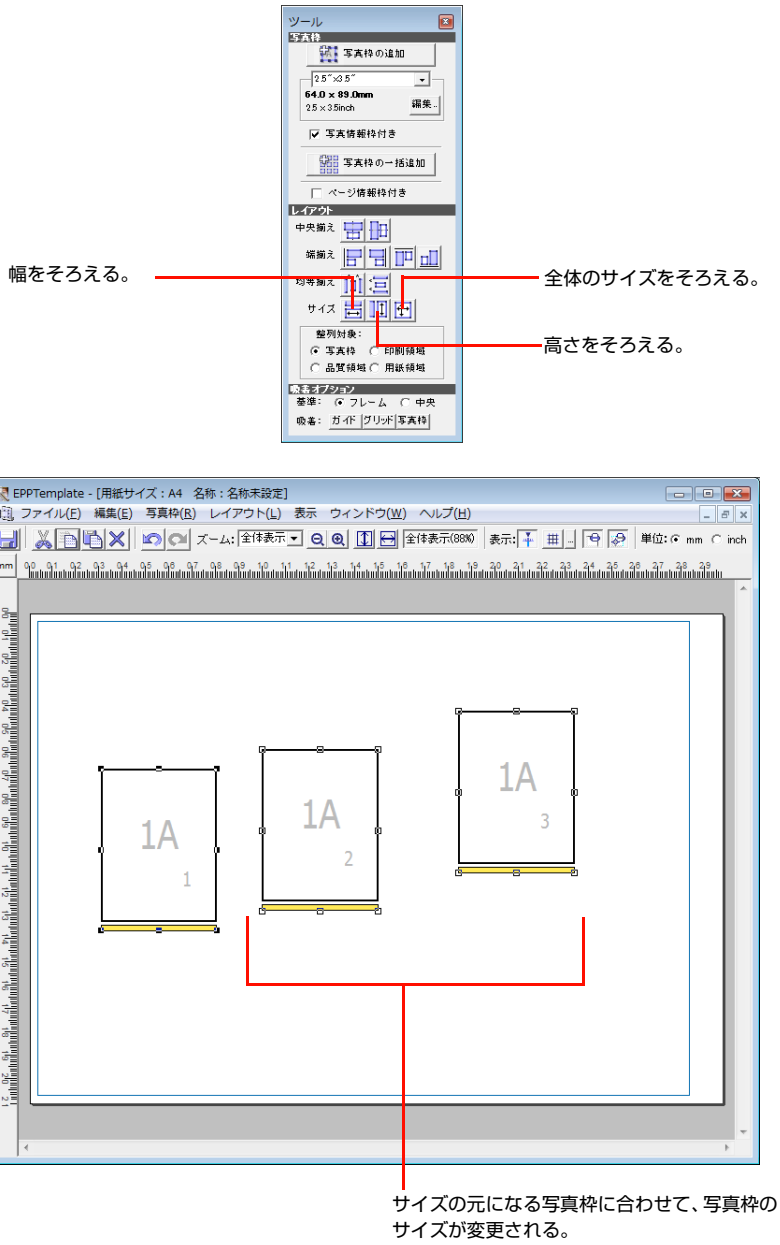


ほかの写真枠とサイズをそろえる場合

1 **サイズの元になる写真枠をクリックし、［Shift］キーを押しながらサイズをそろえたい写真枠をクリックします。**



2 **［ツール］ウィンドウの［レイアウト］エリアにある［サイズ］でサイズをそろえたい場所を選択します。**
最初に指定した写真枠に合わせて、幅、高さまたは全体のサイズを変更できます。



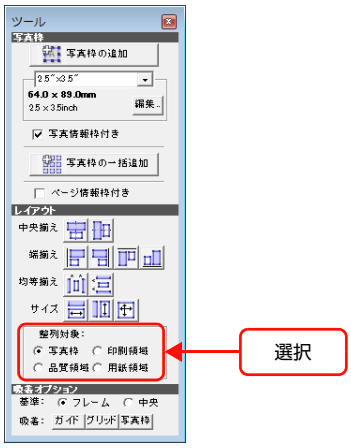
参考
- ［レイアウト］メニューから［幅を揃える］、［高さを揃える］、［サイズを揃える］を選択してもサイズをそろえることができます。
- サイズの元になる写真枠とサイズをそろえたい写真枠を選択しないと、［サイズ］ボタンが有効になりません。

写真枠を整列させる

［ツール］ウィンドウにある［レイアウト］エリアで整列の種類を選択して、写真枠を整列できます。

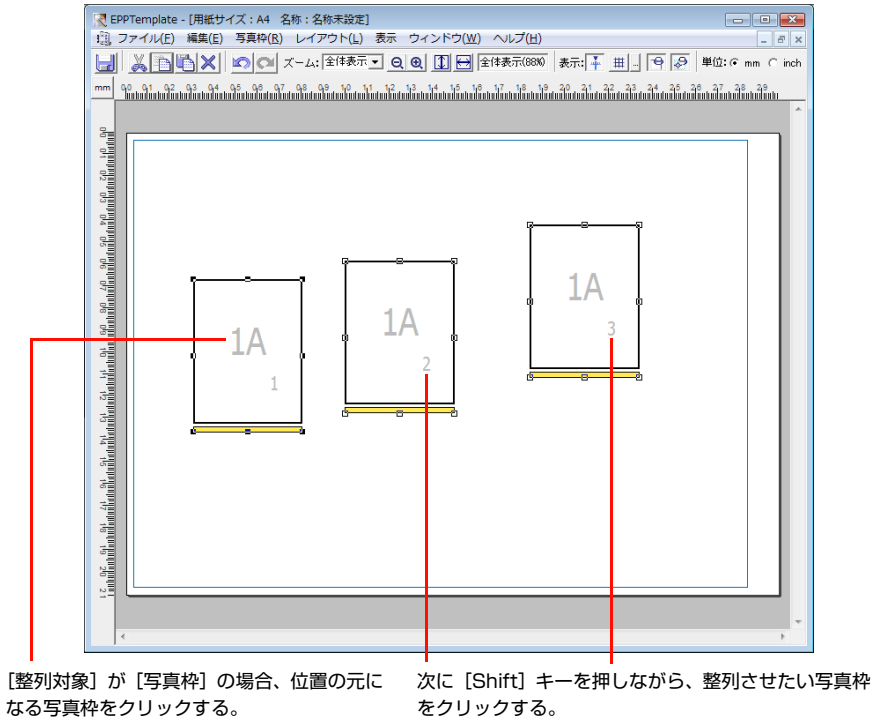
1 **［レイアウト］エリアの［整列対象］で、写真枠を整列させる対象を選択します。**

項目	内容
［写真枠］	最初に指定した写真枠に合わせてほかの写真枠が整列します。
［品質領域］	印刷品質領域の左側、右側、上側または下側に合わせて整列します。
［印刷領域］	印刷可能領域の左側、右側、上側または下側に合わせて整列します。
［用紙領域］	用紙の左側、右側、上側または下側に合わせて整列します。



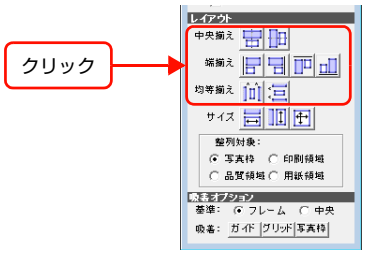
2 **整列させたい写真枠を選択します。**

複数の写真枠を選択する場合は、［Shift］キーを押しながら、整列させたい写真枠をクリックして選択します。
すべての写真枠を選択する場合は、［編集］メニューから［すべてを選択］を選択します。すべての写真枠を囲むようにドラッグしても選択できます。
手順 1 で［写真枠］を選択した場合は、位置の元になる写真枠をクリックし、［Shift］キーを押しながら整列させたい写真枠をクリックします。



3 **［中央揃え］、［端揃え］、［均等揃え］から整列の種類に合わせてボタンをクリックします。**

項目		内容
［中央揃え］		垂直方向の中央に写真枠が整列します。
		水平方向の中央に写真枠が整列します。
［端揃え］		水平方向の左側に写真枠が整列します。
		水平方向の右側に写真枠が整列します。
		垂直方向の上側に写真枠が整列します。
		垂直方向の下側に写真枠が整列します。
［均等揃え］		水平方向に等間隔で写真枠が配置されます。
		垂直方向に等間隔で写真枠が配置されます。



> **参考** ［レイアウト］メニューから［水平方向中央に整列］、［垂直方向中央に整列］、［水平方向左に整列］、［水平方向右に整列］、［垂直方向上に整列］、［垂直方向下に整列］、［水平方向等間隔に分布］、［垂直方向等間隔に分布］を選択しても写真枠を整列できます。

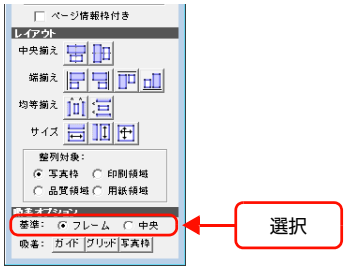
吸着機能を設定する

吸着機能を使うと、写真枠が一番近いガイドやグリッド、ほかの写真枠に引き寄せられます。写真枠を移動するときに便利です。

Mac OS では、新規テンプレートの設定でロール紙の長さ、自由サイズの幅 / 高さのいずれかを［自動］に設定すると、吸着機能が無効になります。

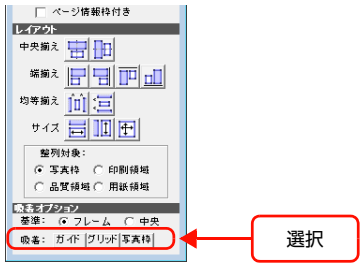
1 **［ツール］ウィンドウの［吸着オプション］にある［基準］で吸着基準を選択します。**

項目	内容
［フレーム］	吸着する写真枠の一部が、ガイド、グリッドまたは写真枠の 1mm（または 0.1inch）以内の距離に達すると吸着します。
［中央］	吸着する写真枠の中央がガイド、グリッドまたは写真枠の 1mm（または 0.1inch）以内の距離に達すると吸着します。



2 ［吸着］の［ガイド］、［グリッド］または［写真枠］を選択します。

項目	内容
［ガイド］	ガイドに写真枠が吸着します。
［グリッド］	グリッドに写真枠が吸着します。
［写真枠］	写真枠と写真枠が吸着します。 吸着基準（［フレーム］、［中央］）の設定にかかわらず写真枠に吸着します。写真枠同士が重なることもあります。



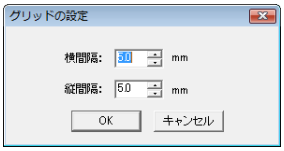
参考 ［表示］メニューから［吸着］を選択して、［ガイド］、［グリッド］、［写真枠］を選択することもできます。

グリッドの間隔を設定するには

① ツールバーの ボタンをクリックします。

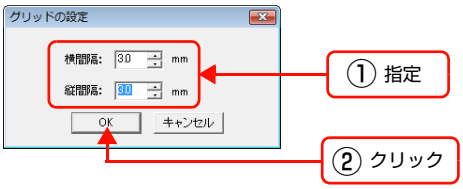


［グリッドの設定］画面が表示されます。



参考 ［表示］メニューの［グリッドの設定］を選択しても表示されます。

② グリッドの［横間隔］と［縦間隔］の数値を指定し、［OK］をクリックします。

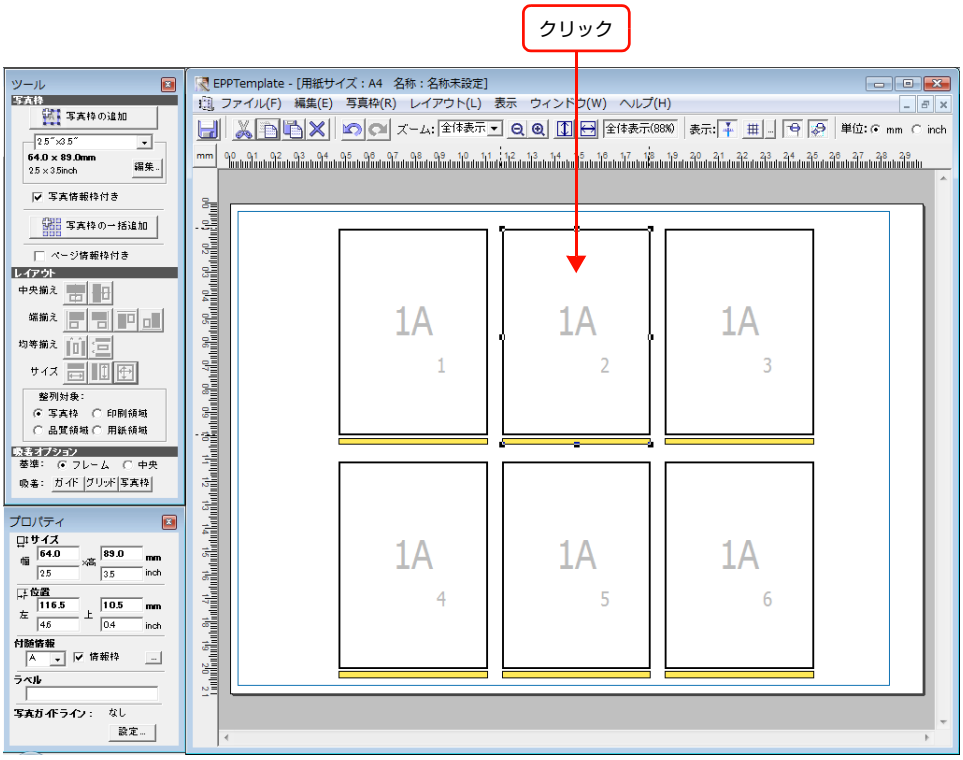


写真枠番号を変更する

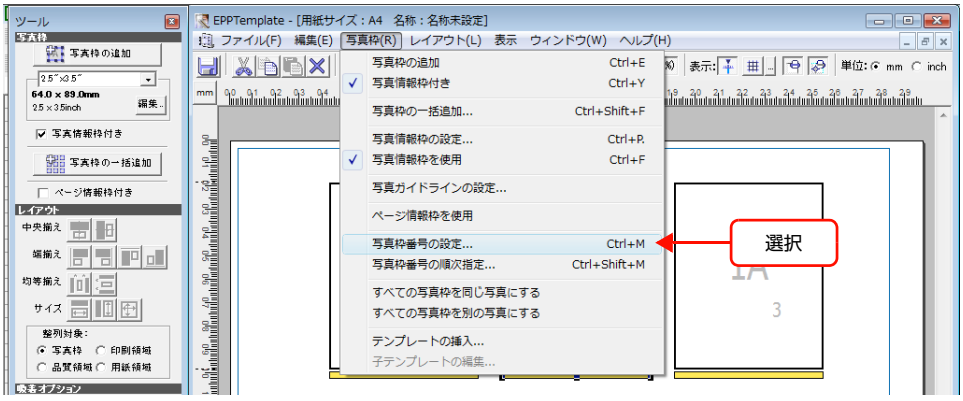
EPPLayout で写真をテンプレートにドラッグすると、写真枠番号順に写真が割り付けられます。写真枠番号をひとつずつ変更したり、写真枠番号を 1 から順に付け直すこともできます。

写真枠番号をひとつずつ変更するには

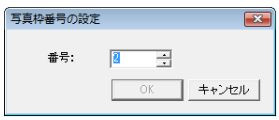
1 **変更したい写真枠をクリックします。**



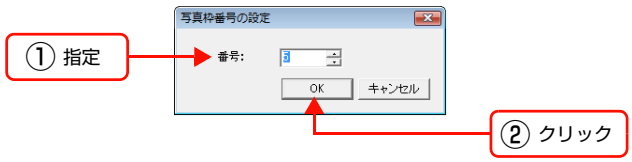
2 **［写真枠］メニューから［写真枠番号の設定］を選択します。**



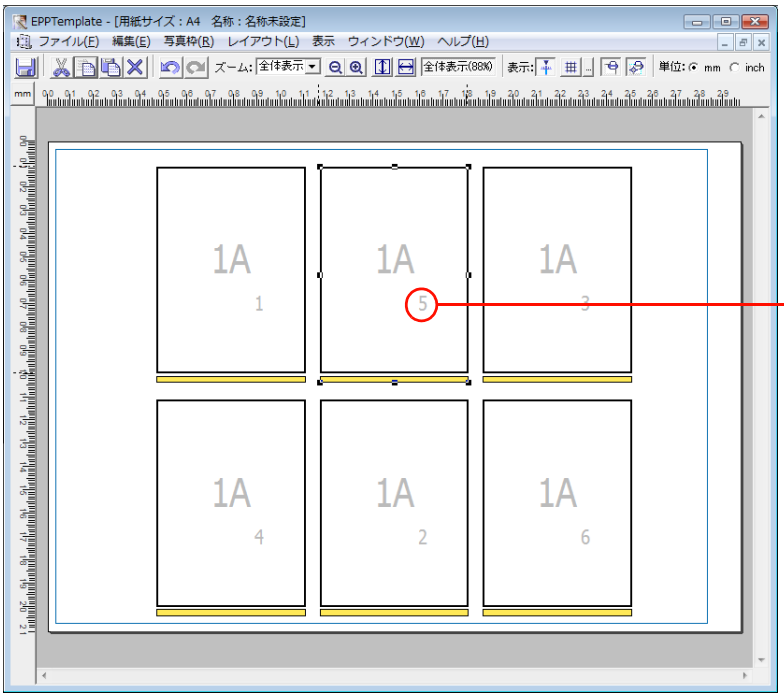
［写真枠番号の設定］画面が表示されます。



3 ［番号］に写真枠に付けたい番号を指定して、［OK］をクリックします。



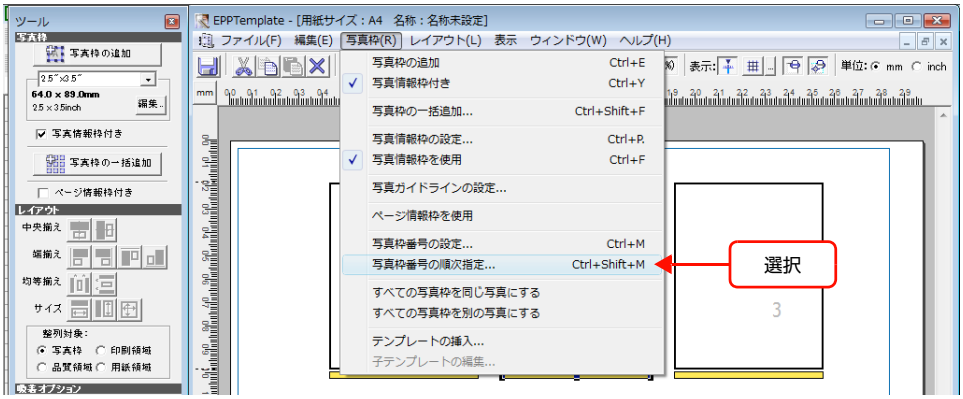
写真枠の番号が指定した番号に変わります。



> **参考**　入力した番号が付けられていた写真枠の番号は、選択した写真枠に付けられていた番号に置き換わります。

写真枠番号を 1 から付け直すには

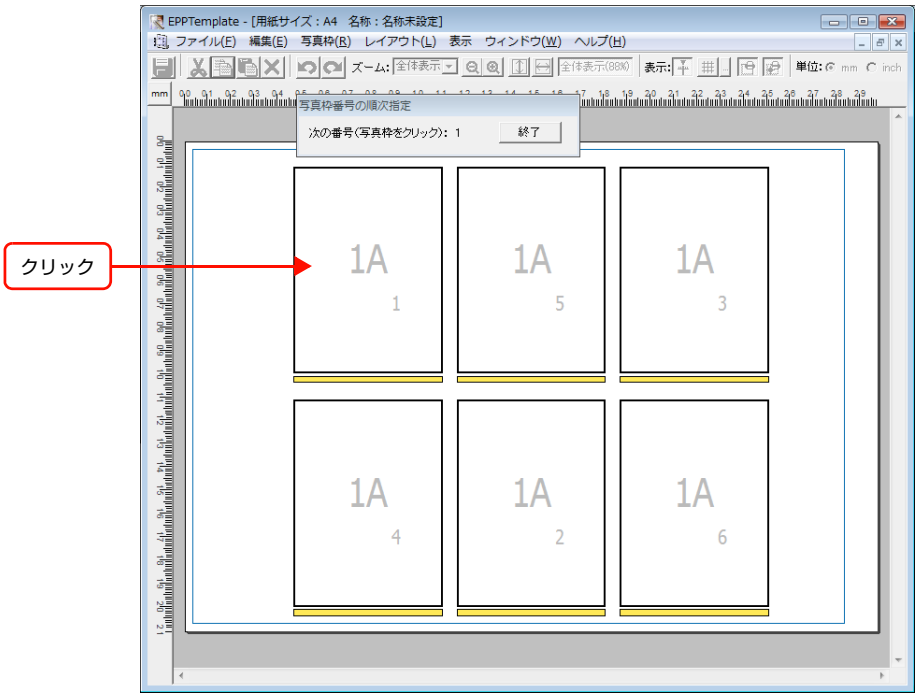
1 ［写真枠］メニューから［写真枠番号の順次指定］を選択します。



［写真枠番号の順次指定］画面が表示されます。

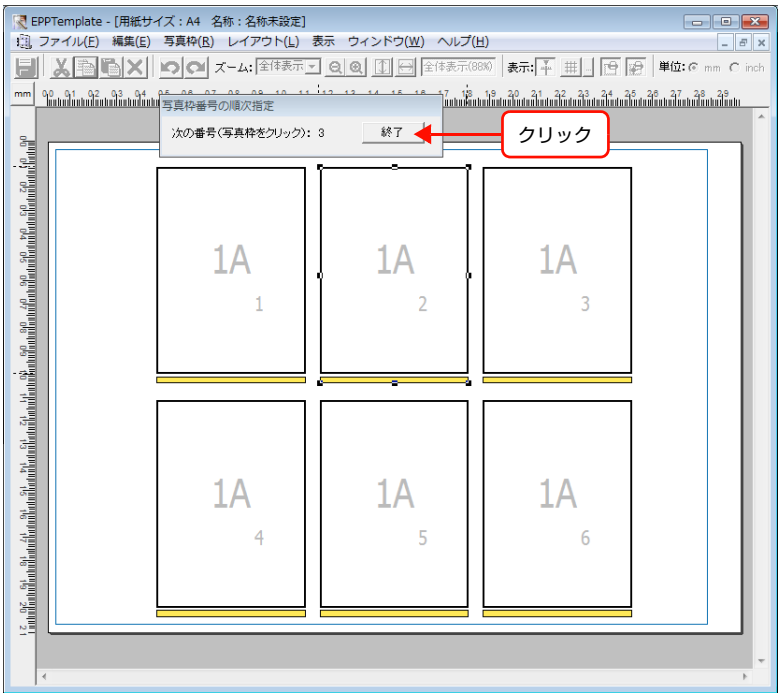


2 **番号 1 を付けたい写真枠をクリックします。**
クリックした写真枠に番号 1 が付けられます。



3 **手順 2 と同様に番号 2，3... と写真枠番号を付け直す写真枠を順番にクリックします。**

4 **変更したい写真枠番号を付け直したら、［終了］をクリックします。**



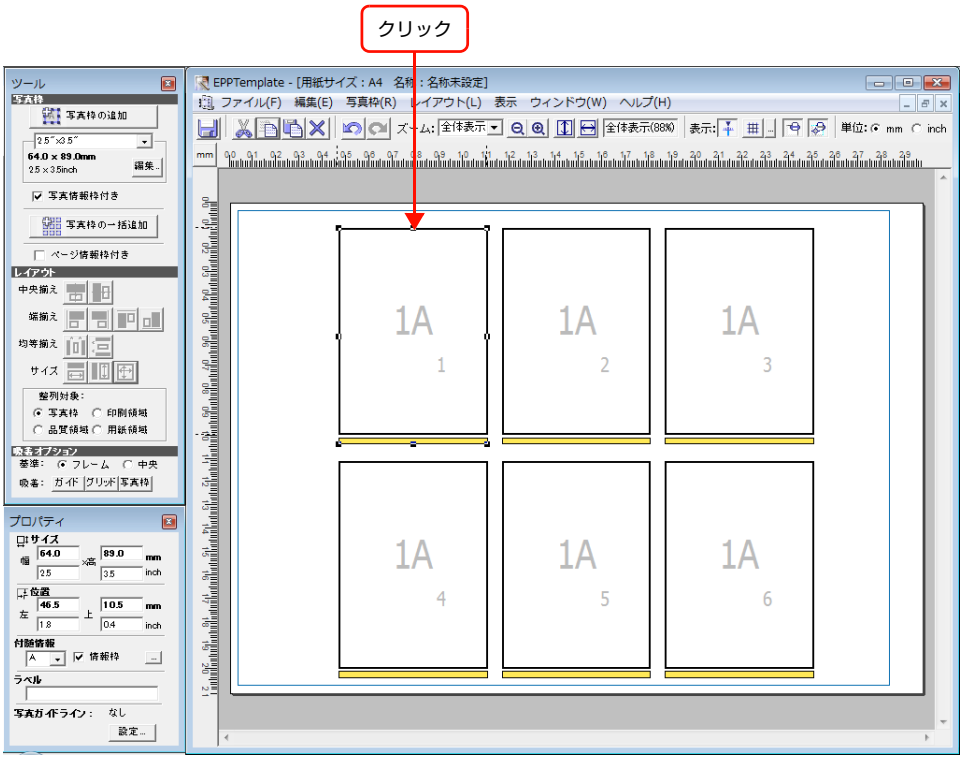
参考　表示されている写真枠のすべての写真枠番号を付け直すと、［写真枠番号順次指定］画面の表示は自動的に消えます。

写真枠のアルファベットを変更する

写真枠のアルファベットが同じであれば、複数の写真枠に同じ写真を配置できます。写真枠のアルファベットが異なれば、異なる写真を配置できます。テンプレート上の写真枠をすべて同じアルファベットに設定すると同一写真用のテンプレートが作成でき、異なるアルファベットに設定すると異なる写真用のテンプレートが作成できます。

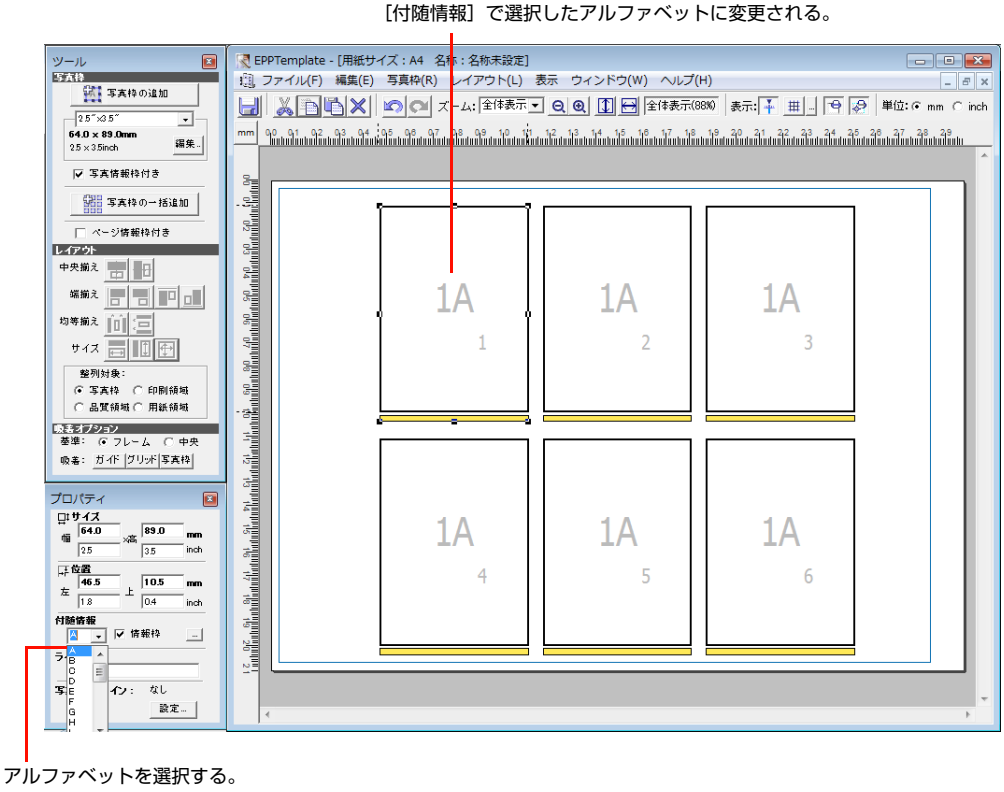
写真枠のアルファベットを変更するには

1 **アルファベットを変更したい写真枠を選択します。**



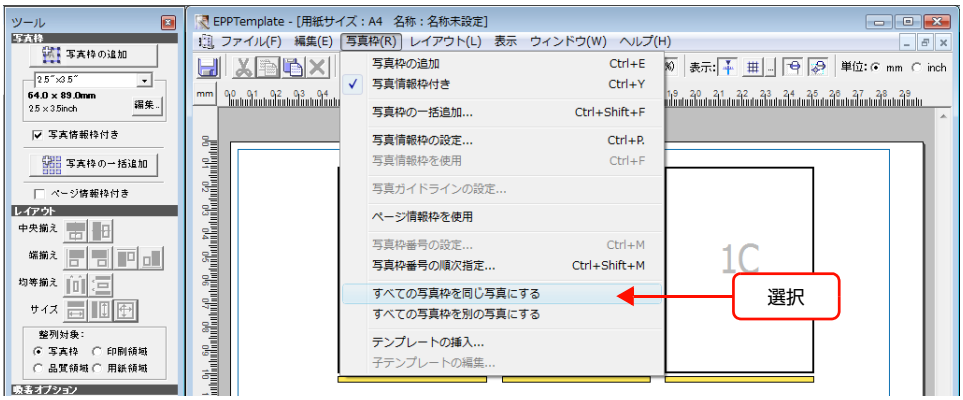
2 ［プロパティ］ウィンドウの［付随情報］プルダウンメニューからアルファベットを選択します。

選択した写真枠のアルファベットが変更されます。



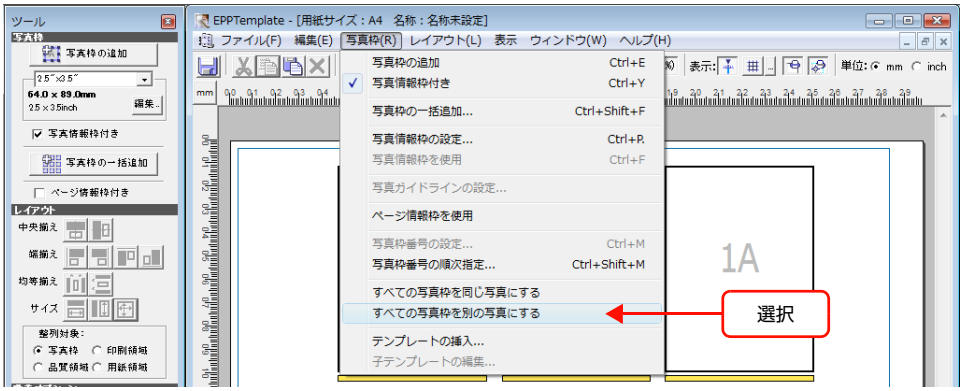
すべての写真枠を同じアルファベットに変更するには

［写真枠］メニューから［すべての写真枠を同じ写真にする］を選択します。



すべての写真枠を異なるアルファベットに変更するには

［写真枠］メニューから［すべての写真枠を別の写真にする］を選択します。写真枠番号順に A からアルファベットが付きます。

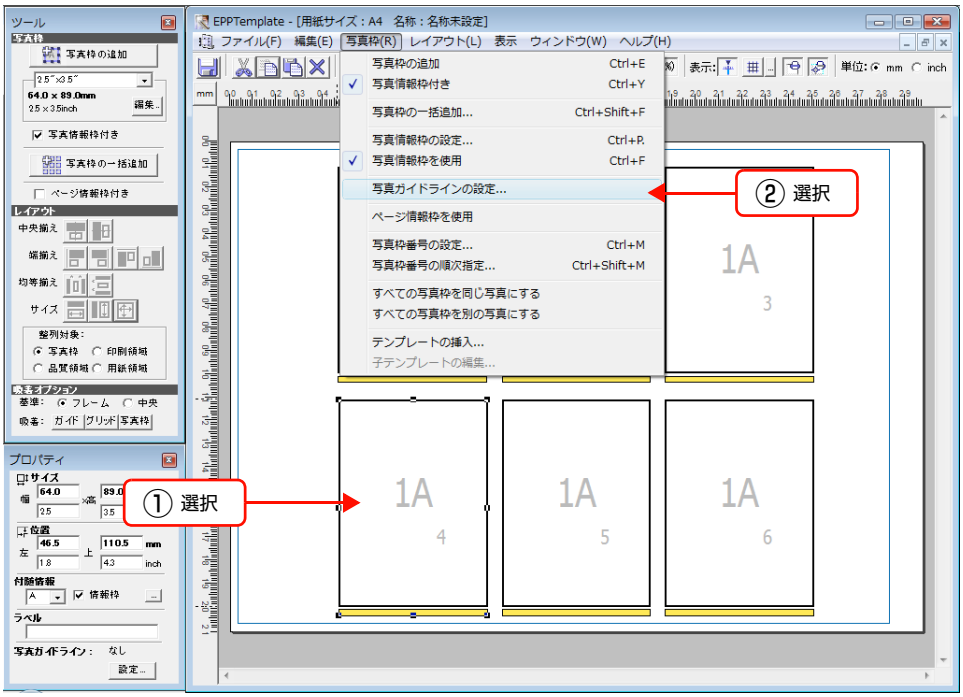


写真枠にガイドラインを付ける

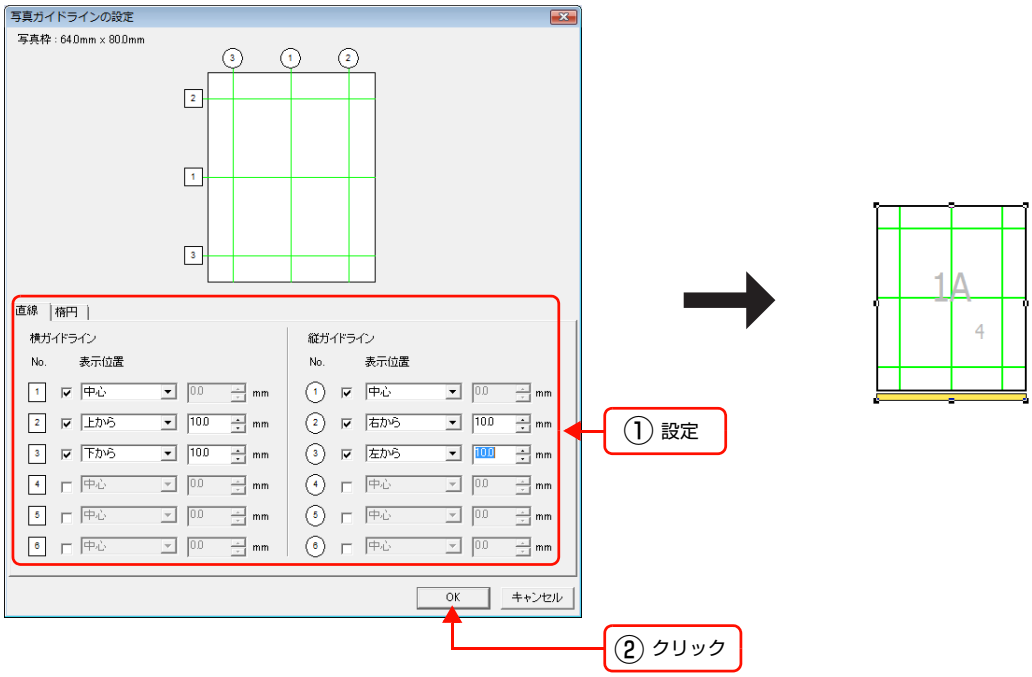
EPPLayout で写真枠内の画像位置を合わせやすいように、写真ガイドラインを EPPTemplate で付けることができます。このガイドラインは写真の位置合わせの目安として表示されるだけで、印刷されません。

写真枠にガイドラインを付けるには、以下 3 通りの方法があります。

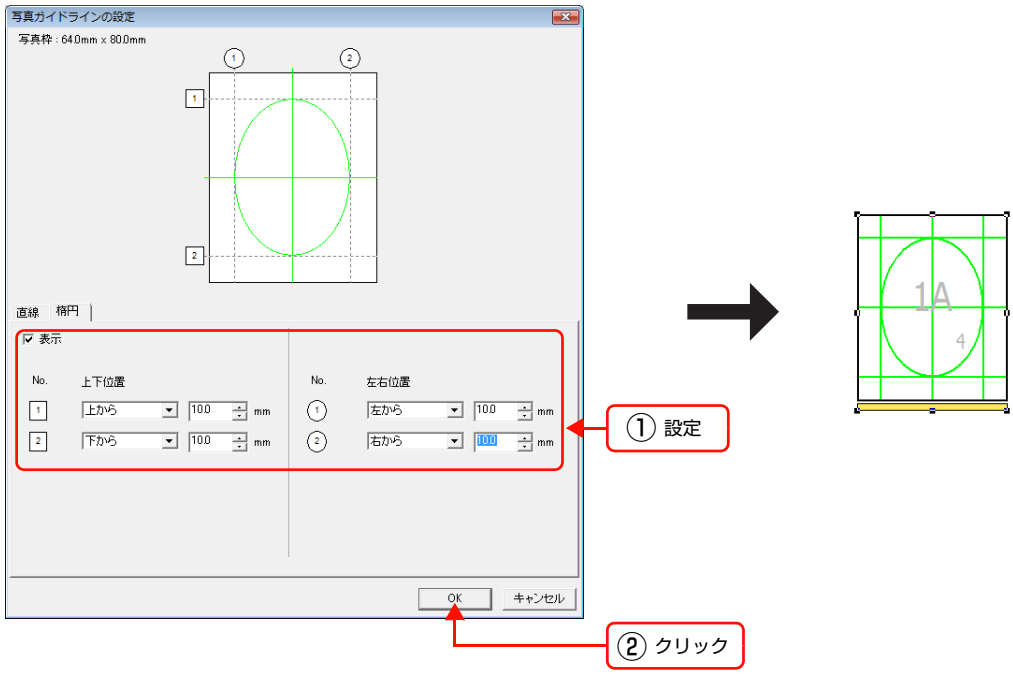
- 写真枠をひとつずつ追加する際にガイドラインを付ける場合は、91 ページ「写真枠をひとつずつ追加する」を参照し、［写真ガイド設定］画面を開いてください。
- 写真枠を一括して配置する際にガイドラインを付ける場合は、95 ページ「写真枠を一括して配置する」を参照し、［写真ガイド設定］画面を開いてください。
- 既存の写真枠にガイドラインを付ける場合は、ガイドラインを付けたい写真枠を選択して［写真メニュー］から［写真ガイドラインの設定］を選択します。



［写真ガイドラインの設定］画面が開いたら、［横 / 縦ガイドライン］をチェックし、［表示位置］メニューからガイドラインの基準位置を選択し、さらに基準位置からガイドラインまでの距離を指定します。



参考 楕円のガイドラインを設定することもできます。



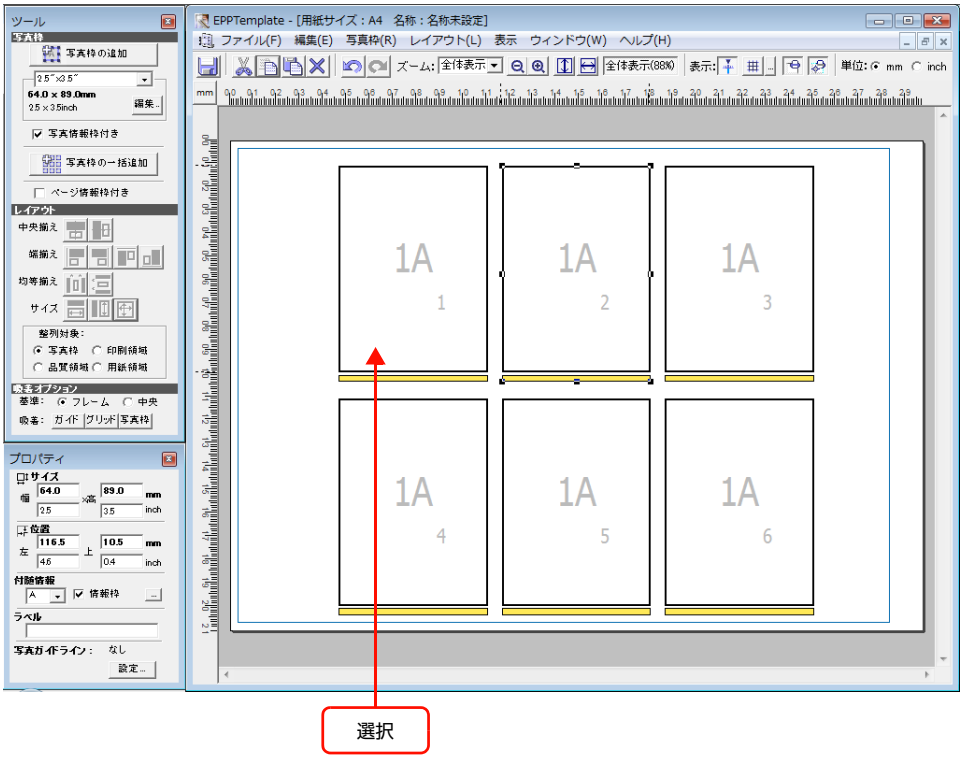
写真情報枠を編集する

写真情報枠の位置やサイズを変更したり、写真情報枠を削除または挿入できます。

> **重要** 写真情報枠が写真枠に付いていないと、EPPLayout で写真情報を挿入できません。

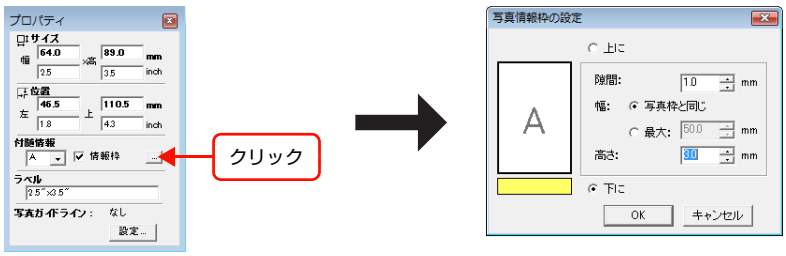
写真情報枠の位置やサイズを変更する

1 **写真情報枠の位置やサイズを変更したい写真枠を選択します。**



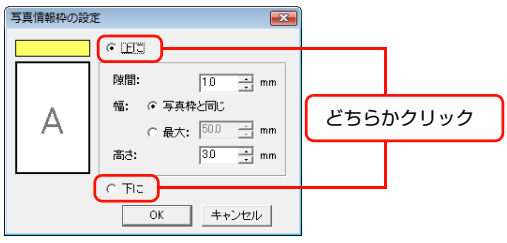
2 **［プロパティ］ウィンドウの［付随情報］の［情報枠］…をクリックします。**

［写真情報枠の設定］画面が表示されます。

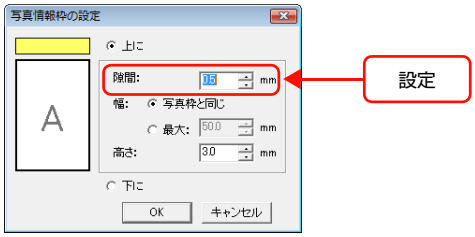


> **参考** ［写真枠］メニューから［写真情報枠の設定］を選択しても、［写真情報枠の設定］画面が表示されます。

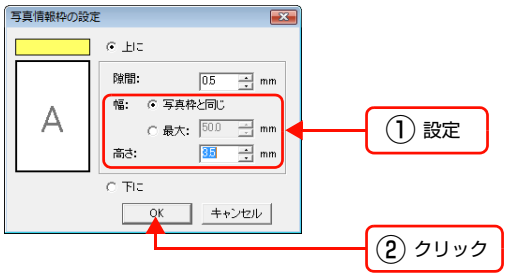
3 **［上に］または［下に］をクリックして写真情報枠を付ける位置を選択します。**



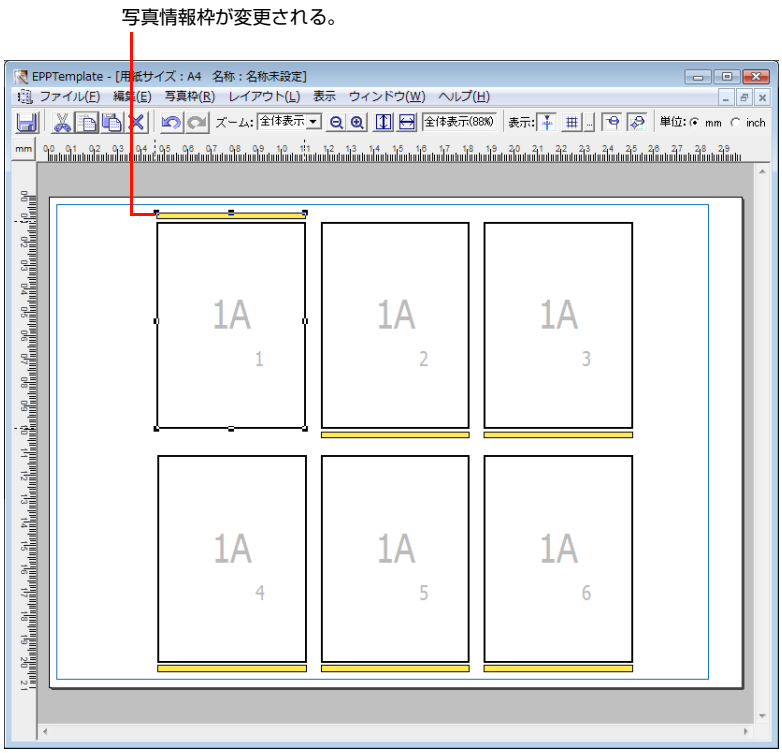
4 **［隙間］で写真枠と写真情報枠間の隙間を設定します。**



5 **写真情報枠の［幅］と［高さ］を指定し、［OK］をクリックします。**



選択した写真枠の写真情報枠が変更されます。



写真情報枠を削除するには

写真枠を選択して、［ツール］ウィンドウの［情報枠］のチェックを外すか、［写真枠］メニューから［写真情報枠を使用］のチェックを外します。

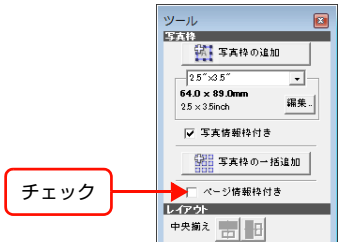
写真情報枠を付けるには

写真枠を選択して、［ツール］ウィンドウの［情報枠］をチェックするか、または［写真枠］メニューの［写真情報枠を使用］をチェックします。

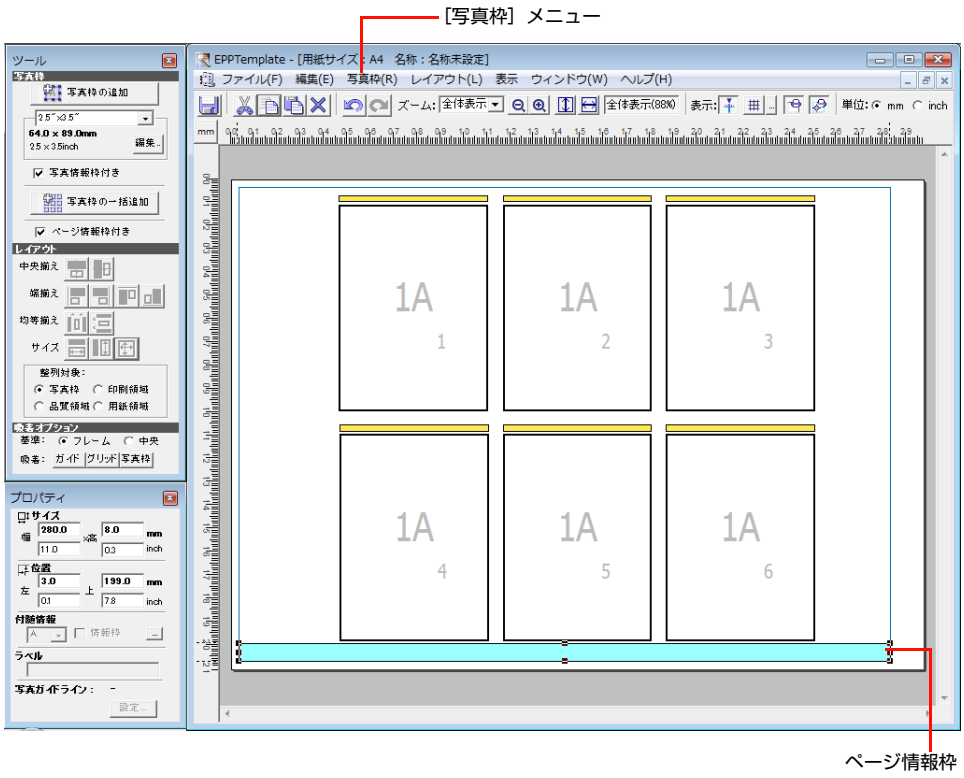
ページ情報枠を挿入する

ページ情報枠を付けると、EPPLayout で写真情報を挿入できます。

1 **［ツール］ウィンドウにある［写真枠］エリアの［ページ情報枠付き］をチェックします。**



ページ情報枠が青で表示されます。



> **参考** ［写真枠］メニューの［ページ情報枠を使用］をチェックしても、ページ情報枠が表示されます。

ページ情報枠のサイズや位置を変更する

サイズを変更する

ページ情報枠をクリックすると、上下左右の辺と角にハンドルが表示されます。ハンドルにポインタを合わせ、ドラッグしてサイズを変更します。［プロパティ］ウィンドウの［サイズ］の［幅］と［高さ］に数値を入力してもサイズを変更できます。

位置を変更する

ポインタをページ情報枠内に合わせ、ドラッグします。［プロパティ］ウィンドウの［位置］の［左］と［上］に数値を入力しても位置を変更できます。［左］には用紙の左端からの距離を、［上］には用紙の上からの距離を入力します。

ページ情報枠を削除するには

［ツール］ウィンドウの［ページ情報枠付き］のチェックを外すか、［写真枠］メニューから［ページ情報枠を使用］のチェックを外します。

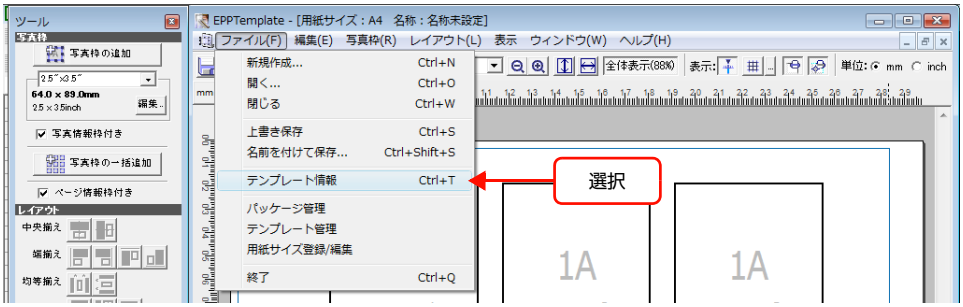
テンプレートの新規作成または編集が終了したら

テンプレートファイルをサーバへ保存する前に、テンプレートの名称を設定します。次に、テンプレートのファイル名を設定してローカルフォルダに保存します。

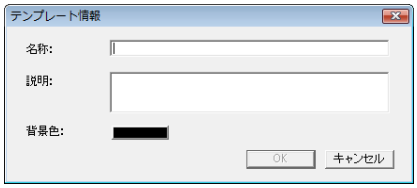
テンプレートの名称を設定する

テンプレートをサーバに保存するには、テンプレートの名称が必要です。

1 **［ファイル］メニューから［テンプレート情報］を選択します。**

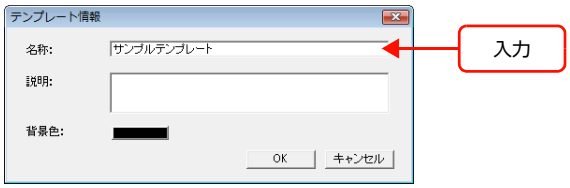


［テンプレート情報］画面が表示されます。



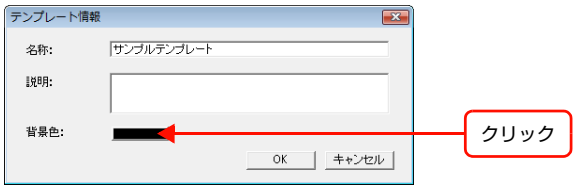
2 **［名称］にテンプレートの名称を入力し、必要に応じて［説明］にメモを入力します。**

［説明］には半角で 250 文字、全角で 125 文字まで入力できます。



!重要 テンプレートの名称には、ASCII8 ビットコード表の 80 ～ FF の間の文字は使用できません（全角文字には制限はありません）。

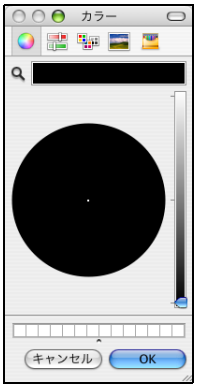
3 ［背景色］をクリックします。



EPPLayout でテンプレートを一覧表示したときの背景色を設定します。どのテンプレートを編集したかを簡単に確認できます。



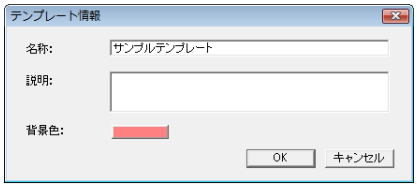
Mac OS の場合は、以下の画面で設定します。
色のモードを［カラーホイール］、［カラーつまみ］、［カラーパレット］、［イメージパレット］、［クレヨン］の 5 種類から選択できます。クレヨンには基本的な色が用意されています。［クレヨン］でお好みに近い色を選択し、用途に応じてほかのモードを選択してから色を微調整する方法もあります。



4 ［OK］をクリックします。



［背景色］に選択した色が表示されます。



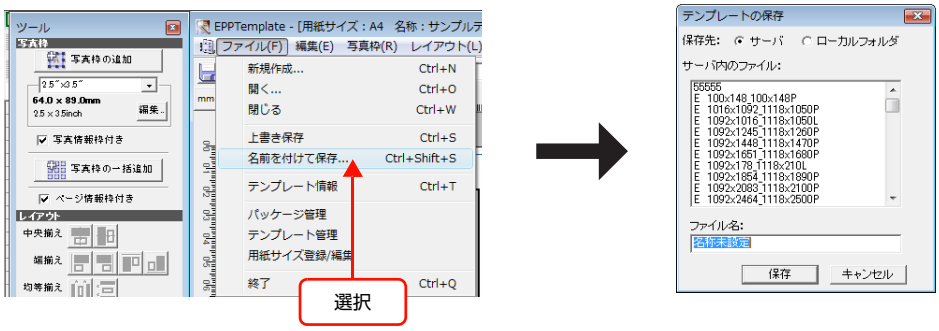
テンプレートをローカルフォルダに保存する

テンプレートの名称を設定したら、以下の手順でテンプレートをローカルフォルダに保存します。ローカルフォルダにテンプレートを保存せずに、サーバに保存することもできますが、テンプレートの破損や消失に備えてローカルフォルダにも保存しておくことをお勧めします。

新規作成したテンプレートをローカルフォルダに保存する

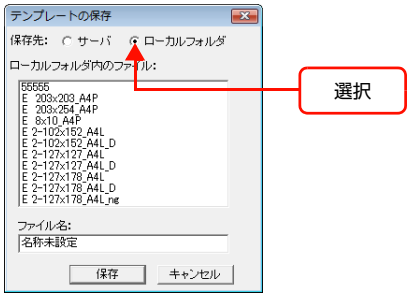
テンプレートを新規に作成した場合は、次の手順で保存します。

1 **［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択します。**
［ローカルフォルダに保存］画面が表示されます。



> **参考**　ツールバーの［上書き保存］ボタンをクリックしても、［テンプレートの保存］画面が表示されます。

2 **［保存先］で［ローカルフォルダ］を選択します。**



3 **［ファイル名］にテンプレートのファイル名を入力します。**



4 **［保存］をクリックします。**
テンプレートファイルが新規保存されます。

編集したテンプレートをローカルフォルダに保存する

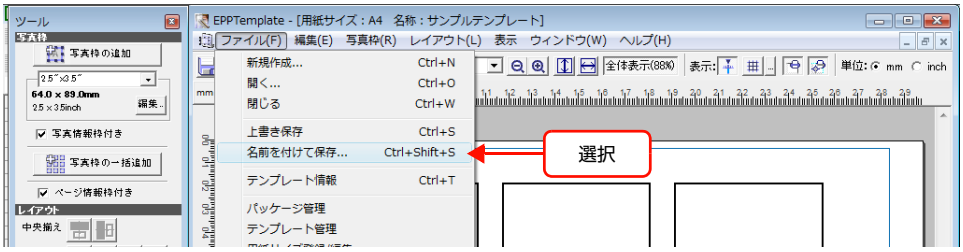
編集したテンプレートを上書き保存または新規保存できます。

編集したテンプレートを上書き保存する場合

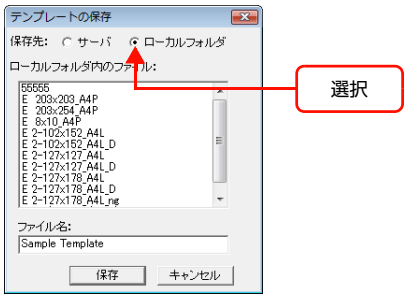
［ファイル］メニューから［上書き保存］を選択し、［保存］をクリックします。
新しいファイルが上書き保存されます。

編集したテンプレートを別名で保存する場合

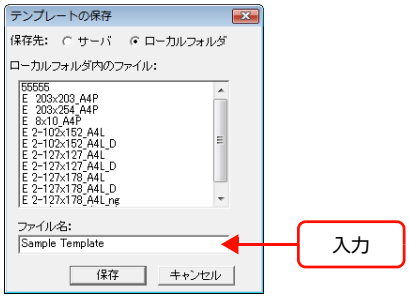
1 **［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］を選択します。**
［テンプレートの保存］画面が表示されます。



2 **［保存先］で［ローカルフォルダ］を選択します。**



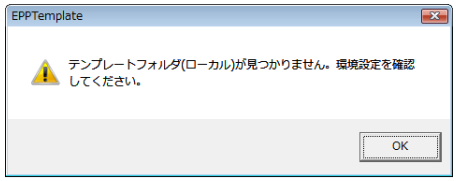
3 **［ファイル名］にテンプレートのファイル名を入力します。**



4 **［保存］をクリックします。**
テンプレートファイルが別名で保存されます。

参考

- ［環境設定］で指定されているフォルダに保存されます。指定されていない場合は以下の画面が表示されます。



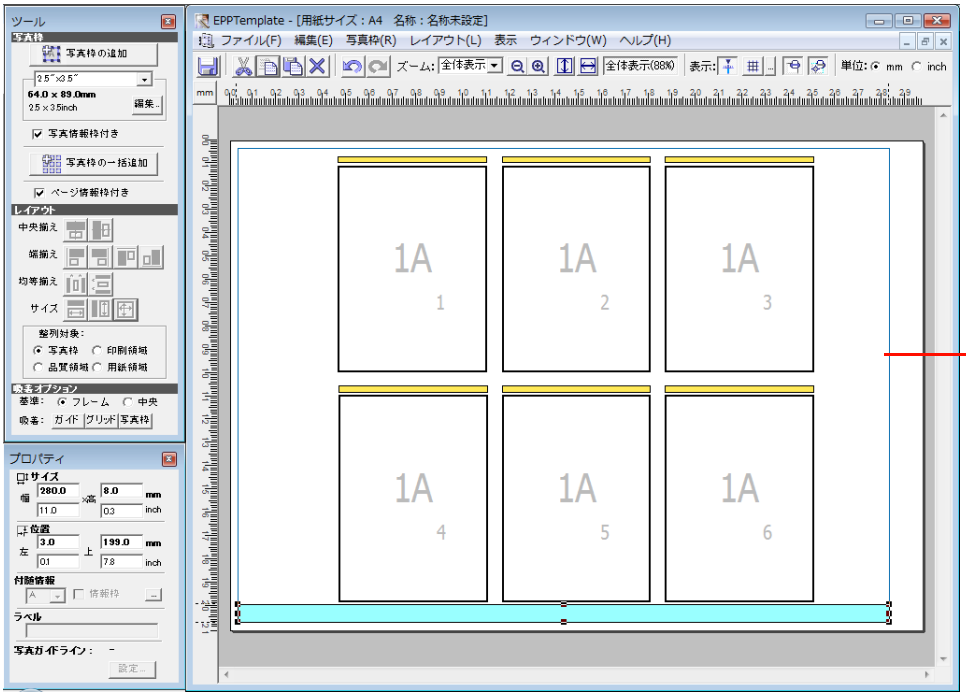
- ファイル名を別名に変更しないで［保存］をクリックすると、すでに保存されている同じ名前のテンプレートファイルと上書きしてもよいかというメッセージ画面が表示されます。上書きする場合は、［はい］をクリックします。キャンセルする場合は、［キャンセル］をクリックします。

テンプレートをサーバに保存する

新規作成したテンプレートや編集したテンプレートをサーバに保存できます。テンプレートが保存されると、サーバによって各クライアントコンピュータのテンプレートが更新され、複数のユーザーで新しいテンプレートを使うことができます。

> **参考** テンプレートファイルをサーバへ保存する前に、テンプレートの名称とファイル名を設定し、ローカルフォルダに保存してください。
> ☞ 本書 124 ページ「テンプレートの名称を設定する」
> ☞ 本書 126 ページ「テンプレートをローカルフォルダに保存する」

1 **テンプレート編集画面に保存するテンプレートが表示されていることを確認します。**



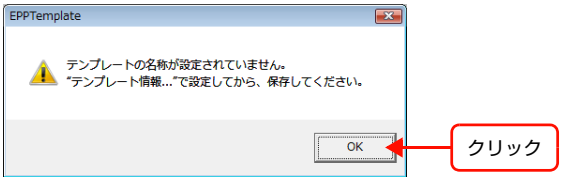
2 **［ファイル］メニューから［名前を付けて保存］または［上書き保存］を選択します。**

［テンプレートの保存］画面が表示されます。［サーバ］を選択すると、サーバ内のファイルリストと保存するテンプレートのファイル名が表示されます。



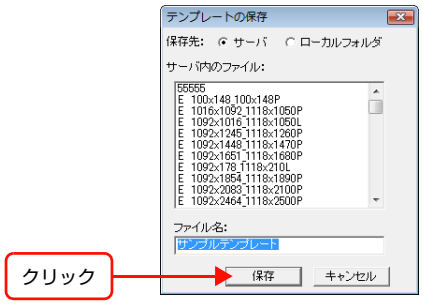
重要

- テンプレートに名称が設定されていないと、次のメッセージ画面が表示されます。[OK] をクリックし、124 ページ「テンプレートの名称を設定する」の操作を行って名称を設定してください。

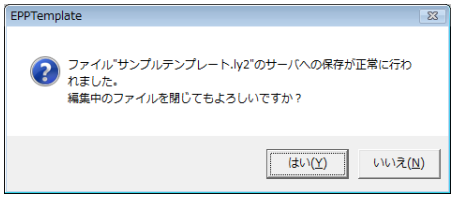


- テンプレートをローカルフォルダに保存してない場合は、[テンプレートの保存] 画面の [ファイル名] が [名称未設定] と表示されます。ファイル名を入力するか、[キャンセル] をクリックして画面を閉じ、126 ページ「テンプレートをローカルフォルダに保存する」の操作を行ってローカルフォルダに保存します。ローカルフォルダに保存した場合は、この手順から操作をやり直してください。

3 [保存先] で [サーバ] が選択されていることを確認して、[保存] をクリックします。



ローカルフォルダに保存していないファイルをサーバに保存した場合は、次のようなメッセージ画面が表示されます。



ファイルを閉じる場合は［はい］をクリックします。ファイルをローカルフォルダに保存したい場合は［いいえ］をクリックして、126 ページ「テンプレートをローカルフォルダに保存する」の操作を行って、ローカルフォルダに保存してください。

参考

- 編集する前に、テンプレートファイルにロックを掛けていた場合は、サーバに保存すると自動的にロックが解除されます。
- サーバ内に同じ名前のファイルがある場合、[保存] をクリックすると上書きしてもよいかというメッセージ画面が表示されます。上書きするときは［はい］を、上書きしないときは［いいえ］をクリックします。
- EPPLayout をすでに起動させている場合、テンプレートファイルがサーバに保存されると、EPPLayout 画面にテンプレートファイルを更新するか確認のメッセージ画面が表示されます。
  ［はい］をクリックすると更新されますが、作業中のレイアウトは破棄されます。
  ［いいえ］をクリックすると更新されず、引き続きレイアウト作業が行えます。この場合は、次回、テンプレートファイルが保存されたときに更新できます。また、レイアウト作業中に更新したくない場合は、EPPLayout を再起動させると自動的に更新されます。

重要

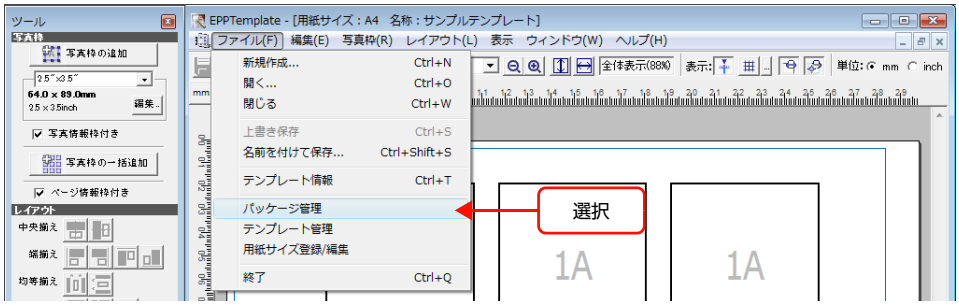
- アップデートしようとしているファイルをほかのユーザーが開いているまたはほかのユーザーがロックを掛けている場合は、エラーメッセージが表示されます。[OK] をクリックして、ファイルを閉じてから、またはロックが解除されてから保存します。詳しくは、144 ページ「[サーバ内テンプレート] からテンプレートやパッケージファイルを削除する」をご覧ください。
- サーバに接続できない場合は、[サーバ接続設定] 画面が表示されます。[プリントサーバ] をリストから選択して、[OK] をクリックします。複数のサーバを使用している場合は、保存先のサーバを間違えないようにしてください。[キャンセル] をクリックすると EPPTemplate が終了します。

パッケージを作成し、管理する

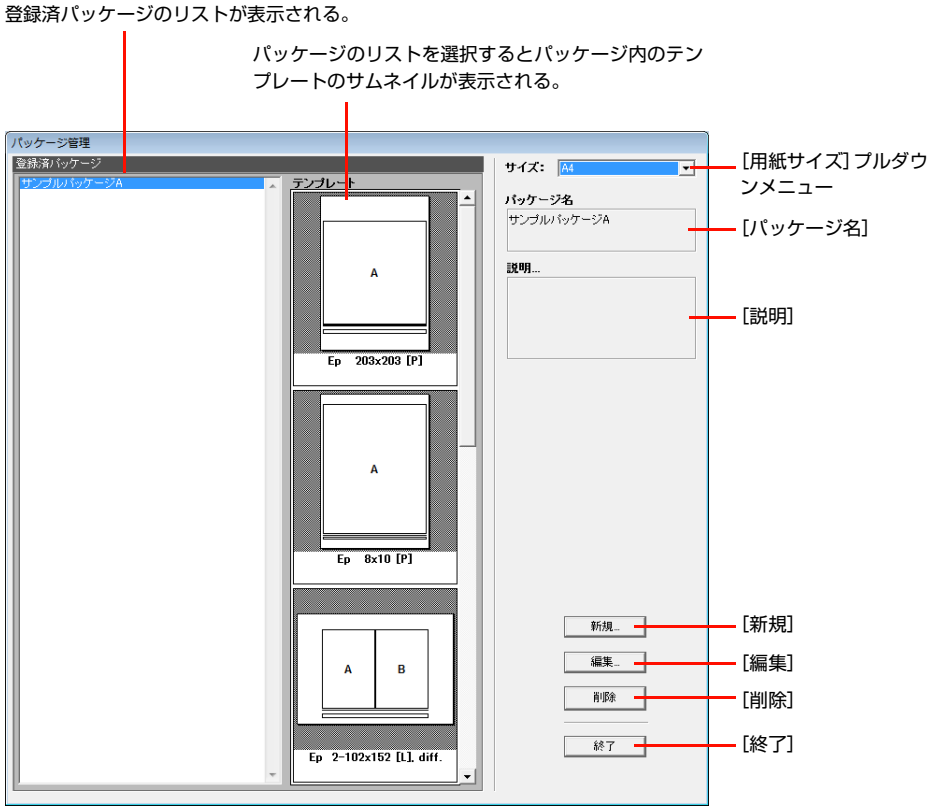
用紙サイズ別にパッケージを作成し、その中にさまざまな種類のテンプレートを入れることができます。パッケージを使うと、いろいろなサイズの写真をすばやくレイアウトできて便利です。パッケージは、パッケージファイルとしてサーバに保存できます。

［パッケージ管理］画面でパッケージの作成や編集、保存したパッケージの削除ができます。

［ファイル］メニューから［パッケージ管理］を選択します。



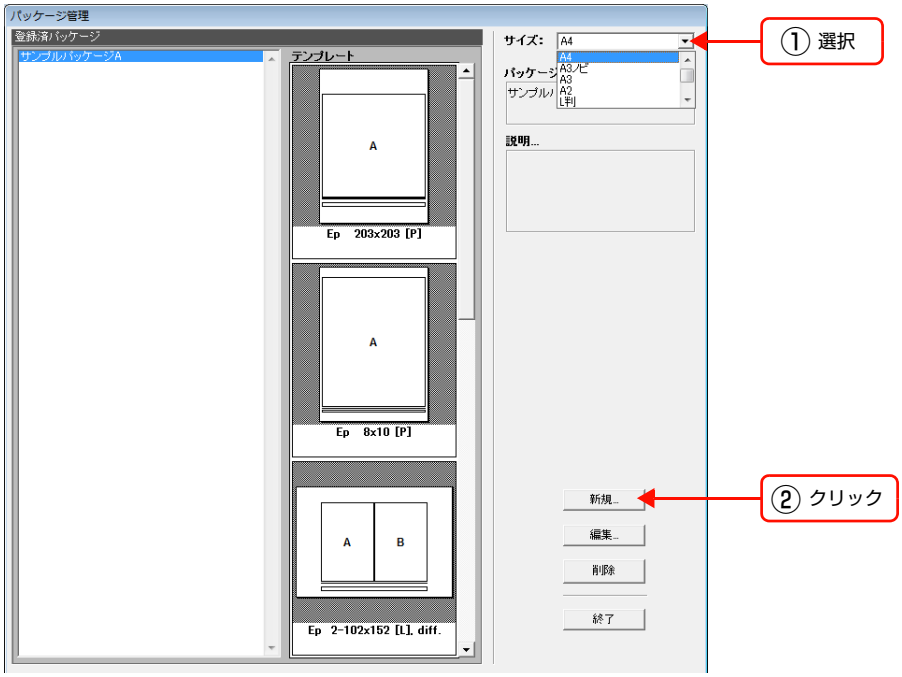
［パッケージ管理］画面が表示されます。



パッケージを新規作成する

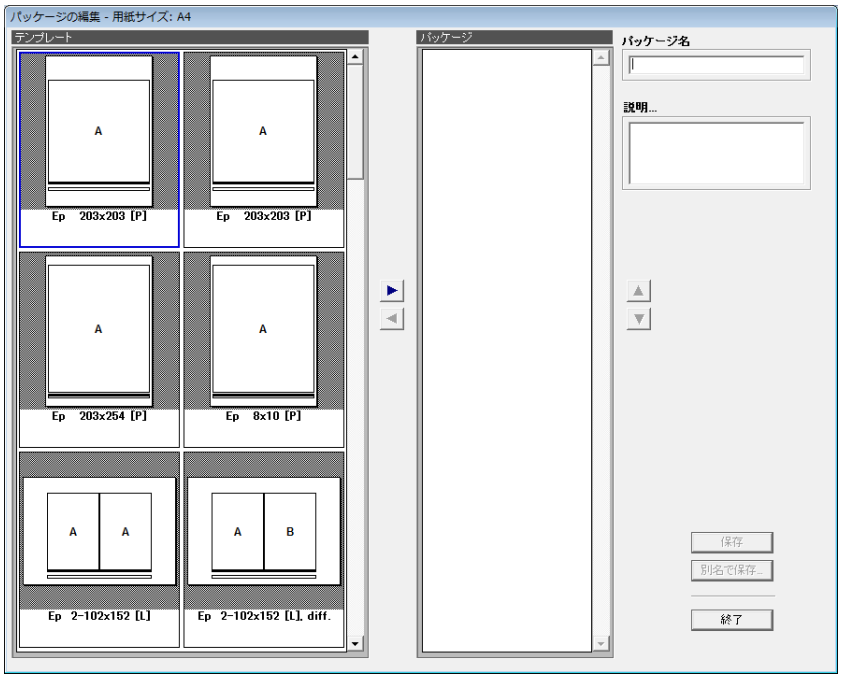
パッケージは EPPTemplate が接続しているサーバに保存されます。

1 **［サイズ］プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択し、［新規］をクリックします。**



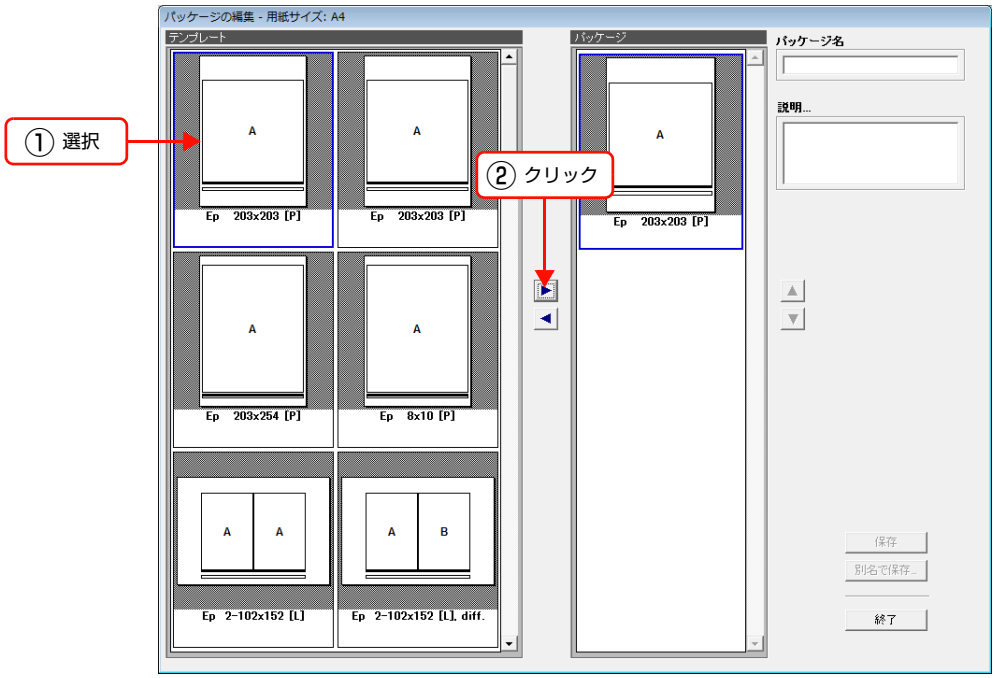
参考　ひとつのパッケージの中に、異なる用紙サイズのテンプレートを入れることはできません。

［パッケージの編集］画面が表示されます。



2 **[テンプレート] エリアのテンプレートのサムネイルを選択し ▶ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。**

[パッケージ] エリアに選択したテンプレートのサムネイルが表示されます。

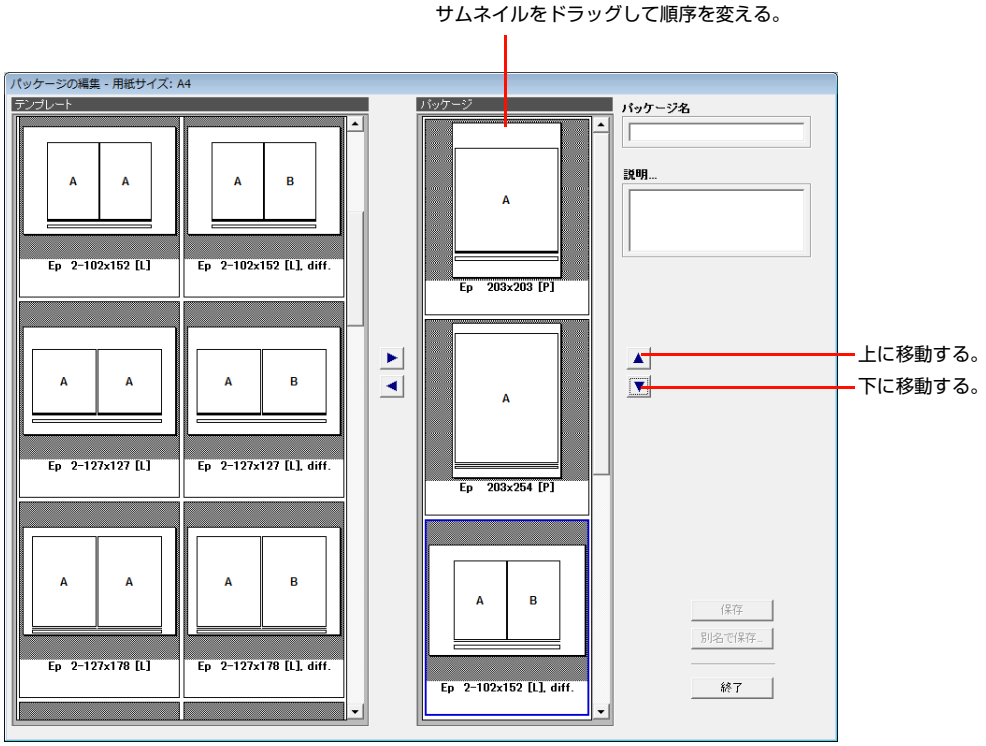


パッケージからテンプレートを削除するには

[パッケージ] エリアのサムネイルを選択し、◀ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。

パッケージのテンプレートを並び替えるには

サムネイルをドラッグして並び替えます。または、サムネイルを選択し ▲ をクリックして上に移動したり、▼ をクリックして下に移動します。



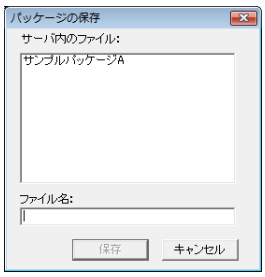
3 **［パッケージ名］にパッケージの名称を入力し、必要であれば［説明］にメモを入力して［保存］をクリックします。**

パッケージの名称は、EPPLayout でのパッケージ名としても表示されます。

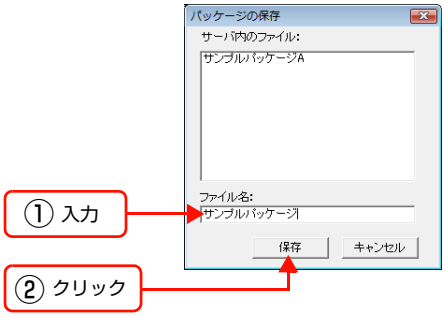


> **参考** ［パッケージ名］を入力しないと［保存］をクリックできません。

［パッケージの保存］画面が表示されます。



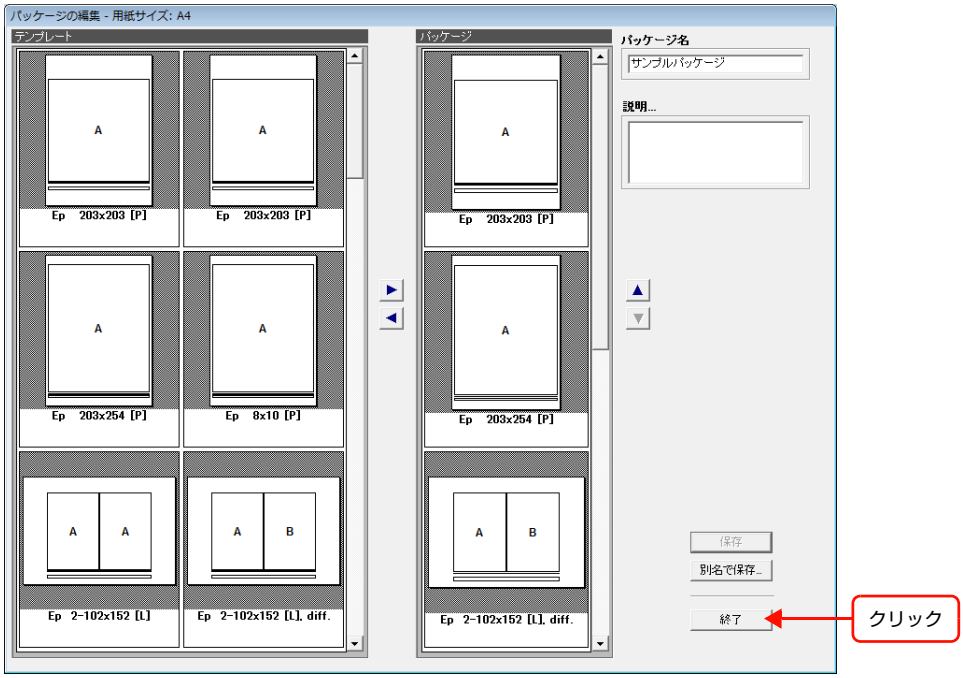
4 **パッケージのファイル名を入力して、［保存］をクリックします。**



サーバに新しいパッケージが追加されます。

> **参考** サーバ内に同じファイル名がある場合は、上書きしてもよいかというメッセージが表示されます。上書きする場合は［はい］を、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

5 **［終了］をクリックして［パッケージ編集］画面を閉じます。**

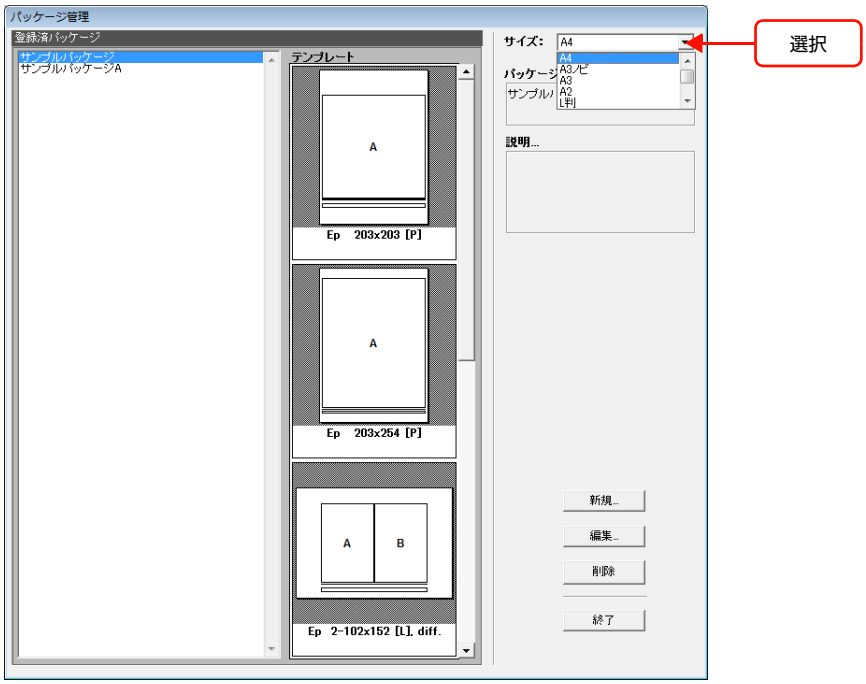


［パッケージ管理］画面に戻ります。

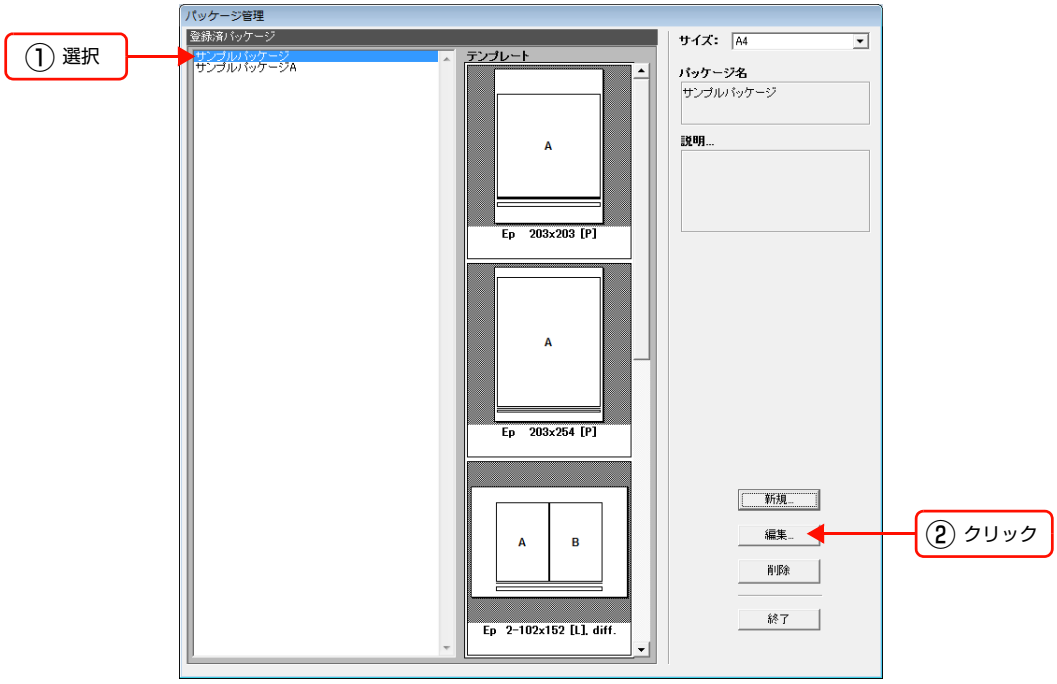
パッケージを編集する

登録されているパッケージを編集できます。

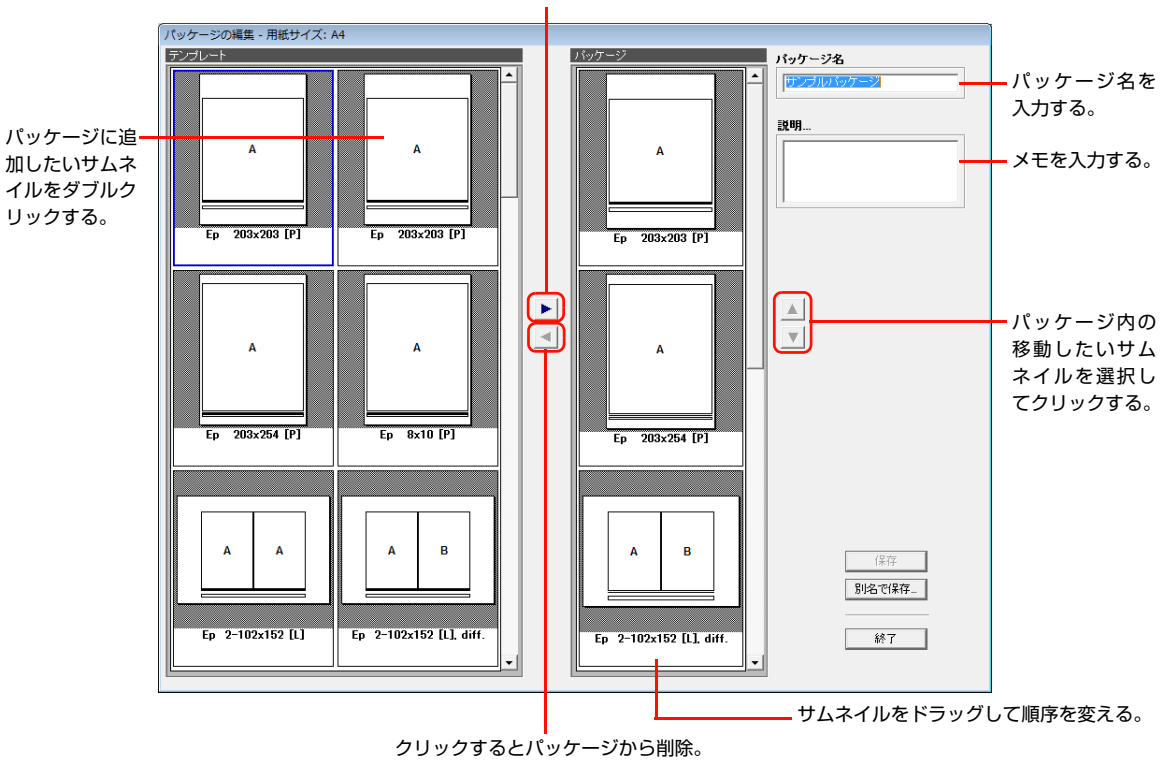
1 **［サイズ］プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。**



2 **[登録済パッケージ] リストから編集したいパッケージを選択し、[編集] をクリックするか、[登録済パッケージ] リストの編集したいパッケージをダブルクリックします。**



[パッケージ編集] 画面が表示されます。テンプレートの追加、削除、順序の変更、パッケージ名やメモの変更ができます。



パッケージにテンプレートを追加するには

[テンプレート] エリアのテンプレートのサムネイルを選択し ▶ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。

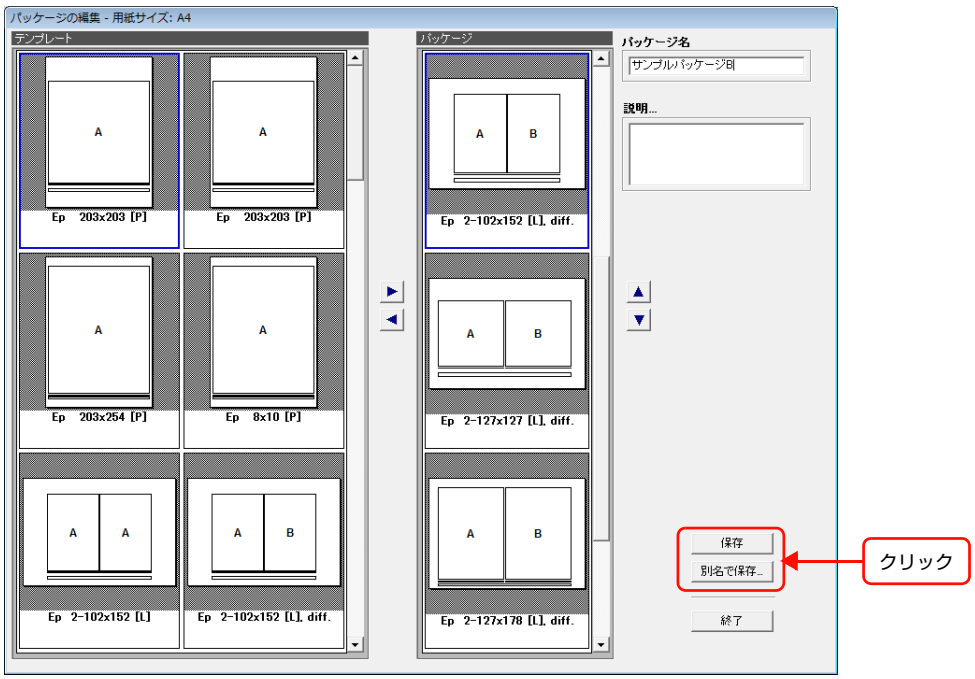
パッケージからテンプレートを削除するには

[パッケージ] エリアのサムネイルを選択し ◀ をクリックするか、サムネイルをダブルクリックします。

パッケージのテンプレートを並び替えるには

順序を変えたいサムネイルをドラッグして並び替えます。または、サムネイルを選択し、▲をクリックして上に移動したり、▼をクリックして下に移動します。

3 ［保存］または［別名で保存］をクリックします。



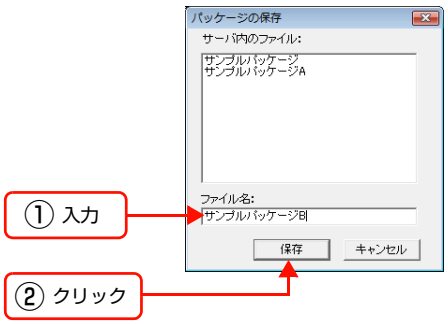
[保存]をクリックした場合

サーバ内のファイルが上書きされます。

［終了］をクリックして［パッケージ編集］画面を閉じます。

[別名で保存]をクリックした場合

① ［パッケージの保存］画面に別名で保存するパッケージのファイル名を入力し、［保存］をクリックします。
サーバ内に別名で保存されます。



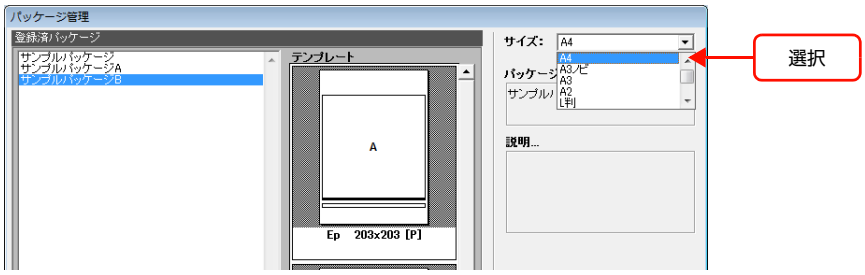
② ［パッケージ編集］画面の［終了］をクリックして［パッケージ編集］画面を閉じます。

!重要	パッケージはローカルフォルダに保存できません。テンプレートだけを保存できます。

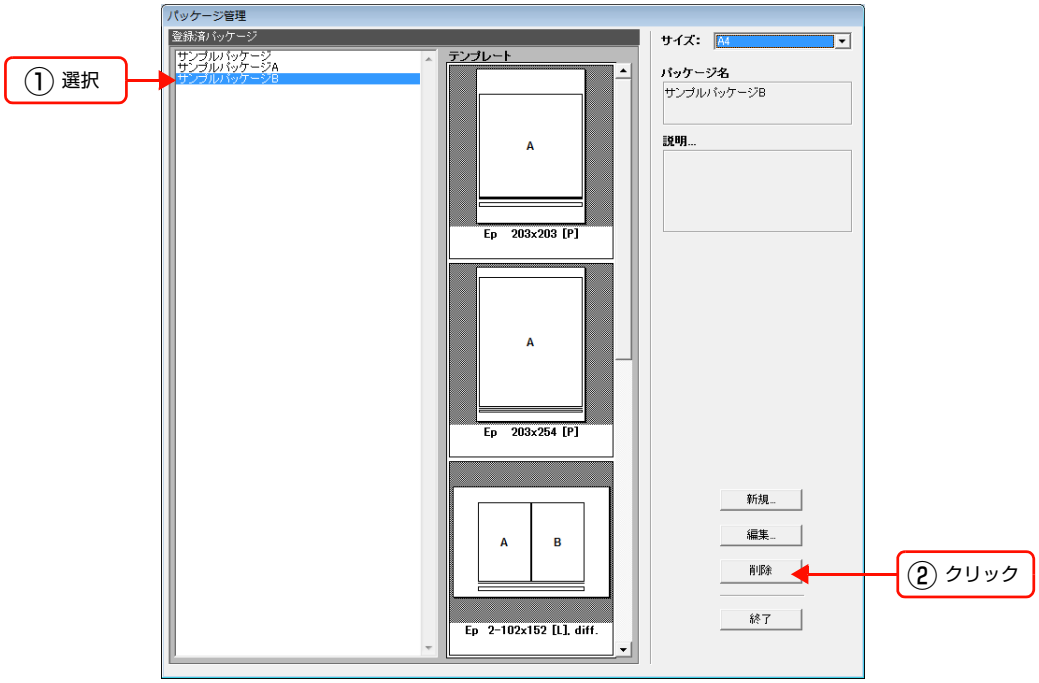
保存したパッケージを削除する

パッケージは接続しているサーバから削除されます。

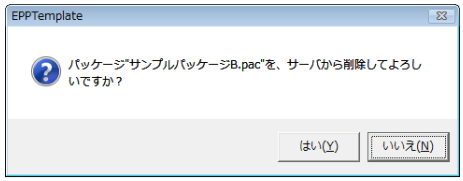
1 **［サイズ］プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。**



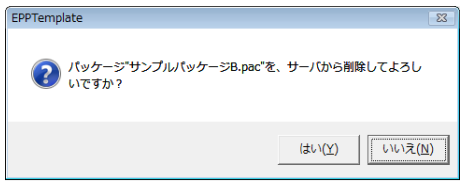
2 **［登録済パッケージ］リストから削除したいパッケージを選択し、［削除］をクリックします。**



次のようなメッセージ画面が表示されます。



3 **削除する場合は［はい］、キャンセルする場合は［いいえ］をクリックします。**



［はい］をクリックした場合は、選択されたパッケージが削除されます。［終了］をクリックして［パッケージ管理］画面を閉じます。

テンプレートを管理する

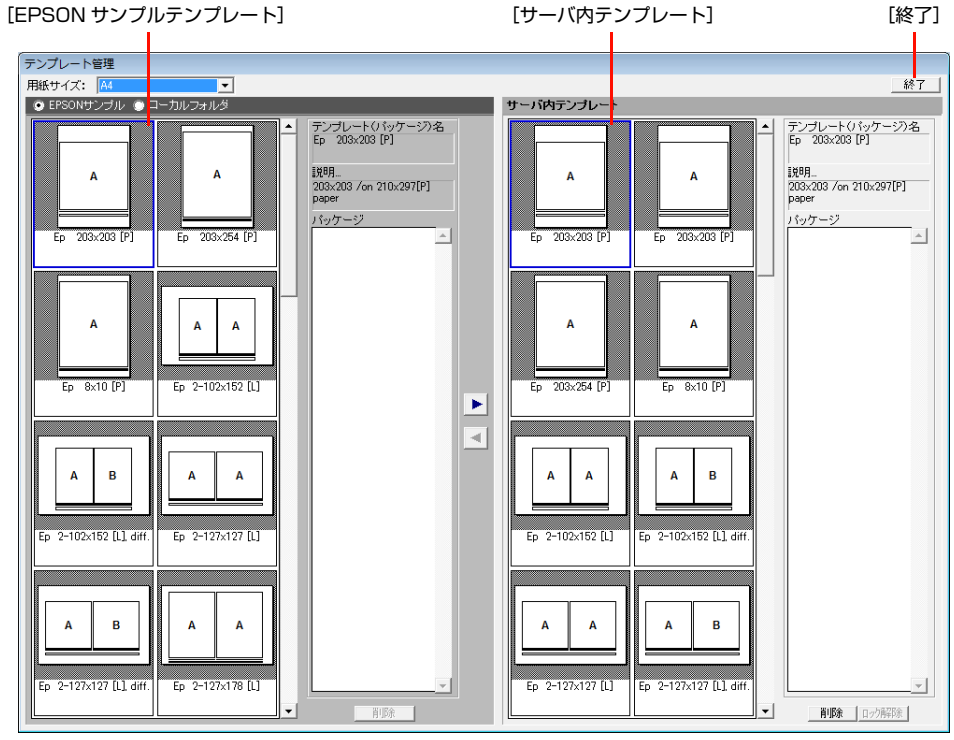
[テンプレート管理]画面は[EPSON サンプルテンプレート]エリアと[サーバ内テンプレート]エリアに分かれています。

- [EPSON サンプルテンプレート] エリアには、あらかじめ用意されているサンプルテンプレートやパッケージファイルがサムネイルに表示されます。
- [サーバ内テンプレート] エリアには、ユーザーがサーバに保存したテンプレートやパッケージファイルがサムネイル表示されます。これらのテンプレートやパッケージファイルは EPPLayout でテンプレートを選択するときに表示されます。

[テンプレート管理] 画面では [EPSON サンプルテンプレート] や [ローカルフォルダ] のファイルを [サーバ内テンプレート] にコピーしたり、[サーバ内テンプレート] のファイルを削除できます。また、[EPSON サンプルテンプレート] 、[ローカルフォルダ] 、[サーバ内テンプレート] のファイルをクライアントコンピュータのフォルダに保存できます。さらに、[サーバ内テンプレート] のファイルのロックを解除できます。

[テンプレート管理] 画面を表示するには、[ファイル] メニューから [テンプレート管理] を選択します。





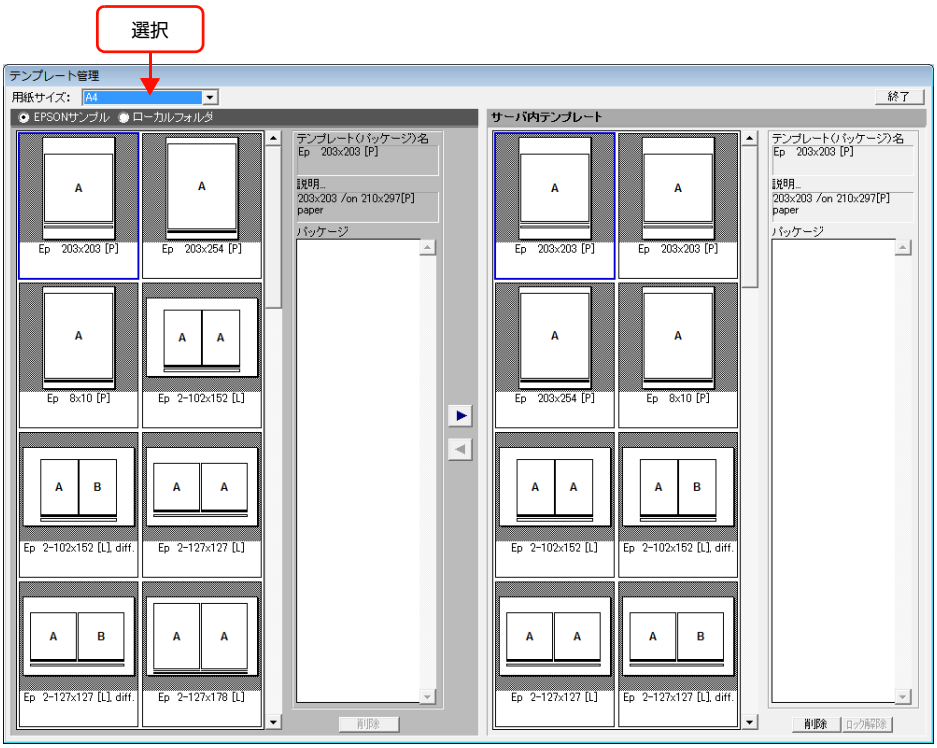
[テンプレート管理]画面を終了するには

テンプレートやパッケージのコピーや削除などの操作が終わったら、[終了] をクリックして [テンプレート管理] 画面を閉じます。

[サーバ内テンプレート]にコピーする

[EPSON サンプルテンプレート] や [ローカルフォルダ] のファイルを [サーバ内テンプレート] にコピーします。

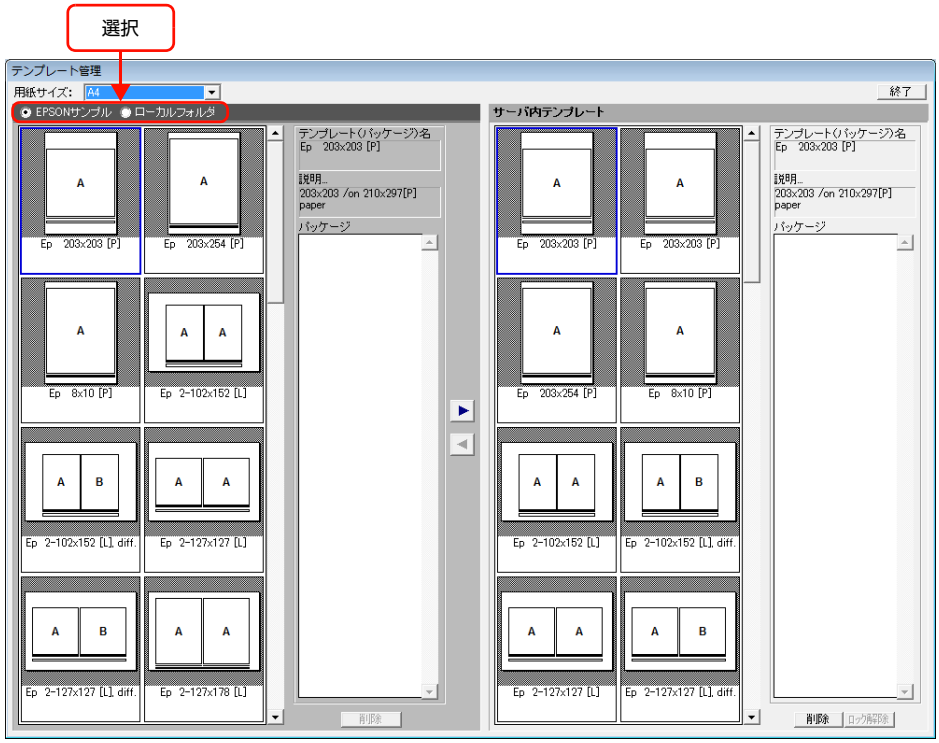
1 **[用紙サイズ] プルダウンメニューでテンプレートの用紙サイズを選択します。**



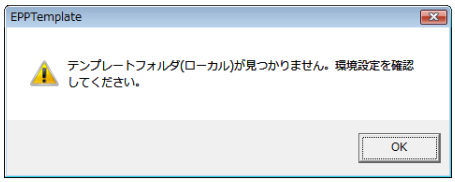
2 [EPSON サンプル] または [ローカルフォルダ] を選択します。

[EPSON サンプル] を選択すると [EPSON サンプルテンプレート] のテンプレートやパッケージのサムネイルが表示されます。

[ローカルフォルダ] を選択すると [環境設定] で指定されたフォルダ内のテンプレートやパッケージのサムネイルが表示されます。

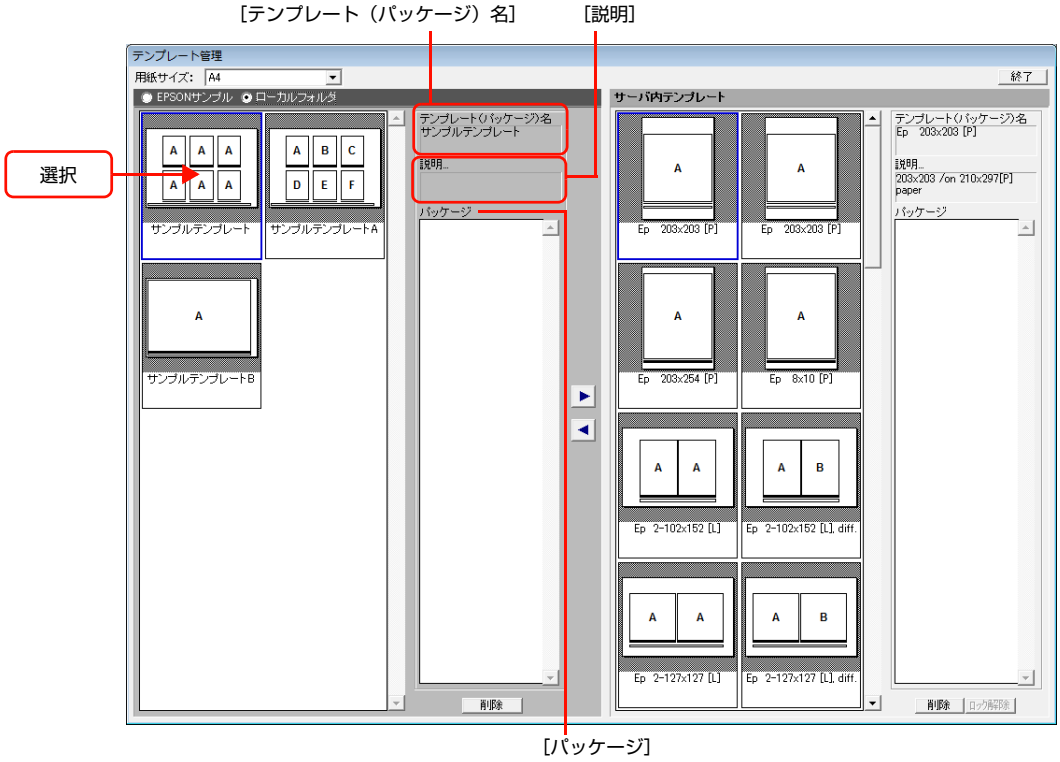


重要 [環境設定] で指定されているローカルフォルダがないときは、下のようなメッセージを表示されます。[環境設定] の設定を確認してください。



3 [EPSON サンプルテンプレート] や [ローカルフォルダ] からコピーしたいテンプレートやパッケージのサムネイルを選択します。

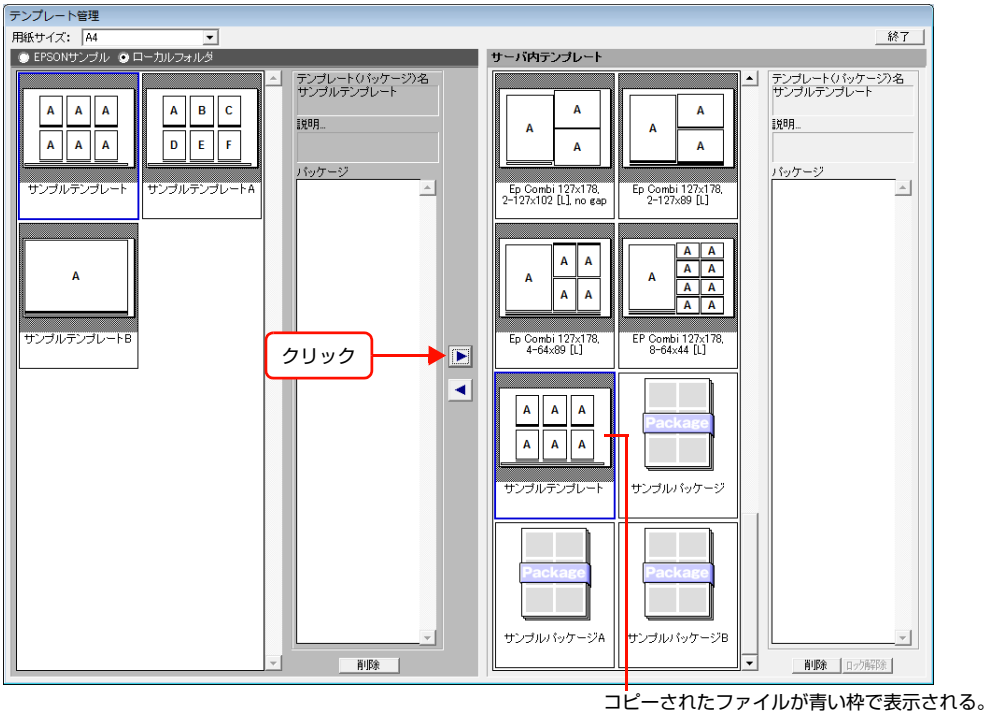
[テンプレート（パッケージ）名] には選択したテンプレートやパッケージ名が表示されます。[説明] にはテンプレートのサイズやパッケージの内容などが表示されます。[パッケージ] には、パッケージに入っているテンプレートが表示されます。



参考 パッケージファイルをコピーすると、パッケージに入っているテンプレートファイルも一緒にコピーされます。

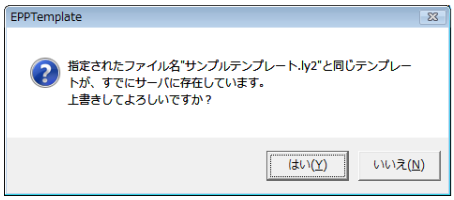
4 ▶ボタンをクリックします。

選択したテンプレートやパッケージファイルが、[サーバ内テンプレート] にコピーされます。コピーされたサムネイルは青い枠で囲まれます。



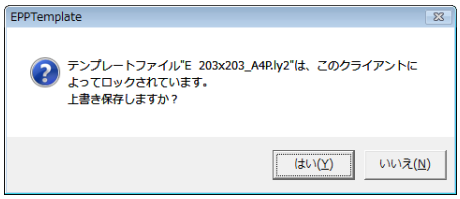
テンプレートファイルを上書きするときに表示されるメッセージ画面について

- ［サーバ内テンプレート］に同じファイル名のテンプレートファイルがあると、次のメッセージ画面が表示されます。



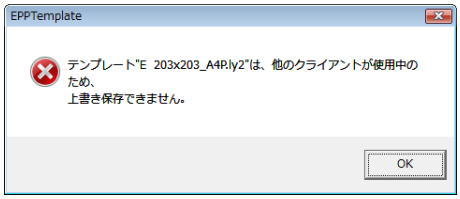
上書きする場合は［はい］、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

- ユーザー自身がロックしたテンプレートファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示されます。

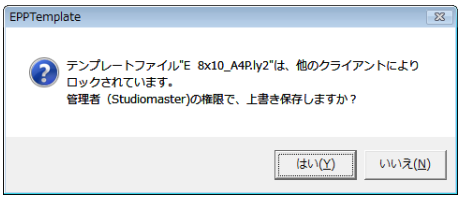


上書きする場合は［はい］、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

- ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示されます。ロックが解除されるまで上書きするのを待つか、別のファイル名で保存してください。



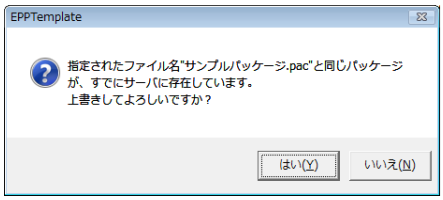
- ユーザーが Studiomaster である場合には、ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示されます。



上書きする場合は［はい］、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

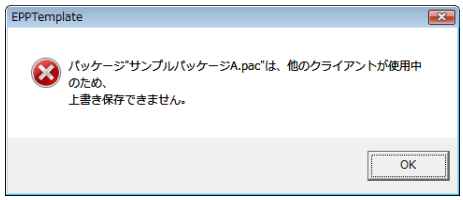
パッケージファイルを上書きするときのメッセージについて

- ［サーバ内テンプレート］に同じファイル名のパッケージファイルがあると、次のメッセージ画面が表示されます。

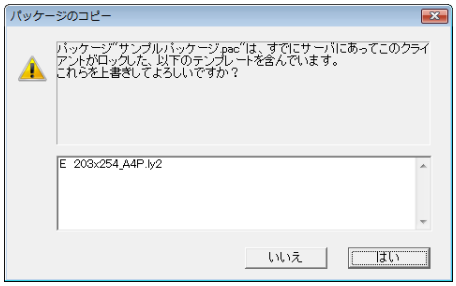


上書きする場合は［はい］、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

- ほかのユーザーが［パッケージ管理］画面で編集中のパッケージファイルを上書きしようとすると、次のメッセージ画面が表示され、編集が終了するまで上書きできません。

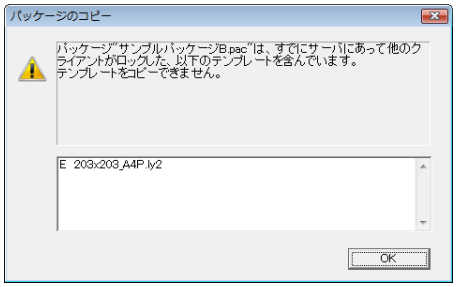


- ユーザー自身がロックしたテンプレートファイルがパッケージに入っていると、次のメッセージ画面が表示されます。

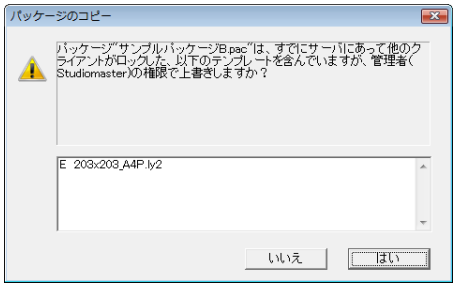


上書きする場合は［はい］、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

- ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルがパッケージに入っていると、次のメッセージ画面が表示され、ロックが解除されるまで上書きできません。



- ユーザーが Studiomaster である場合には、ほかのユーザーによってロックされているテンプレートファイルがパッケージに入っていると、次のメッセージ画面が表示されます。

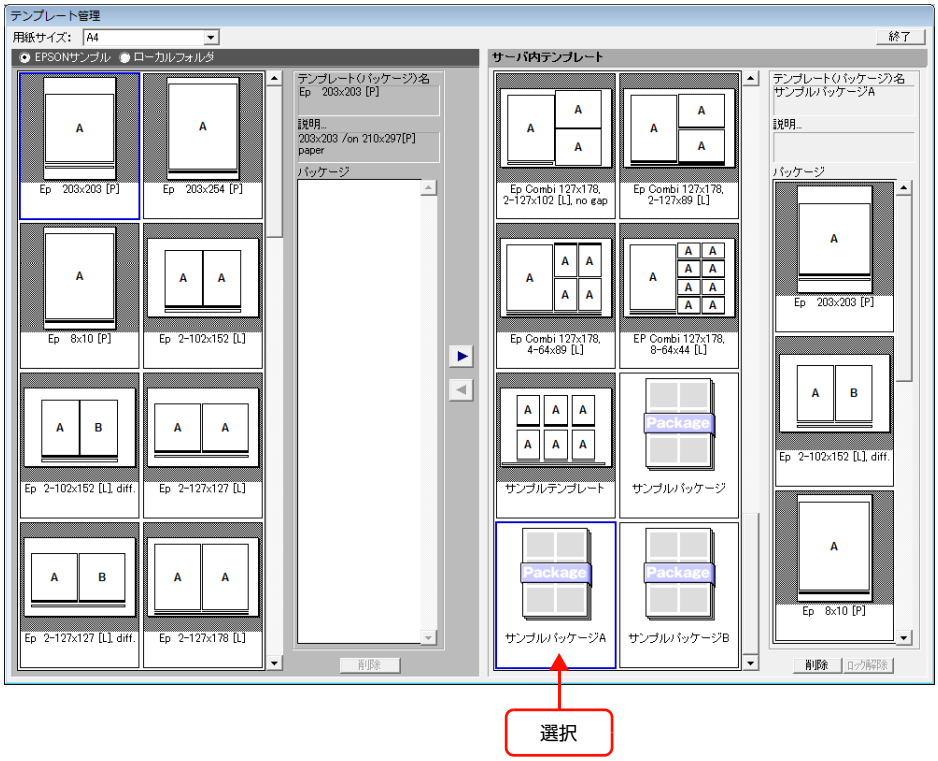


上書きする場合は［はい］、上書きしない場合は［いいえ］をクリックします。

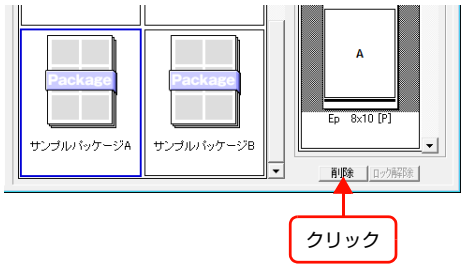
[サーバ内テンプレート]からテンプレートやパッケージファイルを削除する

テンプレートやパッケージは接続しているサーバから削除されます。

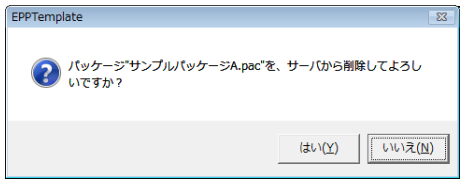
1 **[サーバ内テンプレート] のサムネイルから削除したいテンプレートやパッケージファイルを選択します。**



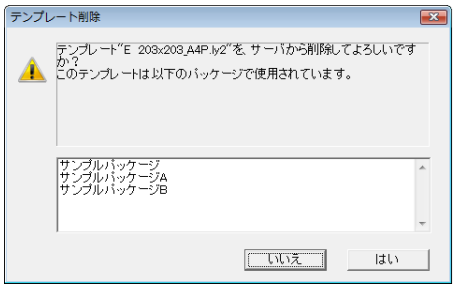
2 **[削除] をクリックします。**



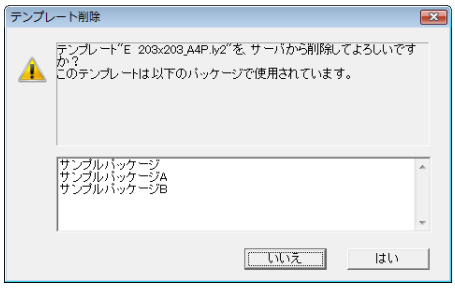
次のメッセージ画面が表示されます。



選択したテンプレートがパッケージの中にある場合は、次のメッセージが表示されます。



3 **削除する場合は［はい］、キャンセルする場合は［いいえ］をクリックします。**

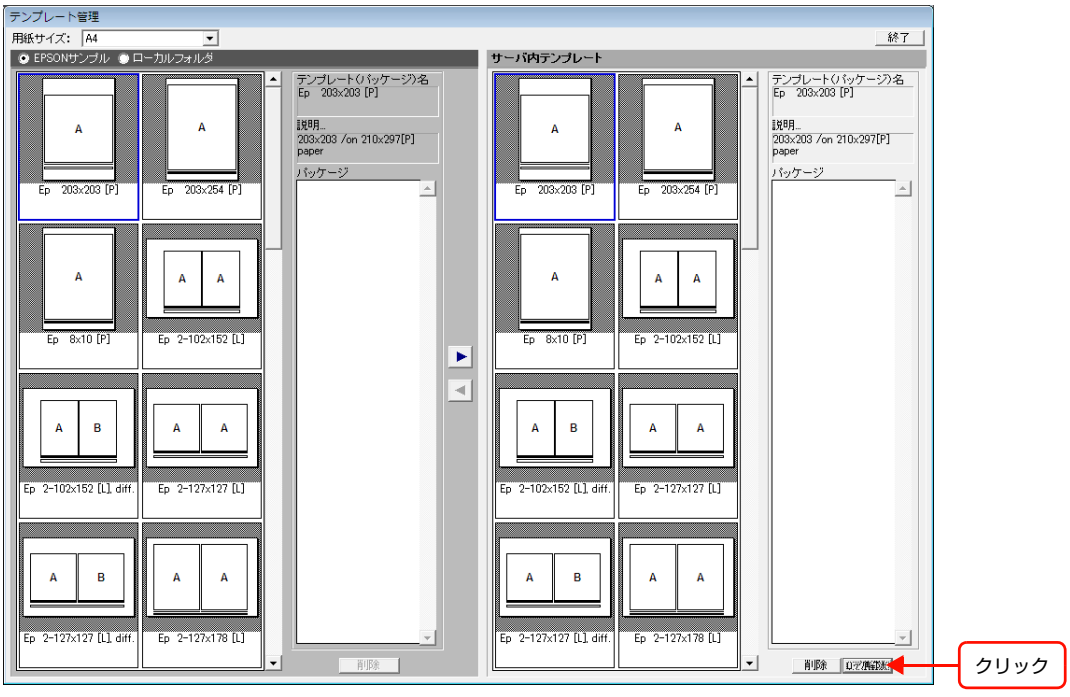


参考　選択したテンプレートが入っているすべてのパッケージから削除されます。

［サーバ内テンプレート］のファイルのロックを解除する

［サーバ内テンプレート］のロックされているファイルをすべて解除します。ファイルを選択してロックを解除することはできません。

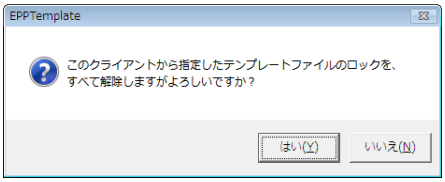
1 **［ロック解除］をクリックします。**



参考　ロックされているファイルがない場合は、［ロック解除］はクリックできません。

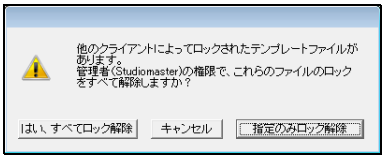
Studiomaster 以外のユーザーが［ロック解除］をクリックすると

次のメッセージ画面が表示されます。



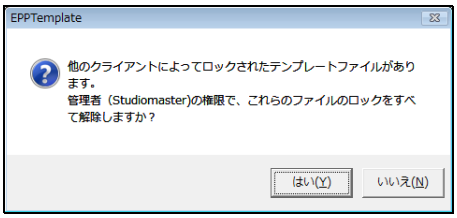
自分が掛けたロックをすべて解除する場合は［はい］、ロックを解除しない場合は［いいえ］をクリックします。

ユーザーがStudiomasterであるとき、Studiomaster自身がロックしたファイルとほかのユーザーがロックしたファイルがある場合
次のメッセージ画面が表示されます。



ロックをすべて解除する場合は［はい、すべてロック解除］、自分が掛けたロックだけを解除する場合は［指定のみロック解除］をクリックします。

ユーザーが Studiomaster であるとき、ほかのユーザーがロックしたファイルだけがある場合
次のメッセージ画面が表示されます。



ロックをすべて解除する場合は［はい］、ロックを解除しない場合は［いいえ］をクリックします。

写真をレイアウトして印刷する

写真レイアウトソフトウェア EPPLayout を使って写真をレイアウトし、印刷できます。

ここでは、本体の電源を入れ、EPPLayout で写真をレイアウトして印刷するまでの操作について説明します。
EPPLayout 画面右上の［ヘルプ］をクリックすると、「EPPLayout ヘルプ」が表示されます。

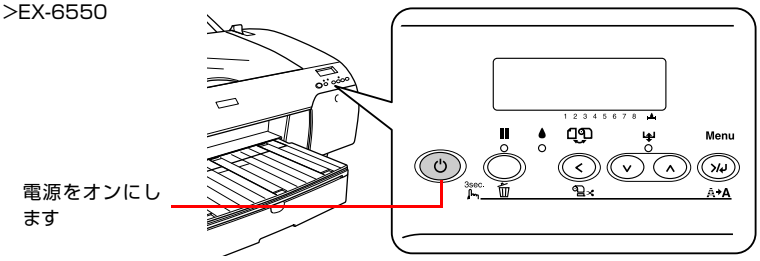
写真をレイアウトする前に、41 ページ「画像ファイルを準備する」を読み、画像ファイルが印刷データとして適したファイルになっているか確認してください。

☞「電源を入れる」148 ページ
☞「EPPLayout を起動する」149 ページ
☞「用紙を選択する」152 ページ
☞「[テンプレート］モードと［フリーレイアウト］モードの違い」154 ページ
☞「[テンプレート］モードで写真をレイアウトする」155 ページ
☞「[フリーレイアウト］モードで写真をレイアウトする」171 ページ
☞「印刷の準備をする」179 ページ
☞「写真を印刷する」186 ページ

電源を入れる

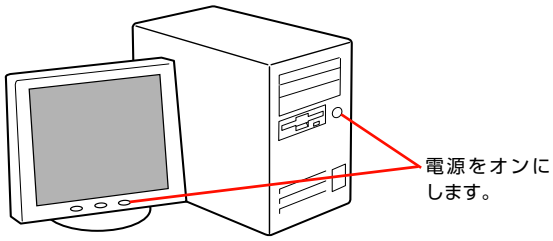
1 **プリンタの電源をオンにします。**

＜例＞EX-6550

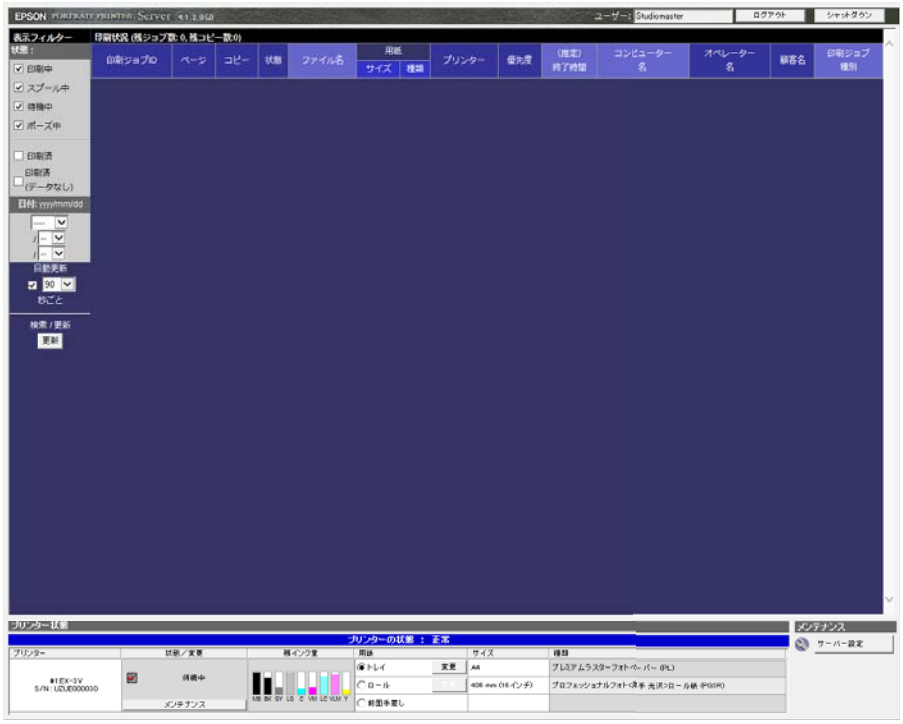


> **重要** サーバの電源を入れる前にプリンタにエラーが発生していないか必ず確認してください。エラーが発生していると本体の起動に時間がかかります。

2 **サーバの LCD モニタの電源と、サーバ本体の電源をオンにします。**



本体の電源が入ると、EPPServer が起動して LCD モニタに［EPPServer］画面が表示されます。



> **重要**
> - システムの安定性を維持するために、必ず週 1 回は本体の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
> - 電源を切るときは、すべての印刷が終了したことを確認してから本体サーバの画面右上の［シャットダウン］をクリックしてください。電源が完全に切れるまで約 1 分かかります。再度電源を入れる場合は、電源が完全に切れてから約 1 分以上待ってから電源を入れ直してください。

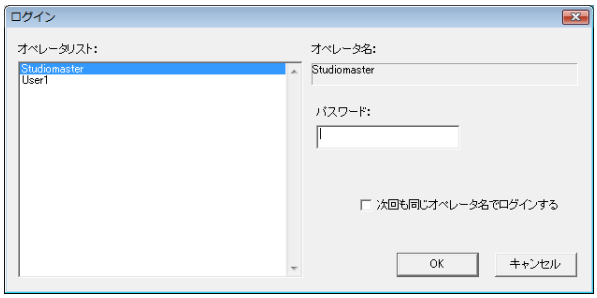
3 **クライアントコンピュータの電源を入れます。**

EPPLayout を起動する

1 **EPPLayout を起動します。**

- 【Windows】
  ［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPP Layout］をクリックします。
- 【Mac OS】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPLayout のアイコン（ ）をダブルクリックします。

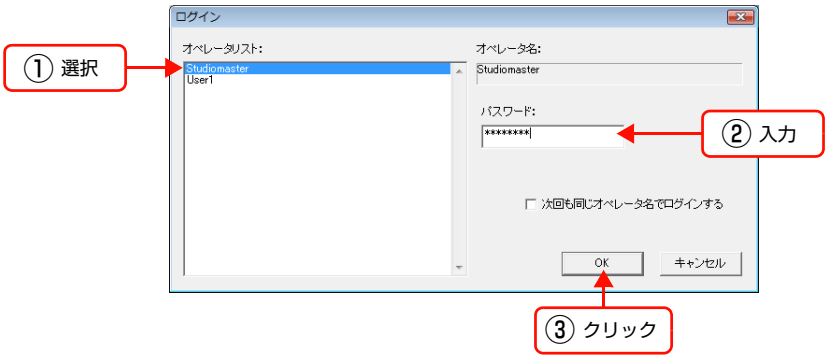
［ログイン］画面が表示されます。



> **参考** 以下の方法でも EPPLayout を起動できます。
> 【Windows】
> EPPLayout のアイコンに画像ファイルまたは画像ファイルのフォルダをドラッグする。
> 【Mac OS】
> EPPLayout のアイコンに画像ファイルをドラッグする。

> **重要**
> - EPPLayout は必ずクライアントコンピュータにインストールしてください。
> - クライアントコンピュータ上で　EPPLayout　のプログラムファイルを編集したり削除しないでください。EPPLayout が正常に働かなくなります。
> - 画像ファイルは、必ずクライアントコンピュータのハードディスクのフォルダにコピーしてください。CD-ROM、MO、フロッピーディスクなどに入れたまま作業しないでください。

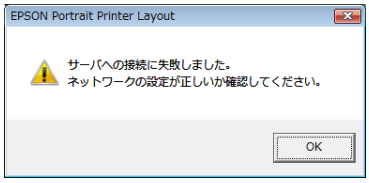
2 **オペレータ名を［オペレータリスト］から選択し、パスワードを入力して［OK］をクリックします。**



EPPLayout 画面が表示されます。

> **参考**
> - ログインの設定を省く場合は、［次回も同じオペレータ名でログインする。］をチェックします。次回から［ログイン］画面は表示されません。
> - パスワードは半角英数字で 20 文字まで入力できます。
> - ［Studiomaster］のパスワードを設定する場合は、265 ページ「ユーザーやクライアントコンピュータを追加する」をご覧ください。
> - EPPLayout から EPPMonitor を起動して、新規ユーザー名を登録できます。
> EPPLayout ヘルプ「こんなときには」ー「新規ユーザー名を登録したい」

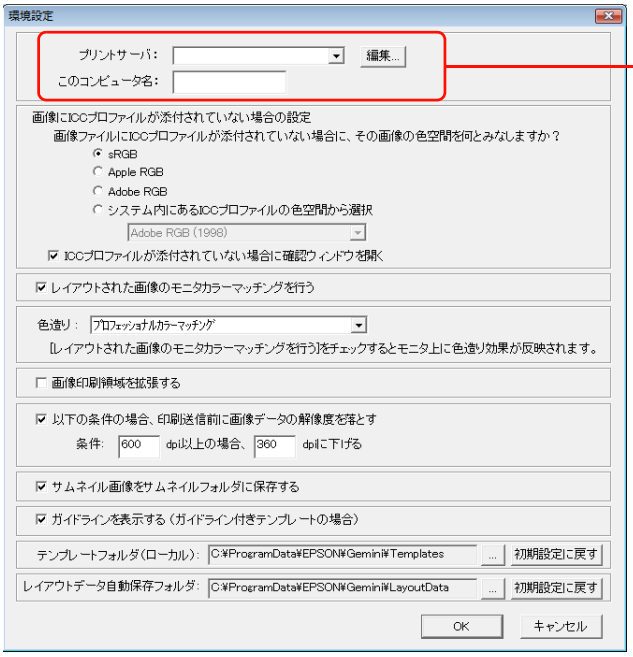
重要 次の画面が表示されたら、本体の電源が入っているか確認してください（148 ページ）。



電源が入っていてもこの画面が表示される場合は、「困ったときには」の 286 ページ「EPPLayout に関するトラブルと解決方法」をご覧ください。

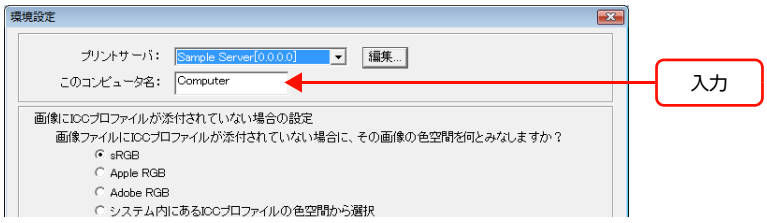
[環境設定]画面が表示されたら

お使いのコンピュータで初めてログインすると、［環境設定］画面が表示されます。使用するプリントサーバを指定してください。



［このコンピュータ名］を入力してから、［編集］クリックして、プリントサーバの IP アドレスを設定します。

1 **［このコンピュータ名］に任意のコンピュータ名を入力します。**



上の画面イラストには仮のコンピュータ名が入力されています。実際のコンピュータ名を入力してください。

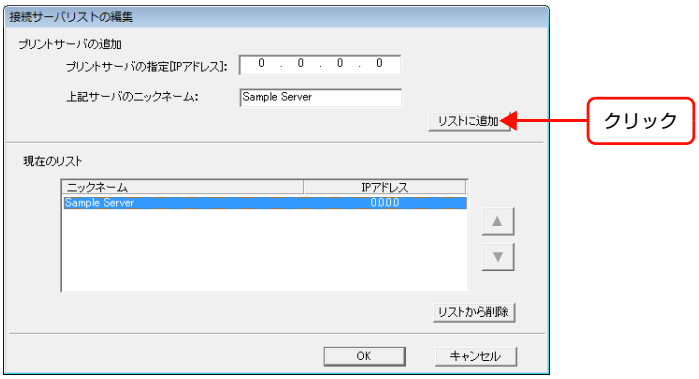
2 **［編集］をクリックします。**

3 **［プリントサーバの指定（IP アドレス）］に、使用する EPPServer の IP アドレスを半角数字で入力します。**
数字とピリオドだけを使用し、15 文字以内で入力してください。

4 **［上記サーバのニックネーム］に、他と区別できる任意のサーバ名を半角英数字で入力します。**

5 **［リストに追加］をクリックします。**

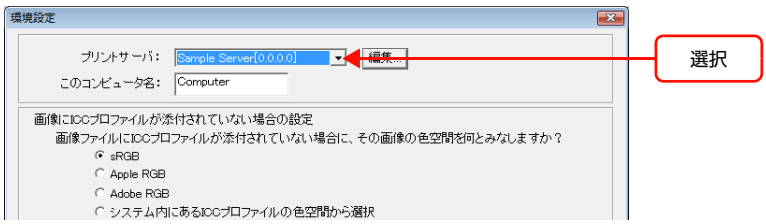
以下の画面イラストには仮の IP アドレスとニックネームが入力されています。実際の IP アドレスとニックネームを入力してください。



複数のプリントサーバをリストに追加すると、プリントサーバを切り替えながら使用できます。
追加したプリントサーバを削除するには、［現在のリスト］で削除する［ニックネーム］または［IP アドレス］を選択して［リストから削除］をクリックします。

6 **［OK］をクリックして、［接続サーバリストの編集］画面を閉じます。**

7 **使用するプリントサーバを［プリントサーバ］リストから選択し、［OK］をクリックして［環境設定］画面を閉じます。**



EPPLayout のログイン画面が表示されます。

> **参考** ［環境設定］画面には、プリントサーバのIPアドレス以外にもEPPLayoutに必要な設定があります。EPPLayout画面が表示されたら、画面右上の［環境設定］をクリックし、カラープロファイル、モニタの色補正、色造りの初期設定、印刷範囲の拡張、解像度、サムネイル、ガイドライン表示などを設定してください。
> ☞ EPPLayout ヘルプ「付録」ー「環境設定」

EPPLayout を終了するには

【Windows】

EPPLayout 画面右上の［終了］をクリックするか、画面右上隅にある ☒ をクリックします。

【Mac OS】

EPPLayout 画面右上の［終了］をクリックするか、［EPPLayout］メニューから［EPPLayout を終了］を選択します。

用紙を選択する

用紙（サイズと種類）は一覧表またはリストから選択できます。

一覧表から選択するには

1 **［レイアウト］ウィンドウの をクリックします。**

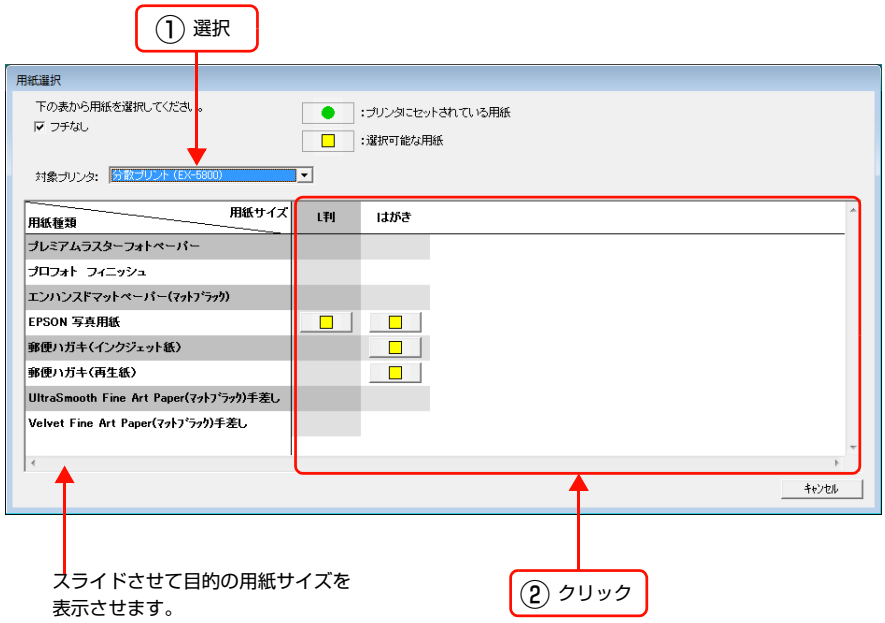
使用できるプリンタ、用紙サイズ、用紙種類の組み合わせを、一覧表から選択できます。



2 **［対象プリンタ］を選択してから、［用紙サイズ］と［用紙種類］の組み合わせアイコンをクリックします。**

：サーバで設定されている用紙種類とサイズの組み合わせが一致しているのでそのまま印刷できます。

：サーバで用紙種類とサイズの設定をしてから印刷を実行します。



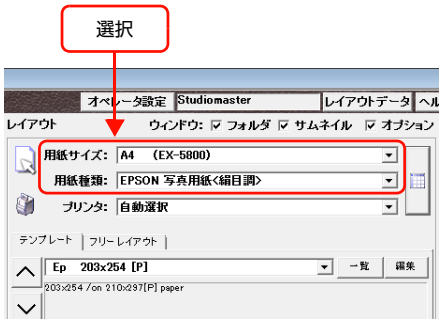
重要 写真をレイアウトしている途中で用紙サイズを変えると、使用中のテンプレートは破棄されます。用紙サイズを確認してから次の手順に進んでください。

参考

- ［フチなし］は［フリーレイアウト］モードのとき選択できます。［フチなし］をチェックすると、フチなしに対応している用紙種類とサイズのみ表示されます。
- A4 サイズの用紙をセットしている場合は［証明写真 /A5］サイズが選択できます。
- 一覧表やリストに表示される用紙はサーバ設定で変更できます。詳しくは 252 ページ「表示する用紙サイズや用紙種類を設定する」をご覧ください。

リストから選択するには

1 **［レイアウト］ウィンドウの［用紙サイズ］と［用紙種類］で用紙のサイズと種類を選択します。**
選択した用紙がトレイにセットしてあるか確認してください。



重要 写真をレイアウトしている途中で用紙サイズを変えると、使用中のテンプレートは破棄されます。用紙サイズを確認してから次の手順に進んでください。

参考
- A4 サイズの用紙をセットしている場合は［証明写真 /A5］サイズが選択できます。
- 接続しているプリンタで使用できる［用紙サイズ］と［用紙種類］が選択できます。選択した用紙が正しくセットされているか確認してください。

[テンプレート]モードと[フリーレイアウト]モードの違い

EPPLayout には、用意されているテンプレートを使ってレイアウトする［テンプレート］モードと、自分でテンプレートを作成する［フリーレイアウト］モードがあります。作業性に合わせてどちらかのモードに決めてから、155 ページ「[テンプレート］モードで写真をレイアウトする」または 171 ページ「[フリーレイアウト］モードで写真をレイアウトする」に進んでください。

[テンプレート]モード

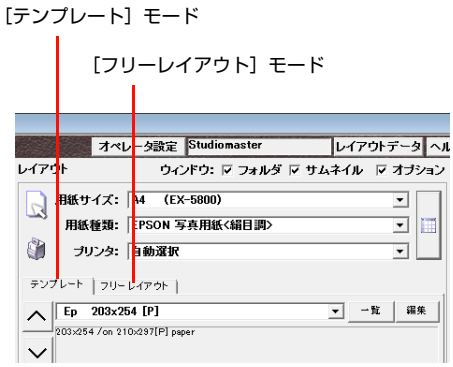
あらかじめ用意されているさまざまな種類のテンプレートから選択します。テンプレートによってフレームのサイズや数、アルファベットなどが異なります。また、テンプレートの［パッケージ］を選択できます。［パッケージ］にはいろいろな種類のテンプレートが入っています。

EPPLayout で使用できるテンプレートには、初期設定のテンプレートのほかに、ユーザーがサーバに保存したテンプレートが含まれます。ほかのユーザーが EPPTemplate でテンプレートを作成しサーバに保存すると、テンプレートを更新する確認画面がお使いのコンピュータに表示されます。このようにして複数のユーザーが作成したテンプレートがサーバに蓄積され、テンプレートを共有できます。

EPPLayout から選択できるテンプレートだけでなく、EPPTemplate で独自のテンプレートを作成し、写真をレイアウトすることもできます。詳しくは、130 ページ「パッケージを作成し、管理する」をご覧ください。

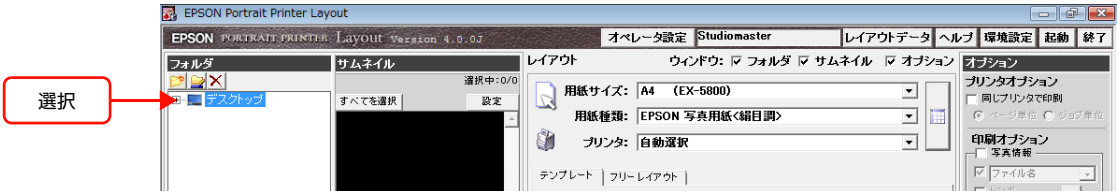
[フリーレイアウト]モード

お好みのサイズのフレームを配置できます。1 ページにつき写真を 1 枚しか割り付けられませんが、複数の写真を選択すると自動的にページを追加し、写真を割り付けます。1 ページごとにサイズの異なるフレームを配置したり、写真を割り付けてからサイズや位置を変更できます。

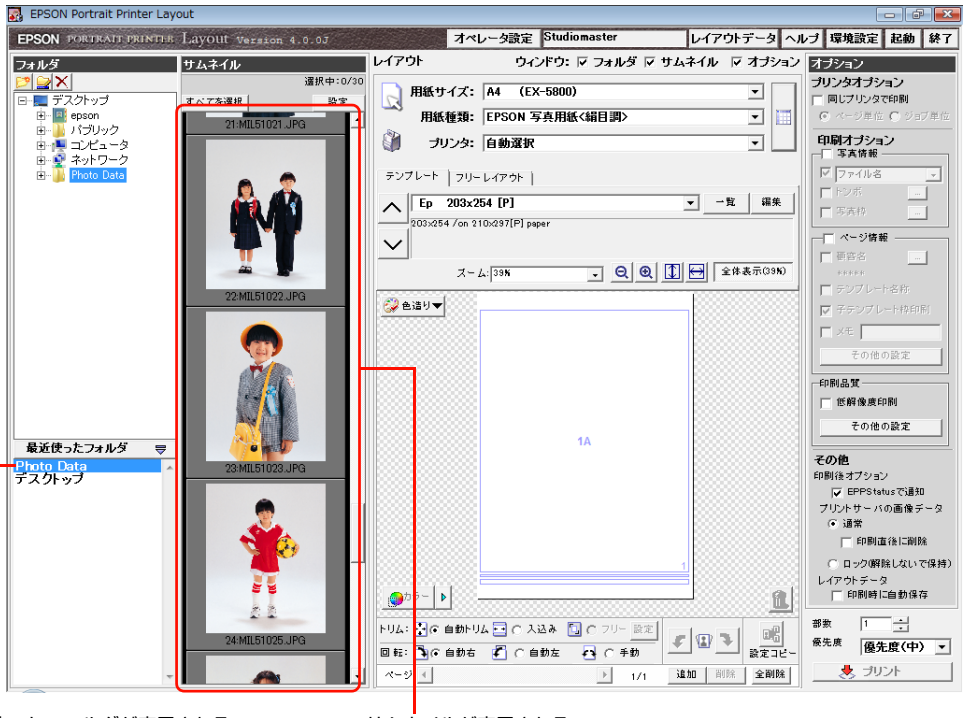


[テンプレート]モードで写真をレイアウトする

1 **画面左にある［フォルダ］ウィンドウで、印刷したい画像ファイルが入っているフォルダをクリックして選択します。**



［サムネイル］ウィンドウにサムネイルが表示されます。



最近使ったフォルダが表示される。　　サムネイルが表示される。

参考

- ［最近使ったフォルダ］には、これまでに使ったフォルダが新しいものから 20 個まで表示されます。［最近使ったフォルダ］ウィンドウからフォルダを選択できます。
- フォルダ内にサブフォルダがあると、⊞（Windows）/ ▷（Mac OS）がフォルダの左側に表示されます。⊞（Windows）/ ▷（Mac OS）をクリックすると⊟（Windows）/ ▽（Mac OS）に変わり、サブフォルダが表示されます。

!重要 選択したフォルダ内に使用できる画像ファイルがないと、［サムネイル］ウィンドウには何も表示されません。
☞ 本書 42 ページ「使用できる画像ファイルについて」

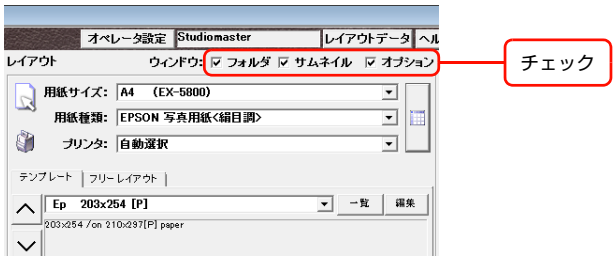
[フォルダ]ウィンドウと[サムネイル]ウィンドウの幅を変更する

[フォルダ] ウィンドウと [サムネイル] ウィンドウの間にあるバーにポインタを合わせるとポインタが ⇹ に変わります。バーを左にドラッグすると、[サムネイル] ウィンドウの幅が大きくなります。大きなサイズのサムネイルを表示したり、多くのサムネイルを表示できます。サムネイルのサイズは [設定] で選択できます。



ウィンドウを表示 / 非表示にする

[ウィンドウ] の [フォルダ]、[サムネイル]、[オプション] をチェックするとウィンドウが表示されます。チェックを外すと非表示になります。[フォルダ] ウィンドウを表示すると必ず [サムネイル] ウィンドウも並んで表示されます。[フォルダ] ウィンドウだけを表示することはできません。[レイアウト] ウィンドウの表示 / 非表示の設定はできません。



サムネイルにファイルマークを付ける

サムネイルに 4 段階評価のファイルマークを付けることができます。同じような写真でもファイルマークを目安にすると画質などを簡単に判断できます。EPPLayout で付けたファイルマークは EPPWorks でもサムネイルに表示されます。EPPWorks で付けたマークも EPPLayout でサムネイルに表示されます。

① サムネイルの下部（下から約 1/3 の高さまで）にポインタを合わせます。

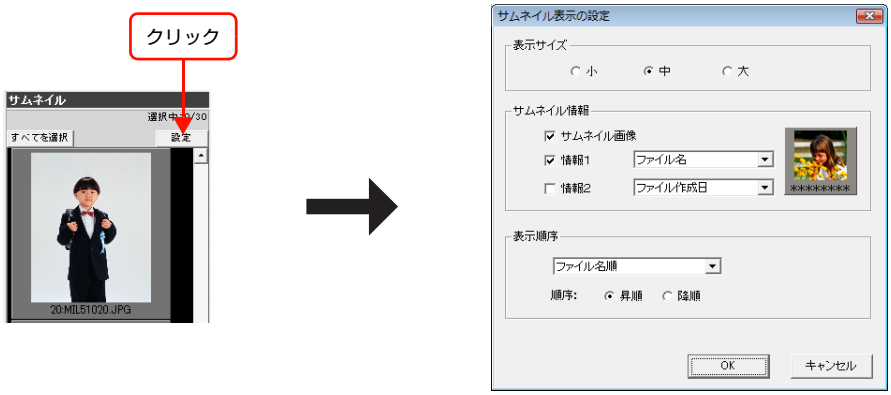


② 写真に付けたいファイルマークをクリックします。
赤いマーク の評価が最も高く、青いマーク は最も低くなります。
ファイルマークを変更するには、別のマークをクリックします。
ファイルマークを解除するには、 をクリックします。

サムネイルの表示方法を設定する

サムネイルのサイズ、表示する写真情報、表示の順序を設定できます。

① ［設定］をクリックします。
　［サムネイル表示設定］画面が表示されます。



② 各項目を設定します。
③ ［OK］をクリックします。

サムネイルのサイズを変更する：
［サムネイル］ウィンドウに表示されるサムネイルのサイズを変更できます。［表示サイズ］の［小］、［中］、［大］からサムネイルのサイズを選択します。

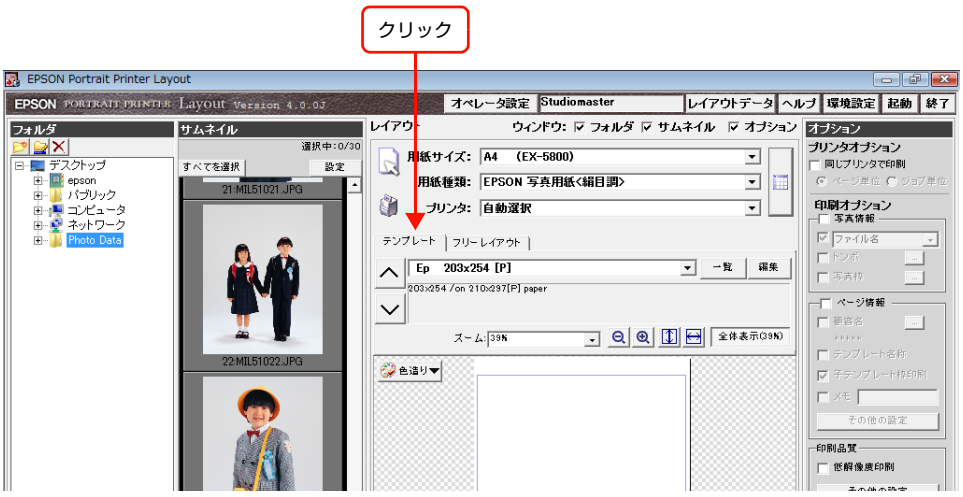
ファイルの一覧表示にする（サムネイル画像を表示しない）：
サムネイル画像を表示せず、ファイルの一覧を表示できます。［サムネイル情報］の［サムネイル画像］のチェックを外します。

写真情報をサムネイルに表示する：
サムネイルの下に写真情報を表示できます。［サムネイル情報］の［情報 1］をチェックし、▼をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。［ファイル名］、［ファイル作成日］、［ファイル編集日］から選択できます。サムネイルの下 1 行目に情報が表示されます。サムネイルの下 2 行目にも情報を表示するときは、［情報 2］をチェックし、▼をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。

表示順序：
サムネイルの情報の種類別に表示する順序を設定できます。［表示順序］の▼をクリックし、プルダウンメニューから情報の種類を選択します。［ファイル名順］、［ファイル作成日順］、［ファイル編集日順］、［ファイルマーク順］から選択できます。次に、［昇順］または［降順］を選択します。［ファイルマーク順］に設定すると、昇順は評価の高い順、降順は評価の低い順になります。

2 ［テンプレート］タブをクリックします。

［レイアウト］ウィンドウの中央にテンプレートが表示されます。

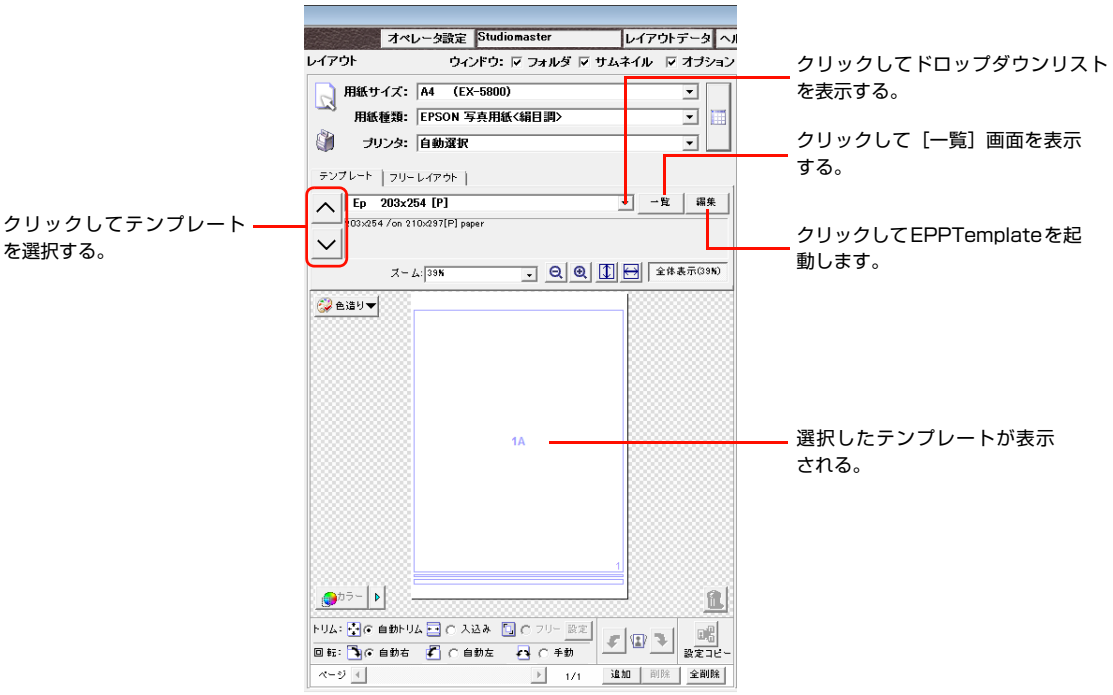


3 テンプレートやパッケージを選択します。

以下の方法で選択できます。

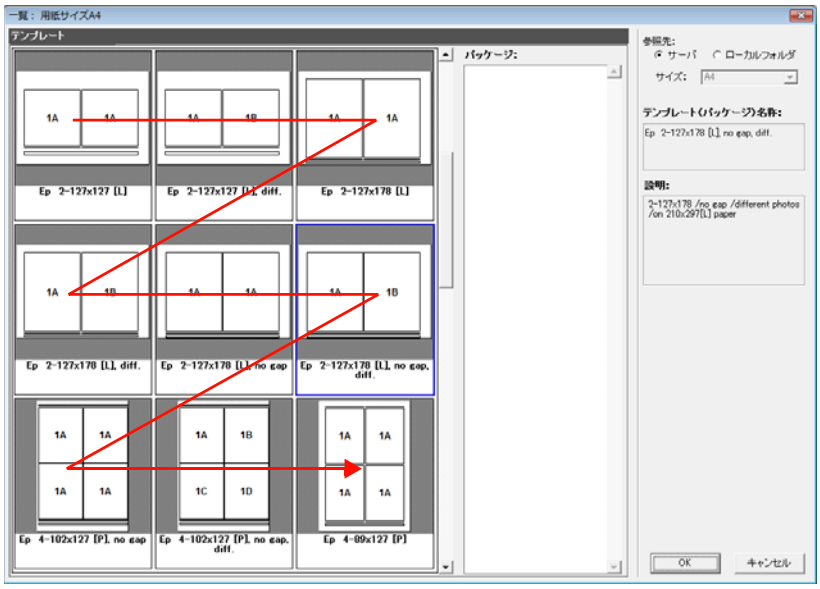
- ▼をクリックしてドロップダウンリストからテンプレートまたはパッケージを選択します。ドロップダウンリストの一番下にある［ローカルテンプレート］を選択すると、ローカルフォルダに保存されているテンプレートが選択できます。
- ∧ ∨をクリックして、テンプレートまたはパッケージを選択します。
- ［一覧］をクリックして、［一覧］画面から使用したいテンプレートまたはパッケージをクリックし、［OK］をクリックします。テンプレートまたはパッケージをダブルクリックしても選択できます。
- ［編集］をクリックすると、EPPTemplate が起動して、現在表示中のテンプレートを編集できます。

選択したテンプレートが［レイアウト］ウィンドウに表示されます。



参考

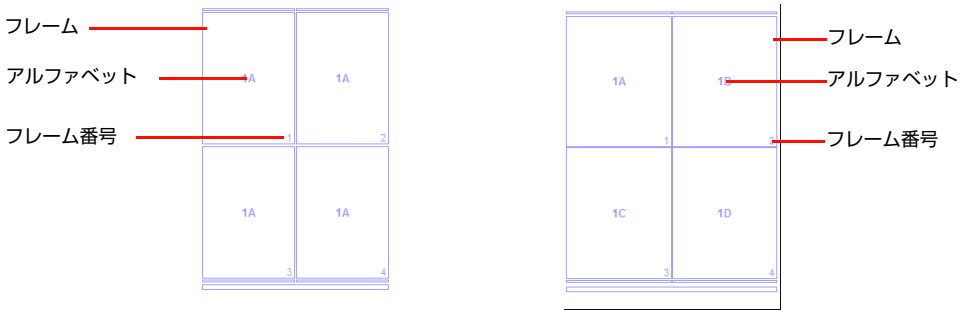
- 使用頻度の高いテンプレートやパッケージがある場合は、［一覧］画面でテンプレートやパッケージをドラッグして、使用頻度の高い順に並び替えることができます。テンプレートの順番を並び替えると、ドロップダウンリストに表示されるテンプレート名の順番も変わります。赤い矢印はドロップダウンリストで表示される順番を示しています。



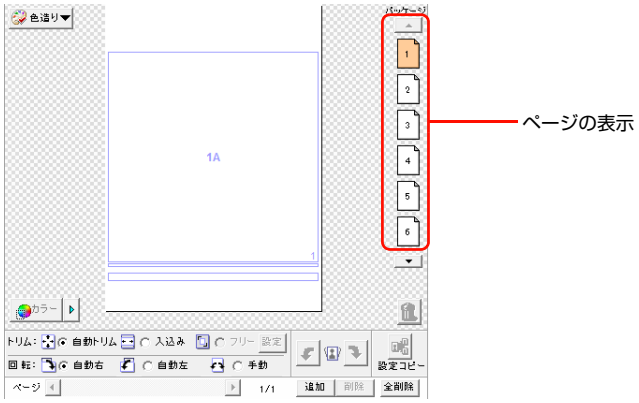
- A4 サイズの用紙をセットしている場合は［証明写真 /A5］サイズが選択できます。

テンプレートの選び方

テンプレートのフレームにはアルファベットが付いています。同じアルファベットが付いたフレームには同じ写真が配置されます。アルファベットが異なれば、異なる写真を配置できます。アルファベットにより、同じ写真をレイアウトするテンプレートか、異なる写真をレイアウトするテンプレートなのかを区別できます。また、フレームには番号が付いています。複数の写真をテンプレートにドラッグすると、フレームの番号順に配置されます。
パッケージには異なるレイアウトのテンプレートが複数ページ入っていますが、単独のテンプレートページと同様にアルファベットやフレーム番号が付いています。

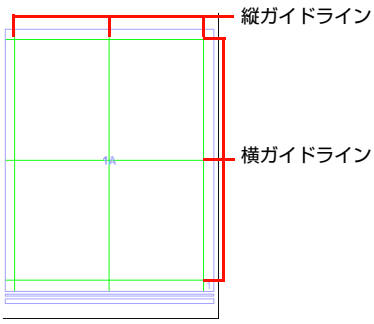


同一写真用のテンプレート　異なる写真用のテンプレート



写真ガイドライン

EPPTemplate で写真ガイドラインを付けたテンプレートを EPPLayout で選択した場合、フレーム（写真枠）内に写真ガイドラインが表示されますので、写真を割り付ける際の位置合わせに使用できます。この写真ガイドラインは写真の位置合わせの目安として表示されるだけで、印刷はされません。



例：写真ガイドラインを縦横
それぞれ３本引いた場合

参考

- EPPTemplateで写真ガイドラインを付ける方法については、118ページ「写真枠にガイドラインを付ける」をご覧ください。
- EPPLayoutで写真ガイドラインを表示する/しないは、EPPLayoutの[環境設定]画面で切り替えられます。
  ☞ EPPLayout ヘルプ「付録」ー「環境設定」

4 ページ枠を選択し、［トリム］や［回転］を設定します。

ページ枠に［トリム］の［自動トリム］や［入込み］、［回転］を設定しておくと、サムネイルから写真をドラッグしたときにすべてのフレームに同じ設定で割り付けられます。
写真を割り付けてから、フレームごとに設定を変更できます。［トリム］の［フリー］はページ枠に設定できません。写真を割り付けてからフレームに設定します。

ページ枠を選択するには

以下の方法で選択します。

- フレームの外側またはページ（テンプレート）の外側をクリックします。ページ（テンプレート）が緑の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。

【Mac OS のみ】

- ［サムネイル］ウィンドウの写真をクリックします。ページ（テンプレート）が黒の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。



[トリム]や[回転]を設定するには

ページ枠が選択された状態で、［トリム］の［自動トリム］や［入込み］、［回転］を設定します。表示されているページ（テンプレート）のフレームすべてに同じ設定が適用されます。

項目		内容
［トリム］	［自動トリム］	写真の縦横比を固定したまま余白が出ないように、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。
	［入込み］	写真の縦横比を固定したまま、写真全体がフレーム内に収まるように縮小し、中央に配置します。写真の上下または左右に余白が残ります。
［回転］	［自動右］	横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が右回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
	［自動左］	横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が左回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
	［手動］	フレームの横長、縦長にかかわらず、写真はそのままの向きで配置され回転しません。

重要 ページ枠に対しては、写真を割り付けていない状態でも［トリム］や［回転］の設定ができますが、フレームに対しては写真を割り付けないと設定できません。

5 写真をテンプレートにドラッグします。

同一写真用のテンプレートに写真を割り付けるとき

［サムネイル］ウィンドウの写真をクリックし、テンプレートにドラッグすると、フレームに写真が割り付けられます。



すべてのフレームに、同じ写真が割り付けられます。

異なる写真用のテンプレートに写真を割り付けるとき

1 枚ずつ割り付けるには

- 配置したい 1 枚目の写真をクリックして A のフレームにドラッグし、2 枚目を B のフレームに、と各フレームに写真をドラッグします。

複数枚を同時に割り付けるには

- 並んでいる写真をまとめて選択する場合
  [Shift] キーを使います。1 枚目の写真をクリックし、[Shift] キーを押しながら最後の写真をクリックします。テンプレートにドラッグすると［サムネイル］ウィンドウでの並び方に従い、上の方にある写真からフレームの番号順に配置されます。
- 離れた位置にある写真をまとめて選択する場合
  【Windows】
  [Ctrl] キーを使います。1 枚目の写真をクリックし、[Ctrl] キーを押しながらほかの写真をクリックします。テンプレートにドラッグすると［サムネイル］ウィンドウでの並び方に従い、上の方にある写真からフレームの番号順に配置されます。
  【Mac OS】
  [⌘] キーを使います。1 枚目の写真をクリックし、[⌘] キーを押しながらほかの写真をクリックします。テンプレートにドラッグすると［サムネイル］ウィンドウでの並び方に従い、上の方にある写真からフレームの番号順に配置されます。
- すべての写真を選択する場合
  ［すべてを選択］をクリックします。テンプレートにドラッグすると［サムネイル］ウィンドウでの並び方に従い、上の方にある写真からフレームの番号順に配置されます。
  でに写真が何枚か割り付けられているときは、空いているフレームに配置されます。

写真の割り付けを中止するには

多数の写真をテンプレートにドラッグしたときは割り付けを途中で中止できます。ドラッグした直後に次のように操作してください。

【Windows】

[ESC] キーを押します。

【Mac OS】

[ESC] キーを押すか、[⌘] キーを押しながら [.]（ピリオド）キーを押します。



参考

- フレームより多い枚数の写真をテンプレートにドラッグすると、同じテンプレートの新規ページが自動的に追加され、写真が割り付けられます。ページ間を移動するには、［レイアウト］ウィンドウ下の［ページ］スクロールバーをドラッグするか、◀ や ▶ をクリックします。
- ［ズーム］の設定などによってページ全体が表示できないときは、スクロールバーが表示されます。また、画像の上にマウスポインタを置くとマウスポインタが ✋ に変わり、［Ctrl］キー（Windows）/［Option］キー（Mac OS）を押しながらドラッグして画像を動かすことができます。

レイアウトを変更する

空いているフレームへ写真を移動するには(“異なる写真用テンプレート”を使っているとき)

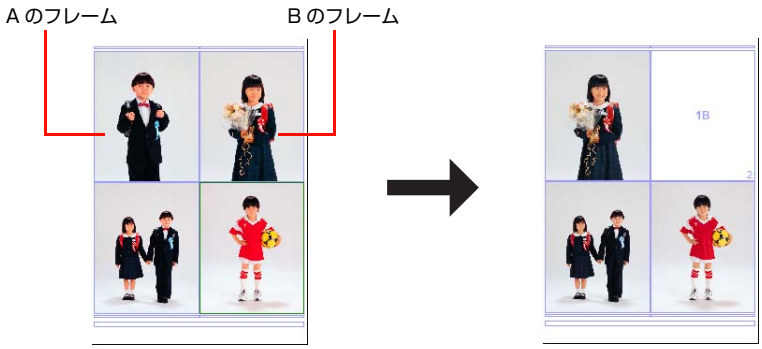
空いているフレームに写真をドラッグします。

新しい写真と置き換えるには

［サムネイル］ウィンドウの写真をテンプレートに割り付けられている写真の上にドラッグします。写真は上書きされ、ページ枠に設定した［トリム］と［回転］が適用されます。

すでに写真が割り付けられているフレームへ写真を移動すると(“異なる写真用テンプレート”を使っているとき)

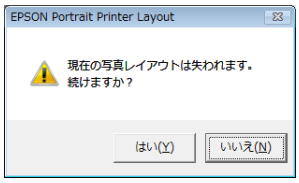
ドラッグした写真に置き換わります。ドラッグした写真が割り付けられていたフレームは空きになります。



B のフレームの写真を A のフレームへドラッグすると、A のフレームに
B のフレームの写真が置き換わる。

テンプレートを変更するには

使いたいテンプレートを選択します（157 ページ）。次の画面が表示されます。



[OK]（または［はい］）をクリックします。選択するのをやめる場合は［キャンセル］（または［いいえ］）をクリックします。

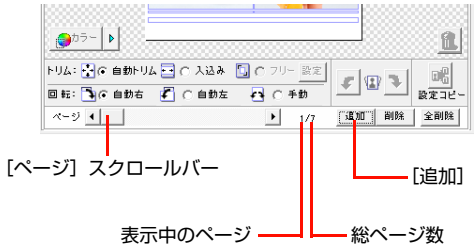
フレームから写真を削除するには

写真をクリックして削除したい写真を選択し、をクリックします。フレームから写真を削除しても、写真は［サムネイル］ウィンドウやフォルダからは削除されません。



テンプレートのページを追加する

［レイアウト］ウィンドウ下の［追加］をクリックすると、表示されているテンプレートと同じテンプレートの新規ページが追加されます。

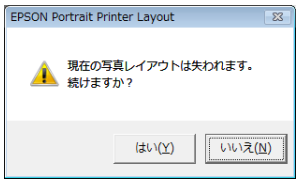


参考

- EPPLayout で作成できるページ数は 200 ページです。
  単独のテンプレートだけを使用する場合は、［ページ］表示の総ページ数が 200 になるまでページを追加できます。パッケージを使用しているときは、パッケージ内のページ数を含めた総ページ数が 200 ページになるまで追加できます。パッケージは 1 ページとしてカウントされ［ページ］に表示されるので、200 未満の総ページ数が表示されている場合でもテンプレートやパッケージを追加できないことがあります。追加するときは、実際の総ページ数を確認してください。
- 表示されていたページの［トリム］や［回転］の設定が、追加したページにも反映されます。
- パッケージを使用しているときに［追加］をクリックすると、パッケージ内のどのページが表示されていても同じパッケージが丸ごと追加されます。
- 【Windows】
  ［トリム］と［回転］の設定は追加されたパッケージの各ページに反映されます。
- 【Mac OS】
  ［トリム］と［回転］の設定は追加されたパッケージの最初の 1 ページだけに反映されます。
- ページ間を移動するには、［ページ］スクロールバーをドラッグするか、◀や▶をクリックします。

テンプレートのページを削除する

削除したいページへ移動し［削除］をクリックします。表示されているページに写真が割り付けられていると、次のメッセージ画面が表示されます。



削除するには［はい］をクリックします。削除するのをやめるときは［いいえ］をクリックします。パッケージを使用しているときは、表示されているページにかかわらずパッケージごと削除されます。

すべてのページと表示されている写真を削除するには

［全削除］をクリックします。写真が割り付けられているページがあると、上と同じメッセージ画面が表示されます。削除するには［はい］をクリックします。削除するのをやめるときは［いいえ］をクリックします。

写真を切り取る

写真をテンプレートにドラッグしたとき、［トリム］の［自動トリム］、［入込み］の設定に従ってトリミングされます。ドラッグする前に［自動トリム］または［入込み］を選択しておくか、写真を割り付けてから［自動トリム］、［入込み］または［フリー］を選択します。



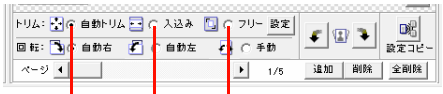
［自動トリム］編集後



［入込み］編集後



［フリー］編集後



［自動トリム］［入込み］［フリー］

項目	内容
［自動トリム］	写真の縦横比を固定したまま余白が出ないように、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。
［入込み］	写真の縦横比を固定したまま、写真全体がフレーム内に収まるように縮小し、中央に配置します。写真の上下または左右に余白が残ります。
［フリー］	［フリー］を選択すると、［フリートリミング］画面が表示され、写真を拡大してトリミング領域を設定できます。トリミング枠を移動することもできます。 EPPLayout ヘルプ「こんなときには」－「写真をトリミングしたい」



重要 ［写真ガイドライン］を表示させるには、EPPTemplate を使って、あらかじめ使用するテンプレート上に写真ガイドラインを作成しておく必要があります。詳しくは、118 ページ「写真枠にガイドラインを付ける」をご覧ください。

参考 ［フリートリミング］画面の右下の角をマウスでドラッグすると、画面サイズが変更できます。

[トリム]を複数のフレームに一括設定するには

［トリム］を設定した写真を選択し、［設定コピー］をクリックします。

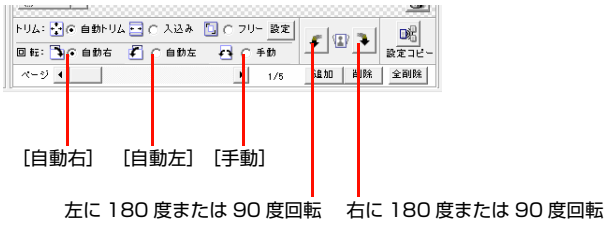


次の条件をすべて満たしているフレームに一括設定されます。

- 選択した写真と同じテンプレート上、またはパッケージ内にあること
- 選択した写真と同じアルファベットの付いたフレームであること
- 選択した写真と同じサイズであること（誤差が 1mm 以内ならば、同じサイズと見なす）

写真を回転させる

写真をテンプレートにドラッグすると、［回転］の設定に従ってフレームに収まります。ドラッグする前に［自動右］、［自動左］、［手動］を選択しておくか、写真を割り付けてから、(左回り）や (右回り）で回転させます。



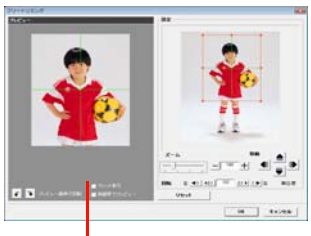
項目	内容
［自動右］	横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が右回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
［自動左］	横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が左回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
［手動］	フレームの横長、縦長にかかわらず、写真はそのままの向きで配置され回転しません。

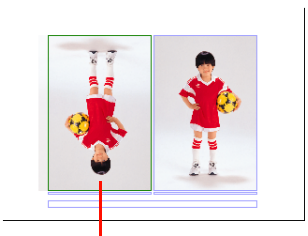
割り付けた写真を回転させるには

や を使います。

[自動右]または[自動左]が設定されているとき

写真を選択し、(左回り）または (右回り）をクリックすると、写真は左または右に 180 度回転します。90 度回転させたいときは、［手動］を選択し、または をクリックします。


写真をクリックする。


右に 180 度回転させた場合

[手動]が設定されているとき

写真を選択し、(左回り）または (右回り）をクリックすると、写真は左または右に 90 度回転します。



左に 90 度回転させた場合

[回転]を複数のフレームに一括設定するには

［回転］を設定した写真を選択し、［設定コピー］をクリックします。

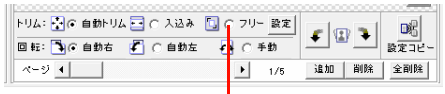


次の条件をすべて満たしているフレームに一括設定されます。

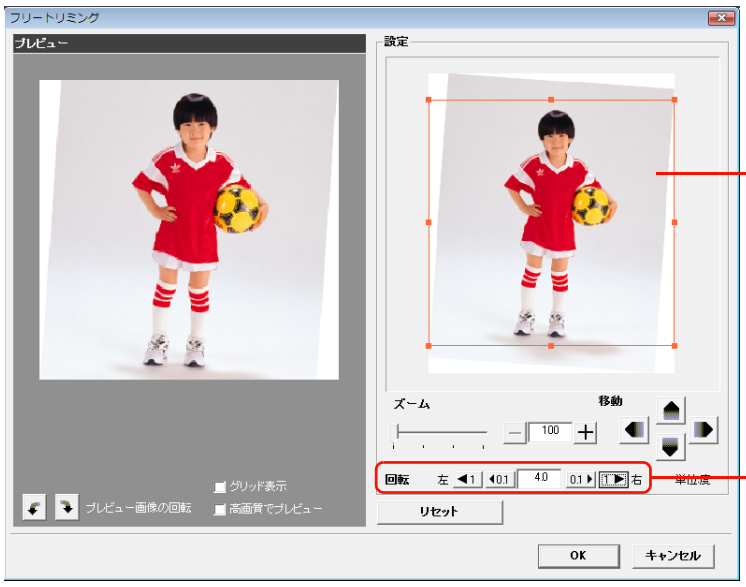
- 選択した写真と同じテンプレート上、またはパッケージ内にあること
- 選択した写真と同じアルファベットの付いたフレームであること
- 選択した写真と同じサイズであること（誤差が 1mm 以内ならば、同じサイズと見なす）

写真を回転させる(傾き調整)

［フリートリミング］画面で、写真の傾きを調整できます。
写真を割り付けてから［フリー］選択すると、［フリートリミング］画面が表示されます。回転のボタンをクリックするか、角度のボックスに数値を入力します。数値は半角英数字で入力してください。1 度または 0.1 度単位で変更できます。角度を変更すると、プレビュー画像が連動して回転します。



［フリー］



写真の色調を調整する

写真の色調を調整する方法は、［色造り］と［カラー］の 2 つがあります。

［色造り］を使って写真の色調を変える

［色造り］をクリックしてメニューから設定名を選択すると、写真全体の色調を調整できます。

a) K3 カラーマッチング
　UltraChrome K3/PX-P/K3 インクの特徴を最大限に引き出す色調です。
　データに忠実に印刷します。

b) CRYSTARIO ラボプリント調 Type1
　［K3 カラーマッチング］と比べ、深い赤、濃い黄の表現を重視した色調となります。ラボプリント調では、最も一般的な表現です。

c) CRYSTARIO ラボプリント調 Type2
　［CRYSTARIO ラボプリント調 Type1］よりさらに濃い目の色調になります。暗部を重視した重厚感のある表現を好まれる場合にご利用ください。

d) CRYSTARIO ラボプリント調 Type3
　［K3 カラーマッチング］と比べ、全体的に明度を抑えた色調になります。軽い仕上げを好まれる場合にご利用ください。

e) CRYSTARIO ラボプリント調 Type4
　［K3 カラーマッチング］と比べ、青み、赤み、黄色みが濃い色調となります。明度と彩度は若干抑え気味になっています。

f) CRYSTARIO ラボプリント調 Type5
　［CRYSTARIO ラボプリント調 Type4］を若干強めた色調となり、特に赤みが濃い色調となります。

g) プロフェッショナルカラーマッチング（初期設定）
　スタジオポートレートを意識したプロフェッショナル向けの色調です。

h) クラシックカラーマッチング＜ラスター／プロフォト＞
　PPPS-I プリントとの互換性を意識した色調です。

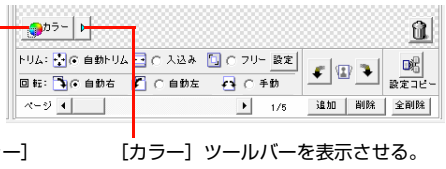
i) クラシックカラーマッチング＜エンハンスドマット＞
　PPPS-I プリントとの互換性を意識した色調です。PPPS-I プリントと比較すると、寒色系の色相が一致していないことがあります。

表示される写真全体の色調を見ながら、お好みの設定名を選択してください。［プロフェッショナルカラーマッチング］を選択すると、元の色調に戻ります。



[カラー]を使って写真の色調を調整する

［カラー］を使って、［明るさ］、［コントラスト］、［カラーバランス］を調整できます。



写真を選択し、［カラー］をクリックすると、［簡易色調整］画面が表示されます。
［マニュアル］シートで色調を調整します。プレビュー画像に調整結果が反映されます。
［マニュアル］シートの設定を［プリセット］シートに保存できます。

項目	内容
［明るさ］、［コントラスト］	スライダをドラッグするか、［−］や［+］をクリックして調整します。設定値ボックスに数値を半角英数字で入力することもできます。
［カラーバランス］	［色相］を回転ボタンリングで調整します。［彩度］を彩度増減ボタンで調整します。［−］や［+］をクリックして調整したり、設定値ボックスに数値を半角英数字で入力することもできます。 ［モノクロ化］をチェックすると、写真をモノクロにできます。また、［彩度］の項目が［着色］に変わり、モノクロ写真に色を着けることができます。



[簡易色調整]を適用する

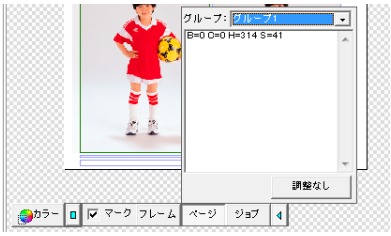
設定した[簡易色調整]をフレーム、ページとパッケージ、またはジョブのどれに適用するかを[調整対象]で選択できます。

設定した[簡易色調整]を保存するには

［保存］をクリックすると、［簡易色調整値の保存］画面が表示されます。プリセット名とグループ名を入力して［OK］をクリックします。

[カラー]ツールバーの使い方

［カラー］の をクリックすると、ツールバーが表示されます。［マーク］をチェックすると、［簡易色調整］が適用されているフレームの左上に マークが表示されます。［フレーム］、［ページ］、［ジョブ］をクリックして設定を適用する［適用対象］を選択し、プリセットリストから［簡易色調整］のグループと設定名を選択します。フレームに適用する場合は、あらかじめテンプレートのフレームを選択しておきます。

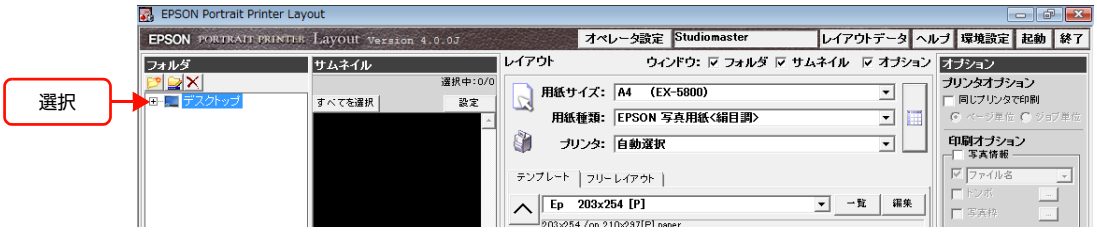


［フレーム］、［ページ］、［ジョブ］を使うには、プリセットシートに［簡易色調整］の設定を保存しておきます。保存しておかないと、プリセットリストには設定名は表示されません。

☞ EPPLayout ヘルプ「こんなときには」ー「写真の色調を調整したい」

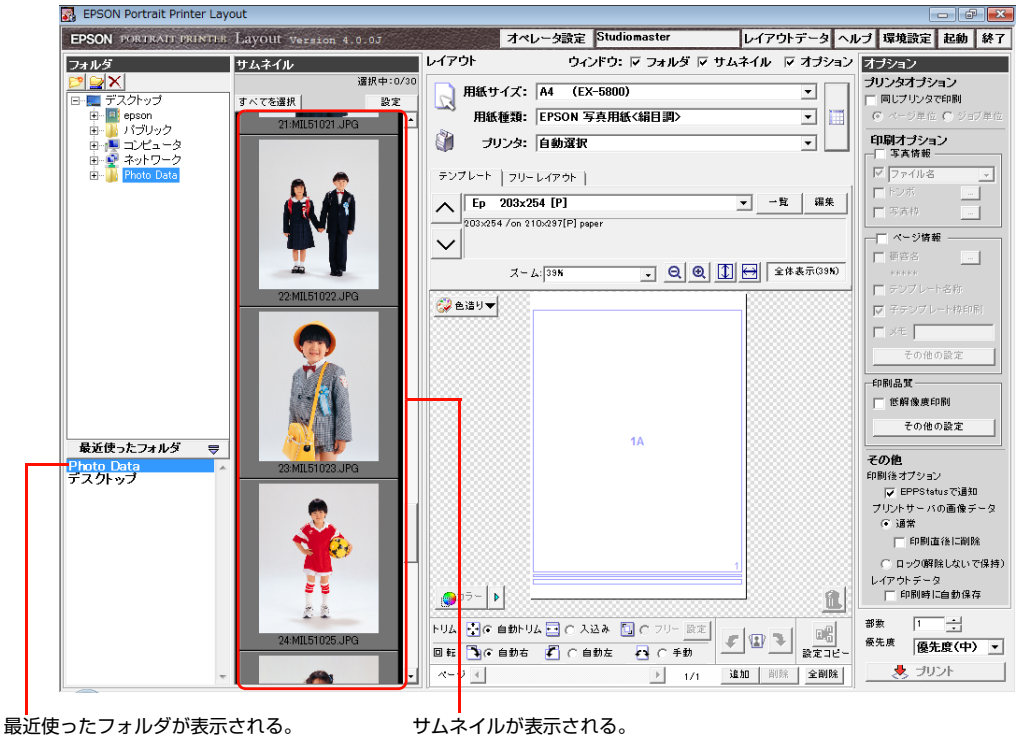
[フリーレイアウト]モードで写真をレイアウトする

1 **画面左にある［フォルダ］ウィンドウで、印刷したい画像ファイルが入っているフォルダをクリックして選択します。**



* EPPLayout は LZW 圧縮された TIFF 画像ファイルを読み込むことができます。

［サムネイル］ウィンドウにサムネイルが表示されます。



参考

- ［最近使ったフォルダ］には、これまでに使ったフォルダが新しいものから 20 個まで表示されます。［最近使ったフォルダ］ウィンドウからフォルダを選択することもできます。
- フォルダ内にサブフォルダがあると、⊞（Windows）/ ▷（Mac OS）がフォルダの左側に表示されます。⊞（Windows）/ ▷（Mac OS）をクリックすると⊟（Windows）/ ▽（Mac OS）に変わり、サブフォルダが表示されます。

重要 選択したフォルダ内に使用できる画像ファイルがないと、［サムネイル］ウィンドウには何も表示されません。
☞ 本書 42 ページ「使用できる画像ファイルについて」

[フォルダ]ウィンドウと[サムネイル]ウィンドウの幅を変更する

［フォルダ］ウィンドウと［サムネイル］ウィンドウの間にあるバーにポインタを合わせるとポインタが ↔ に変わります。バーを左にドラッグすると、［サムネイル］ウィンドウの幅が大きくなります。大きなサイズのサムネイルを表示したり、多くのサムネイルを表示できます。サムネイルのサイズは［設定］で選択できます。



ウィンドウを表示 / 非表示にする

［ウィンドウ］の［フォルダ］、［サムネイル］、［オプション］をチェックするとウィンドウが表示されます。チェックを外すと非表示になります。［フォルダ］ウィンドウを表示すると必ず［サムネイル］ウィンドウも並んで表示されます。［フォルダ］ウィンドウだけを表示することはできません。［レイアウト］ウィンドウの表示 / 非表示の設定はできません。



サムネイルにファイルマークを付ける

サムネイルに 4 段階評価のファイルマークを付けることができます。同じような写真でもファイルマークを目安にすると画質などを簡単に判断できます。EPPLayout で付けたファイルマークは EPPWorks でもサムネイルに表示されます。EPPWorks で付けたマークも EPPLayout でサムネイルに表示されます。

① サムネイルの下部（下から約 1/3 の高さまで）にポインタを合わせます。

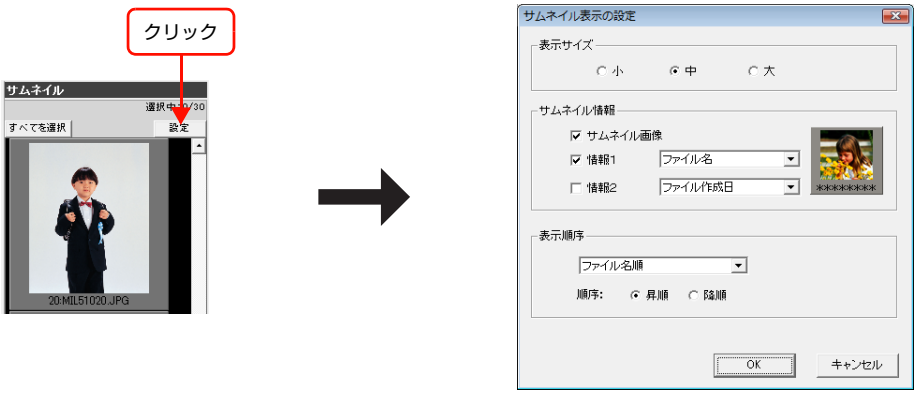


② 写真に付けたいファイルマークをクリックします。
赤いマーク の評価が最も高く、青いマーク は最も低くなります。
ファイルマークを変更するには、別のマークをクリックします。
ファイルマークを解除するには、 をクリックします。

サムネイルの表示方法を設定する

サムネイルのサイズ、表示する写真情報、表示の順序を設定できます。

① ［設定］をクリックします。
　［サムネイル表示設定］画面が表示されます。



② 各項目を設定します。
③ ［OK］をクリックします。

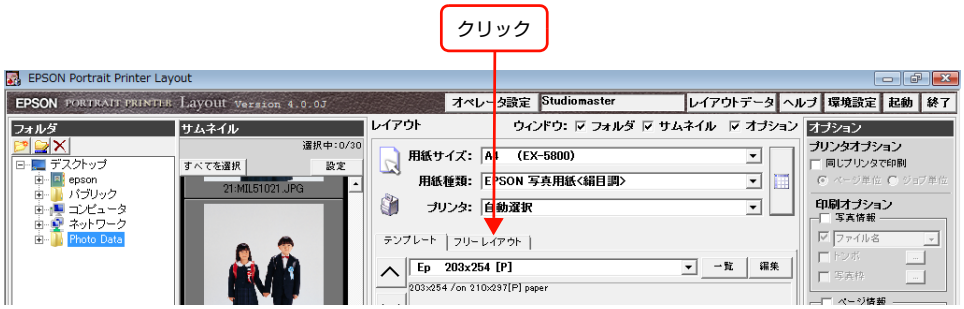
サムネイルのサイズを変更する：
［サムネイル］ウィンドウに表示されるサムネイルのサイズを変更できます。
［表示サイズ］の［小］、［中］、［大］からサムネイルのサイズを選択します。

ファイルの一覧表示にする（サムネイル画像を表示しない）：
サムネイル画像を表示せず、ファイルの一覧を表示できます。［サムネイル情報］の［サムネイル画像］のチェックを外します。

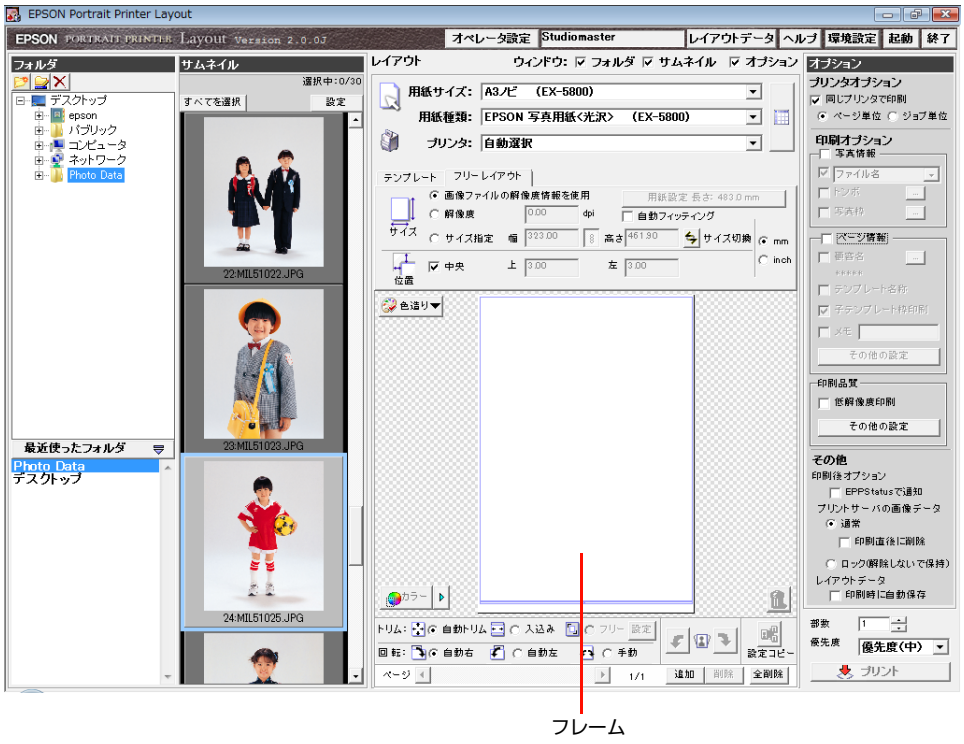
写真情報をサムネイルに表示する：
サムネイルの下に写真情報を表示できます。［サムネイル情報］の［情報 1］をチェックし、▼をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。［ファイル名］、［ファイル作成日］、［ファイル編集日］から選択できます。サムネイルの下 1 行目に情報が表示されます。サムネイルの下 2 行目にも情報を表示するときは、［情報 2］をチェックし、▼をクリックし、プルダウンメニューから情報を選択します。

表示順序：
サムネイルの情報の種類別に表示する順序を設定できます。［表示順序］の▼をクリックし、プルダウンメニューから情報の種類を選択します。［ファイル名順］、［ファイル作成日順］、［ファイル編集日順］、［ファイルマーク順］から選択できます。次に、［昇順］または［降順］を選択します。［ファイルマーク順］に設定すると、昇順は評価の高い順、降順は評価の低い順になります。

2 ［フリーレイアウト］タブをクリックします。



印刷品質領域と同じ大きさのフレームが中央に青線で表示されます。



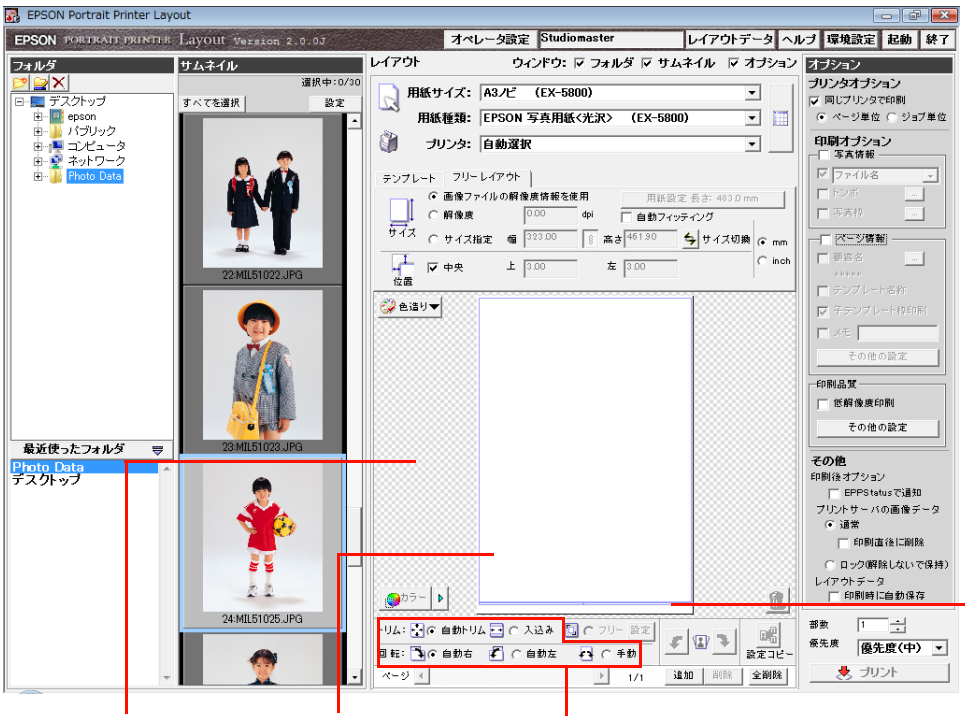
3 ページ枠を選択し、［トリム］や［回転］を設定します。

ページ枠に［トリム］の［自動トリム］や［入込み］、［回転］を設定しておくと、サムネイルから写真をドラッグしたときにすべてのフレームに同じ設定で割り付けられます。

写真を割り付けてから、フレームごとに設定を変更することもできます。［トリム］の［フリー］はページ枠に設定できません。写真を割り付けてからフレームに設定します。

ページ枠を選択するには

- フレームの外側またはページ（テンプレート）の外側をクリックします。ページ（テンプレート）が緑の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。



【Mac OS のみ】

- ［サムネイル］ウィンドウの写真をクリックします。ページ（テンプレート）が黒の枠線で表示され、ページ枠が選択された状態になります。

［トリム］や［回転］を設定するには

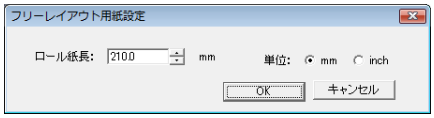
ページ枠が選択された状態で、［トリム］の［自動トリム］や［入込み］、［回転］を設定します。表示されているページ（テンプレート）のフレームすべてに同じ設定が適用されます。

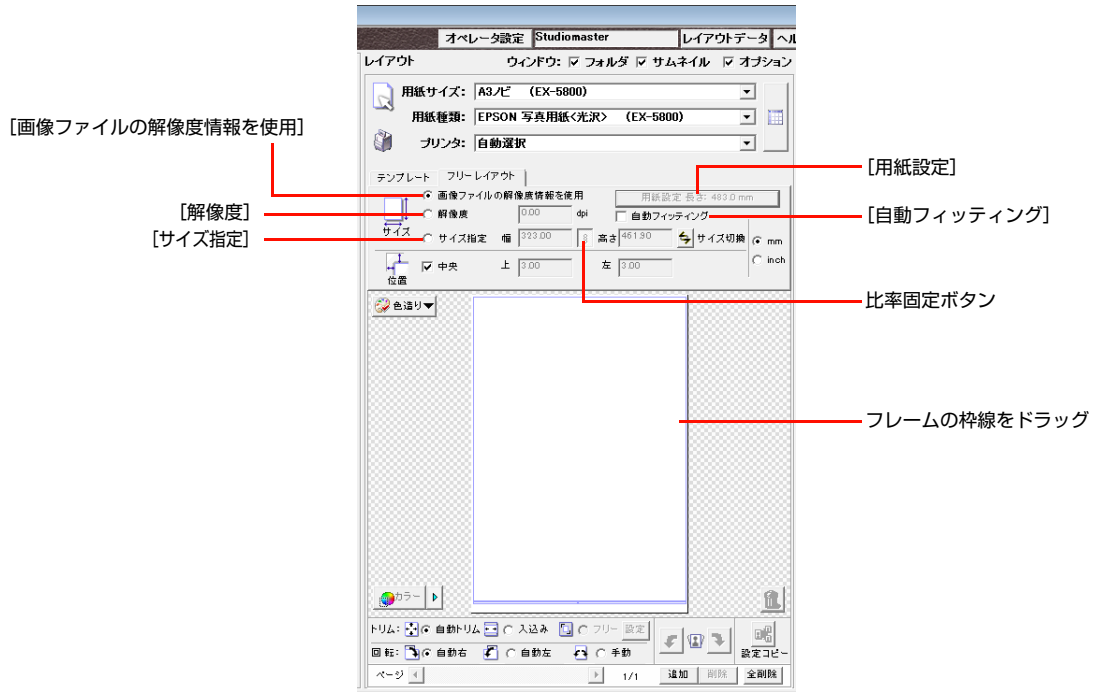
項目		内容
［トリム］	［自動トリム］	写真の縦横比を固定したまま余白がないように、写真の上下または左右を切り取って写真をフレームの中央に配置します。
	［入込み］	写真の縦横比を固定したまま、写真全体がフレーム内に収まるように縮小し、中央に配置します。写真の上下または左右に余白が残ります。
［回転］	［自動右］	横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が右回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
	［自動左］	横長の写真を縦長のフレームにドラッグしたときや、縦長の写真を横長のフレームにドラッグしたとき、写真が左回りに 90 度回転してフレームに収まります。写真の長辺とフレームの長辺の向きが同じ場合は回転しません。
	［手動］	フレームの横長、縦長にかかわらず、写真はそのままの向きで配置され回転しません。

重要 ページ枠に対しては、写真を割り付けていない状態でも［トリム］や［回転］の設定ができますが、フレームに対しては写真を割り付けないと設定できません。

4 **写真サイズを設定します。**

［画像ファイルの解像度情報を使用］、［解像度］または［サイズ指定］（Windows）/［サイズ］（Mac OS）を選択し、設定します。

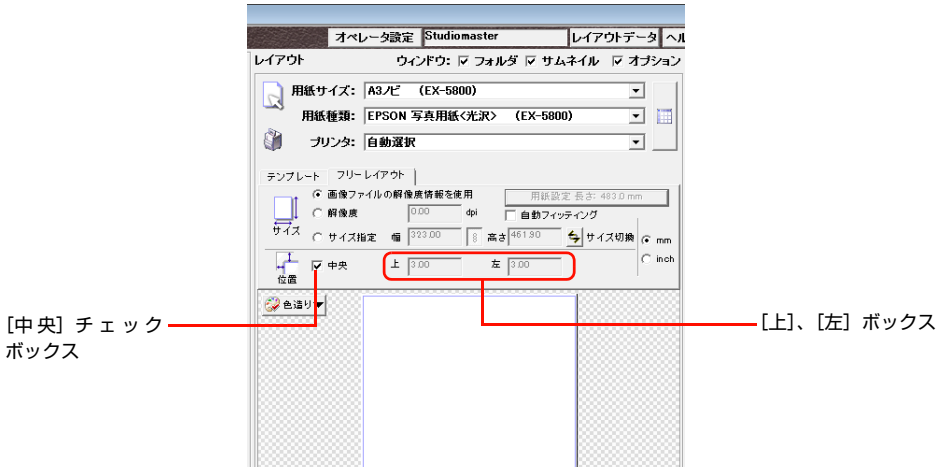
項目	内容
［画像ファイルの解像度情報を使用］	選択した写真の画像サイズ情報を元にして写真サイズが自動的に設定されます。
［解像度］	解像度（単位：dpi）を半角英数字で入力して写真サイズを設定します。解像度が大きくなるほど、写真サイズは小さくなります。指定された解像度がフレームに対して大き過ぎると、フレームに最大サイズで収まる解像度が設定されます。
［サイズ指定］	フレームの幅と高さを半角英数字で入力するか、フレームの枠線や角をドラッグして写真サイズを設定します。フレームの枠線にポインタを合わせると、ポインタが↔または↕に変わります。フレームの角にポインタを合わせるとポインタが⤡に変わります。枠線の上下、左右の一辺をドラッグするか、フレームの角をドラッグします。［幅］と［高さ］の数値が連動して変わります。比率固定ボタンをクリックして⛓にすると、幅と高さの比率が固定され、もう一度クリックすると⇆に変わり、比率固定が解除されます。
［用紙設定］	［用紙サイズ］でロール紙幅のサイズを選択すると、［用紙設定］が有効になります。 ［用紙設定］をクリックすると、［フリーレイアウト用紙設定］画面が表示され、ロール紙の長さを設定できます。 
［自動フィッティング］	画像の縦横比を維持したまま、画像が最大の大きさになるようにレイアウトします。 ロール紙幅を指定した場合は、画像の短辺がロール紙幅方向になります。 単票紙、ユーザー定義サイズの場合は、画像の短辺が用紙の短辺になります。



5 フレームの位置を設定します。

［位置］を設定してフレームの位置を調節します。
フレームの位置は写真を割り付けた後でも設定できます。

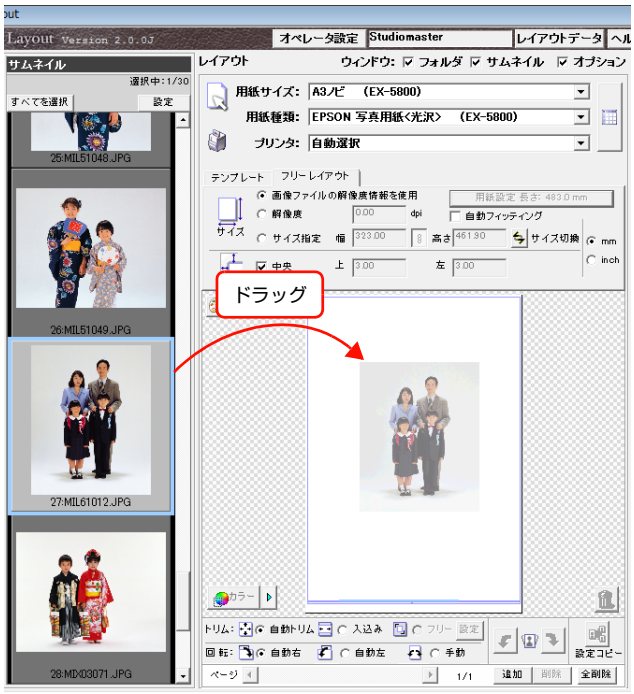
項目	内容
［中央］	写真を中央に配置したい場合は、［中央］をチェックします。
［上］、［左］	フレームの上辺からページ枠の上辺までの距離と、フレームの左辺からページ枠の左辺までの距離を半角英数字で入力します。［中央］のチェックを外してから設定します。また、フレーム内にポインタを置きドラッグするか、キーボードの［↑］、［↓］、［←］、［→］キーを使ってもフレームを移動できます。
［サイズ切換］	写真は回転させず、フレームだけを 90 度回転させます。ただし、回転すると印刷可能領域を超えてしまう場合は回転しません。



参考 ［環境設定］画面で［画像印刷領域を拡張する］を選択した場合は、印刷品質領域外（緑の枠線外）に写真を配置できますが、その部分の印刷画質が低下することがあります。
☞ EPPLayout ヘルプ「付録」ー「環境設定」

6 写真をテンプレートにドラッグします。

［サムネイル］ウィンドウの写真をクリックし、テンプレートにドラッグするとフレームに写真が割り付けられます。複数枚の写真をドラッグすると、写真の枚数に応じて新規ページが追加され、写真が 1 枚ずつ割り付けられます。追加されたページには写真をドラッグしたページの設定が反映されます。



複数の写真をまとめて選択するには

162 ページ「複数枚を同時に割り付けるには」をご覧ください。

テンプレートのページを追加するには

164 ページ「テンプレートのページを追加する」をご覧ください。

参考

- 複数ページのテンプレートを作成してからページを追加すると、1 ページ目のテンプレートと同じ設定のページが追加されます。
- ページ間を移動するには、［レイアウト］ウィンドウ下の［ページ］スクロールバーをドラッグするか、◀ や ▶ をクリックします。

新しい写真と置き換えるには

163 ページ「新しい写真と置き換えるには」をご覧ください。

写真を切り取るには

165 ページ「写真を切り取る」をご覧ください。［トリム］の［フリー］を設定するには、写真サイズの設定の［サイズ］（Mac OS）/［サイズ指定］（Windows）を選択します。

写真を回転させるには

166 ページ「写真を回転させる」をご覧ください。

写真の色調を調整するには

168 ページ「写真の色調を調整する」をご覧ください。

フレームから写真を削除するには

削除したい写真をクリックして選択し、🗑をクリックします。フレームから写真を削除しても、写真は［サムネイル］ウィンドウやフォルダからは削除されません。

テンプレートのページを削除するには

164 ページ「テンプレートのページを削除する」をご覧ください。

印刷の準備をする

写真のレイアウトが終わったら、[オプション] ウィンドウで印刷の準備をします。[オプション] ウィンドウの [プリンタオプション]、[印刷オプション]、[その他] の各項目を必要に応じて設定してください。

> **参考** EPPLayout 画面の [オプション] ウィンドウが非表示になっている場合は、[ウィンドウ] の [オプション] をチェックして表示させます。

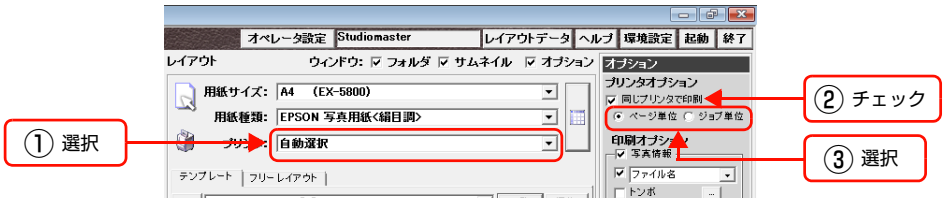
[プリンタオプション]を設定する

印刷画質にバラつきが出ないようにする

[レイアウト] ウィンドウの [プリンタ] でいつも同じプリンタを選択すれば、画質のバラつきを防げますが、プリンタの使用状況により希望するプリンタで印刷できない場合があります。[同じプリンタで印刷] を使うと、サーバが印刷データを自動的に 2 台のプリンタに振り分け、選択した印刷単位ごとに同じプリンタで印刷できます。

[レイアウト] ウィンドウの [プリンタ] で [自動選択] を選択し、[同じプリンタで印刷] をチェックします。次に、[ページ単位] または [ジョブ単位] を選択します。

- 印刷するページごとに同じプリンタを使用する場合は [ページ単位] を選択します。
- 印刷ジョブごとに使用する場合は [ジョブ単位] を選択します。



[印刷オプション]を設定する

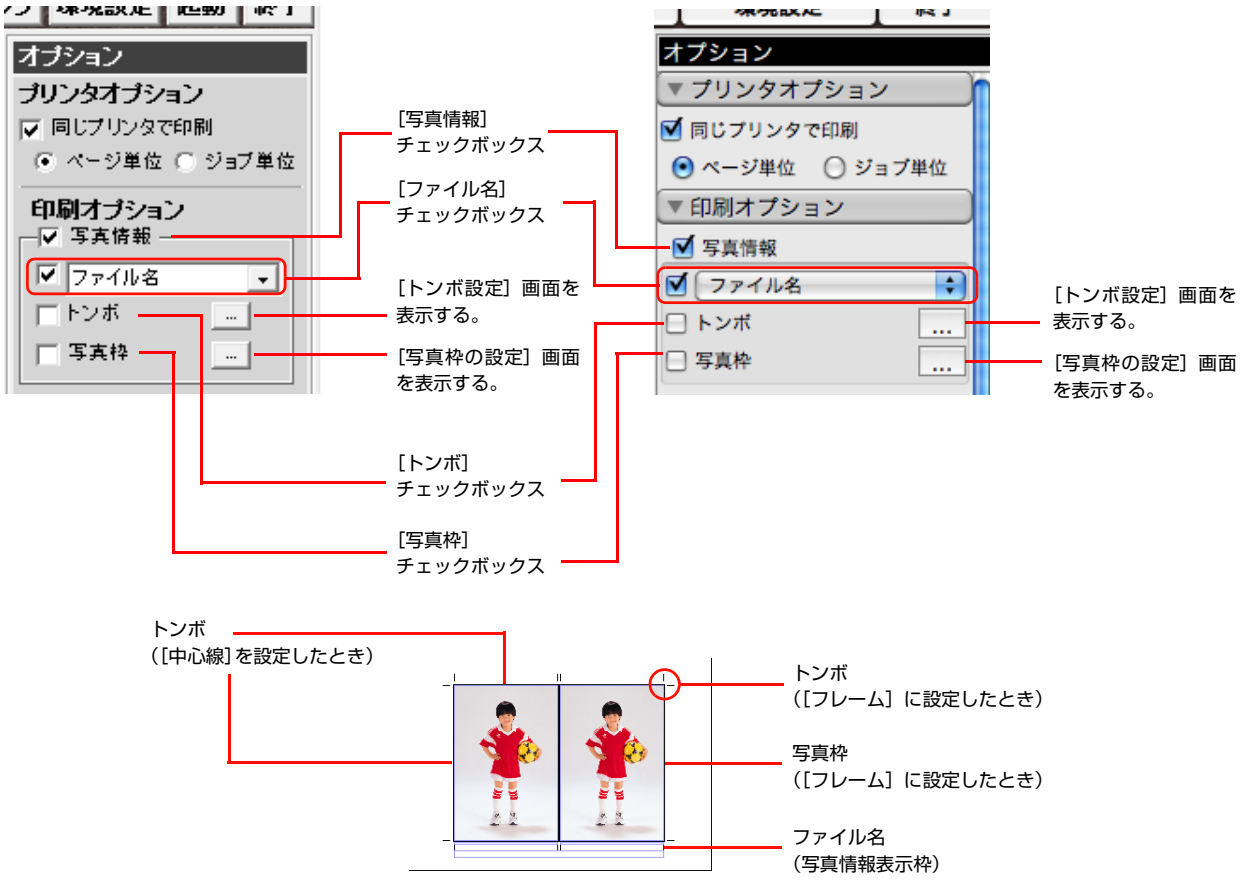
印刷したい写真情報を指定する

ファイル名、トンボ、写真枠を付けて印刷できます。[写真情報] をチェックし、[ファイル名]、[トンボ]、[写真枠] を設定します。

> **参考** ファイル名を印刷するときは、写真情報枠付きのテンプレートを選択してください。

項目	内容	
［ファイル名］または［フォルダ / ファイル名］	［ファイル名］を選択した場合は、ファイル名を印刷します。［フォルダ / ファイル名］を選択した場合は、写真の保存してあるフォルダ名とファイル名を印刷します。選択した写真情報は写真の上または下にある写真情報枠に印刷されます。なお、画面上の写真情報枠には表示されませんので、印刷する前に選択状態を確認してください。	
［トンボ］	［トンボ設定］画面で設定したトンボが写真やフレームに対して印刷されます。［トンボ］の右の … ボタンをクリックすると［トンボ設定］画面が表示され、次の設定ができます。	
	写真	写真に対してトンボを印刷します。
	フレーム	フレームに対してトンボを印刷します。
	写真＋フレーム	写真とフレームの両方に対してトンボを印刷します。写真またはフレームからトンボまでの距離、トンボの長さ、写真またはフレームの角からトンボまでの距離、線幅、色が設定できます。EPPLayout ヘルプ「各画面の説明」ー「［オプション］ウィンドウ」
	中心線	写真の水平または垂直方向の中心にトンボを印刷します。
［写真枠］	［写真枠の設定］画面で設定した枠が印刷されます。［写真枠］の右の … ボタンをクリックすると［写真枠の設定］画面が表示され、次の設定ができます。	
	写真	写真の枠を印刷します。
	フレーム	フレームを印刷します。
	写真＋フレーム	写真の枠とフレームの両方を印刷します。枠の線幅と色が設定できます。 ☞ EPPLayout ヘルプ「各画面の説明」ー「［オプション］ウィンドウ」

Windows



Mac OS

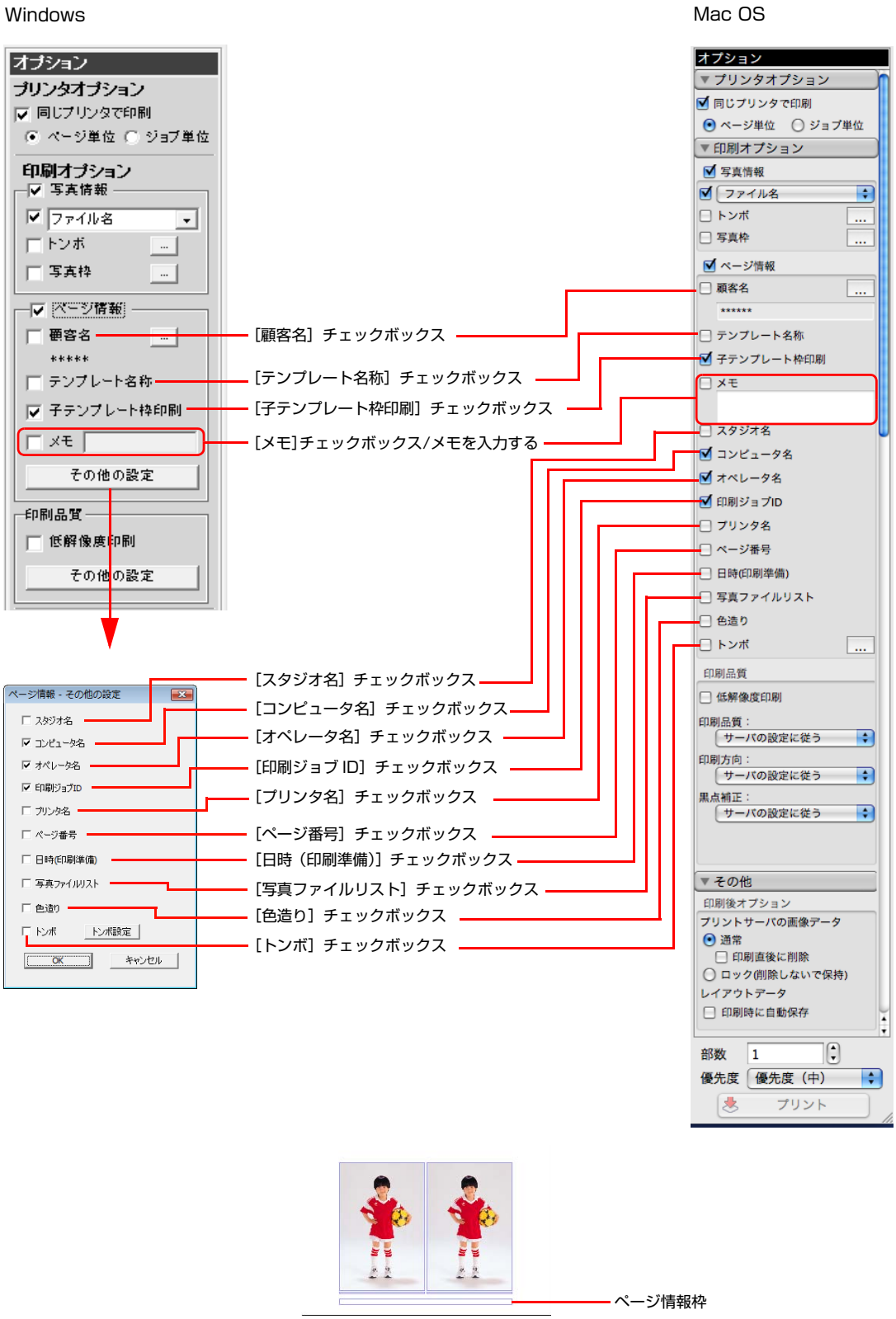
☞ EPPLayout ヘルプ「こんなときには」ー「印刷する情報を指定したい」

印刷したいページ情報を指定する

テンプレートのページ情報枠にページ情報を印刷できます。[ページ情報] をチェックし、印刷したい情報のチェックボックスをチェックします。
ページ情報には次の項目があります。

項目	内容	
[顧客名]	[顧客名の選択] 画面で選択した顧客名が印刷されます。[顧客名] の右の ... ボタンをクリックすると [顧客名の選択] 画面が表示され、次の設定ができます。	
	[追加]	[顧客名 :] ボックスに追加したい顧客名を入力し [追加] をクリックすると、リストに顧客名が登録されます。すでにリストに登録されている顧客名を入力すると、その顧客名が選択されます。
	[削除]	削除したい顧客名をリストから選択し [削除] をクリックすると、その顧客名がリストから削除されます。
	[空欄入力]	[空欄入力] をクリックすると、[顧客名選択] 下の表示は [******] となり印刷されません。
[テンプレート名称]	使用しているテンプレートの名称を印刷します。	
[子テンプレート枠印刷]	テンプレート内に配置されている子テンプレートの枠を印刷します。	
[メモ]	ボックスに入力されたメモを印刷します。半角で 250 文字、全角で 125 文字まで入力できます。	
スタジオ名 *	サーバに登録したスタジオ名を印刷します。	
コンピュータ名 *	印刷を実行するクライアントのコンピュータ名を印刷します。	
オペレータ名 *	印刷ジョブを作成したユーザーのオペレータ名を印刷します。	
印刷ジョブ ID*	印刷のジョブ ID を印刷します。	
プリンタ名 *	使用するプリンタ名を印刷します。	
ページ番号 *	総ページ数と現在のページを印刷します。	
日時（印刷準備）*	印刷ジョブのスプール開始時間を印刷します。	
写真ファイルリスト *	ページ内にレイアウトされたファイル名を印刷します。	
色造り *	色造りの情報を印刷します。	
トンボ *	チェックすると [トンボ設定（ページ）] 画面で設定された内容で用紙の中心を示すためのマークを印刷します。[トンボ設定] をクリックすると、[トンボ設定（ページ）] 画面が表示されます。	

＊ Windows では［その他の設定］をクリックすると表示されます。



参考

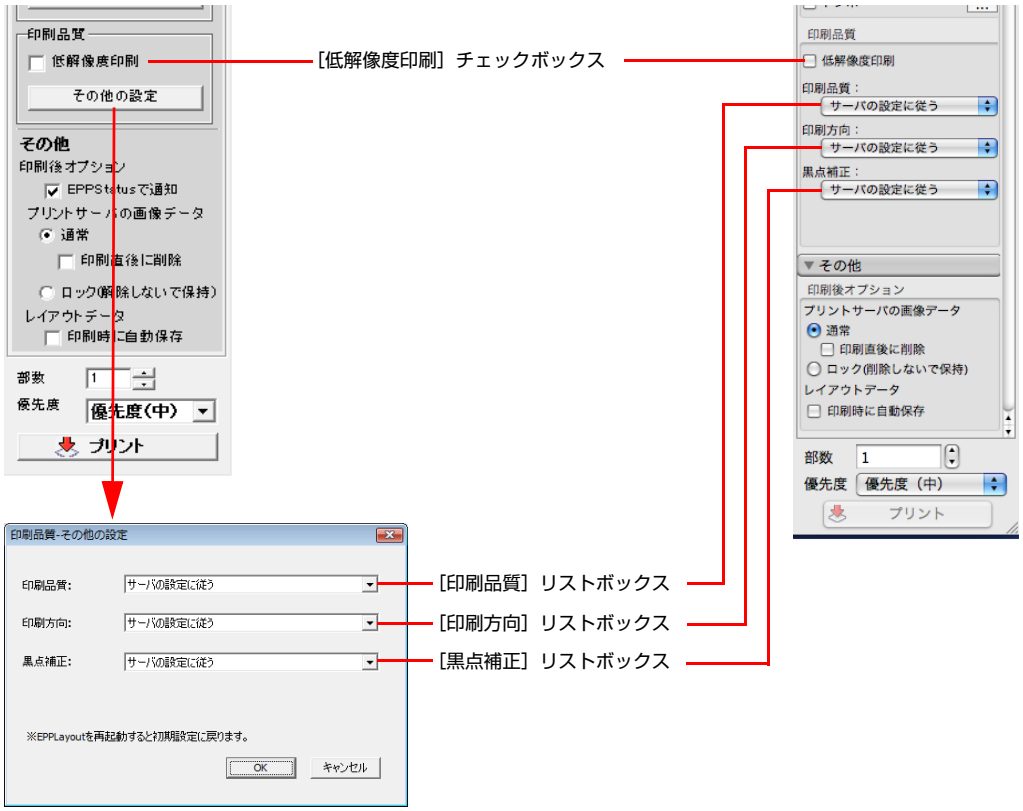
- ページ情報を選択しても、画面上のページ情報枠には表示されません。印刷する前にどの項目が選択されているかを確認してください。
- トンボ以外の情報を印刷するときは、ページ情報枠付きのテンプレートを選択してください。

印刷品質を設定する

印刷品質を設定できます。
［その他の設定］をクリックすると、より詳細な設定ができます。

項目	内容
低解像度印刷	写真データの解像度を低減して、低い画質で印刷します。 写真データの解像度はサーバで設定します。
印刷品質 *	印刷品質を設定します。 リストには、［サーバの設定に従う］と、選択しているプリンタが使用可能な［解像度］が表示されます。いずれかを選択してください。なお、選択しているプリンタが［自動選択］のときは、［サーバの設定に従う］のみ表示されます。
印刷方向 *	プリントヘッドの印刷方向を設定します。 ［サーバの設定に従う］、［双方向印刷］、［片方向印刷］のいずれかを選択してください。
黒点補正 *	黒点を補正するかしないかを設定します。 ［サーバの設定に従う］、［補正する］、［補正しない］のいずれかを選択してください。

＊　Windows では［その他の設定］をクリックすると表示されます。

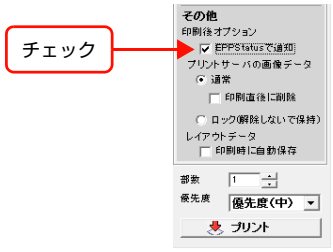


[その他]のオプションを設定する

印刷終了の通知、印刷後のデータの処理などを設定します。また、画像データの解像度を設定します。

印刷終了通知を表示させる(Windows のみ)

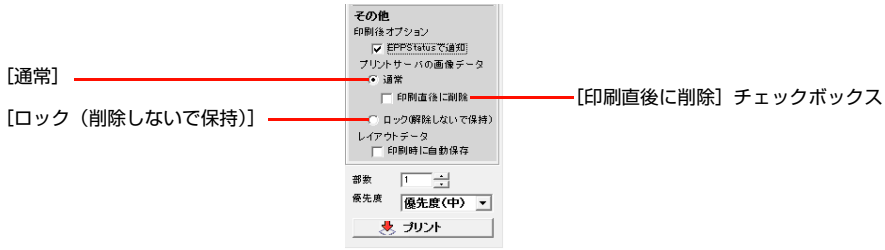
印刷が終了したとき、クライアントコンピュータの画面に印刷終了メッセージを表示できます。[EPPStatus で通知]をチェックすると、印刷終了後、印刷印刷終了メッセージが EPPStatus により表示されます。



印刷終了後のデータの処理を設定する

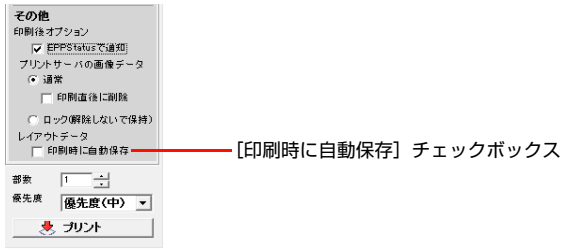
印刷が終了したとき、送信した画像データをサーバから削除するか、サーバに登録するかを設定します。[プリントサーバの画像データ]の項目を選択します。

項目	内容
[通常]	サーバの印刷ジョブリストに登録され、サーバにより管理されます。印刷終了後すぐに画像データを削除したいときは、[印刷直後に削除]をチェックします。
[ロック(削除しないで保持)]	サーバの印刷ジョブリストに登録され、サーバから自動削除されません。ユーザーが画像データをサーバから削除するまで残るので、繰り返し印刷できます。サーバの印刷ジョブリスト上では、ロックされている印刷ジョブには アイコンが表示されます。



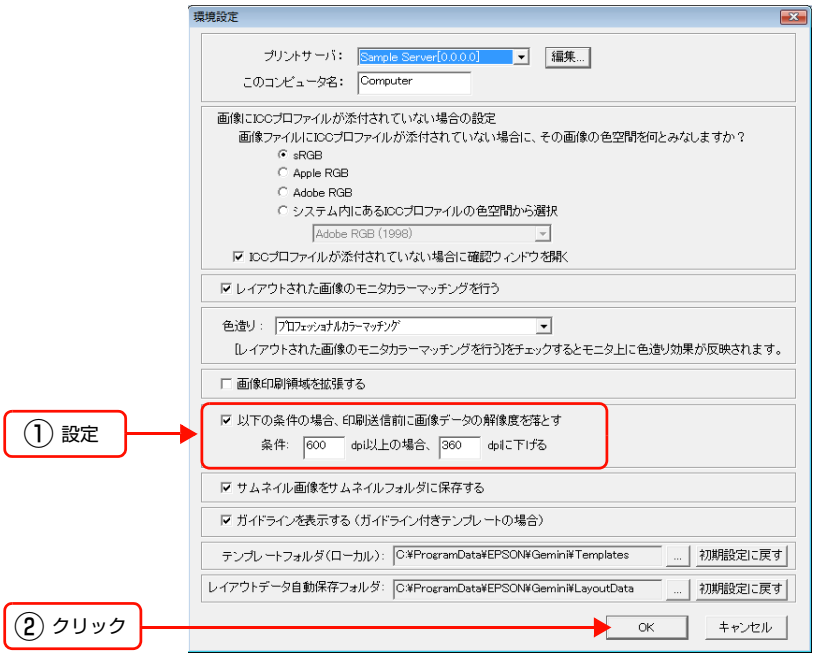
印刷終了後のレイアウトデータの処理を設定する

[印刷時に自動保存]をチェックして印刷すると、[環境設定]で指定しているフォルダにレイアウトデータを保存します。



画像データの解像度を設定する

画像データの解像度が大きい場合、通常の印刷に対応できるように解像度を落とすことができます。画面右上の［環境設定］をクリックし、［以下の条件の場合、印刷送信前に画像データの解像度を落とす］をチェックし、解像度を設定してください。解像度が指定解像度を超えている場合、自動的に指定解像度に落としてサーバに送信します。



参考 ［環境設定］のその他の項目については、「EPPLayout ヘルプ」をご覧ください。
☞ EPPLayout ヘルプ「付録」ー「環境設定」

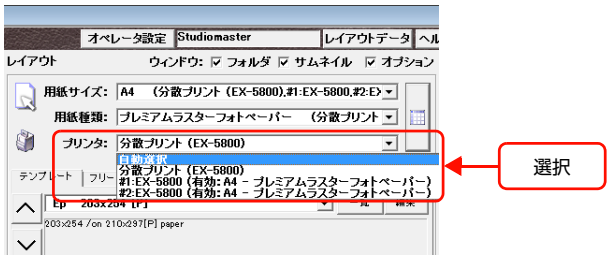
写真を印刷する

参考 印刷を行う前に、プリンタの用紙やインクカートリッジの状態も確認してください。詳しくは、207 ページ「プリンタの状態を確認する」をご覧ください。

1 **[プリンタ] の をクリックしプルダウンメニューから使用したいプリンタを選択します。**

[自動選択] を選択すると、サーバがプリンタを選択します。

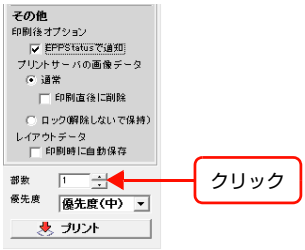
[分散プリント (EX-XXXX)] を選択すると、選択した機種のプリンタに印刷ジョブを分散して印刷します。同一機種が 2 台以上接続されているときに表示されます。



参考
- 選択している [用紙サイズ] と [用紙種類] が、選択したプリンタで使用できない場合はエラーメッセージが表示されます。
- リスト右側の をクリックすると、使用するプリンタに応じて [用紙サイズ] と [用紙種類] の組み合わせを一覧表から選択できます。
  ☞ 本書 16 ページ「用紙を選択する」

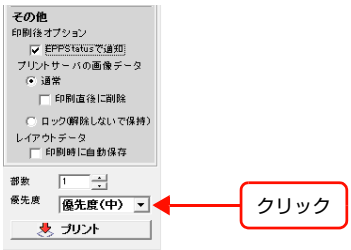
2 **[部数] の をクリックして印刷部数を設定します。**

1 ～ 99 部まで設定できます。ボックスに半角英数字で部数を入力することもできます。



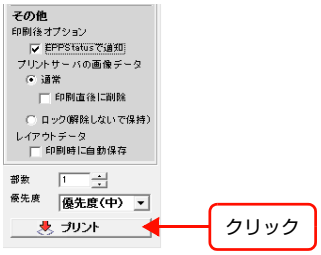
3 **[優先度] の をクリックし、リストボックスから印刷ジョブの優先度を指定します。**

[優先度（最高)]、[優先度（高)]、[優先度（中)]、[優先度（低)]、[ポーズ] の順で優先度が低くなります。優先度の高い順に印刷されます。[ポーズ] を選択すると、EPPMonitor や EPPServer を使ってポーズを解除するまで印刷されません。

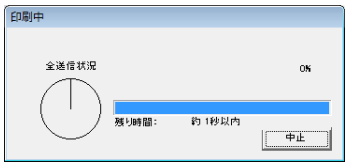


参考
- サーバへ印刷ジョブを送信した後でも、印刷部数や優先度の変更ができます。詳しくは、197 ページ「印刷ジョブの設定を変更する」をご覧ください。
- ポーズの解除については、199 ページ「待機中、またはスプール中の印刷ジョブを一時停止するまたは一時停止を解除する」をご覧ください。

4 ［プリント］をクリックします。

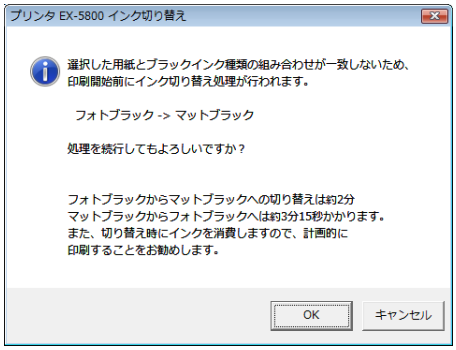


プリントサーバへの印刷データ送信状況を知らせる画面が表示されます。



参考

- EX-3V/EX-5002/EX-5800 では、使用する用紙タイプによってブラックインクが自動的に切り替わります。ブラックインクが変更されるときには、以下のメッセージがサーバの画面に表示されます。



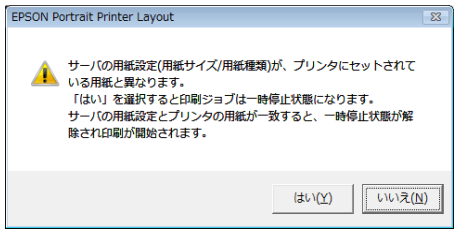
印刷を中止する場合は

［プリントサーバへファイルを転送中］画面の［中止］をクリックします。ファイルの送信を中止します。印刷データの送信が終了しメッセージ画面が消えると EPPLayout から印刷を中止することはできませんが、送信したデータが印刷待機中の場合は、EPPMonitor や EPPServer から印刷を一時停止にしたり、印刷ジョブを削除できます。詳しくは、197 ページ「印刷ジョブの設定を変更する」をご覧ください。

エラーメッセージが表示された場合は

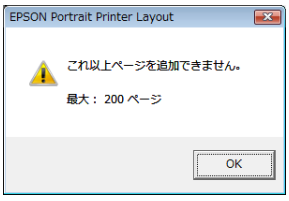
以下のように対処してください。

選択した用紙サイズや用紙の種類と、プリンタにセットされている用紙が一致しないとき



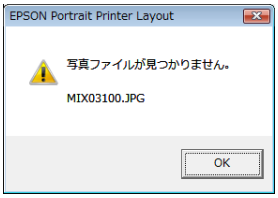
用紙をセットし直した後［OK］をクリックすると、自動的に印刷を再開します。印刷を中止するときは、［キャンセル］をクリックします。用紙を正しくセットし（220 ページ）、EPPLayout 画面の［プリント］をクリックしてください。

指定された印刷部数が 200 ページを超えたとき



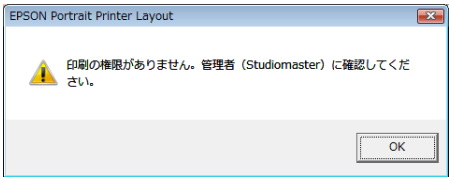
［OK］をクリックし、EPPLayout 画面の［部数］で印刷部数を少なくし、［プリント］をクリックしてください。

レイアウトされた写真の画像ファイルが見つからない場合



［OK］をクリックします。ファイルを探して元のフォルダに戻し、［プリント］をクリックしてください。

印刷に対する操作権限のないユーザーが[プリント]をクリックしたとき



［OK］をクリックします。Studiomaster がそのユーザーに［プリント］の［操作権限］を与えると印刷できます。
☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「[ユーザ設定］画面」

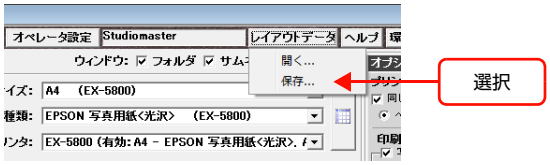
レイアウトデータを保存する

ここまでの手順で作成したレイアウトデータは、保存することができます。保存するときに、用紙サイズ、用紙種類、プリンタ、モードの設定も、一緒に保存されます。

レイアウトデータを保存するときは、［レイアウトデータの保存］画面を表示します。

【Windows】

［レイアウトデータ］-［保存］を選択します。



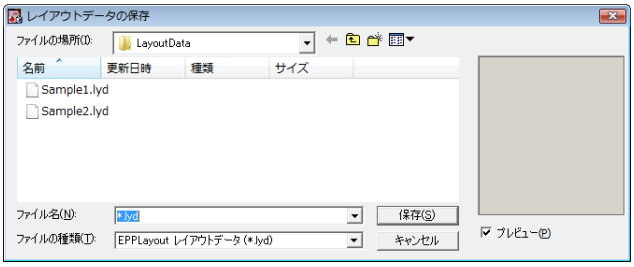
【Mac OS】

［ファイル］-［レイアウトデータ保存］を選択します。



［レイアウトデータの保存］画面が表示されます。

Mac OS ではプレビューはできません。



参考

- レイアウトデータの保存先は、［環境設定］画面で指定できます。
- 保存したレイアウトデータを読み込むには、下記の操作をしてください。
  【Windows】
  ［レイアウトデータ］-［開く］を選択
  【Mac OS】
  ［ファイル］-［レイアウトデータ読み込み］を選択
- ［オプション］で設定した内容は保存されません。

印刷ジョブを管理する

サーバへ印刷ジョブを送信した後、EPPMonitor または EPPServer で待機中の印刷ジョブの確認や、印刷済みのジョブに関する情報の確認、印刷ジョブの削除や再印刷の設定、印刷ジョブの優先度の変更ができます。また、プリンタのインクや用紙の状態も確認できます。プリンタの状況は EPPStatus（Windows のみ）を使って確認することもできます。

☞「EPPMonitor を起動する」191 ページ
☞「印刷ジョブを確認する」193 ページ
☞「印刷ジョブを検索して、更新する」195 ページ
☞「印刷ジョブの設定を変更する」197 ページ
☞「プリンタの状態を確認する」207 ページ
☞「プリンタの有効 / 無効を設定する」212 ページ

EPPMonitor の使い方や機能については、「EPPMonitor ヘルプ」をご覧ください。EPPMonitor 画面右上の［ヘルプ］をクリックすると、「EPPMonitor ヘルプ」が表示されます。

参考
- EPPMonitor の画面表示は、Mac OS 環境と Windows 環境で若干異なります。ここで使用している画面はすべて Windows 版の Internet Explorer 7.0 を使用しています。
- 本体の LCD モニタ（EPPServer）での印刷ジョブリストの表示や操作方法は EPPMonitor とほとんど同じです。異なる場合はその都度明記してあります。

EPPMonitor を起動する

EPPMonitor は EPPLayout または EPPStatus（Windows のみ）から起動し、Microsoft Internet Explorer や Safari のブラウザを使って操作します。Microsoft Internet Explorer 6.0 以上、または Safari2.0 以上をお使いください。

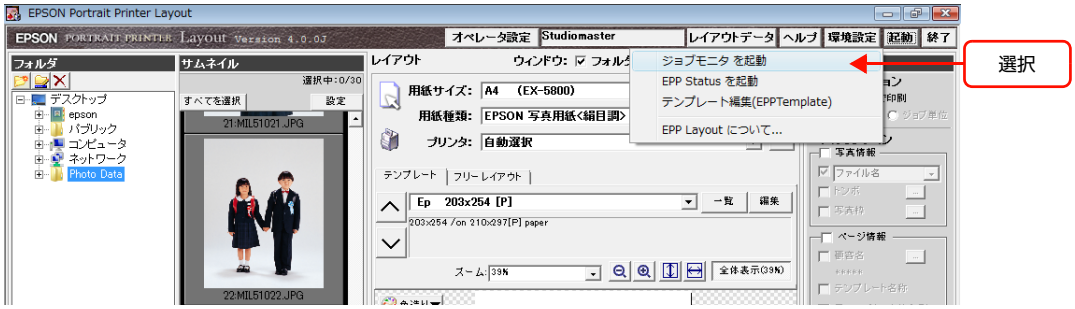
ブラウザの設定

お使いのブラウザを次のように設定してください。

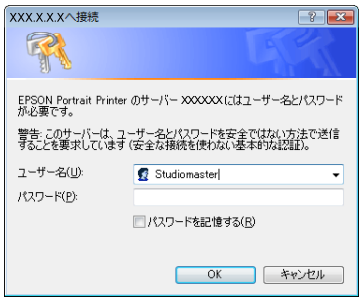
項目	説明
キャッシュ設定	[自動設定]（Internet Explorer）、[セッションごと] または [ページ表示ごと]（Internet Explorer）
HTTP エラーの簡易表示機能	[OFF]（Internet Explorer）
CGI フォーム送信、Java、JavaScript	[有効] ただし、警告画面表示は [OFF]
Cookie	受け入れる設定

1 EPPMonitor を起動します。

- 【Windows】
  EPPLayout 画面右上にある［起動］をクリックして、［ジョブモニタを起動］を選択します。
- 【Mac OS】
  EPPLayout の［ファイル］メニューから［ジョブモニタを起動］を選択します。

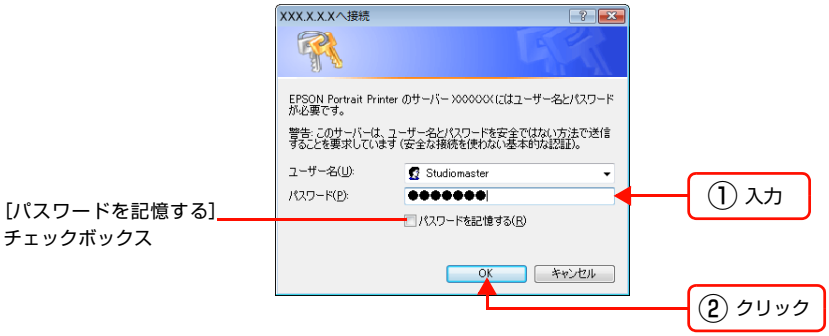


ブラウザソフトが起動し、ログイン画面が表示されます。



参考　Windows では、EPPStatus からも EPPMonitor を起動できます。
Windows 画面右下にあるタスクバーに表示されている EPPStatus のアイコンを右クリックして、［ジョブモニタを起動］を選択します。

2 **ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックします。**
次回からパスワードの入力を省略するには、［パスワードを記憶する］をチェックします。



EPPMonitor にログインすると、印刷ジョブリストが表示されます。

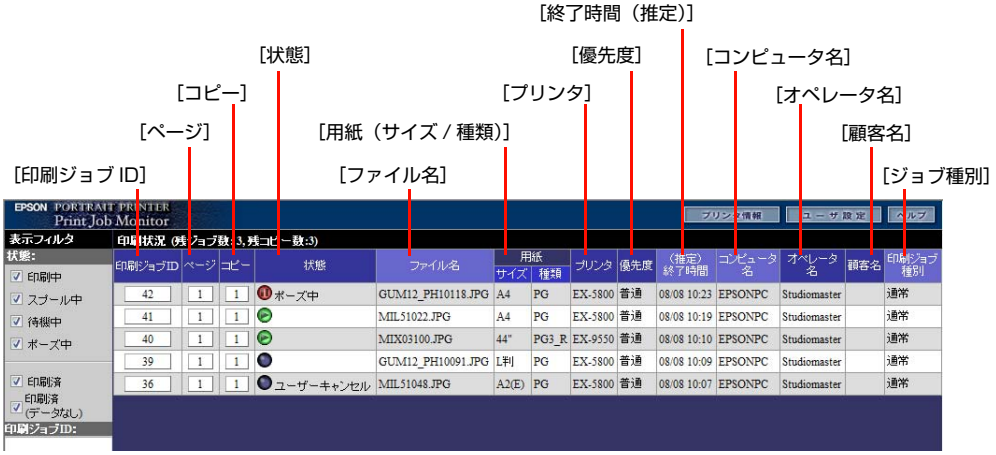
EPPMonitor を終了するには

【Windows】
ブラウザ画面右上の ☒ をクリックします。

【Mac OS】
メニューから［終了］を選択します（メニュー名称などは使用しているブラウザによって異なります）。

印刷ジョブを確認する

EPPMonitor にログインすると、[印刷状況] エリアに印刷ジョブリストが表示されます。印刷ジョブリストで印刷ジョブの状態を確認できます。



印刷ジョブリストは、印刷の［終了時間（推定）］が遅い順に、上から表示されます。それぞれの印刷ジョブは、［印刷ジョブ ID］ごとに［ページ］と［コピー］部数によって分類されます。

参考

- 初期設定では、EPPMonitor に表示される印刷ジョブリストは 90 秒ごと、本体の LCD モニタ（EPPServer）に表示される印刷ジョブリストは 60 秒ごとに自動更新されます。更新間隔は変更できます。詳しくは 196 ページ「［自動更新］の間隔を変更するには」をご覧ください。
- モニタに表示しきれない数の印刷ジョブがある場合は、印刷ジョブリストのスクロールバーをドラッグして表示できます。

［印刷状況］エリアの表示内容について

項目	内容
［印刷ジョブ ID］	各印刷ジョブを 6 桁の数字で表示します。
［ページ］	ジョブ ID の各ページを番号（ページ ID）で表示します。
［コピー］	各ページのコピー部数（コピー ID）を表示します。印刷ジョブリストの 1 行はコピー ID ごとに表示されます。
［状態］	印刷ジョブの状態を表示します。［状態］に表示されるマークについては、194 ページ「［状態］に表示されるマークとプリンタの状態」をご覧ください。
［ファイル名］	印刷する画像のファイル名を表示します。複数のファイルがある場合は、カンマで区切って表示されます。
［用紙サイズ］	設定されている用紙サイズを表示します。
［用紙種類］	設定されている用紙の種類を表示します。
［プリンタ］	設定されているプリンタ名を表示します。［自動選択］が設定されているときは、サーバがプリンタを選択します。
［優先度］	印刷ジョブの優先度を［最優先］、［優先］、［普通］、［低優先］で表示します。
［終了時間（推定）］	印刷の終了と終了予定日時を表示します。
［コンピュータ名］	クライアントコンピュータごとに割り当てた ID またはコンピュータ名を表示します。
［オペレータ名］	オペレータごとに割り当てた ID またはオペレータ名を表示します。
［顧客名］	印刷を依頼した顧客名または顧客 ID を表示します。
［印刷ジョブ種別］	ジョブの種類を［通常］（印刷ジョブ）、［調整］（プリンタ調整）で表示します。ジョブにエラーが発生した場合は、［エラー］が表示されます。

[状態]に表示されるマークとプリンタの状態

マーク	プリンタの状態
緑色点滅	印刷中
緑色点灯	サーバへレンダリング中またはスプール中
黄色点灯	印刷待機中 印刷中のジョブが終了したら、印刷を開始します。[状態]に[クリーニング中]が表示されている場合は、プリンタヘッドのクリーニング中のため印刷が待機状態になっています。
赤色点灯	ポーズ中 [ポーズ]をクリックしていないのに、プリンタがポーズ状態になった場合は、以下の原因が考えられます。[状態]に原因が表示されます。 • [設定用紙なし]:設定された用紙をセットするまで、ポーズ状態が続く。または、用紙トレイが正しくセットされるまでポーズ状態が続く。 • [用紙なし]:用紙トレイに用紙が入っていない。 • [インクなし]:インクカートリッジにインクが入っていない。 • [プリンタ無効]:プリンタが無効になっている。 • [プリンタなし]:プリンタの接続がされていない。電源が入っていない。通紙経路カバーが開いている。 • [プリンタエラー]:そのほかのプリンタエラーのため、印刷できない。
黒色点灯	印刷済(データあり) 印刷は終了しましたが、再印刷できます。 または以下の原因により印刷が中断されました。原因が[状態]に表示されます。 • [ユーザキャンセル]:ユーザーにより印刷ジョブがキャンセルされた。 • [印刷失敗]:印刷できない。 例) ・メモリ不足 ・不適切なプロファイルが埋め込まれている場合 ・高さ / 幅が 10000 ピクセルを超えるデータ
白色(グレー)点灯	印刷済(データなし) 印刷が終了しデータが削除されたため、再印刷できません。 または以下の原因により印刷が中断されました。原因が[状態]に表示されます。 • [ユーザキャンセル]:ユーザーにより印刷ジョブがキャンセルされた。 • [印刷失敗]:印刷できない。 例) ・メモリ不足 ・不適切なプロファイルが埋め込まれている場合 ・高さ / 幅が 10000 ピクセルを超えるデータ
ロック	印刷ジョブがロックされているので、自動削除できません。この印刷ジョブは再印刷できます。詳しくは、204 ページ「印刷ジョブを再印刷する」をご覧ください。

印刷ジョブを検索して、更新する

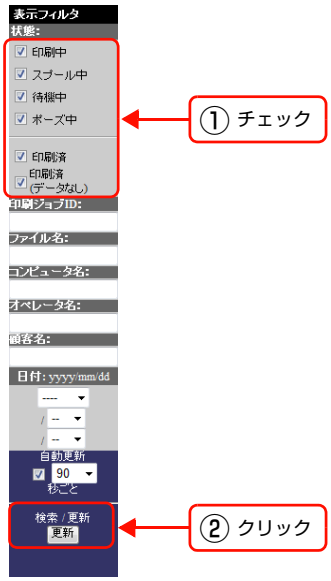
指定した状態の印刷ジョブだけを検索して更新し、印刷ジョブリストに表示できます。さらに［印刷ジョブ ID］や［ファイル名］などの検索条件を詳細に指定して、印刷ジョブを更新することもできます。

指定した状態の印刷ジョブを更新する

指定した状態の印刷ジョブだけを検索して更新し、印刷ジョブリストに表示できます。

1 **［表示フィルタ］エリアの［状態］をチェックし、［更新］をクリックします。**

チェックした項目が検索条件に含まれます。指定した状態にある印刷ジョブだけを検索して、印刷ジョブリストが更新されます。



> **参考** 指定した［状態］の項目は保存され、変更しない限り同じ設定が適用されます。

［印刷済み］と［印刷済み（データなし）］について

初期設定では、［印刷済み］と［印刷済み（データなし）］は表示しない設定になっています。これらの印刷ジョブを表示するときは、［印刷ジョブ ID］や［ファイル名］などの入力ボックスに検索条件を入力し、表示する印刷ジョブを絞り込んでください。入力ボックスで検索条件を指定しないと、大量の印刷ジョブが表示される場合があります。

検索条件を詳細に指定して印刷ジョブリストを更新する

［表示フィルタ］エリアの入力ボックスに検索条件を指定し、印刷ジョブリストに表示する印刷ジョブを絞り込みます。

> **重要** 検索条件を入力して印刷ジョブを更新する操作は本体の LCD モニタ（EPPServer）ではできません。

1 **［表示フィルタ］エリアの入力ボックスに必要な検索条件を半角英数字で入力し、［更新］をクリックします。**
入力した条件を検索して、印刷ジョブリストが更新されます。



> **参考**
> - 空白のボックスがあっても、入力された検索条件で検索できます。
> - ［日付］を指定しないと、検索条件を満たすすべての印刷ジョブが表示されます。

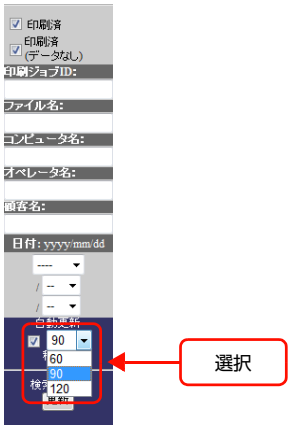
印刷ジョブリストにジョブが表示されないときは

以下の原因が考えられます。

- 印刷ジョブリストが更新されていません。印刷ジョブを表示するには、［表示フィルタ］エリアの［更新］をクリックするか、自動更新されるまで待ちます。
- ［表示フィルタ］エリアの［日付］に日付を入力するだけでは、指定した日付の印刷ジョブは表示されません。必ず［更新］をクリックしてください。

［自動更新］の間隔を変更するには

［自動更新］の▼をクリックし、［60］、［90］、［120］（秒ごと）から更新間隔を選択して、チェックします。



> **参考**
> - ［自動更新］がチェックされているか確認してください。更新間隔を選択しただけでは自動更新されません。
> - ［自動更新］の更新間隔は保存され、変更しない限り同じ設定が適用されます。

印刷ジョブの設定を変更する

［設定変更］画面で印刷ジョブの優先度、用紙種類、再印刷、一時停止、削除などの設定を変更できます。

> **参考**
> - 印刷中の印刷ジョブの設定は変更できません。
> - 送信した印刷ジョブの設定の変更は本体の LCD モニタ（EPPServer）でも操作できます。

> **重要** 印刷ジョブの設定は、設定に対する権限のないユーザーは操作できません。権限のないユーザーがログインすると、印刷ジョブリストの［印刷ジョブ ID］、［ページ］、［コピー］ボタンは表示されません（各数値は表示されます）。

1 EPPMonitor を起動します。

ジョブリスト画面が表示されます。

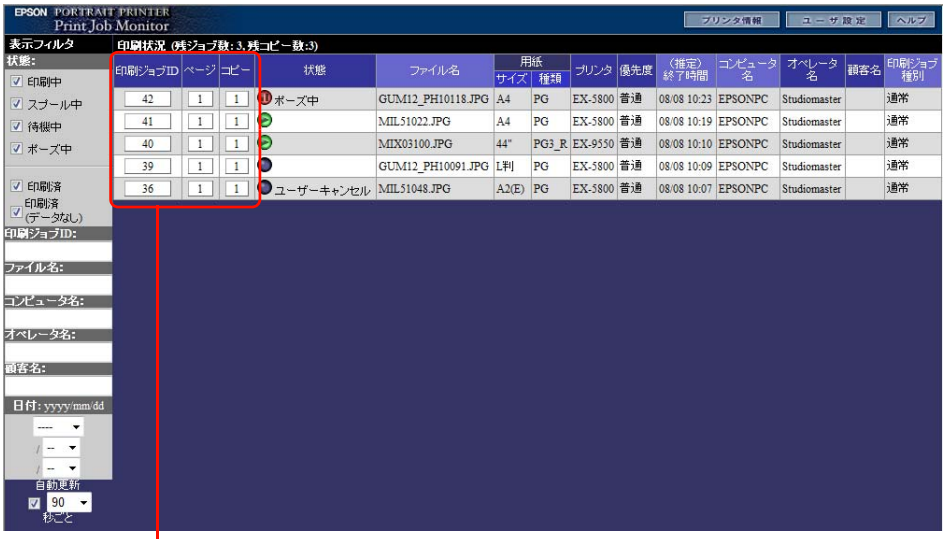
☞ 本書 191 ページ「EPPMonitor を起動する」

> **参考** EPPMonitor の起動方法については、191 ページ「EPPMonitor を起動する」をご覧ください。

2 印刷ジョブの［印刷ジョブ ID］、［ページ］または［コピー］をクリックします。

［設定変更］画面が表示されます。［印刷ジョブ ID］をクリックすると印刷ジョブ単位で、［ページ］をクリックするとページごとに、［コピー］をクリックするとコピーごとに設定を変更できます。クリックしたボタンや印刷ジョブの状態によって、表示される内容が多少異なります。

［ページ］または［コピー］をクリックした場合は、印刷画像のサムネイルが表示されます。



3 設定を変更します。



項目	内容
[サムネイル]	印刷する画像のサムネイルが表示されます。
[コピー枚数]	選択した印刷ジョブの印刷部数を変更します。
[優先度]	印刷ジョブの優先度を［最優先］、［優先］、［普通］、［優先しない］から選択します。
[用紙種類]	印刷する用紙の種類を変更します。
[プリンタ]	プリンタを変更します。［自動選択］を選択すると、サーバがプリンタを選択します。
[画像データ]	［ロック］を選択すると、削除しない限り印刷ジョブがリストに保存されます。［通常］を選択すると、一定期間後に印刷ジョブは削除されます。

重要 印刷ジョブの状態によって、設定できる項目が異なります。

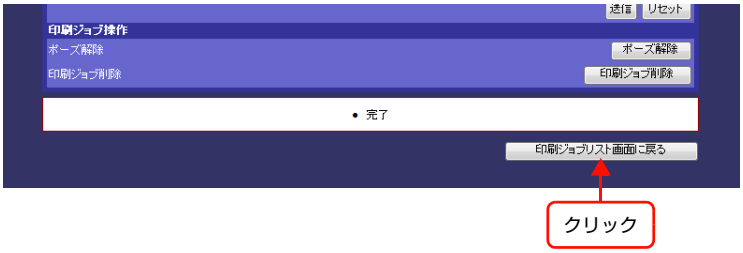
4 設定の変更が終わったら、［送信］をクリックします。



5 ［OK］をクリックします。



［完了］画面が表示され、設定が変更されます。変更を取り消す場合は、［キャンセル］をクリックします。［設定変更］画面に戻ります。



> **参考** ［完了］画面が表示された後、続けてほかの印刷ジョブの設定を変更する場合は、［印刷ジョブリスト画面に戻る］をクリックします。

待機中、またはスプール中の印刷ジョブを一時停止するまたは一時停止を解除する

> **重要** 印刷中の印刷ジョブの一時停止はできません。

1 一時停止したい印刷ジョブ、または一時停止を解除したい印刷ジョブの［印刷ジョブ ID］、［ページ］または［コピー］をクリックします。



2 **一時停止する場合は［ポーズ］、一時停止を解除する場合は［ポーズ解除］をクリックします。**

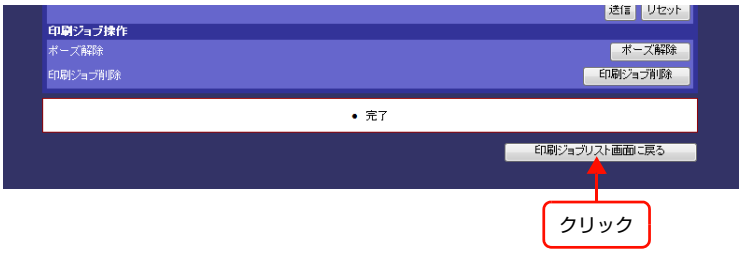
一時停止状態の印刷ジョブを選択した場合は、［ポーズ解除］が表示されます。［ページ］または［コピー］をクリックした場合は、印刷画像のサムネイルが表示されます。



3 **［OK］をクリックします。**



［完了］画面が表示されます。送信をやめる場合は、［キャンセル］をクリックします。［設定変更］画面に戻ります。



参考 ［完了］画面が表示された後、続けてほかの印刷ジョブの設定を変更する場合は、［印刷ジョブリスト画面に戻る］をクリックします。

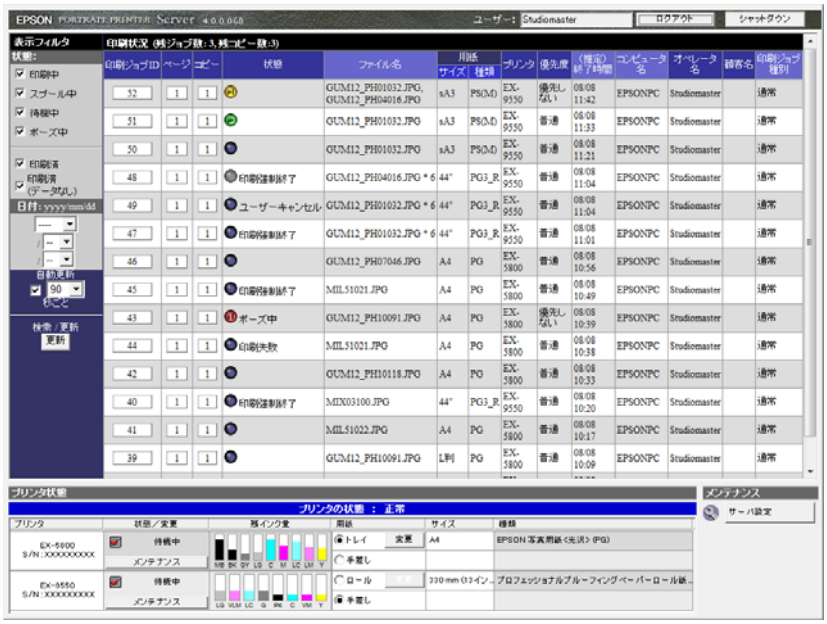
印刷ジョブを削除する

まだ印刷が開始されていない印刷ジョブ（待機中、スプール中、ポーズ中）を削除できます。本体の LCD モニタ（EPPServer）とクライアントコンピュータの EPPMonitor を使って操作します。

> **重要** 印刷ジョブの削除を行うには、［プリンタ状態変更］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「［ユーザー設定］画面」

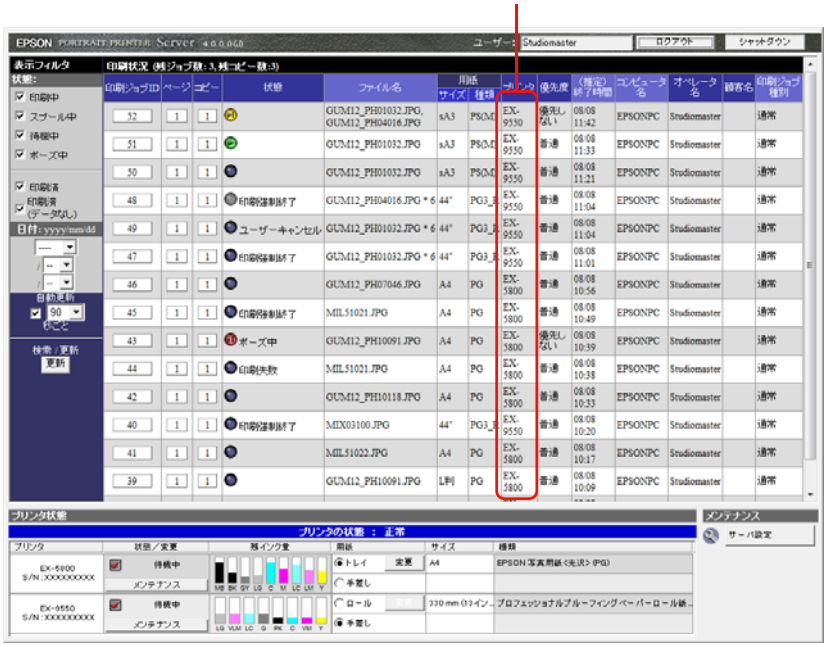
1 **本体の LCD モニタで EPPServer にログインします。**

EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。
ログイン後の EPPServer 画面が表示されます。



2 **［印刷状況］エリアで削除したい印刷ジョブのプリンタを確認します。**

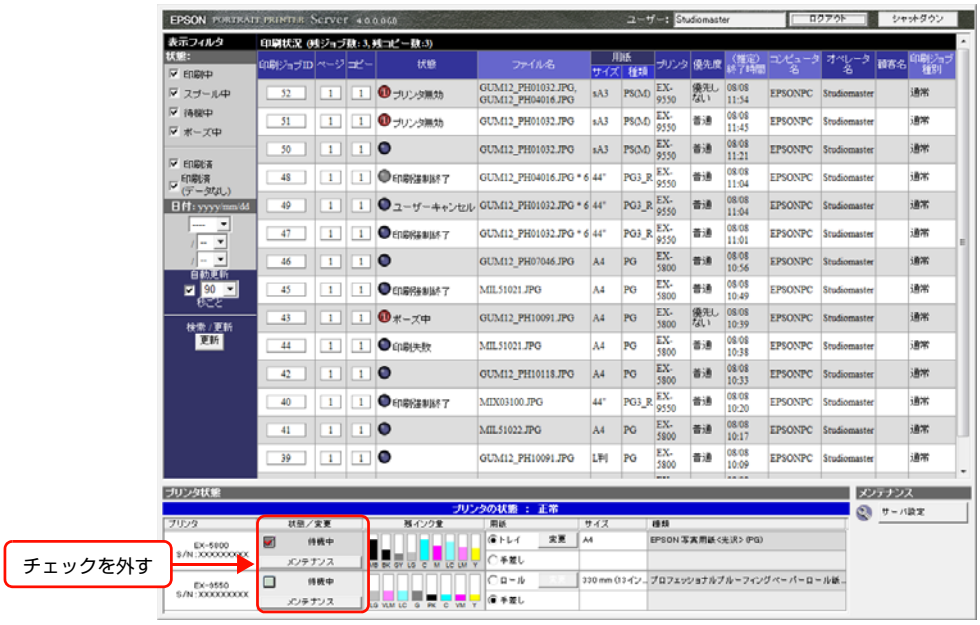
削除したいジョブのプリンタを確認する。



> **参考** 待機中、スプール中、ポーズ中の印刷ジョブを検索して確認できます。
> ☞ 本書 195 ページ「印刷ジョブを検索して、更新する」

3 EPPServer 画面下にある［プリンタ状態］エリアの［状態 / 変更］で、削除したい印刷ジョブのプリンタのチェックを外して、プリンタを無効にします。

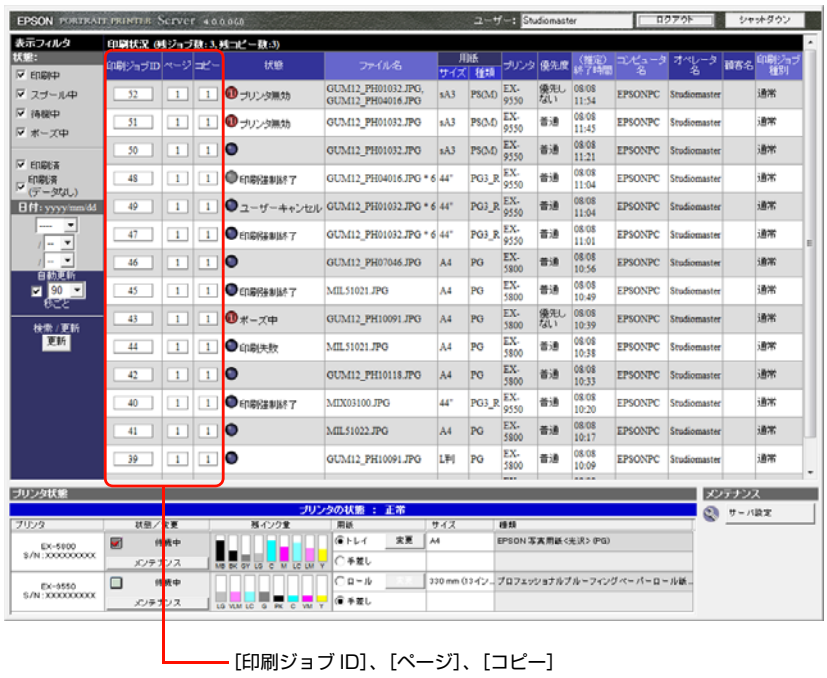
削除したい印刷ジョブのプリンタが印刷中の場合は、印刷中のジョブが終了した後指定したプリンタが無効になります。



> **参考** この後、クライアントコンピュータで EPPMonitor を起動して印刷ジョブを削除することもできます。

4 削除したい印刷ジョブの［印刷ジョブ ID］、［ページ］または［コピー］をクリックします。

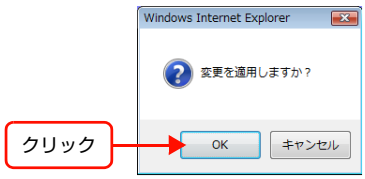
［ページ］または［コピー］をクリックした場合は、印刷画像のサムネイルが表示されます。



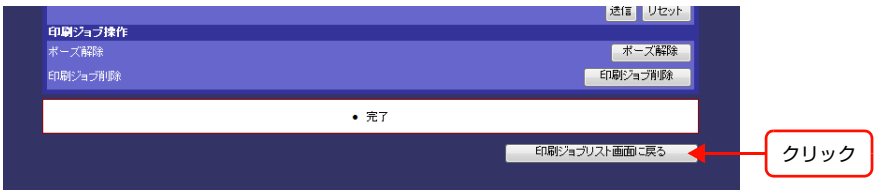
5 [印刷ジョブ削除] をクリック



6 [OK] をクリックします。



[完了] 画面が表示され、選択した印刷ジョブが削除されます。削除を取り消す場合は、[キャンセル] をクリックします。[設定変更] 画面に戻ります。



> **参考** [完了] 画面が表示された後、続けてほかの印刷ジョブの設定を変更する場合は、[印刷ジョブリスト画面に戻る] をクリックします。

印刷ジョブを再印刷する

［状態］に印刷済（データあり）のマークが表示されている印刷ジョブは、データを再送信しなくても再印刷できます。

> **参考** 画像データが自動削除されるのを防ぐために画像データをロックできます。ロックしたジョブの印刷が終了すると、［状態］に印刷済（データあり）のマークが表示されます。EPPLayout を使って印刷ジョブをロックする場合は、184 ページ「［その他］のオプションを設定する」をご覧ください。印刷データを送信した後、EPPMonitor で印刷ジョブをロックしたい場合は、197 ページ「印刷ジョブの設定を変更する」をご覧ください。

1 EPPMonitor を起動して、ジョブリスト画面を表示させます。

> **参考** EPPMonitor の起動方法については、191 ページ「EPPMonitor を起動する」をご覧ください。

2 ［状態］に印刷済（データあり）のマークが表示されている印刷ジョブの［印刷ジョブ ID］、［ページ］または［コピー］をクリックします。

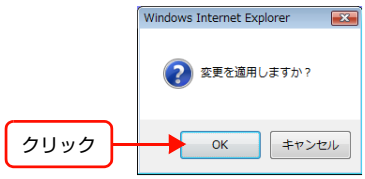


3 ［再印刷］をクリックします。

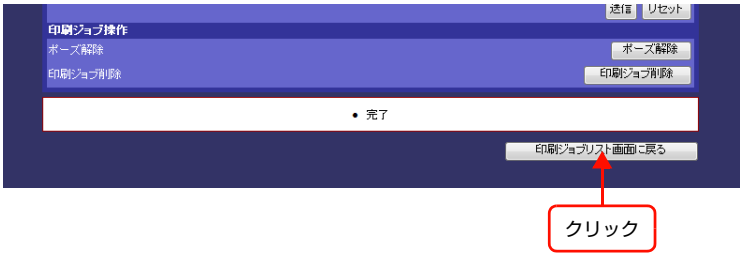


> **参考** ［再印刷］をクリックする前に［ポーズ］をチェックすると、印刷ジョブはポーズ状態で印刷ジョブリストに追加されます。

4 **[OK] をクリックします。**



[完了] 画面が表示され、選択したジョブが待機中のジョブとして、印刷ジョブリストに追加されます。再印刷を取り消す場合は、[キャンセル] をクリックします。[設定変更] 画面に戻ります。



> **参考** [完了] 画面が表示された後、続けてほかの印刷ジョブの設定を変更する場合は、[印刷ジョブリスト画面に戻る] をクリックします。

画像データを削除する

印刷が終了した後、ジョブリスト画面に表示されている“印刷済み（データあり）印刷ジョブ”の画像データを削除できます。

> **重要**
> - EPPLayout や EPPMonitor でロックを掛けた印刷ジョブも削除されます。
> - 印刷済み（データあり）の画像データを使って再印刷した印刷ジョブは、オリジナルの“印刷済み（データあり）印刷ジョブ”の画像データが削除されると、再印刷した印刷ジョブの画像データも一緒に削除されます。ただし、再印刷が完了していない場合は、オリジナルの“印刷済み（データあり）印刷ジョブ”の画像データは削除できません。

1 **EPPMonitor を起動して、ジョブリスト画面を表示させます。**

> **参考** EPPMonitor の起動方法については、191 ページ「EPPMonitor を起動する」をご覧ください。

2 **画像データを削除したい印刷ジョブの [印刷ジョブ ID] をクリックします。**

[設定変更] 画面が表示されます。



3 [画像データ削除] をクリックします。

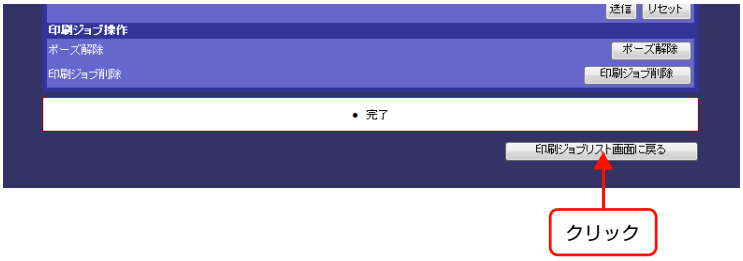


> **重要** 必ず [印刷ジョブ ID] をクリックしてください。[ページ] や [コピー] をクリックすると、[画像データ削除] が表示されません。

4 [OK] をクリックします。



[完了] 画面が表示され、選択した画像データが削除されます。削除を取り消す場合は、[キャンセル] をクリックします。[設定変更] 画面に戻ります。



> **参考** [完了] 画面が表示された後、続けてほかの印刷ジョブの設定を変更する場合は、[印刷ジョブリスト画面に戻る] をクリックします。

プリンタの状態を確認する

EPPMonitor、EPPServer、EPPStatus（Windows のみ）でプリンタの状態や、インクカートリッジ、用紙の状態を確認できます。

EPPMonitor でプリンタの状態を確認する

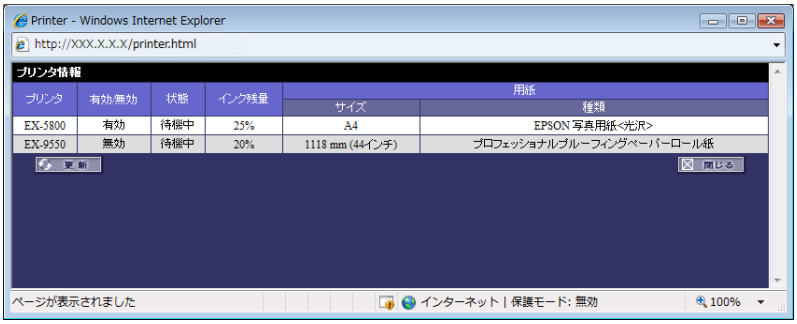
EPPMonitor の［プリンタ情報］画面でプリンタ、用紙、インクカートリッジの状態、用紙のサイズと種類が確認できます。

1 **EPPMonitor を起動してジョブリスト画面を表示させ、［プリンタ情報］をクリックします。**



> **参考** EPPMonitor の起動方法については、191 ページ「EPPMonitor を起動する」をご覧ください。

［プリンタ情報］画面が表示されます。



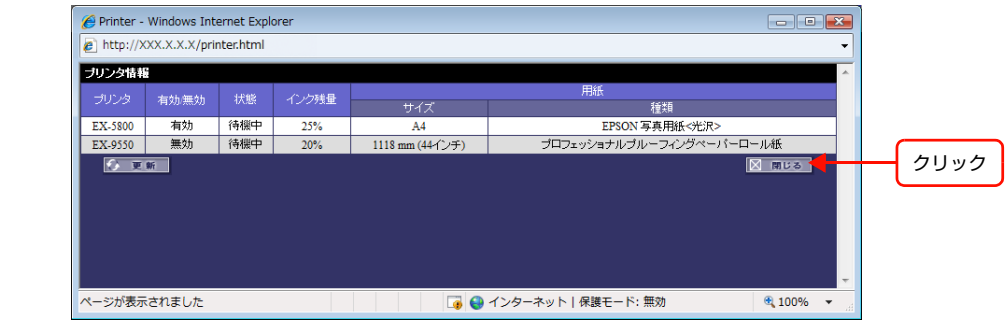
2 ［更新］をクリックして、各プリンタ、用紙やインクの最新の状態を確認します。



項目	内容
［プリンタ］	プリンタ名を表示します。
［有効 / 無効］	プリンタの有効 / 無効を表示します。
［状態］	現在のプリンタの状態を表示します。
［インク残量］	インクカートリッジのインク残量を表示します。
［用紙］の［サイズ］、［種類］	用紙の［サイズ］、［種類］を表示します。

参考　用紙やインクがないときは［なし］と赤字で表示されます。各プリンタに添付の取扱説明書を参照して、用紙またはインクカートリッジをセットしてください。

3 確認が終わったら、［閉じる］をクリックします。



EPPStatus でプリンタの状態を確認する（Windows のみ）

プリンタや用紙、インクの状態を表示させるだけでなく、EPPStatus で、エラー、警告メッセージの表示を設定できます。

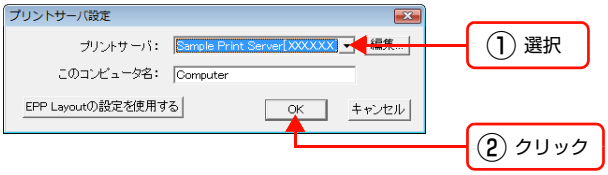
1 **EPPStatus を起動します。**

［スタート］-［プログラム］（または［すべてのプログラム］）-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPPStatus］をクリックします。

> **参考** EPPLayout からも EPPStatus を起動できます。
> EPPLayout 画面右側にある［起動］をクリックして、［EPPStatus を起動］を選択します。

2 **リストから使用するサーバを選択して［OK］をクリックします。または［EPPLayout の設定を使用する］をクリックします。**

EPPStatus 画面が表示されます。



EPPStatus が起動すると、タスクバーに EPPStatus のアイコンが表示されます。アイコンを右クリックすると、［ジョブモニタを起動］、［EPPStatus について］、［閉じる］が表示されます。また、アイコンにポインタを合わせると接続されているサーバの IP アドレスが表示されます。

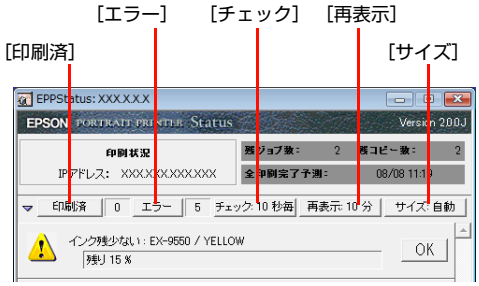
3 **EPPStatus 画面で、プリンタの状態を確認します。**



エラーが解決されると、エラーメッセージは消えます。

> **参考** エラーを解決しないでメッセージ画面を消したいときは、画面の［OK］をクリックします。その後、問題が解決されていない場合、設定した時間間隔でもう一度エラーや警告メッセージが表示されます。

EPPStatus 画面でステータスメッセージの表示を設定する



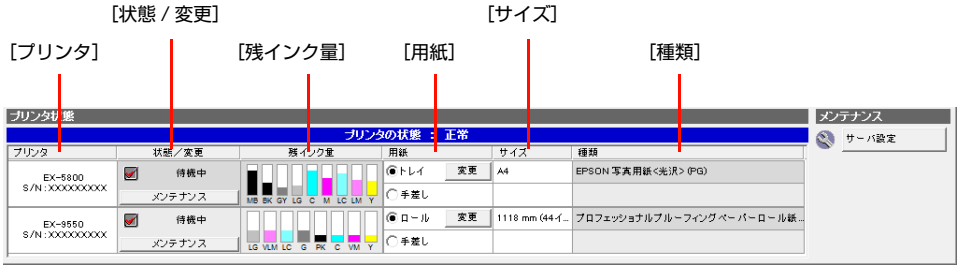
項目	内容
[印刷済]	右側に印刷済のジョブ件数が表示されます。[印刷済] をクリックすると、印刷終了時に、クライアントコンピュータの画面に印刷終了のメッセージが表示されます。(もう一度クリックすると、設定は解除されます。)
[エラー]	右側にサーバから受信したエラーまたは警告メッセージ件数が表示されます。[エラー] をクリックすると、エラーまたは警告メッセージを受信するたびに、クライアントコンピュータの画面にエラーまたは警告メッセージが表示されます。(もう一度クリックすると、設定は解除されます。)
[チェック]	アップデートをサーバに確認する間隔を秒単位で設定します。[チェック] をクリックしてプルダウンメニューから間隔を選択します。
[再表示]	エラーまたは警告メッセージに対処したにもかかわらず問題が解決されていない場合、もう一度メッセージを表示させる間隔を分単位で設定します。[再表示] をクリックしてプルダウンメニューから間隔を選択します。
[サイズ]	ステータスリストのサイズを設定します。[サイズ] をクリックしてプルダウンメニューからサイズを選択します。

EPPStatus を終了するには

EPPStatus 画面右上の ☒ をクリックするか、タスクバーの EPPStatus アイコンを右クリックして、[閉じる] を選択します。

本体の LCD モニタ(EPPServer)でプリンタの状態を確認する

EPPServer 画面下の［プリンタ状態］エリアで、印刷ジョブや用紙、インクの状態を確認できます。



> **参考**
> - ［状態 / 変更］欄の［メンテナンス］をクリックすると、［プリンタ調整ツール］画面を表示します。詳しくは 217 ページ「メンテナンス」をご覧ください。
> - ［用紙］欄にある［変更］をクリックすると、用紙設定を変更できます。223 ページ「EPPServer で用紙設定を変更する」をご覧ください。

［プリンタ状態］エリアで、以下の状態を確認できます。

項目	内容
［プリンタ］	プリンタ名が表示される。
［状態 / 変更］	チェックするとプリンタが有効になる。チェックを外すと無効になる。詳しくは、212 ページ「プリンタの有効 / 無効を設定する」をご覧ください。 チェックボックスの右に、プリンタ状態が表示されます。
［待機中］	印刷待機中。
［印刷中］	印刷中。
［クリーニング中］	ヘッドクリーニング中。
［用紙なし］	用紙トレイに用紙が入ってない。
［インクなし］	インクカートリッジにインクが入っていない。
［用紙づまり］	用紙が詰まっている。
［プリンタ通信エラー］	プリンタの通信エラー、またはプリンタの電源が入っていない。
［カバー開きエラー］	プリンタ背面の通紙経路カバーが開いている。
［用紙サイズ・種類エラー］	用紙トレイの用紙サイズスライダと用紙種類スライダの設定がサーバの設定と合っていない。
［メンテナンス要求］	メンテナンスが必要。
［プリンタエラー］	致命的なエラーが起きている。
［ヘッド温度エラー］	プリンタヘッドの温度が非常に高くなっている。
［トレイなしエラー］	上トレイがない。
［用紙送りエラー］	用紙送りエラーが起きている。
［不明のエラー］	原因不明のエラーが起きている。
［残インク量］	用紙トレイの位置を表示します。
［用紙］	用紙トレイの位置を表示します。
［サイズ］	用紙トレイにセットされている用紙のサイズを表示します。
［種類］	用紙トレイにセットされている用紙の種類を表示します。

プリンタの有効 / 無効を設定する

印刷中に以下のような作業が必要になることがあります。

- 用紙トレイの用紙を変更、補充したい。
- 通紙経路、プリンタヘッドをクリーニングしたい。
- プリンタヘッドを調整したい。

このような場合は、一時的にプリンタを無効にして印刷ジョブを停止させ、必要に応じてほかの作業ができます。EPPServer 画面下にある［プリンタ状態］ウィンドウの［状態 / 変更］でプリンタの有効 / 無効を設定できます。作業が終わったら、もう一度プリンタを有効にします。

> **重要** プリンタの有効 / 無効を設定するには、［プリンタ状態変更］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「[ユーザー設定］画面」

プリンタを無効にするには

無効にしたいプリンタの［状態 / 変更］のチェックを外します。

プリンタを有効にするには

有効にしたいプリンタの［状態 / 変更］をチェックします。



写真の取り扱いと保管方法

ここでは写真の取り扱い方法や、保管方法について説明します。

☞「写真の取り扱い」214 ページ
☞「写真を保管するときの注意」215 ページ
☞「写真を飾るときの注意」216 ページ
☞「写真の寿命について」216 ページ

写真の取り扱い

使用する用紙によって取り扱い方法が異なります。詳しくは、各用紙の取扱説明書またはエプソンのホームページ（http://www.epson.jp）を参照してください。

印刷時には、以下の点に注意してください。

- 用紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60%）で使用してください。
- プリンタへのセット方法やセット可能枚数については、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。
- 印刷面を確認して印刷してください。裏面には印刷できません。裏面に印刷すると、インクが吸収されず、印刷結果やプリンタ内部などが汚れます。また、用紙が正常に給紙されず、プリンタが故障するおそれがあります。
- 用紙の先端が、長辺に対して垂直でまっすぐな切り口になっていることを確認してください。斜めやデコボコになっていると、正しく給紙されず、用紙からはみ出して印刷されることがあります。
- 用紙の先端が折れていたり、反ったり、波打っていたりしていないことを確認してください。単票紙の場合は、1 枚ずつ反りなどを修正してからセットしてください。ロール紙の場合は、その部分を切り落としてから印刷してください。そのまま印刷すると、用紙の汚れやプリンタの故障の原因になります。
- ロール紙の場合、用紙の最終端が芯から外れるときに、印刷が乱れます。印刷領域が最終端にかからないようにしてください。ロール最終端約 50cm では、印刷画像が乱れることがありますので、この部分には印刷しないことをお勧めします。
- 単票紙の場合、複数枚セットにより、正しく給紙できない場合は、1 枚ずつセットしてください。
- 連続給紙による印刷こすれ（光沢むら）が気になる場合は、1 枚ずつ印刷してください。
- 連続印刷する場合は、印刷した用紙をプリンタから取り出して、次の印刷をしてください。印刷後、用紙が重なったまま放置されますと、用紙に傷が付いたり、用紙の色目が若干変化することがあります。
- 用紙を取り扱う際、指紋や汚れなどが付かないように注意してください。
- 印刷時には、EPPLayout で使用する用紙を正しく選択してください。

印刷が終了したら、以下の点に注意して写真を取り扱ってください。

- 印刷面に傷が付かないように注意してください。
- 印刷後は、用紙が重ならないように 1 枚ずつ広げて 1 昼夜乾燥させてください。重ねて乾燥させることも可能ですが、その場合はまず、それぞれを、各用紙の取扱説明書に従って十分に乾燥させた後、必ず吸湿性のあるコピー用紙などを一枚ずつ印刷面に挟んで 1 昼夜乾燥させてください。重ねたコピー用紙などが波打った場合は、新しい用紙に取り替えてください。そのまま放置しておきますと、色合いなどが波打ちの影響を受けることがあります。
- 印刷後、色が安定するまでに 1 日程度かかります。このため、印刷直後と放置後では色合いが若干異なる場合があります。
- ドライヤーを使って乾燥させないでください。
- 直射日光に当てて、乾燥させないでください。
- 乾燥していない状態でアルバムなどに保存すると、にじみが発生することがあります。
- 印刷した用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温・高湿・直射日光を避け、暗所に保存してください。
- 樹脂コートされた用紙は古紙回収はできません。廃却する場合は、自治体の条例に従ってください。

写真を保管するときの注意

スタジオで写真を保管したり飾る場合は、以下の点にご注意ください。顧客からの保管や飾り方に関する問い合わせの参考としてもお役立てください。

印刷した写真を保管するときの注意

- 写真を直射日光にさらさないでください。
- 暗室や、化学薬品のある場所に写真を放置しないでください。
- 印刷した後は、写真が完全に乾いたのを確認してから写真を重ね、保管してください。
- 後は高温・高湿・低温・屋外・直射日光を避けて常温・常湿・室内・暗所で、保存・展示してください。
- アルバムやクリアファイルに入れて保存することをお勧めします。
- 室内に展示する場合はガラス付額縁に入れることをお勧めします。

重要 印刷した写真は、完全に乾燥させてから保管、展示してください。完全に乾燥させていない状態でガラス付き額縁などにに入れると、ガラスの内側に曇りが発生する場合があります。

参考 その他の専用紙の場合も、上記と同様の注意が必要です。使用できる用紙は、プリンタによって異なります。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

未使用の用紙を保管するときの注意

- 印刷面（光沢面）をこすらないようにしてください。
- 用紙を丸めたり、折り曲げたりして、印刷面に傷を付けないでください。
- 用紙の印刷面には触れないようにしてください。手の水分や油が、印刷品質に影響します。取り扱いの際は、用紙の端を持ってください。また、綿製の手袋をして取り扱うことをお勧めします。
- 用紙はパッケージから必要な数だけ取り出してください。また、開封後はなるべく早くお使いください。
- 袋や箱から出し入れする際は、用紙を傷付けないようにご注意ください。
- 使用しない単票紙はパッケージに戻して高温・高湿・直射日光を避けて暗所に保管してください。保管袋が同梱されている場合は、その袋に入れてからパッケージに戻して保存してください。その際、用紙に袋の糊が付着しないようにご注意ください。
- 使用しないロール紙は、スピンドルから取り外して巻き直し、包装されていた個装袋に包んで個装箱に入れ、高温・高湿・直射日光を避けて、暗所に保管してください。ロール紙をプリンタにセットしたままにしておくと、ロール紙の先端に跡が付くことがあります。
- 長期間、プリンタ本体にセットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。

写真を飾るときの注意

- 写真は屋内に飾り、直射日光や強い光が当たらないようにしてください。色褪せ、にじみ、変色の原因になります。
- 高温多湿または乾燥し過ぎる場所は避けてください。最適な気温と湿度は以下の通りです。
  気温：15 ～ 30 ℃
  湿度：40 ～ 60%
- 屋外・直射日光を避けて常温・常湿・室内・暗所で、保存・展示してください。
- 室内に展示する場合はガラス付額縁に入れることをお勧めします。
- 印刷物を完全に乾燥させていない状態でガラス付き額縁に入れて展示すると、ガラスの内側に曇りが発生する場合があります。この曇りは布などで簡単に拭き取ることができますが、曇りが発生しないようにするには、額縁に入れる前に印刷物を完全に乾燥させてください。
- 長期間空気に触れていることを前提とした用途（カレンダー、ハガキ、名刺など）でのご使用は、空気中の成分の影響を受けて短期間で変色する場合があります。
- 印刷面には、一般の写真や印刷面に密着しやすいもの（ビニールなど）を重ねないでください。印刷面が剥離する場合があります。
- 写真現像室など化学物質がある場所での保存・展示は避けてください。
- 樹脂コートされた用紙は紙ベースの用紙に比べると耐水性に優れていますが、屋外への展示には向いていません。
- 使用するラミネートや貼り付け条件によって、ラミネートがはがれやすい場合があります。事前にラミネートの適性について確認することをお勧めします。ラミネートの詳細については、ラミネートの購入先へお問い合わせください。
- ガラス付額縁などに入れた場合も、屋外での展示は避けてください。

> **参考** その他の専用紙の場合も、上記と同様の注意が必要です。使用できる用紙は、プリンタによって異なります。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

写真の寿命について

インクや用紙は時間とともに色褪せや劣化が生じます。写真の寿命は使用する用紙、インク、画像、飾る場所、保管の状態、光や湿度などの環境によって左右されます。写真をより長く楽しんでいただくためには、印刷後に十分乾燥させ、飾る場合はガラス付きの額に入れ、適切な方法で保管してください。弊社では、写真の寿命について保証しておりません。

> **参考** その他の専用紙の場合も、上記と同様の注意が必要です。使用できる用紙は、プリンタによって異なります。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

メンテナンス

いつも良好な印刷画質を得るためには、定期的なプリンタのお手入れが必要です。また、本システム全体を維持・管理するための機能などを説明します。

☞「システムの安定性を保つ（電源を切る）」218 ページ
☞「用紙をセットする（EX-1V、EX-3V）」219 ページ
☞「用紙をセットする（EX-6550/EX-5002/EX-5800/EX-7550/9550）」220 ページ
☞「EPPServer にログインする」221 ページ
☞「EPPServer で用紙設定を変更する」223 ページ
☞「EPPServer で手差しモードに変更する」224 ページ
☞「EPPServer でロール紙の切断方法を設定する」226 ページ
☞「プリンタの設定情報を確認する」228 ページ
☞「ノズルチェックする」230 ページ
☞「プリンタヘッドをクリーニングする」232 ページ
☞「プリンタヘッドを調整する」235 ページ
☞「消耗品を交換する（EX-1V、EX-3V）」237 ページ
☞「インクカートリッジを交換する（EX-6550/EX-5002/EX-5800/EX-7550/9550）」238 ページ
☞「色調整用のテストチャートを印刷する」239 ページ
☞「印字品質を調整する」241 ページ
☞「印刷モードを設定する」244 ページ
☞「カラープロファイル・ColorBase 補正値ファイルを更新する」246 ページ
☞「再印刷データを自動削除する」248 ページ
☞「印刷ジョブを整理する」250 ページ
☞「表示する用紙サイズや用紙種類を設定する」252 ページ
☞「印刷時の通知を設定する（Windows のみ）」253 ページ
☞「エラー時の通知音を設定する」255 ページ
☞「ネットワークを設定する」256 ページ
☞「低解像度印刷時の解像度を設定する」261 ページ
☞「その他の設定をする」262 ページ
☞「EPPServer のバージョンを確認する」264 ページ

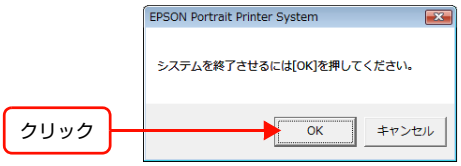
システムの安定性を保つ(電源を切る)

常に安定した状態で本システムを使うために週 1 回は電源を切ってください。電源を切るときは、すべての印刷が終了し EPPLayout など本システムのソフトウェアの終了を確認してから以下の手順で電源を切ります。

1 **EPPServer 画面右上の［シャットダウン］をクリックします。**
システム終了を確認する画面が表示されます。



2 **［OK］をクリックします。**



> **重要** 電源が完全に切れるまで約 1 分かかります。再度電源を入れる場合は、電源が完全に切れてから約 1 分以上待ってから電源を入れ直してください。

3 **サーバの LCD モニタの電源をオフにします。**

4 **接続しているプリンタの電源をオフにします。**

用紙をセットする(EX-1V、EX-3V)

用紙サポートを引き出してセットします。セットできる用紙厚は、0.08 ～ 0.3mm です。使用できる用紙についてや用紙のセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

用紙をセットする(EX-6550/EX-5002/EX-5800/EX-7550/9550)

接続しているプリンタに用紙をセットします。
プリンタによって、用紙トレイの場所やセット方法が異なります。使用できる用紙についてや用紙のセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

EPPServer にログインする

メンテナンス機能の多くは本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、設定します。ログインしたユーザーの操作権限に応じて、操作できる機能が異なります。操作権限は EPPMonitor の［ユーザー設定］で Studiomaster により設定できます。
☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」

1 **EPPServer 画面右上の［ログイン］をクリックします。**

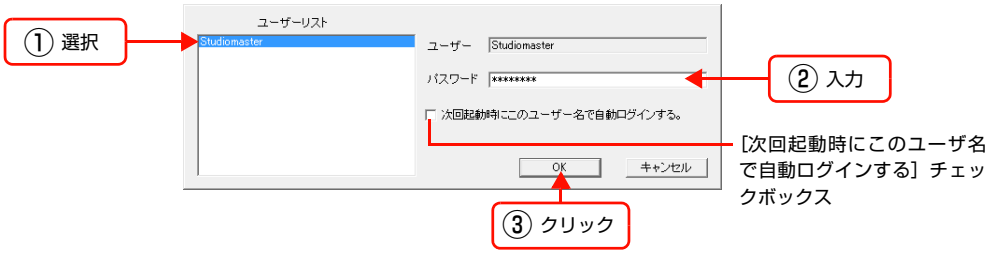


ログイン画面とソフトキーボードが表示されます。

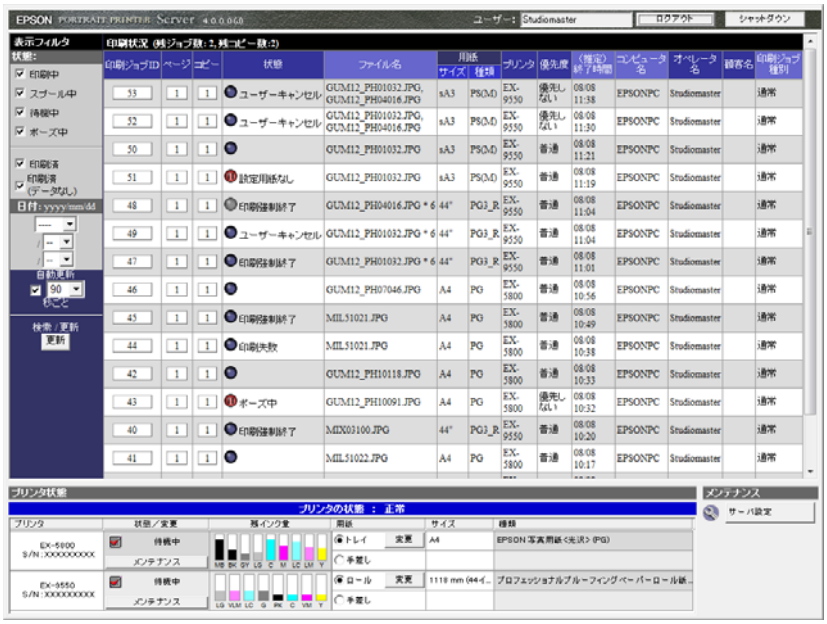


2 **ユーザー名を［ユーザリスト］から選択し、ソフトキーボードを使ってパスワードを入力して［OK］をクリックします。**

ログインの設定を省く場合は、［次回起動時にこのユーザ名で自動ログインする］をチェックします。次回からログイン画面は表示されません。



ログイン後の EPPServer 画面が表示されます。



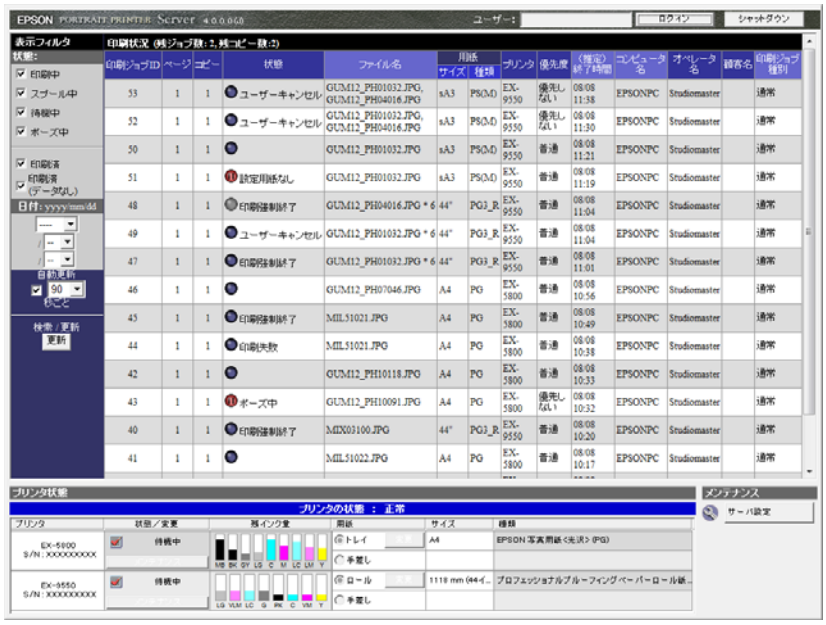
［プリンタ状態］エリアの［状態 / 変更］と［メンテナンス］エリアの項目が薄いグレーで表示されている場合は、ログインしたユーザーの［操作権限］では操作できないことを示します。

EPPServer からログアウトするには

EPPServer 画面右上の［ログアウト］をクリックします。



ログアウト後の EPPServer 画面が表示されます。



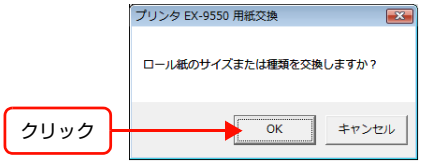
EPPServer で用紙設定を変更する

用紙を変更した場合、本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、用紙の設定を変更する必要があります。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

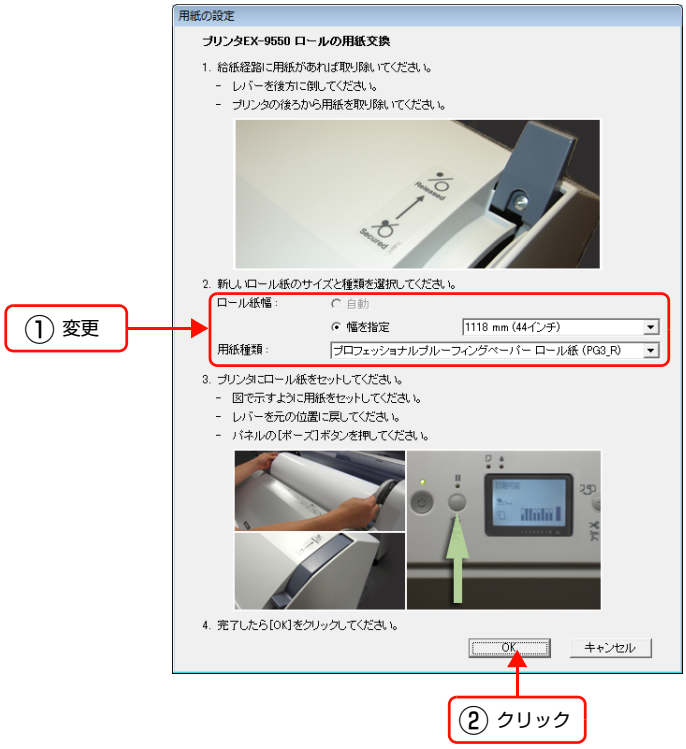
1 **EPPServer 画面下にある［プリンタ状態］エリアの［用紙］で、確認したいプリンタ / 用紙トレイの［変更］をクリックします。**



2 **［用紙交換］画面で［OK］をクリックします。**



3 **［用紙の設定］画面で［用紙サイズ］と［用紙種類］を変更して、［OK］をクリックします。**

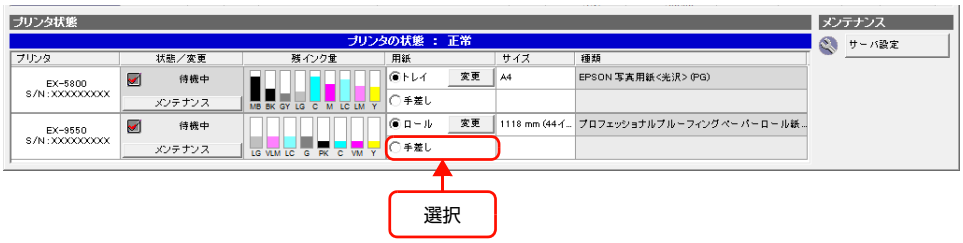


参考 ［用紙の設定］画面は、接続しているプリンタによって表示される内容が異なりますが、手順は同じです。

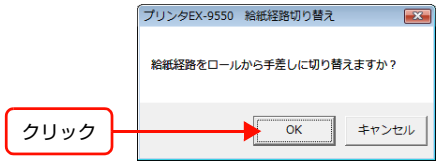
EPPServer で手差しモードに変更する

手差し給紙対応プリンタの場合は、以下の手順で設定することで手差し給紙に切り替えることができます。

1 EPPServer 画面下にある［プリンタ状態］エリアの［用紙］で、［手差し］を選択します。



2 ［給紙経路切り替え］画面で［OK］をクリックします。

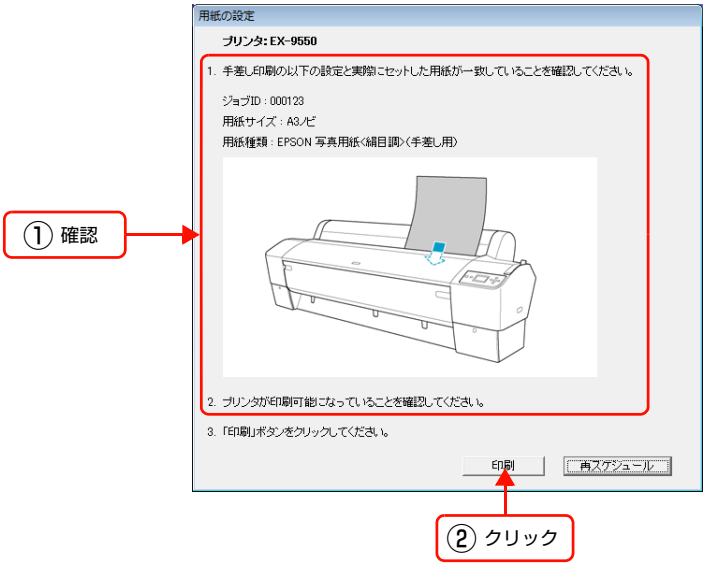


3 ［用紙の設定］画面に表示される内容に従ってプリンタ側の用紙設定を変更し、［OK］をクリックします。



> 参考　［用紙の設定］画面は、接続しているプリンタによって表示される内容が異なります。

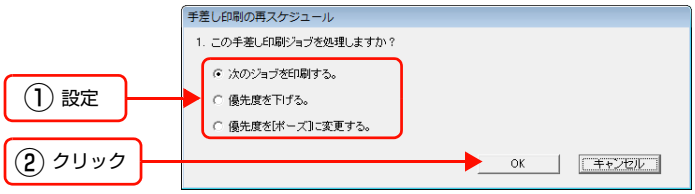
4 ［印刷］ボタンを押して、印刷を開始します。



> **参考**
> - 手差し用紙のセット方法はプリンタの取扱説明書をご覧ください。
> - 用紙の最新情報はエプソンのホームページでご確認ください。

手差し単票紙印刷の再スケジュール

［用紙の設定］画面で［再スケジュール］ボタンを押すと、［手差し印刷の再スケジュール］画面が表示されます。



手差し印刷ジョブの処理を選択します。

項目	内容
［次のジョブを印刷する。］	次のジョブを先に処理して、現在のジョブを後回しにします。
［優先度を下げる。］	現在のジョブの優先度を［優先しない］に変更して再スケジュールをします。
［優先度を［ポーズ］に変更する。］	現在のジョブの状態を［ポーズ］に変更して再スケジュールをします。

EPPServer でロール紙の切断方法を設定する

ロール紙に対応したプリンタの場合、印刷したページごとにロール紙を内蔵カッターでカットしたり、切り取り線を印刷できます。EX-1V、EX-3V は、本設定に対応していません。［ロール紙の設定］ボタンは表示されません。

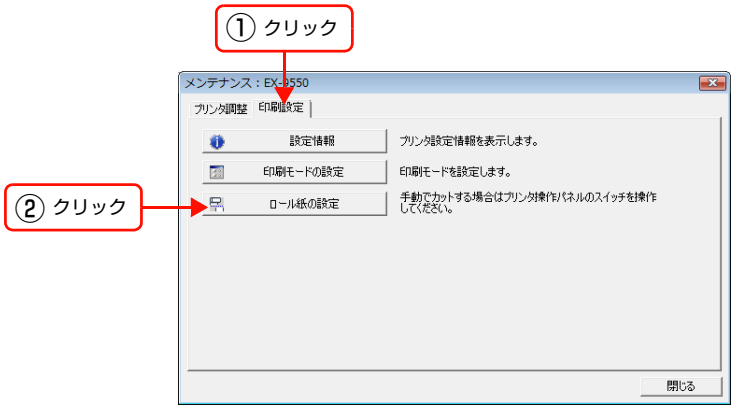
ここでは、EPPServer の設定方法を説明します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

> **参考** プリンタの操作パネルを操作して、手動でもロール紙をカットできます。
> 詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

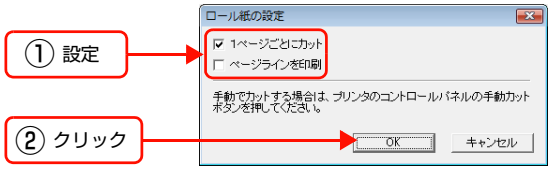
1 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、［メンテナンス］をクリックします。**
［プリンタ調整ツール］画面が表示されます。



2 **［印刷設定］タブをクリックして［ロール紙の設定］をクリックします。**
［ロール紙カットの設定］画面が表示されます。



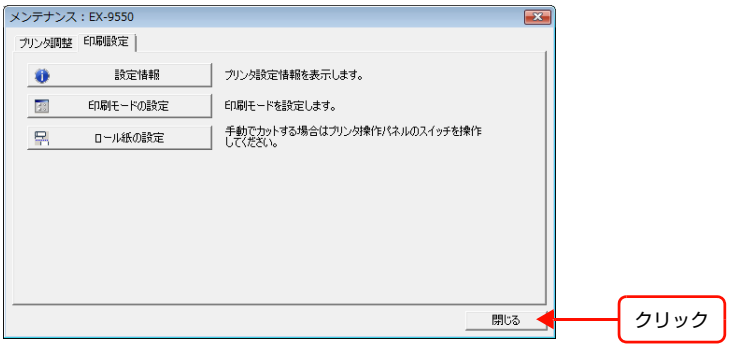
3 **［1 ページごとにカット］や［ページラインを印刷］を設定して、［OK］をクリックします。**
設定する機能をチェックします。



項目	内容
［1 ページごとにカット］	プリンタ内蔵カッターで印刷したページごとに自動的にロール紙をカットします。
［ページラインを印刷］	印刷したページごとに切り取り線をロール紙に印刷します。

> **参考**
> - プリンタ用オプションのカッターユニットや市販のカッターでロール紙をカットする場合は、［1 ページごとにカット］をオフにしてください。
> - カスタム用紙を使用した場合、［1 ページごとにカット］は無効になります。

4 ［閉じる］をクリックします。



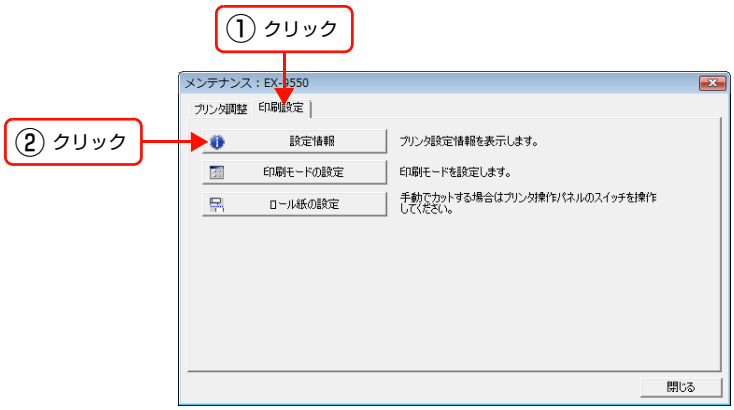
プリンタの設定情報を確認する

プリンタの現在の設定状態を確認できます。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

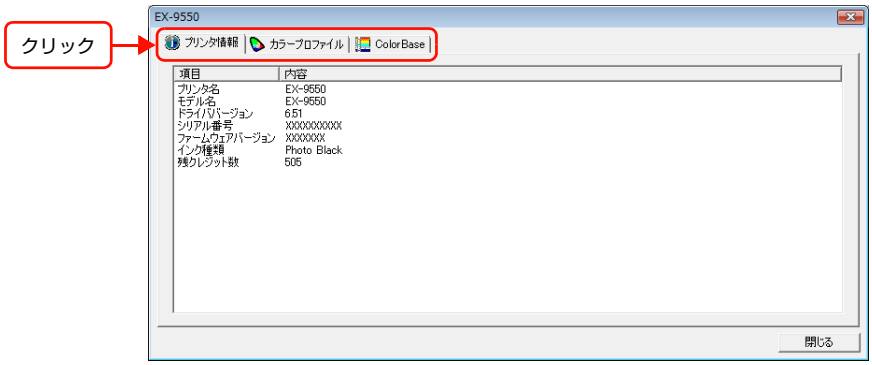
1 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、確認するプリンタの［メンテナンス］をクリックします。**



2 **［印刷設定］タブをクリックして［設定情報］をクリックします。**

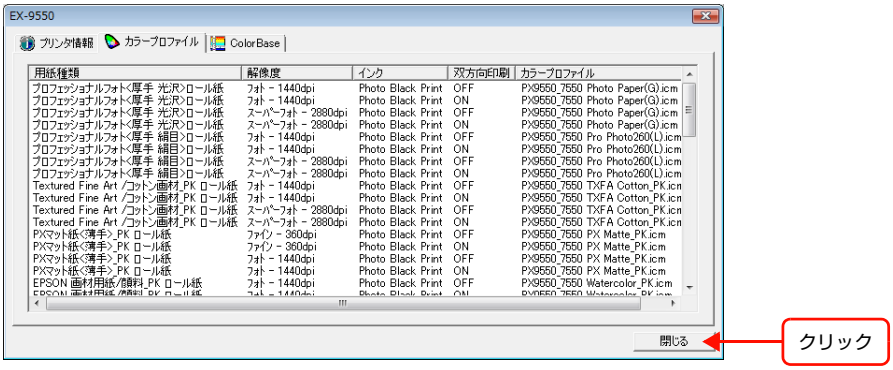


3 **確認したい情報のタブをクリックし、プリンタの状態を確認します。**



項目	内容
プリンタ情報	接続しているプリンタの情報を表示します。
カラープロファイル	用紙種類や解像度の組み合わせごとに使用するカラープロファイルを表示します。
ColorBase	色補正情報を表示します。EX-1V、EX-3V では、ColorBase 非対応のためタブは表示されません。

4 確認が終了したら［閉じる］をクリックします。



ノズルチェックする

印刷した画像が薄かったり、かすれていたり白いスジが入る場合は、プリンタヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。ノズルチェック機能を使って、ノズルが目詰まりしていないか確認してください。もし目詰まりしていた場合は、プリンタヘッドをクリーニングして目詰まりを取り除きます。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

重要

- 印刷が終了していることを確認してください。
- ノズルチェックするプリンタに待機中の印刷ジョブが残っている場合は、一時的にプリンタを無効にします。EPPServer 画面左下にある［プリンタ状態］エリアの［状態 / 変更］で、無効にしたいプリンタのチェックを外します。ノズルチェックが終わったら、チェックしてプリンタを有効にし、待機中の印刷ジョブを再開します。［状態 / 変更］チェックボックスについては、212 ページ「プリンタの有効 / 無効を設定する」をご覧ください。
- ノズルチェックを行うには、［プリンタ調整］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
  ☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」
- ［プリンタ状態］エリアの［用紙］で［手差し］を選択しているときは、ノズルチェックはできません。［手差し］以外を選択してください。

1 **プリンタのコントロールパネルの［インクエンド］ランプが点滅または点灯していないことを確認します。**

［インクエンド］ランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。

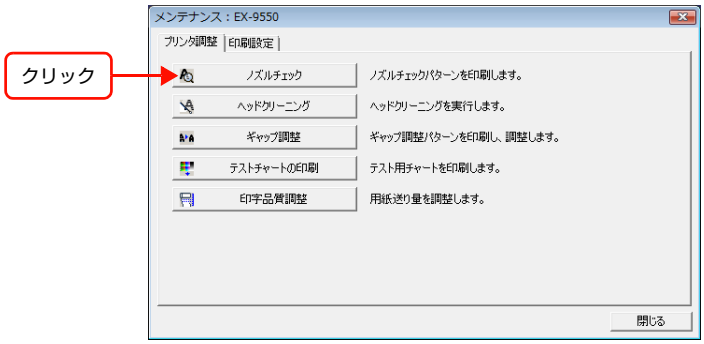
2 **用紙がプリンタにセットされていることを確認します。**

3 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、ノズルチェックするプリンタの［メンテナンス］をクリックします。**

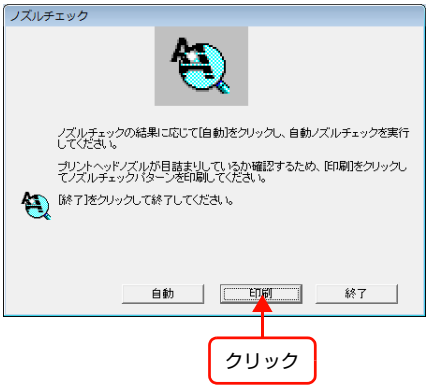


参考 接続しているプリンタによって、これ以降の画面表示が多少異なりますが操作手順は同じです。

4 **［ノズルチェック］をクリックします。**



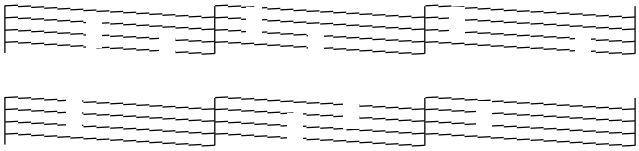
5 **［印刷］をクリックし、画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。**



> **参考** この操作を行っても、印刷ジョブとしてカウントされることはありません。

6 **印刷したノズルチェックパターンを確認します。**

ノズルチェックパターンに縦と横のラインのずれや、欠けがないか確認します。正常に印刷されている場合はプリンタヘッドをクリーニングする必要はありません。下のようにラインが欠けている場合は、プリンタヘッドのクリーニングを行ってください（232 ページ）。



プリンタヘッドをクリーニングする

印刷した画像が薄かったり、かすれていたり白いスジが入る場合は、プリンタヘッドのクリーニングが必要な可能性があります。プリンタヘッドのクリーニングを実行すると、目詰まりを取り除き、インクが正常に供給されるようになります。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

重要

- 印刷が終了していることを確認してください。
- ヘッドクリーニングするプリンタに待機中の印刷ジョブが残っている場合は、一時的にプリンタを無効にします。EPPServer 画面左下にある［プリンタ状態］エリアの［状態 / 変更］で、無効にしたいプリンタのチェックを外します。ヘッドクリーニングが終わったら、チェックをしてプリンタを有効にし、待機中の印刷ジョブを再開します。［状態 / 変更］チェックボックスについては、212 ページ「プリンタの有効 / 無効を設定する」をご覧ください。
- プリンタヘッドのクリーニングはインクを消費します。印刷画質が悪い場合のみクリーニングを行ってください。
- クリーニング後はノズルチェックパターンを印刷し、チェックパターンが正常に印刷されない場合は、もう一度クリーニングを行ってください。
- プリンタヘッドのクリーニングを行うには、［プリンタ調整］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
  ☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」

1 **プリンタの操作パネルの［インクエンド］ランプが点滅または点灯していないことを確認します。**

［インクエンド］ランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。

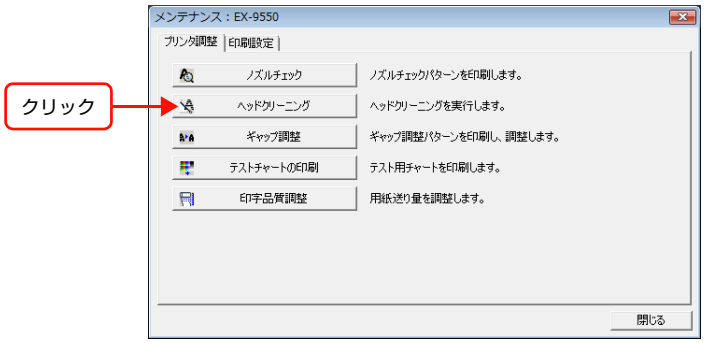
2 **用紙がプリンタにセットされていることを確認します。**

セットする用紙については、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。

3 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、プリンタヘッドをクリーニングするプリンタの［メンテナンス］をクリックします。**

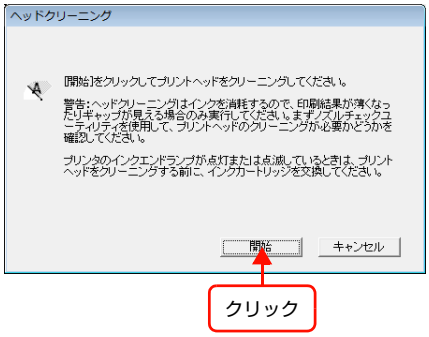


4 **［ヘッドクリーニング］をクリックします。**



参考 接続しているプリンタによって、これ以降の画面表示が多少異なりますが操作手順は同じです。

5 **［開始］をクリックし、画面の指示に従ってプリンタヘッドをクリーニングします。**

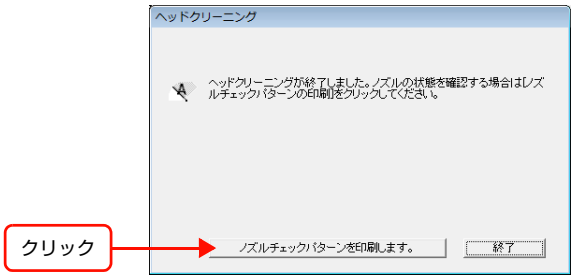


［キャンセル］をクリックするとクリーニングが取り消され、［プリンタ調整］画面に戻ります。［ノズルチェック］をクリックしてノズルチェックを行うこともできます。

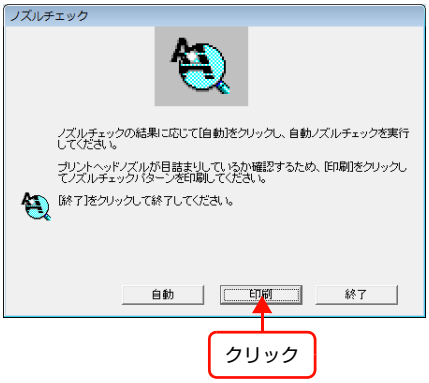
> 参考　プリンタヘッドのクリーニングには約２分かかり、その間はプリンタの［⏻電源］ランプが点滅します。

> !重要　［⏻電源］ランプの点滅中は絶対に電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

6 **下の画面が表示されたら［ノズルチェックパターンを印刷します。］をクリックします。**



7 **［印刷］をクリックし、画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。**

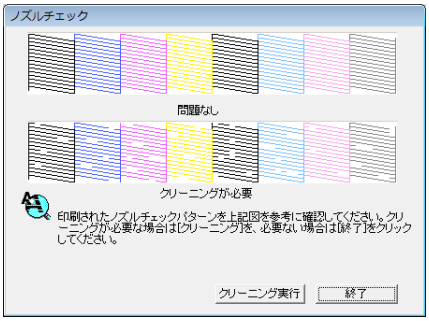


> 参考　この操作を行っても、印刷ジョブとしてカウントされることはありません。

8 **印刷したノズルチェックパターンと画面に表示されているノズルチェックパターンを比較します。**

正常に印刷されている場合
［終了］をクリックします。

クリーニングが必要な場合
［クリーニング実行］をクリックし、画面の指示に従ってもう一度プリンタヘッドをクリーニングします。



参考 プリンタヘッドのクリーニングを 3、4 回繰り返しても効果がない場合は、283 ページ「印刷画質に関するトラブルと解決方法」をご覧ください。

プリンタヘッドを調整する

印刷結果にスジが現れたり、縦の線がまっすぐに印刷されない場合は、必要に応じてプリンタヘッドを調整してください。本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。EX-1V をお使いの場合、プリンタヘッドの調整については、プリンタ本体の取扱説明書をご覧いただき、プリンタ本体のパネル画面よりプリンタヘッドの位置調整を行ってください。（プリンタドライバーからは調整できません）

参考
- 印刷が終了していることを確認してください。
- プリンタヘッドを調整するプリンタに待機中の印刷ジョブが残っている場合は、一時的にプリンタを無効にします。EPPServer 画面左下にある［プリンタ状態］エリアの［状態 / 変更］で、無効にしたいプリンタのチェックを外します。プリンタヘッドの調整が終わったら、チェックをしてプリンタを有効にし、待機中の印刷ジョブを再開します。［状態 / 変更］チェックボックスについては、212 ページ「プリンタの有効 / 無効を設定する」をご覧ください。
- プリンタヘッドの調整を行うには、［プリンタ調整］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「［ユーザ設定］画面」
- ［プリンタ状態］エリアの［用紙］で［ロール］や［手差し］を選択しているときは、ギャップ調整はできません。［トレイ］を選択してください。

1 プリンタの操作パネルの［インクエンド］ランプが点滅または点灯していないことを確認します。

［インクエンド］ランプが点滅または点灯している場合は、点滅または点灯しているインクのインクカートリッジを交換してください。

2 次の用紙がプリンタにセットされていることを確認します。

- EX-3V：A4 サイズの写真用紙をオートシートフィーダーに 1 枚セット
- EX-6550：A2 サイズの用紙
- EX-5002/EX-5800：A3 ノビサイズのカット紙
- EX-7550：A1 幅以上のロール紙
- EX-9550：B0 幅以上のロール紙

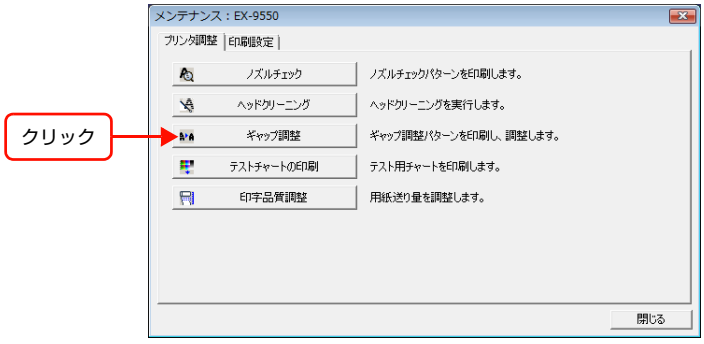
参考 指定サイズより小さいサイズの用紙でもギャップ調整できます。ただし、ギャップ調整はセットした用紙幅の分だけ行われるため、大きいサイズの用紙を使用するとプリンタの印刷可能領域の全域でギャップ調整できます。そのため、指定サイズ以上の用紙の使用をお勧めします。

3 EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、プリンタヘッドを調整するプリンタの［メンテナンス］をクリックします。



参考 接続しているプリンタによって、これ以降の画面表示が多少異なりますが操作手順は同じです。

4 ［ギャップ調整］をクリックします。



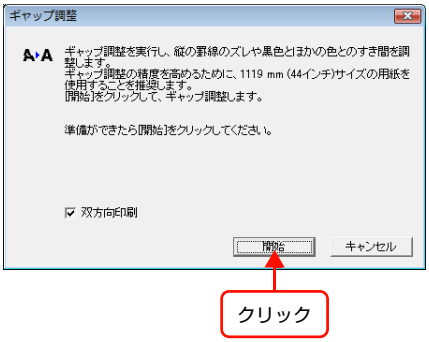
5 **［印刷］または［開始］をクリックします。**

EX-3V

［印刷］をクリックすると調整パターンの印刷が始まります。印刷が終了したら、手順 6 に進み調整値の入力を行います。

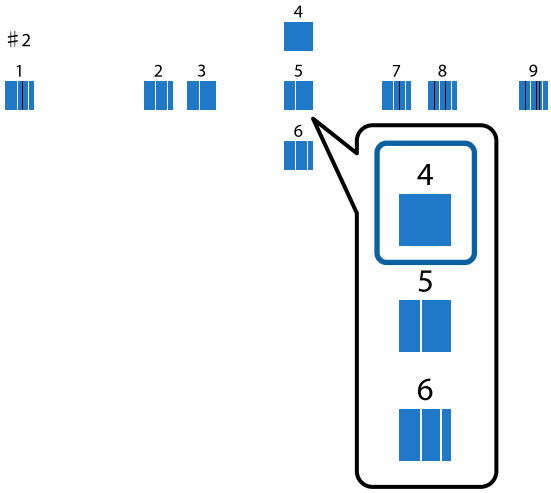
EX-3V 以外

［開始］をクリックすると印刷と調整が始まります。調整は自動的に終了します。調整の終了まで数分かかります。
手順 10 に進みます。



6 **印刷された調整パターンの＃ 2 を見て最も縦スジが見えないものを探してパターンの番号を確認します。**

図の場合は、「4」を選びます。



7 **画面の＃ 2 のコンボボックスに手順 6 で確認した番号を設定します。**

8 **＃3～＃9のコンボボックスにも対応する調整パターン番号で最も縦スジが見えないパターンの番号を確認してその番号を設定します。**

9 **#2 ～ #9 の設定が完了したら［終了］をクリックします。**

EX-3V は、これで調整が完了です。手順 10 の作業は不要です。

10 **調整が終わったら、［終了］をクリックします。**

消耗品を交換する(EX-1V、EX-3V)

使用済み消耗品を処分する

以下のいずれかの方法で処分してください。

回収

使用済みの消耗品（インクカートリッジ、メンテナンスカートリッジ）は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

インクカートリッジ

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。

便利でお得な「引取り回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。

http://www.epson.jp/recycle/

メンテナンスカートリッジ

使用済みメンテナンスカートリッジは、「引取回収サービス」をご利用ください。詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。

http://www.epson.jp/recycle/

廃棄

一般家庭でお使いのときは、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

消耗品の残量を確認する

以下の場合は、クライアントコンピュータに警告やエラーのメッセージ画面が表示されます。

- インクカートリッジのインク残量が少なくなったときやインク残量が限界値以下になったとき
  印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクカートリッジを交換すれば印刷は続行されます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により色味が異なって見えることがありますので、インク残量が少なくなった警告が表示されたら、できるだけ早いインクカートリッジの交換をお勧めします。
- メンテナンスカートリッジの空き容量が少なくなったときや満杯になったとき
  空き容量が少なくなったら、新品のメンテナンスカートリッジを準備してください。
  空き容量不足のメッセージが表示されたら、新品と交換してください。

インクカートリッジを交換する

インクカートリッジの交換については、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

メンテナンスカートリッジを交換する

メンテナンスカートリッジの交換については、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

インクカートリッジを交換する(EX-6550/EX-5002/EX-5800/EX-7550/9550)

インクカートリッジの交換については、プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

色調整用のテストチャートを印刷する

プリンタヘッドのクリーニングやプリンタヘッドの調整などを行っても、明らかに画像データと異なる色で印刷される場合は、テストチャートを印刷し、システムに合ったカラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイルを作成して補正値を更新します。

テストチャートは、以下の手順で印刷します。

カラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイルを使った補正値の更新方法は、246 ページ「カラープロファイル・ColorBase 補正値ファイルを更新する」をご覧ください。

テストチャートの印刷は、本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

> **参考** テストチャートを印刷する前に、最近印刷した画像にスジが入っていないか確認してください。スジが入っている場合は、230 ページ「ノズルチェックする」、232 ページ「プリンタヘッドをクリーニングする」、235 ページ「プリンタヘッドを調整する」の順に操作を行ってください。

> **重要** テストチャートの印刷を行うには、［プリンタ調整］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」

接続プリンタからテストチャートを印刷します。

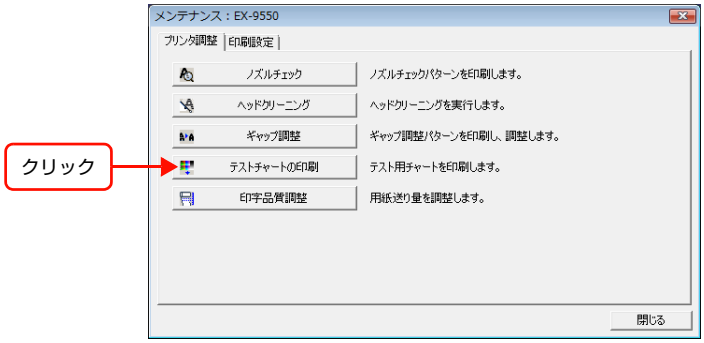
テストチャート名	説明
Color Base Chart	EPSON ColorBase を使ってプリンタの色補正を行うためのチャートです。 EX-1V、EX-3V は、ColorBase に非対応のためチャート印刷はできません。
PPPS Profile Chart 918	カラープロファイル（918 パッチのプロファイル）を作成依頼するためのチャートです。
PPPS Color Chart 918	専用ヘルプディスクから送付されたカラープロファイル（918 パッチで作成したプロファイル）で更新後に色調を確認するためのチャート（補正データ）です。
PPPS Color Check Sheet	クリスタリオで作成した色調や階調整を確認するためのサンプルプリントです。

1 EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、テストチャートを印刷するプリンタの［メンテナンス］をクリックします。

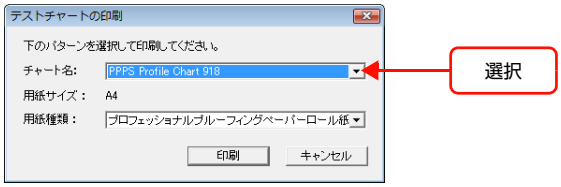


> **参考** 接続しているプリンタによって、これ以降の画面表示が多少異なりますが操作手順は同じです。

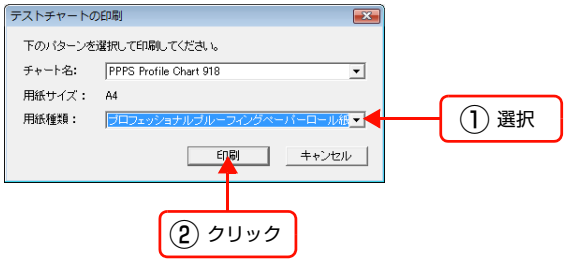
2 ［テストチャートの印刷］をクリックします。



3 ［チャート名］リストボックスから印刷するテストチャートを選択します。

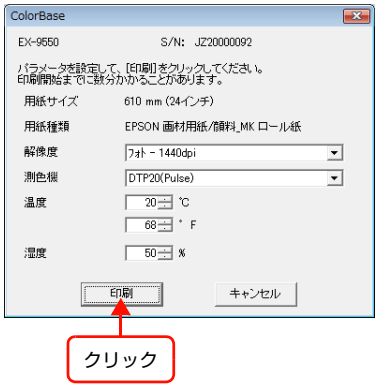


4 ［用紙種類］リストからテストページを印刷する用紙の種類を選択し、［印刷］をクリックします。



参考 プリンタによって選択する用紙種類の名称が異なります。

5 チャート名に「ColorBase」を選択した場合は、さらに温度、湿度を設定し、［印刷］をクリックします。



6 手順 2 ～ 5 を繰り返し、［テストチャート印刷］画面から必要なテストチャートを印刷します。

参考
- テストチャートを印刷したら約 1 時間乾燥させてください。
- テストチャートを重ねる場合は、乾燥させた後、印刷した面の間に未使用のコピー用紙などを挟んで重ねてください。

印字品質を調整する

印刷した画像に帯状のスジが出る場合は、印字品質調整で用紙送り量の調整ができます。印字品質調整は、本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。EX-1V、EX-3V は、用紙送り量の調整に非対応のため本機能は行えません。

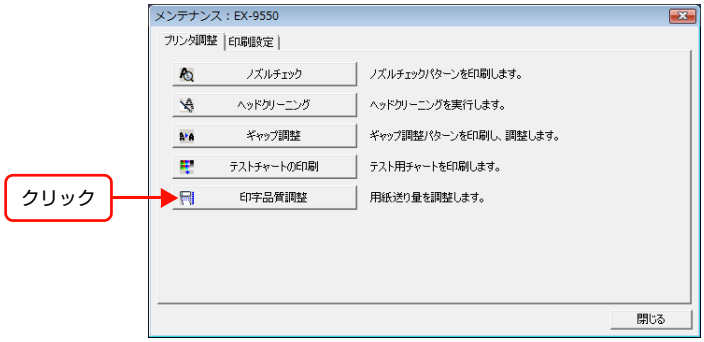
> 参考　印字品質調整を行うには、［プリンタ調整］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」

1 **調整したいプリンタに A4 サイズ以上の用紙をセットします。**

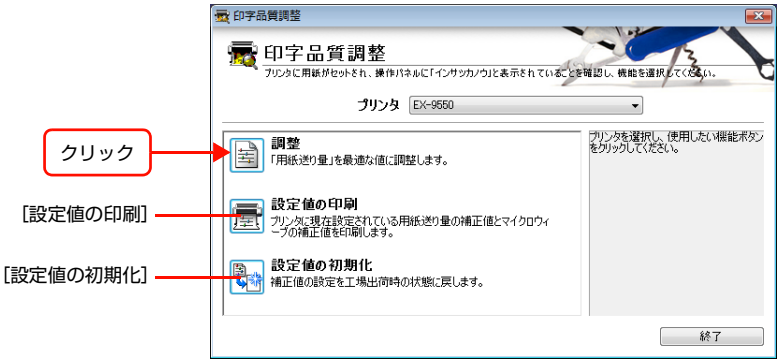
2 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、印字品質調整するプリンタの［メンテナンス］をクリックします。**



3 **［印字品質調整］をクリックします。**
EX-1V、EX-3V は、用紙送り量の調整に非対応のためボタンは表示されません。



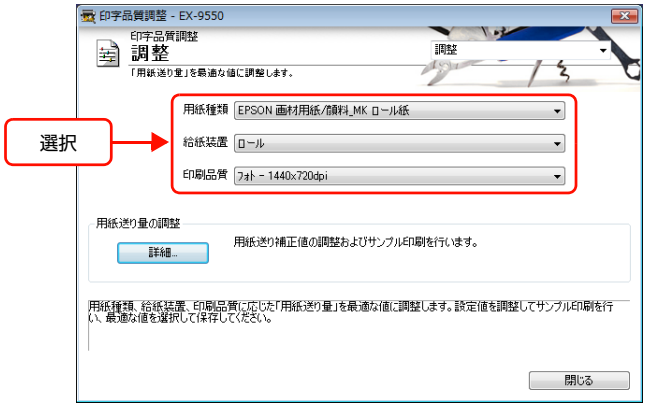
4 **［調整］をクリックします。**



項目	内容
［調整］	用紙送り量の値を最適に調整します。
［設定値の印刷］	プリンタに設定されている用紙送り量の補正値とマイクロウィーブの補正値を印刷します。
［設定値の初期化］	用紙送り量の補正値を工場出荷時の設定値に戻します。

5 **［用紙種類］、［給紙装置］、［印刷品質］を選択します。**

［調整］画面では、用紙種類、給紙装置、印刷品質の組み合わせに対して、用紙送り量の設定を最適な値に調整します。設定値が最適かどうかは、サンプル印刷を行って確認できます。

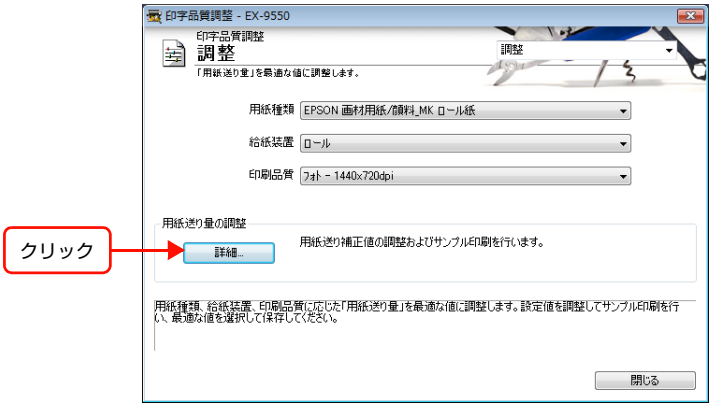


項目	内容
［用紙種類］	用紙送り量の調整を行う用紙種類を選択します。選択した用紙種類に応じて、［給紙装置］と［印刷品質］の設定値も自動的に設定されます。
［給紙装置］	選択した［用紙種類］に合った［給紙装置］を選択します。
［印刷品質］	選択した［用紙種類］に合った［印刷品質］を選択します。

6 **［詳細］をクリックして［用紙送り量の調整］をします。**

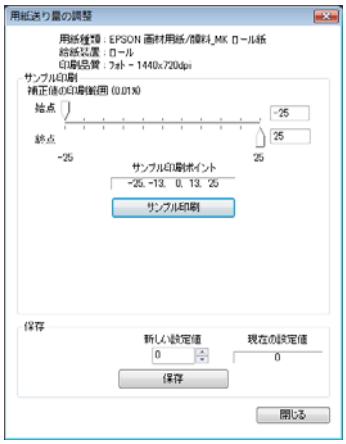
各手順は、次の項目を参照してください。

☞ 本書 243 ページ「用紙送り量を調整する」



7 **設定が終了したら、［閉じる］をクリックします。**

用紙送り量を調整する



1 **［始点］と［終点］のスライドバー、またはテキストボックスを使って調整範囲を設定します。最初にサンプル印刷を行う場合は、－ 25（始点）～ 25（終点）の最大範囲を設定することをお勧めします。**

項目	内容
［補正値の印刷範囲］	用紙送りの印刷範囲を始点と終点で設定します。補正値は、1m の用紙送りに対する割合で設定します。サンプルは、始点と終点の範囲内で 5 等分した値のポイントでそれぞれ印刷されます。5 等分した値は［サンプル印刷ポイント］に表示されます。
［サンプル印刷ポイント］	［補正値の印刷範囲］で設定した［始点］～［終点］の範囲を 5 等分した補正値の値が表示されます。この 5 つの補正値（ポイント）で、5 種類のサンプルを印刷します。

2 **［サンプル印刷］をクリックします。**

3 **［用紙設定］画面が表示されますので、オートカット方法と印刷する用紙のサイズを選択し、［OK］をクリックします。**

4 **印刷に必要な時間と用紙の枚数が表示されます。内容を確認して［OK］をクリックします。**

5 **サンプル印刷のうち、最も帯状のスジの少ない画像を探します。**

6 **手順 5 で探した画像の用紙送り修正値を確認し、その値の近辺に、さらに狭く調整範囲を設定します。**
例えば 0 のポイントが最も帯状のスジが少ない場合、始点を－ 12、終点を 12 に設定します。

7 **手順 2 ～ 4 を繰り返し、帯状のスジのないサンプル印刷結果が見つかったら、そのサンプル印刷の補正値をメモしておきます。**
- 用紙送り補正値の間隔は 6（例えば：-12、-6、0、6、12）以上を推奨しますが、これは肉眼では 6 未満の違いを認識するのが難しいためです。
- 用紙送りが少ないと濃い色のスジが発生しますので＋方向に調整してください。逆に用紙送りが多いと白または薄い色のスジが発生しますので－方向に調整してください。

8 **［新しい設定値］に手順 7 でメモしておいた補正値を入力し、［保存］をクリックします。**
新しい設定値がプリンタに保存されます。

項目	内容
［新しい設定値］	サンプル印刷で確認した補正値を入力します。
［現在の設定値］	現在プリンタに設定されている補正値が表示されます。
［保存］	クリックすると、［新しい設定値］の値をプリンタに保存します。

9 **［閉じる］をクリックして、画面を閉じます。**

印刷モードを設定する

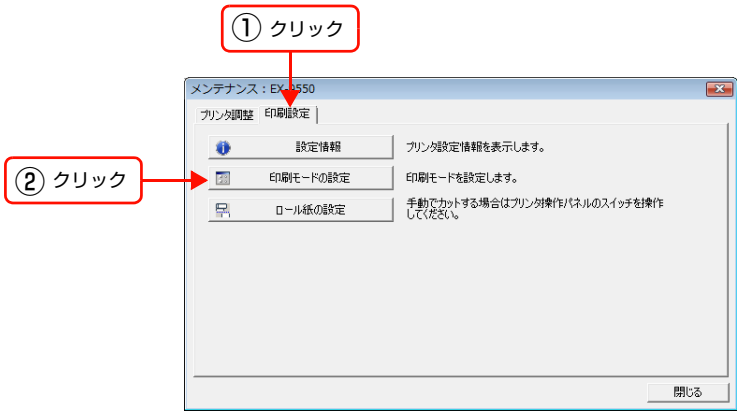
プリンタの印刷解像度と双方向印刷の有無を設定できます。印刷モード設定は、本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

> **参考** 印刷モード設定を行うには、［プリンタ調整］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ 本書 270 ページ「登録されているユーザーのパスワードや［操作権限］の設定を変更するには」

1 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、印刷モードを設定するプリンタの［メンテナンス］をクリックします。**

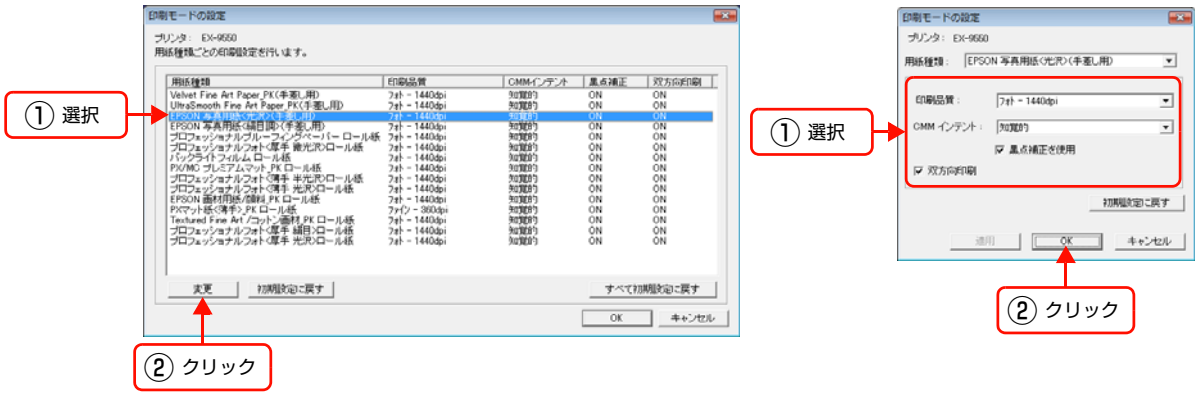


2 **［印刷設定］タブをクリックして［印刷モードの設定］をクリックします。**

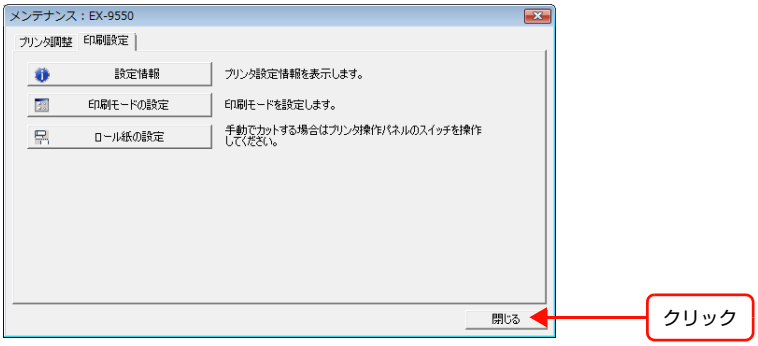


3 **以下の項目を設定して、［OK］をクリックします。**

項目	内容
［印刷品質］	印刷品質（解像度）を選択します。
［CMM インテント］	カラーマッチングの方法を選択します。
［黒点補正を使用］	黒点補正機能を使用するかしないかを選択します。
［双方向印刷］	チェックを外すとプリンタのプリントヘッドが左右どちらかの方向に移動するときだけ印刷します。よりきれいに印刷できますが、印刷時間が長くなります。



4 ［閉じる］をクリックします。



カラープロファイル・ColorBase 補正値ファイルを更新する

作成したカラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイルは、以下の手順で更新します。

お使いのシステム状態に合ったカラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイルは、テストチャートに基づき作成します。テストチャートの印刷は、239 ページ「色調整用のテストチャートを印刷する」をご覧ください。

1 **作成したカラープロファイルまたはColorBase補正値ファイルをUSBメモリまたはCD-ROMに保存してサーバ本体に装着します。**

2 **EPPServer 画面下にある［プリンタの状態］エリアで、補正値の更新をするプリンタの［メンテナンス］をクリックします。**



3 **［印刷設定］タブをクリックします。**

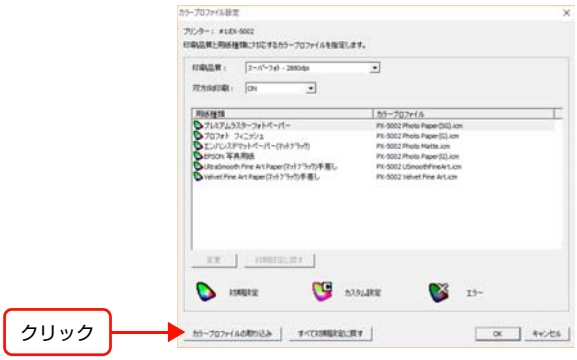
ColorBase 補正値更新時：［ColorBase］をクリックします。EX-1V、EX-3V の ColorBase 補正値はプリンタ本体で管理する為表示されません。別途、ColorBase2 ユーテリティをご利用ください。

カラープロファイル設定更新時：［カラープロファイル設定］をクリックします。

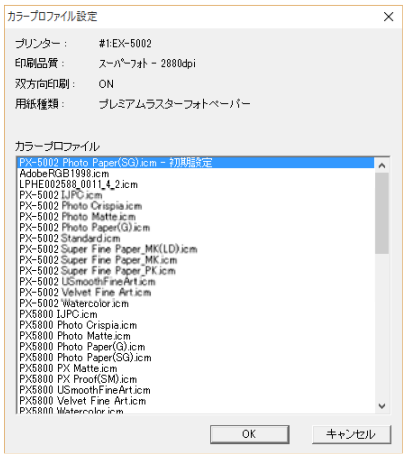
以降の手順では、［カラープロファイル設定］をクリックしたときの手順を例に説明します。



4 **カラープロファイル設定画面が表示されますので、画面下の［カラープロファイルの取り込み］をクリックします。**



5 **カラープロファイルを更新する用紙種類を選択して［変更］をクリックします。**
カラープロファイル選択画面が表示されます。



6 **適切なカラープロファイルを選択し、［OK］をクリックします。**

7 **カラープロファイルの更新が行われ用紙種類名左のアイコンがカスタム設定アイコンに変わります。他の用紙種類に対しても更新を行うときは、手順5～6を繰り返します。更新が完了したら［OK］をクリックします。**

8 **［閉じる］をクリックします。**

> 参考　カラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイル更新後は、テストチャートを印刷して印刷画質を確認してください。詳しくは、239 ページ「色調整用のテストチャートを印刷する」をご覧ください。

カラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイルを元に戻すには

更新前のカラープロファイルまたは ColorBase 補正値ファイルに戻すことができます。カラープロファイルを例に説明します。

1 **手順 5 で［変更］右の［初期設定に戻す］をクリックします。**
画面下の［全て初期設定値に戻す］をクリックして、全ての内容を一括して戻すこともできます。

2 **手順 7 を行います。**

3 **手順 8 を行います。**

再印刷データを自動削除する

EPPServer や EPPMonitor の印刷ジョブリストに表示されている印刷済（データあり）の印刷ジョブは再印刷できますが、印刷ジョブを削除しない限りサーバに保存されます。［再印刷の設定］画面で自動削除する条件を設定しておくと、条件が一つでも満たされた場合に印刷ジョブがサーバから自動削除されます。［再印刷の設定］は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

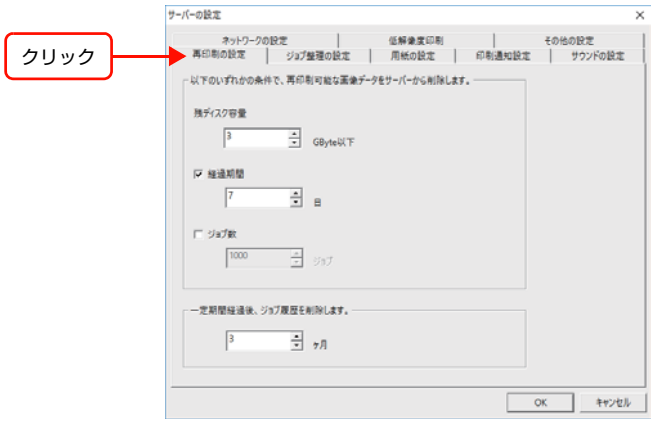
重要

- EPPLayout や EPPMonitor でロックを掛けた印刷ジョブは自動削除されません。
- 再印刷データの自動削除を設定するには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
  ☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「[ユーザ設定］画面」

1 EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。

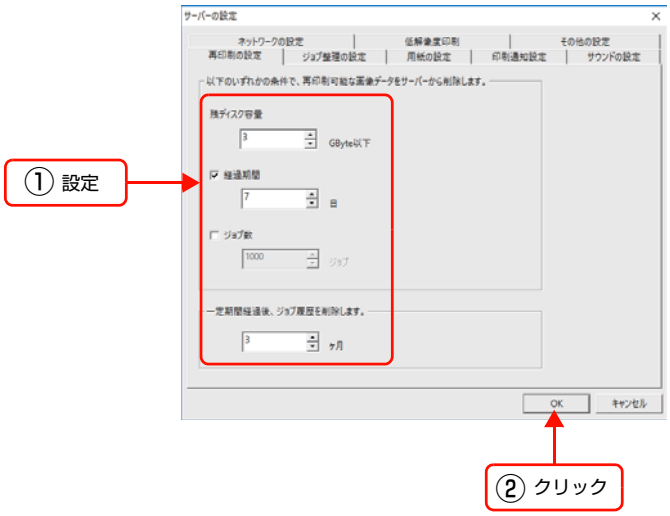


2 ［再印刷の設定］タブをクリックします。



3 **各項目をチェックし、条件を設定して［OK］をクリックします。**

項目	内容
［残ディスク容量］	ディスクの空き容量が設定した容量以下になると、自動削除します。3 ～ 10GB の範囲で設定でき、初期設定は 3GB です。このチェックボックスからチェックを外すことはできません。
［経過期間］	再印刷可能期間を設定します。設定した期間を超えると自動削除します。1 ～ 360 日の範囲で設定でき、初期設定は 7 日です。
［ジョブ数］	印刷ジョブが設定した数を超えると、自動削除します。100 ～ 10000 の範囲で設定でき、初期設定は 1000 です。
［一定期間経過後、ジョブ履歴を削除します。］	ジョブ履歴の保存期間を設定します。設定した期間を過ぎると、ジョブが自動的に削除されます。



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

印刷ジョブを整理する

用紙サイズと用紙種類の組み合わせ間違いで印刷されないジョブや一時停止（ポーズ）したジョブは、削除しない限りサーバに残ります。［ジョブ整理の設定］画面でシステム起動時に自動削除する条件を設定しておくと、条件が満たされた印刷ジョブがサーバから自動削除されます。［ジョブ整理の設定］は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

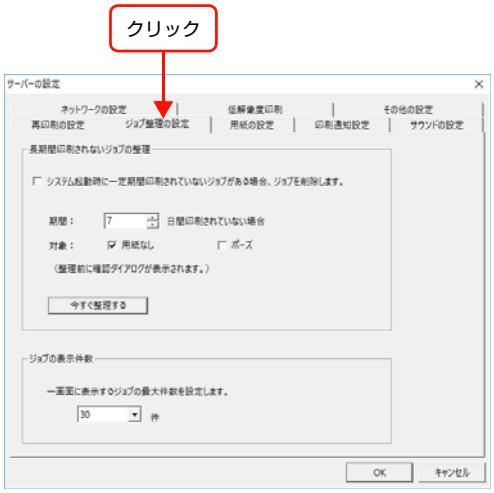
重要

- EPPLayout や EPPMonitor でロックを掛けた印刷ジョブは自動削除されません。
- 再印刷データの自動削除を設定するには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
  ☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「[ユーザ設定］画面」

1 EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。

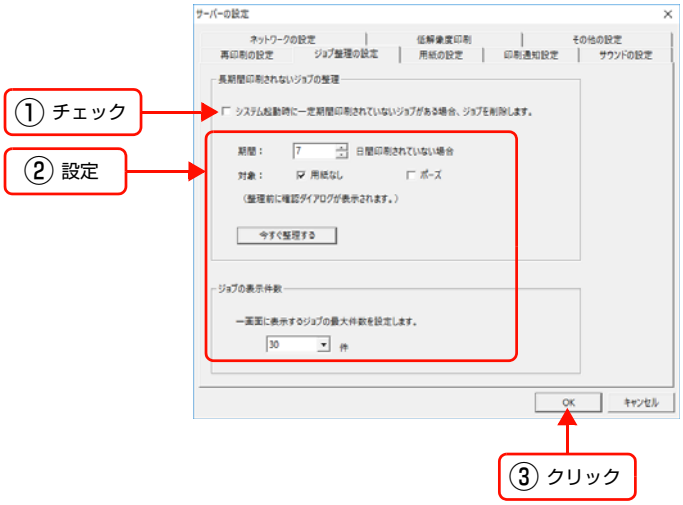


2 ［ジョブ整理の設定］タブをクリックします。



3 **［システム起動時に一定期間印刷されていないジョブがある場合、ジョブを削除します。］をチェックして、条件を設定して［OK］をクリックします。**

項目		内容
［期間］		整理対象のジョブが何日間印刷されない場合に削除するかを指定します。
［対象］	［用紙なし］	用紙サイズと用紙種類の組み合わせエラーで印刷されないジョブが削除されます。
	［ポーズ］	一時停止中のジョブが削除されます。
［今すぐ整理する］		対象ジョブの削除を実行する場合にクリックします。
［ジョブの表示件数］		一画面に表示するジョブの件数を設定します。



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

表示する用紙サイズや用紙種類を設定する

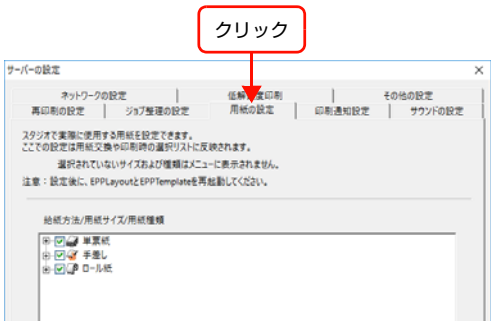
使用する用紙サイズや用紙種類を指定して、使用しない用紙サイズや用紙種類を表示しないようにできます。［用紙の設定］画面で設定しておくと、設定された用紙サイズや用紙種類だけが表示されます。［用紙の設定］は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

重要 用紙設定を行うには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
☞ EPPMonitor ヘルプ「［ユーザ設定］画面」

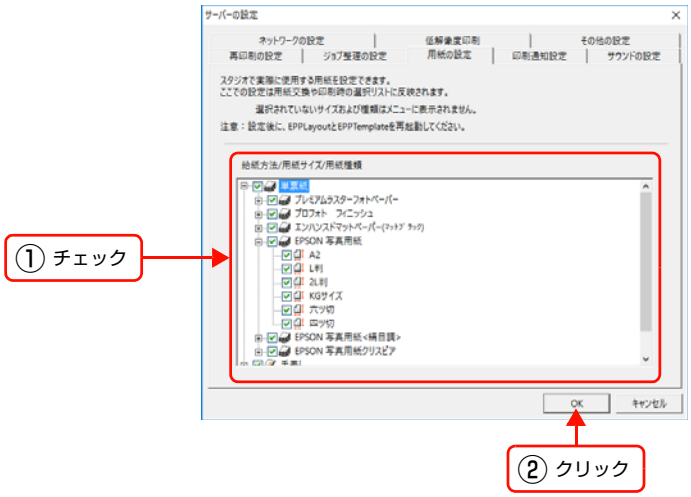
1 **EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。**



2 **［用紙の設定］タブをクリックします。**



3 **使用する［用紙サイズ］と［用紙種類］をチェックし、［OK］をクリックします。**
単票紙、ロール紙それぞれに設定できます。
初期設定では、すべての用紙にチェックが付いています。使用する用紙サイズと種類のみチェックします。



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

参考 ［用紙設定］を変更した場合は、EPPLayout や EPPTemplate を一度終了して再起動してください。再起動後に設定が有効となります。

印刷時の通知を設定する（Windows のみ）

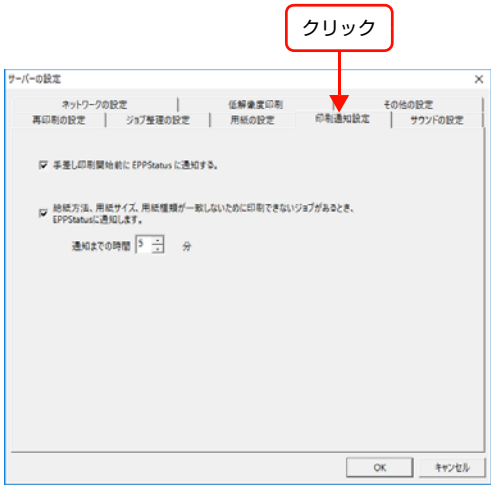
用紙種類・用紙サイズ・給紙装置の設定が一致しないために印刷が開始されないときなど、印刷前の通知を設定できます。［印刷通知設定］は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

> **重要** 印刷通知設定を行うには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ EPPMonitor ヘルプ「［ユーザ設定］画面」

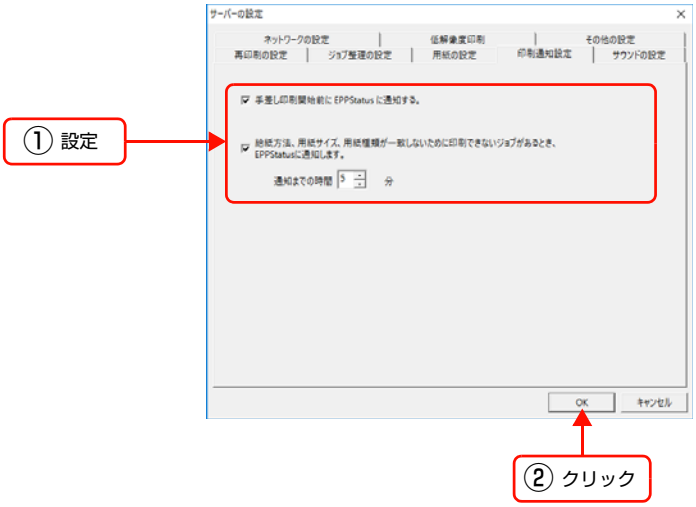
1 **EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。**



2 **［印刷通知設定］タブをクリックします。**

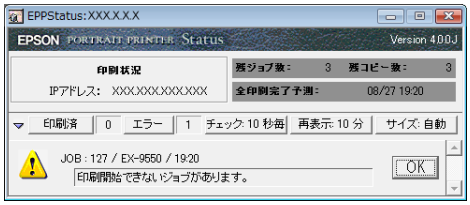


3 **以下の項目を設定して、［OK］をクリックします。**



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

以下の項目を設定できます。

項目	内容
［手差し印刷開始前に EPPStatus に通知する。］	手差し印刷を開始する前にジョブを送ってきたクライアントのEPPStatus に通知をする機能です。初期設定はオンです。クライアント側では以下のように表示されます。
［用紙種類・用紙サイズ・給紙装置が一致しないために印刷されないジョブがある場合、EPPStatus に通知します。］	印刷可能なジョブが長時間放置されている状態を検出して通知する機能です。初期設定はオフです。オンにしておくとクライアント側では以下のように表示されます。

エラー時の通知音を設定する

プリンタでエラーが発生したとき、通知音を鳴らすように設定できます。

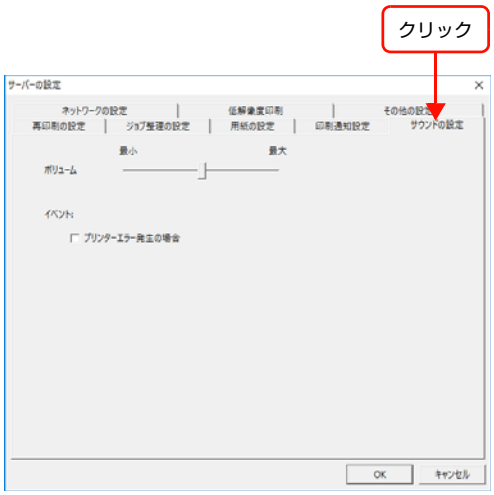
［サウンドの設定］は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

> **重要** サウンド設定を行うには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ EPPMonitor ヘルプ「［ユーザ設定］画面」

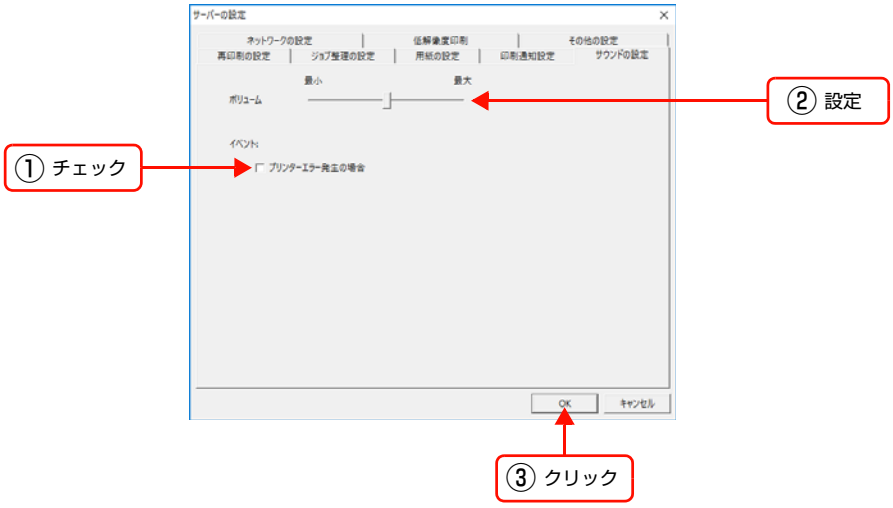
1 **EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。**



2 **［サウンドの設定］タブをクリックします。**



3 **［プリンタエラー発生の場合］にチェックして、ボリュームを設定し、［OK］をクリックします。**



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

ネットワークを設定する

ネットワークの設定や保存、設定の復元ができます。

ネットワークの設定は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

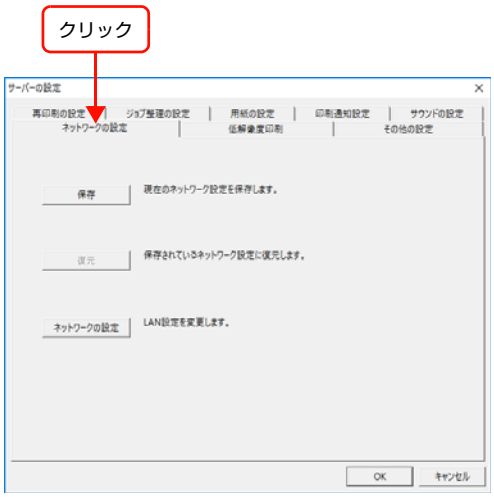
重要 ネットワークの設定を行うには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
☞ EPPMonitor ヘルプ「［ユーザ設定］画面」

ネットワーク設定を保存する

1 EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。



2 ［ネットワークの設定］タブをクリックします。

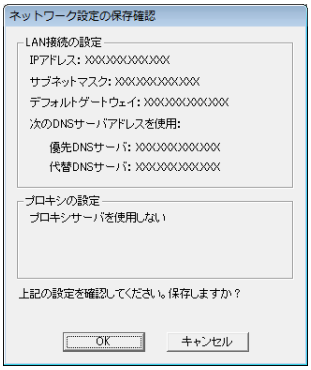


3 ［保存］をクリックします。



［ネットワーク設定保存確認］画面が表示されます。

4 保存するネットワークの設定内容を確認します。



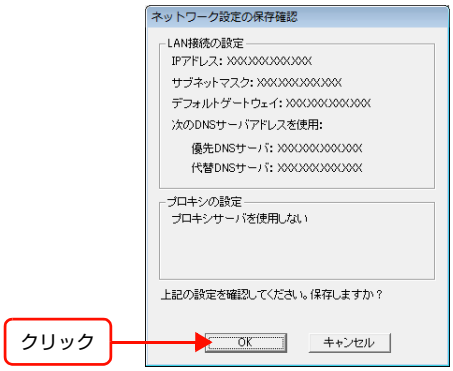
> 参考　本書に掲載する［ネットワーク設定保存確認］画面は設定例を表示していますので、実際とは異なります。

以下の設定内容を確認できます。

項目		内容
［LAN 接続の設定］	［IP アドレス］	IP アドレスを表示します。
	［サブネットマスク］	サブネットマスクを表示します。
	［デフォルトゲートウェイ］	デフォルトゲートウェイを表示します。
	［次の DNS サーバアドレスを使用］	DNS を自動取得する設定の場合は、［DNS サーバを自動取得］が表示されます。DNS を指定している場合は、優先 DNS サーバと代替 DNS サーバが表示されます。
［プロキシの設定］		ネットワークに接続するためのプロキシサーバの使用、不使用を表示します。プロキシサーバを使用している場合は、サーバの IP アドレスまたはドメイン名と使用するポート番号が表示されます。

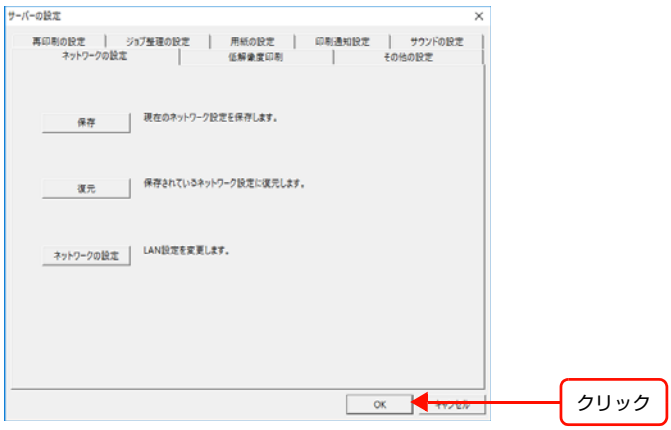
> 重要　ダイアルアップ接続機能はサポートしていません。

5 ［OK］クリックします。



ネットワーク設定が保存されます。［キャンセル］をクリックすると設定が取り消され［ネットワークの設定］画面に戻ります。

6 [OK] クリックします。



ネットワーク設定を保存されている設定に戻すには

1 256 ページ「ネットワーク設定を保存する」の手順 1 と 2 を行います。

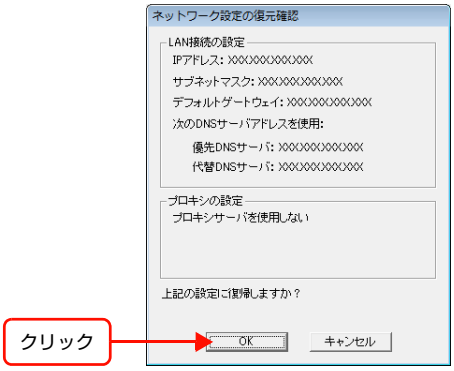
2 [復元] をクリックします。



重要 保存されているネットワーク設定がない場合は、[復元] はクリックできません

[ネットワーク設定保存確認] 画面が表示されます。

3 **ネットワークの設定内容を確認して、[OK] をクリックします。**
確認できる設定内容は［保存］をクリックしたときと同じです。



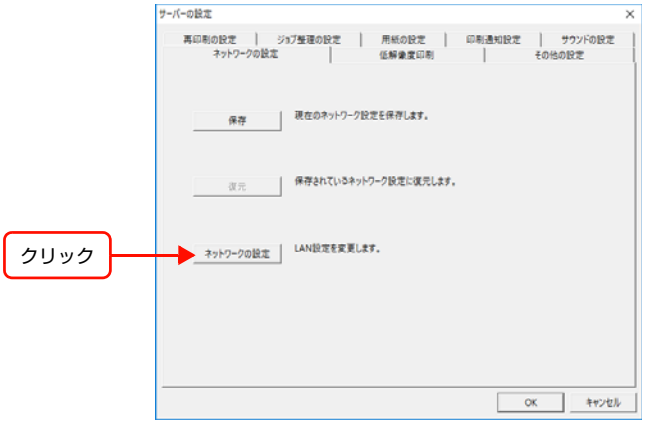
> **参考** 本書に掲載する［ネットワーク設定保存確認］画面は設定例を表示していますので、実際とは異なります。

保存されているネットワーク設定に戻ります。［ネットワーク設定保存確認］画面が閉じ、システムが再起動されます。
［キャンセル］をクリックすると［復元］の設定は取り消され［ネットワークの設定］画面に戻ります。

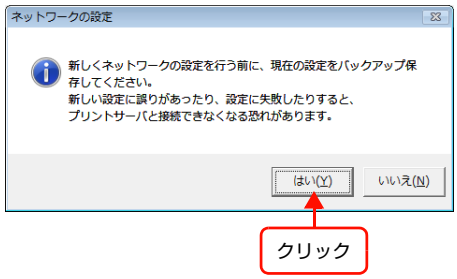
ネットワークの設定をする

1 **256 ページ「ネットワーク設定を保存する」の手順 1 と 2 を行います。**

2 **［ネットワークの設定］をクリックします。**

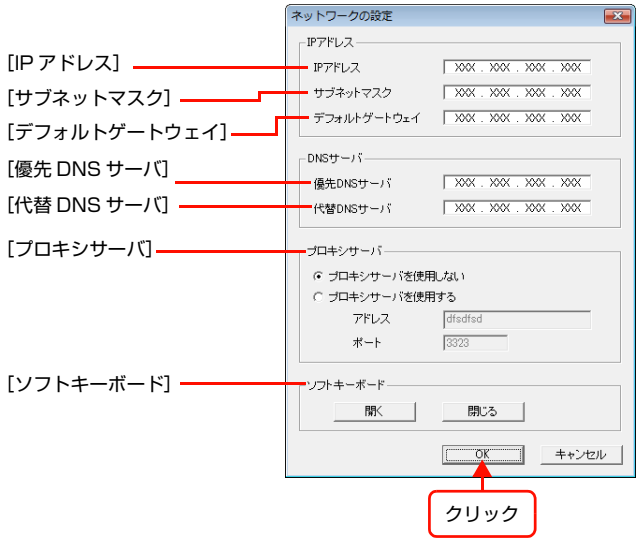


3 **メッセージの内容を確認して、[はい] をクリックします。**
新しくネットワークの設定を行うときは、現在の設定を保存してください。



4 **ネットワークの各項目を設定して、[OK] をクリックします。**

項目		内容
[IP アドレス]	[IP アドレス]	IP アドレスを入力します。
	[サブネットマスク]	サブネットマスクを入力します。
	[デフォルトゲートウェイ]	デフォルトゲートウェイを入力します。
[DNS サーバ]	[優先 DNS サーバ]	DNS サーバの IP アドレスを入力します。
	[代替 DNS サーバ]	
[プロキシサーバ]		ネットワークに接続するためのプロキシサーバを使用するかしないかを選択します。 プロキシサーバを使用するときは、サーバの IP アドレスまたはドメイン名と使用するポート番号を入力します。
[ソフトキーボード]		[開く] をクリックすると、本体の LCD モニタにキーボードが表示されます。[閉じる] をクリックすると、キーボードが閉じます。



設定を変更しない場合は、[キャンセル] をクリックします。

低解像度印刷時の解像度を設定する

印刷オプションの低解像度印刷時の解像度を設定できます。

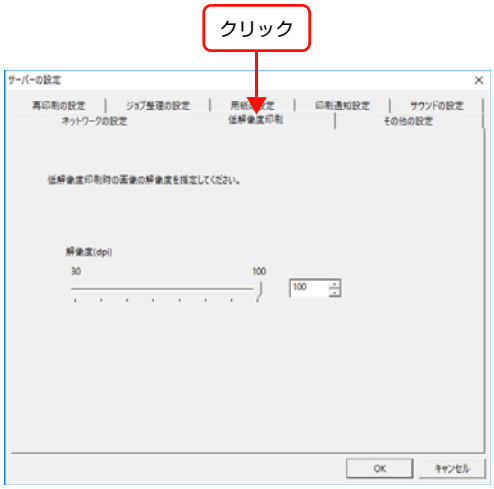
［低解像度印刷］の設定は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

重要 低解像度印刷の設定を行うには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
☞ EPPMonitor ヘルプ「[ユーザ設定］画面」

1 **EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。**



2 **［低解像度印刷］タブをクリックします。**



3 **低解像度印刷時の画像の解像度を設定して、［OK］をクリックします。**



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

参考 低解像度印刷を実行するには、EPPLayout のオプション設定で［低解像度印刷］をチェックしてください。

その他の設定をする

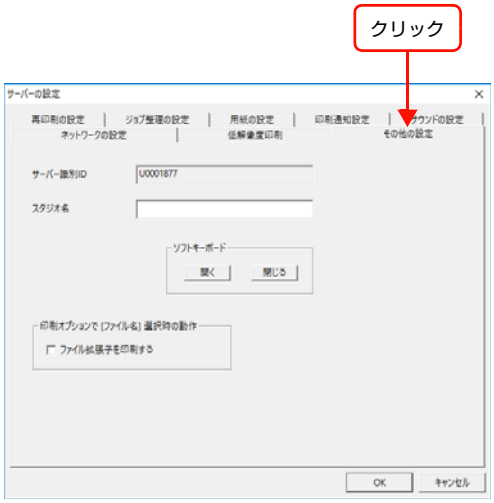
サーバ ID を確認したり、スタジオ名を設定できます。また、本体の LCD モニタにキーボードを表示できます。EPPServer を操作するときに便利です。これらの設定は本体の LCD モニタで EPPServer にログインし、操作します。EPPServer にログインする方法については、221 ページ「EPPServer にログインする」をご覧ください。

> **重要** これらの設定を行うには、［サーバ設定］の操作権限が必要ですので Studiomaster に確認してください。
> ☞ EPPMonitor ヘルプ「[ユーザ設定］画面」

1 **EPPServer 画面右下にある［メンテナンス］エリアの［サーバ設定］をクリックします。**



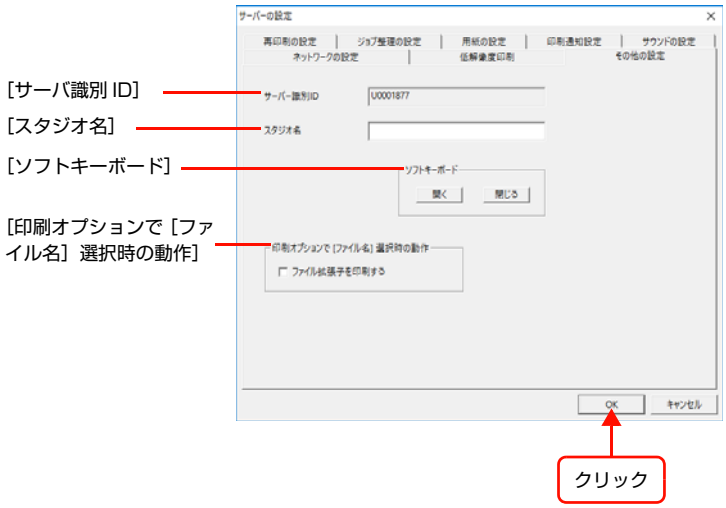
2 **［その他の設定］タブをクリックします。**



3 **必要な項目を設定して［OK］をクリックします。**

以下の設定ができます。

項目	内容
［サーバ識別 ID］	サーバ ID が表示されます。サーバ ID を変更することはできません。
［スタジオ名］	スタジオ名を入力します。［開く］をクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。ソフトキーボードを使って、スタジオ名を入力します。入力が終わったら、［ソフトキーボード］の［閉じる］をクリックしてソフトキーボードを閉じます。
［ソフトキーボード］	［開く］をクリックすると、本体の LCD モニタにキーボードが表示されます。［閉じる］をクリックすると、キーボードが閉じます。
［印刷オプションで［ファイル名］選択時の動作］	EPPLayout で印刷オプションの［写真情報］で［ファイル名］を選択したときに、ファイルの拡張子を印刷するかしないかを設定できます。



設定を変更しない場合は、［キャンセル］をクリックします。

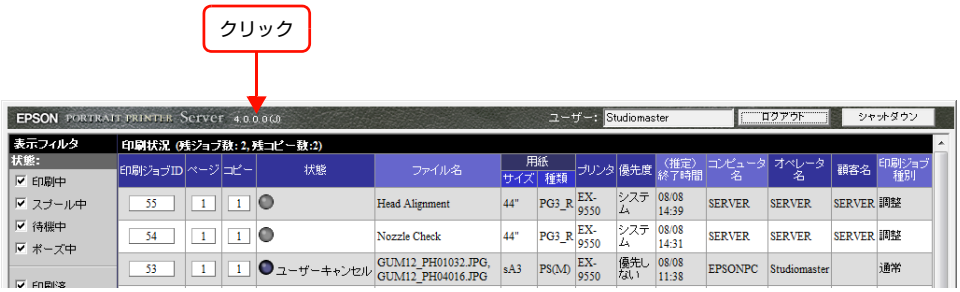
本体を移動すると機器の落下等により破損につながる可能性がありますので、お客様ご自身による本体の移動は行わないでください。

重要 本体は大変重いので移動する場合や持ち運ぶ場合は、販売店または専用ヘルプデスクにご相談ください。
また、移動後は 217 ページ「メンテナンス」をご覧になり、プリントヘッドの調整などしてください。

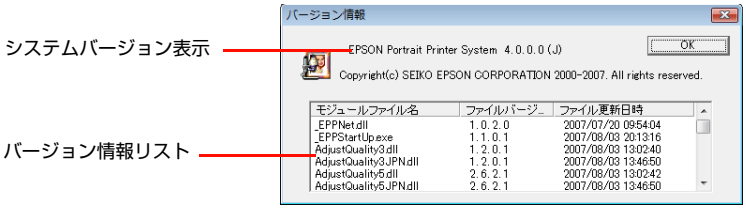
EPPServer のバージョンを確認する

EPPServer のバージョンを確認できます。本体の LCD モニタに表示されている EPPServer 画面で操作します。

1 **EPPServer 画面上にあるタイトルバーの［EPSON PORTRAIT PRINTER Server］直後のバージョン表記部分をクリックします。**

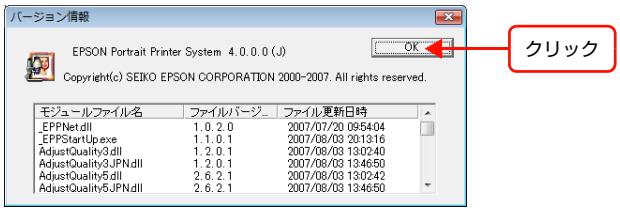


［バージョン情報］画面が表示されます。



項目	内容
［モジュールファイル名］	モジュールのファイル名が表示されます。
［ファイルバージョン］	モジュールのファイルバージョンが表示されます。
［ファイル更新日時］	モジュールのファイルの更新日時が表示されます。

2 **［OK］をクリックして［バージョン情報］画面を閉じます。**



ユーザーやクライアントコンピュータを追加する

ここでは、新しくユーザーを追加する場合の登録方法、Studiomaster のパスワードを登録する方法、クライアントコンピュータの追加方法について説明しています。

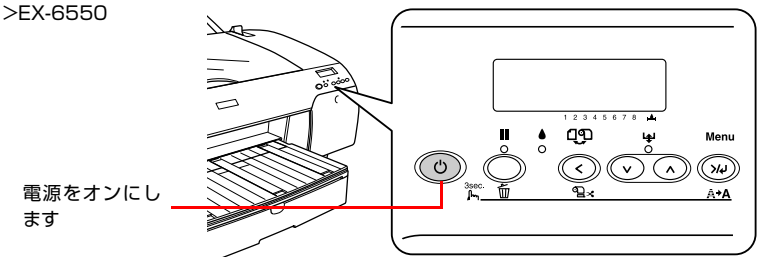
☞「新しいユーザーを追加する」266 ページ
☞「Studiomaster のパスワードを登録する」273 ページ
☞「クライアントコンピュータを追加する」275 ページ

新しいユーザーを追加する

新しくユーザーを追加する場合は、EPPMonitor の［ユーザ設定］をします。ユーザー設定すると、本システムのソフトウェアで表示される［ログイン］画面の［オペレータリスト］に追加したユーザー名が表示され、ソフトウェアを起動できます。また、［ユーザ設定］画面で各ユーザーに対する操作権限の有無を設定してユーザーの作業を管理できます。

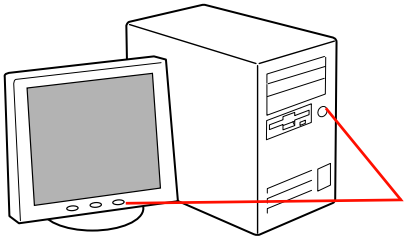
1 **プリンタの電源をオンにします。**

＜例＞EX-6550



重要 サーバの電源を入れる前にプリンタにエラーが発生していないか必ず確認してください。エラーが発生していると本体の起動に時間がかかります。

2 **サーバの LCD モニタの電源と、サーバ本体の電源をオンにします。**



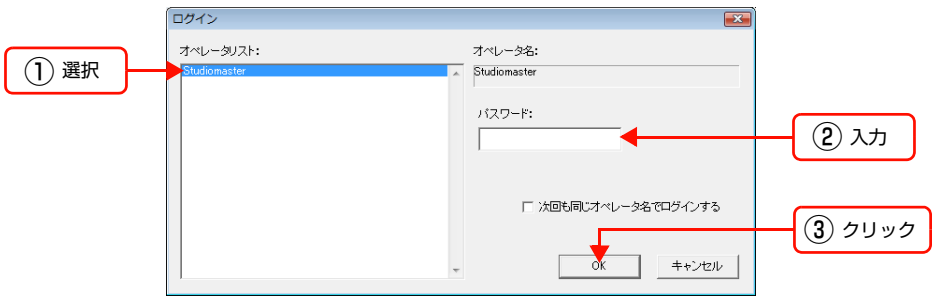
本体の電源が入ると、EPPServer が起動して LCD モニタに［EPPServer］画面が表示されます。

3 **クライアントコンピュータを起動します。**

4 **EPPLayout を起動します。**

- 【Windows】
  ［スタート］-［すべてのプログラム］-［EPSON Portrait Printer Ⅱ］-［EPPLayout］をクリックします。
- 【Mac OS】
  ソフトウェアが入っているフォルダを開き、EPPLayout のアイコン（ ）をダブルクリックします。

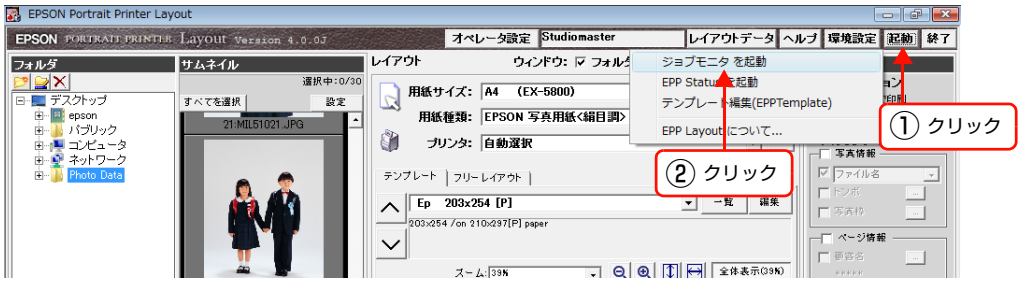
5 **［Studiomaster］をオペレータリストから選択し、パスワードを入力し、［OK］をクリックします。**



参考
- ［ユーザ設定］画面での設定は Studiomaster が行ってください。
- EPPLayout の起動方法については、15 ページ「EPPLayout を起動する」をご覧ください。
- 初期設定ではパスワードは設定されていません。パスワードの設定は EPPMonitor から行えます。

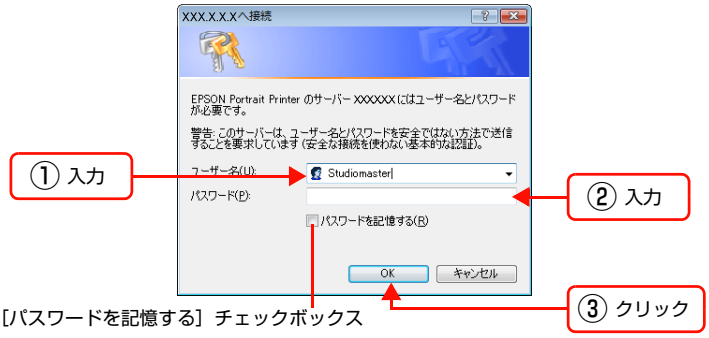
6 EPPMonitor を起動します。

- 【Windows】
  EPPLayout 画面右上にある［起動］をクリックして、［ジョブモニタを起動］を選択します。
- 【Mac OS】
  EPPLayout の［ファイル］メニューから［ジョブモニタを起動］を選択します。



7 ユーザー名に［Studiomaster］と入力し、パスワードを入力して［OK］をクリックします。

次回からパスワードの入力を省略するには、［パスワードを記憶する］をチェックします。

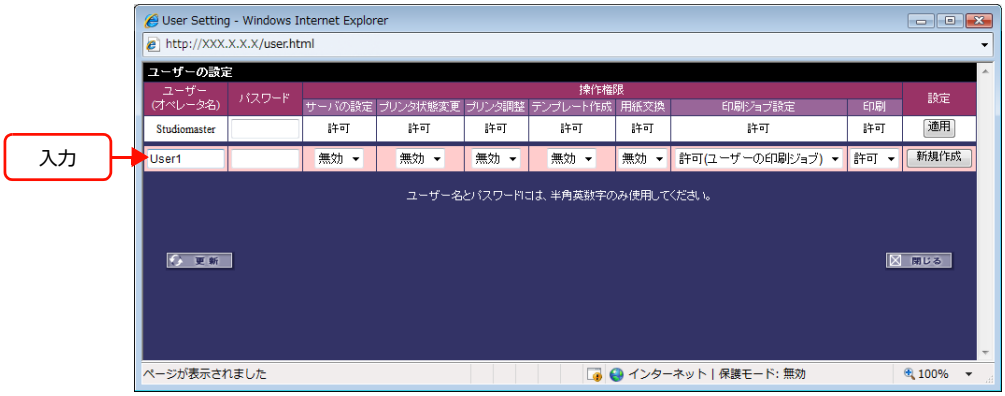


8 ［ユーザ設定］をクリックします。



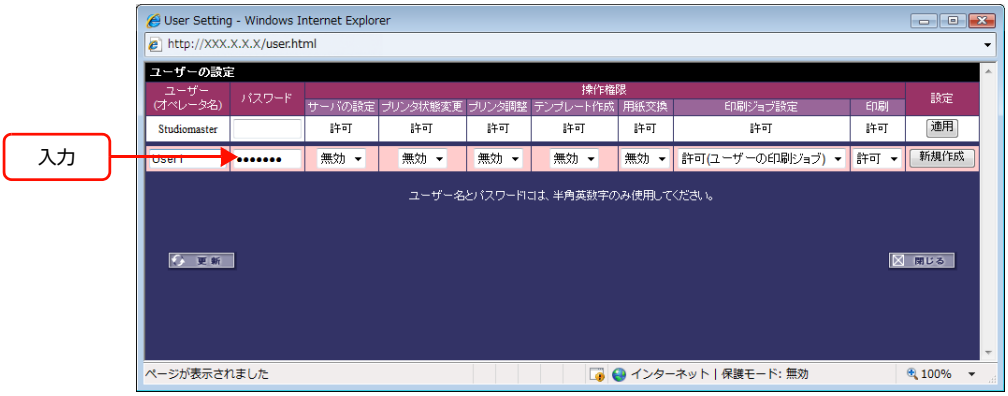
9 **追加するユーザー名を入力します。**

［ユーザ（オペレータ名）］の［NewUser］ボックスをダブルクリックし、半角英数字で入力します。31 文字まで入力できます。



10 **パスワードを入力します。**

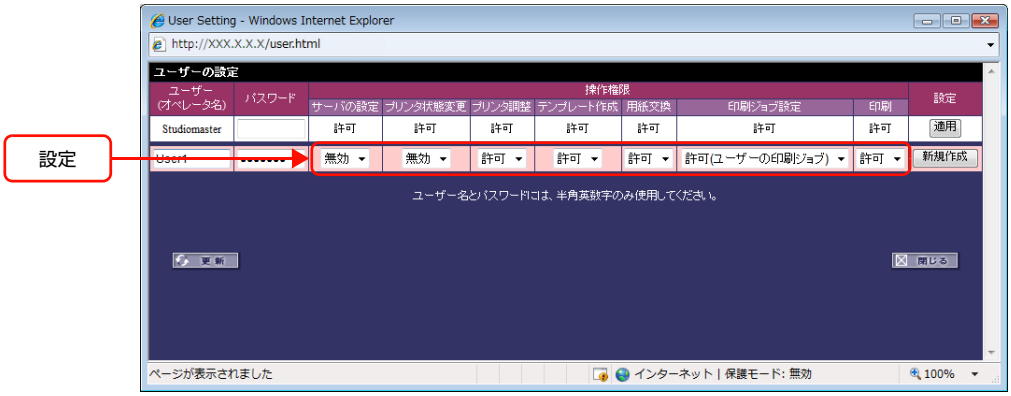
［パスワード］のボックスにカーソルを置き、半角英数字で入力します。21 文字まで入力できます。



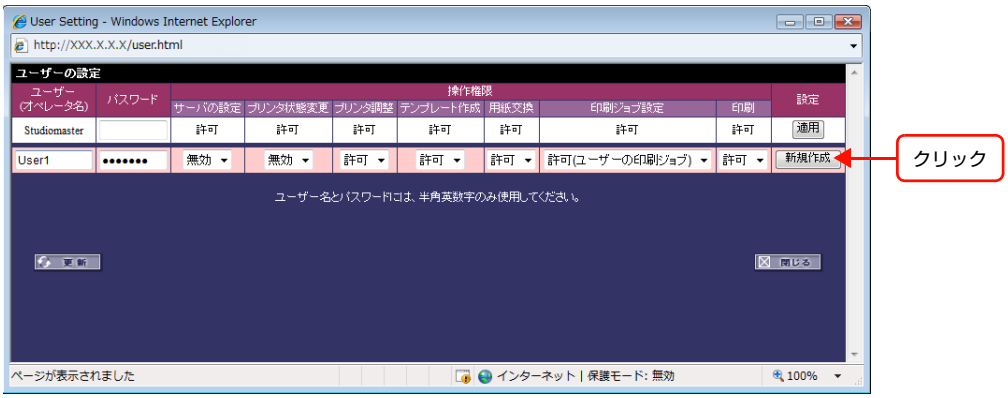
11 **［操作権限］の ▾ をクリックして［無効］または［許可］を設定します。**

それぞれの作業項目について追加するユーザーが作業できる権限を設定します。

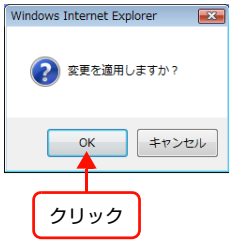
☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「［ユーザ設定］画面」



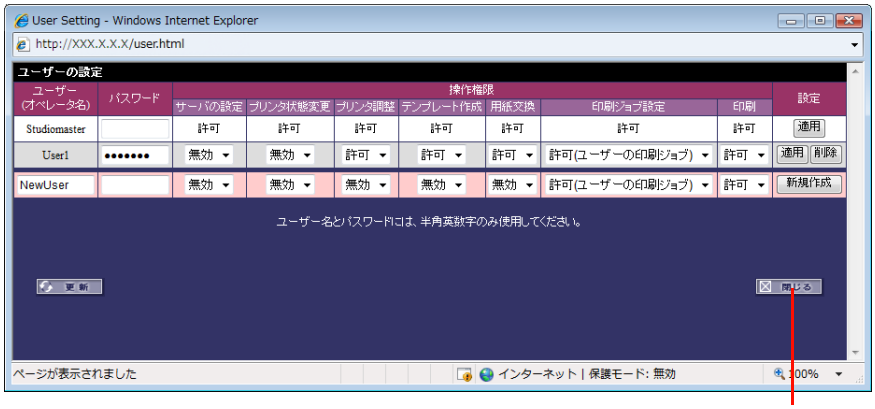
12 設定が終わったら［新規作成］をクリックします。



13 ［OK］をクリックします。



［完了］が表示され、設定が登録されます。設定を取り消す場合は［キャンセル］をクリックします。



［閉じる］をクリックするとジョブリスト画面に戻ります。

登録されているユーザーのパスワードや[操作権限]の設定を変更するには

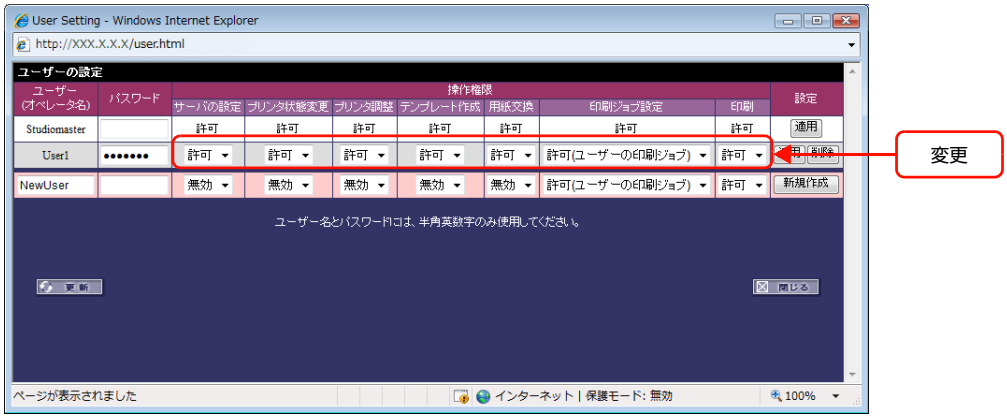
1 **266 ページ「新しいユーザーを追加する」の手順 1 ～ 8 の操作を行います。**

2 **パスワードまたは操作権限を変更します。**

- パスワードを変更するには
  パスワードを変更したいユーザーの［パスワード］のボックスをクリックし、新しいパスワードを半角英数字で入力します。21 文字まで入力できます。

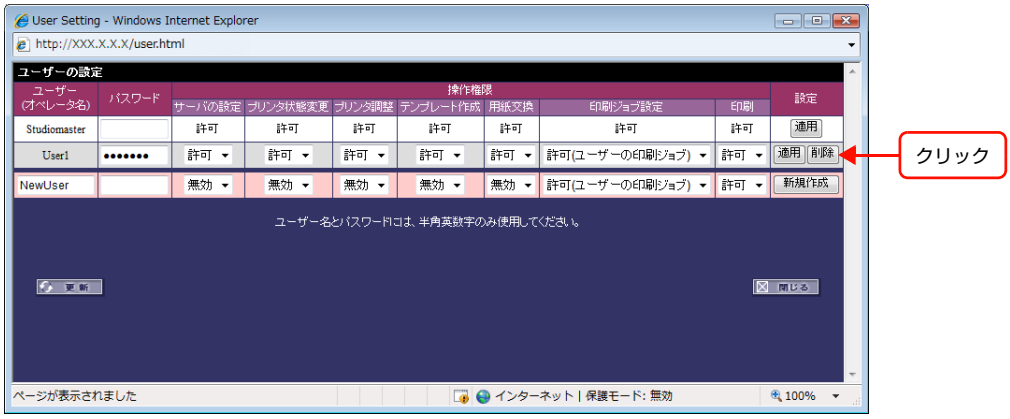


- 操作権限を変更するには
  設定を変更したいユーザーの［操作権限］の ▾ をクリックして［無効］または［許可］を変更します。
  ☞ EPPMonitor ヘルプ「各画面の説明」ー「[ユーザ設定] 画面」

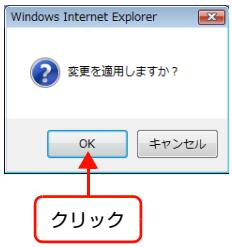


> **重要** ［Studiomaster］の［操作権限］は変更できません。

3 **設定の変更が終わったら、［適用］をクリックします。**



4 **［OK］をクリックします。**



［完了］が表示され、設定が変更されます。設定を取り消す場合は［キャンセル］をクリックします。



［閉じる］をクリックするとジョブリスト画面に戻ります。

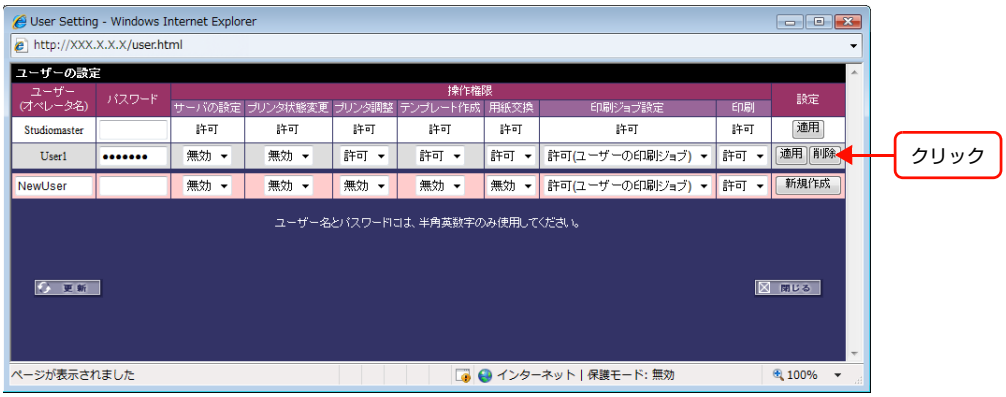
Studiomaster 以外でログインすると

ログインしたユーザーのパスワードのみ変更できます。

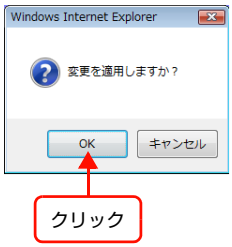
ユーザー登録を削除するには

1 **266 ページ「新しいユーザーを追加する」の手順 1 ～ 8 の操作を行います。**

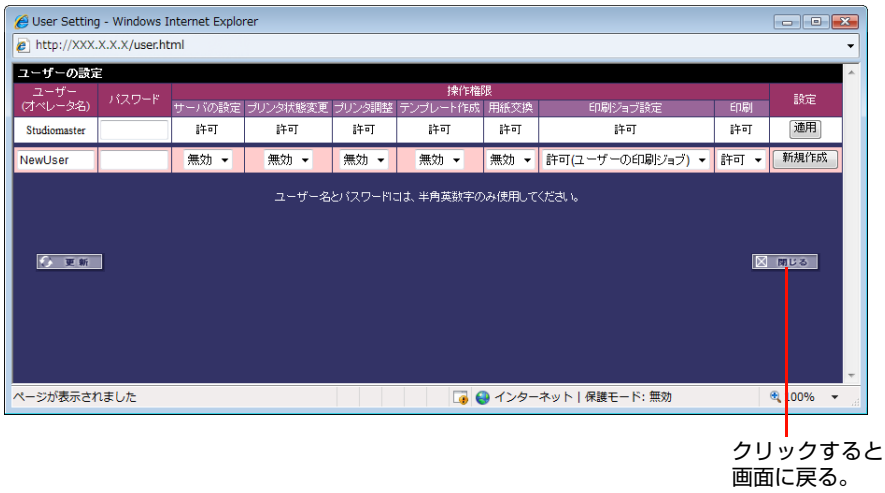
2 **［ユーザ設定］画面で、削除したいユーザーの欄にある［削除］をクリックします。**



3 [OK] をクリックします。



[完了] が表示され、選択したユーザーが [ユーザ設定] から削除されます。削除を取り消す場合は [キャンセル] をクリックします。



[閉じる] をクリックした場合は、ジョブリスト画面に戻ります。

Studiomaster のパスワードを登録する

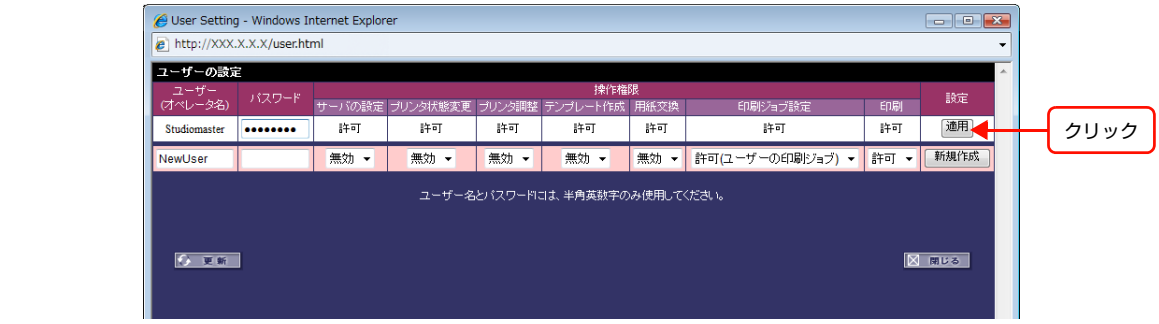
［ユーザ設定］画面で Studiomaster パスワードを登録できます。

1 **266 ページ「新しいユーザーを追加する」の手順 1 ～ 8 の操作を行います。**

2 **［ユーザ設定］画面で Studiomaster の欄の［パスワード］に登録するパスワードを入力します。**
Studiomaster の［パスワード］のボックスにカーソルを置いて、半角英数字で入力します。21 文字まで入力できます。



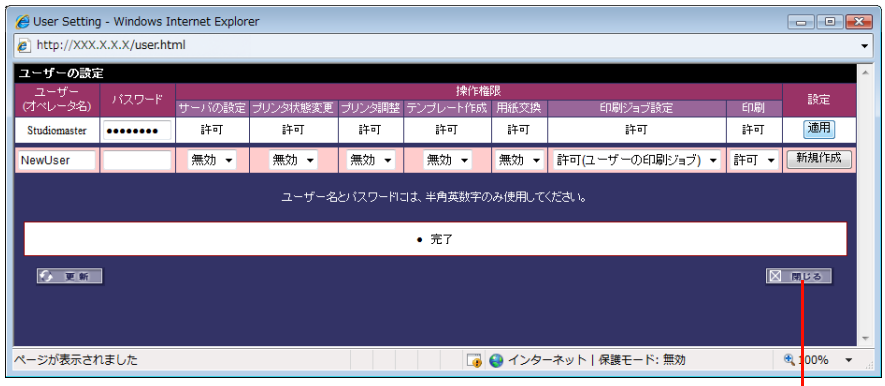
3 **設定の変更が終わったら［適用］をクリックします。**



4 **［OK］をクリックします。**



［完了］が表示され、設定が変更されます。



［閉じる］をクリックするとジョブリスト画面に戻ります。

登録されている Studiomaster のパスワードを変更するには

273 ページ「Studiomaster のパスワードを登録する」の手順 2 で Studiomaster の［パスワード］のボックスをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。

クライアントコンピュータを追加する

クライアントコンピュータは、以下の手順で追加します。

参考　スタジオのシステム管理者がクライアントソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

クライアントコンピュータのソフトウェアをインストールする前に

ネットワークとクライアントコンピュータの環境が以下の条件を満たしているか確認します。

- クライアントコンピュータがネットワークルータまたはハブに接続されている。
- クライアントコンピュータのシステムが以下の条件を満たしている。

【Windows】

CPU	DualCore 3GHz 以上
OS	Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows 10
メモリ	1GB 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX 以上
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

参考　PSD 形式（Photoshop 形式）の画像を読み込むときは、QuickTime が必要です。

【Mac OS】

CPU	DualCore 3GHz 以上
OS	Mac OS X v10.6 以降
メモリ	1 GB 以上
ネットワーク環境	10BASE-T/100BASE-TX 以上
モニタサイズ	1024 × 768 ピクセル以上

参考　PSD 形式（Photoshop 形式）の画像を読み込むときは、QuickTime が必要です。

クライアントコンピュータにソフトウェアをインストールする

本システムに付属の「クライアントソフトウェア CD」からソフトウェアをインストールするには、次の手順に従ってください。

> **重要** 前バージョンのソフトウェアがインストールされている場合は、先にアンインストールしてから新しいソフトウェアをインストールしてください。

【Windows】

1. **「クライアントソフトウェア CD」を CD-ROM または DVD ドライブに挿入します。**
2. **「クライアントソフトウェア CD」の中の［Setup.exe］をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。**
3. **インストールが終了したら「クライアントソフトウェア CD」をドライブから取り出します。**
4. **正常にインストールされたかを検証するため、それぞれのソフトウェアを起動させます。**
   - 15 ページ「EPPLayout を起動する」をご覧ください。
   - ［EPPStatus］を起動させるには、209 ページ「EPPStatus でプリンタの状態を確認する（Windows のみ）」をご覧ください。

【Mac OS】

1. **「クライアントソフトウェア CD」を CD-ROM または DVD ドライブに挿入します。**
2. **「クライアントソフトウェア CD」の中の［Setup］アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを行います。**
3. **インストールが終了したら、「クライアントソフトウェア CD」をドライブから取り出します。**
4. **正常にコピーされたかを検証するため、それぞれのソフトウェアを起動させます。**
   - 15 ページ「EPPLayout を起動する」をご覧ください。
   - 74 ページ「EPPTemplate を起動する」をご覧ください。

クライアントコンピュータからソフトウェアをアンインストールする

クライアントコンピュータからソフトウェア（EPPLayout、EPPTemplate、EPPWorks、EPPStatus）を削除（アンインストール）するには、以下の手順に従ってください。

> **重要** 古いバージョンと新しいバージョンのソフトウェアを入れ替える場合は、先に古いバージョンのソフトウェアをアンインストールしてから新しいソフトウェアをインストールしてください。

【Windows】

1. 起動しているすべてのソフトウェアを終了します。
2. Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。
3. ［プログラムのアンインストール］（Windows Vista/Windows 7）または［プログラムの追加と削除］（Windows XP）を開きます。
4. 削除したいソフトウェアを選択して［アンインストール］（Windows Vista/Windows 7）または［削除］（Windows XP）をクリックします。
5. 画面の指示に従ってアンインストールを行います。

【Mac OS：PPPS-III の場合】

PPPS-III シリーズをアンインストールするには、以下のフォルダを削除してください。

/ アプリケーション /PPPS

モニタのカラー補正を行う

モニタに表示される色を印刷される色に近付けるために、クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行います。

仕様

プリンタ部

プリンタ部に関する各仕様は、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

外部インタフェース

クライアントコンピュータ・サーバ間接続

イーサネット	10BASE-T/100BASE-TX 以上
通信プロトコル	Http 準拠、EPPTransfer プロトコル（弊社独自）

動作環境

	操作温度	操作湿度 （非結露）	保存温度	保存湿度 （非結露）
本機全体	10 ～ 30 ℃ *1	20 ～ 80%*2	-15 ～ 40 ℃	20 ～ 80%
プリンタユニット	10 ～ 30 ℃	20 ～ 80%	-20 ～ 40 ℃	20 ～ 80%
サーバ	10 ～ 30 ℃	20 ～ 80%	-40 ～ 65 ℃	20 ～ 80%
LCD モニタ	0 ～ 40 ℃	10 ～ 90%	-20 ～ 65 ℃	10 ～ 90%

*1　画質保証範囲は 15 ～ 30 ℃です。

*2　画質保証範囲は 40 ～ 60%（非結露）です。

※上記の環境条件は、ハードウェアのものです。お使いになる用紙の環境条件が優先されます。

プリンタの構成

製品型番	プリンタ
PPPS-3EW	EX-3V × 2 台
PPPS-3E	EX-3V
PPPS-2EW	EX-6550 × 2 台
PPPS-2E	EX-6550
PPPS-2BEW1	EX-5002 × 2 台
PPPS-2BE1	EX-5002
PPPS-2BEW	EX-5800 × 2 台
PPPS-2BE	EX-5800
PPPS-2EWA	EX-6550 × 2 台、EX-7550
PPPS-2EWB	EX-6550 × 2 台、EX-9550
PPPS-2EA	EX-6550、EX-7550
PPPS-2EB	EX-6550、EX-9550
PPPS-4E	EX-1V

寸法

（プリンタ部外形寸法参考値）

- EX-1V（専用ラック含まない）
  515 × 368 × 185 mm（収納時）
  515 × 769 × 420 mm（使用時）
- EX-3V（専用ラック含まない）
  684 × 376 × 250 mm（収納時）
  684 × 963 × 550 mm（使用時）
- EX-6550（専用ラック含まない）
  848 × 765 × 354mm
- EX-5002/EX-5800（専用ラック含まない）
  684 × 376 × 257mm（収納時）
  684 × 1,040 × 550mm（使用時）
- EX-7550
  1,178 × 501 × 560mm（専用スタンド含まない）
  1,178 × 1,033 × 1,180mm（専用スタンド含む）
- EX-9550
  1,702 × 678 × 1,196mm（排紙バスケット、後方排紙未セット時）
  1,702 × 681 × 1,196mm（排紙バスケット、後方排紙セット時）

※外形寸法については、変更や改良に伴い、変更する可能性があります。

4 困ったときには

トラブルが起こると、ユーザーのコンピュータ画面に警告やエラーメッセージが表示されます。画面の指示に従ってトラブルを処理してください。それでもトラブルを解決できないときは、「プリンタのトラブルを解決する」や「ソフトウェアのトラブルを解決する」をご覧になり、対処してください。

はじめに 281
プリンタのトラブルを解決する 282
ソフトウェアのトラブルを解決する 286

はじめに

“エラーメッセージが表示される”、“思うように操作できない”などのトラブルの解決方法について説明します。専用ヘルプデスクにお問い合わせいただく前に、ここに記載されている原因と解決方法を確認し、対処してください。それでもトラブルを解決できないときは専用ヘルプデスクにお問い合わせください。

エラーや警告メッセージに対処する

トラブルが起きると、エラーや警告メッセージ画面がクライアントコンピュータのモニタに表示されます。画面の指示に従ってトラブルを解決してください。

印刷データをサーバに送信したら、EPPStatus を起動しておくことをお勧めします。EPPStatus がトラブルの状況と解決方法をモニタに表示するので、迅速に対処できます。（Windows のみ）

モニタにエラーや警告メッセージ画面が表示されない場合でも“印刷ができない”などのトラブルが起きたときには、プリンタの操作パネルのメッセージやランプの状態を確認し、対処してください。

プリンタのトラブルを解決する

ここではプリンタに発生する可能性のあるトラブルについて説明しています。
プリンタに添付の取扱説明書も併せてご確認ください。

プリンタのエラー状態と解決方法

プリンタの状態は、EPPStatus、プリンタの操作パネルで確認できます。
EPPStatus ついては、209 ページ「EPPStatus でプリンタの状態を確認する（Windows のみ）」をご覧ください。

EPPStatus の画面にエラーが表示される（Windows のみ）

EPPStatus に表示されるメッセージに従って対処してください。

プリンタの操作パネルのランプやメッセージが通常の状態と異なる

プリンタの取扱説明書をご覧になり対処してください。

印刷画質に関するトラブル

本書の 283 ページ「印刷画質に関するトラブルと解決方法」」をご覧になり対処してください。

給紙ミスや紙詰まりなど用紙に関するトラブル

プリンタの取扱説明書をご覧になり対処してください。

ソフトウェアに関するトラブル

EPPServer、EPPLayout、EPPTemplate、EPPWorks、EPPMonitor に関するトラブルは、286 ページ「ソフトウェアのトラブルを解決する」をご覧ください。

印刷画質に関するトラブルと解決方法

常に最良の印刷画質を維持するために、定期的に以下の操作や確認を行ってください。

- プリンタヘッドをクリーニングしてください（232 ページ）。
- プリンタヘッドを正しく調整してください（235 ページ）。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
- EPPLayout で選択した用紙がセットされているか確認してください。

状態	対処方法
印刷に縦または横のスジが入る。	**用紙の印刷面が正しくセットされている。** 用紙に添付の取扱説明書を参照して用紙の印刷面をご確認ください。用紙のセット方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。 **用紙設定が正しくない。** セットした用紙サイズが、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 **プリンタヘッドのノズルが詰まっている。** 230 ページ「ノズルチェックする」を行い、プリンタヘッドのノズルが目詰まりを起こしていないか確認してください。目詰まりを起こしている場合は、プリンタヘッドをクリーニングしてください（232 ページ）。 プリンタヘッドのクリーニングが終わったら、もう一度、ノズルチェックを行い、画質の状態を確認してください。 **プリンタヘッドが正しく調整されていない。** プリンタヘッドを正しく調整してください（235 ページ）。 **インクの残量が少ない。** プリンタの操作パネルのインクランプが点滅または点灯していないか確認し、点滅または点灯している場合は新しいインクカートリッジと交換してください（238 ページ）。 **画質が正しく調整されていない。** ［印字品質調整］で用紙送り量などを調整してください（243 ページ）。

状態	対処方法
印刷が薄い、不鮮明、粒子が粗い。	**用紙設定が正しくない。** セットした用紙サイズが、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 **用紙の印刷面が正しくセットされている。** 用紙に添付の取扱説明書を参照して用紙の印刷面をご確認ください。用紙のセット方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。 **用紙の状態が悪い。** 用紙が湿っていたり、傷が付いていないか確認してください。 **本機を高温多湿の場所で使用している。** 278 ページ「仕様」に記載されている環境で、本機が使用されているか確認してください。 **プリンタヘッドのノズルが詰まっている。** 230 ページ「ノズルチェックする」を行い、プリンタヘッドのノズルが目詰まりを起こしていないか確認してください。目詰まりを起こしている場合は、プリンタヘッドをクリーニングしてください（232 ページ）。 プリンタヘッドのクリーニングが終わったら、もう一度、ノズルチェックを行い、画質の状態を確認してください。 **インクの残量が少ない。** プリンタの操作パネルのインクランプが点滅または点灯していないか確認し、点滅または点灯している場合は新しいインクカートリッジと交換してください（238 ページ）。 **プリンタヘッドが正しく調整されていない。** プリンタヘッドを調整してください（235 ページ）。
印刷された色が画像データと異なる、または色が出ない。	**用紙設定が正しくない。** セットした用紙サイズが、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 **用紙の印刷面が正しくセットされている。** 用紙に添付の取扱説明書を参照して用紙の印刷面をご確認ください。用紙のセット方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。 **用紙の状態が悪い。** 用紙が湿っていたり、傷が付いていないか確認してください。 **プリンタヘッドのノズルが詰まっている。** 230 ページ「ノズルチェックする」を行い、プリンタヘッドのノズルが目詰まりを起こしていないか確認してください。目詰まりを起こしている場合は、プリンタヘッドをクリーニングしてください（232 ページ）。 プリンタヘッドのクリーニングが終わったら、もう一度、ノズルチェックを行い、画質の状態を確認してください。 **インクの残量が少ない。** プリンタのインクランプが点滅または点灯していないか確認し、点滅または点灯している場合は新しいインクカートリッジと交換してください（238 ページ）。 **プリンタヘッドが正しく調整されていない。** プリンタヘッドを調整してください（235 ページ）。 **クライアントコンピュータのモニタのカラー補正が行われていない。** クライアントコンピュータのモニタのカラー補正を行ってください（277 ページ）。 **カラーベースでの調整が必要です（246 ページ）。**

状態	対処方法
用紙の端から写真までの余白がEPPLayoutでの設定と異なる。	**用紙設定が正しくない。** セットした用紙サイズが、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。 **用紙の印刷面が正しくセットされている。** 用紙に添付の取扱説明書を参照して用紙の印刷面をご確認ください。用紙のセット方法については、プリンタの取扱説明書をご覧ください。
写真をこすると、インクが簡単にはがれてしまう。	**写真が乾いていない。** 印刷した用紙を十分に乾燥させてください（214 ページ）。

用紙に関するトラブルと解決方法

用紙に関するトラブルを防ぐには、指定された用紙を使用してください。用紙の保管状態についても確認してください。

- 使用するプリンタに対応した専用紙を使用してください。
- セットする前に用紙が湿っていないか、カールしていないか確認してください。

状態	対処方法
用紙が正しく給紙されない、または一度に複数枚の用紙が給紙される。	**用紙がカールしている、または折れ曲がっている。** 保管状態の悪い用紙を使っていると、用紙がカールしたり、折れたりします。湿気の多い場所を避け、購入したときの包装紙に入れて保管してください（215 ページ）。 **最大積載量を超えた用紙が用紙トレイにセットされている。** 用紙トレイの最大積載量を確認し、セットし直してください。 **静電気で、用紙と用紙がくっついている。** 用紙をさばいてから用紙の端をそろえ、用紙トレイにセットしてください。用紙をさばくと、用紙と用紙の間で発生する静電気が少なくなり、紙詰まりを防ぎます。 **プリンタに用紙が詰まっている。** 用紙が詰まると、プリンタ操作パネルの「用紙チェック」または「用紙」ランプが点滅します。用紙を取り除いてください。
印刷した用紙がしわになっている。	**用紙が湿っている。** 湿気の多い場所を避け、購入したときの包装紙に包んで保管してください。 **用紙がまっすぐに給紙されていない。** プリンタの取扱説明書をご覧になって、用紙を正しくセットしてください。
用紙の途中までしか排紙されない。	**用紙設定が正しくない。** セットした用紙サイズが、EPPLayout で選択した用紙サイズと種類に合っているか確認してください。

ソフトウェアのトラブルを解決する

EPPServer に関するトラブルと解決方法

状態	対処方法
本体の LCD モニタの表示が明る過ぎる、または暗過ぎる。	**本体の LCD モニタの輝度、コントラストが正しく調整されていない。** LCD モニタの取扱説明書を参照して、輝度やコントラストの調整をしてください。
EPPServer が正しく働いているのに、印刷されない。	**プリンタと用紙が正しく設定されていない。インクの残量が少ない、またはインクが残っていない。** EPPServer 画面の下部にある［プリンタ状態］ウィンドウでプリンタと用紙、インクの状態を確認してください。［状態 / 変更］のチェックが外れている場合は、チェックしてプリンタを有効にしてください（212 ページ）。

EPPLayout に関するトラブルと解決方法

状態	対処方法
フォルダを選択してもサムネイルが表示されない。	**画像ファイルの形式が、本製品で使用できないファイル形式になっている。** 使用できるファイル形式を確認してください。（42 ページ）。
サムネイルが表示されるまでに時間がかかる。	**フォルダに入っている画像ファイルの数が多過ぎる、または画像ファイルのサイズが大き過ぎる。** フォルダの中に非常に多くの画像ファイルが入っていたり、画像ファイルのサイズが大きい場合は、表示や編集に時間がかかります。お使いのコンピュータの処理スピードや容量にもよりますが、1 つの画像ファイルのサイズを 48MB 以下にし、フォルダに入れるファイルの数を 100 個以内（フォルダのサイズが 500MB 以下）になるようにしてください。
サムネイルの色が正しく表示されない。	**トラブルではありません。** サムネイルは正しい色で表示されないことがあります。
EPPLayout から印刷データを送信したときに、印刷されない印刷データがある。	**サーバの空き容量（送信データ容量＋サーバ安定動作容量＝約 2GB）が少なくなっている。** ジョブモニタを起動し、不要な印刷ジョブを削除してもう一度印刷してください。または、ほかの印刷ジョブが終了するのを待ち、サーバに十分な空き容量を確保してから印刷してください。 ジョブモニタを起動するには、191 ページ「EPPMonitor を起動する」をご覧ください。
テンプレートを作成しサーバにアップしたが、EPPLayout ではエラー表示となって使用できない。	**テンプレートで使用されている写真枠数が 500 個を越えています。** 最大写真枠数が 500 個に収まるようテンプレートを修正してください。

状態	対処方法
EPPLayout が起動を一時停止し、サーバに接続できないというエラーメッセージ画面が表示される。	**サーバの電源が入っていない。** メッセージ画面の［OK］をクリックし、本体の電源が入っているか確認してください。本体の電源がすでに入っている場合は、本体の電源を切ります。電源が完全に切れるまで約 1 分かかります。電源が完全に切れてから約 1 分以上待って、電源を入れ直します。EPPServer 画面が表示されたら、クライアントコンピュータからもう一度 EPPLayout を起動してください。 この方法で解決しない場合は、クライアントコンピュータと本体が正しく接続されているか、ケーブルやハブ、ルータの接続を確認してください。 【Mac OS のみ】 クライアントコンピュータの Mac OS の TCP/IP が正しく設定されていない。 クライアントコンピュータの TCP/IP で［経由先］が［Ethernet］に設定されているか、正しい IP アドレスを使用しているか確認してください。
写真を写真枠にドラッグしたとき自動的に回転しない。	**［回転］が［手動］になっている。** ［自動右］または［自動左］を選択してください。 縦長の写真を縦長の写真枠に、または横長の写真を横長の写真枠にドラッグしたときは、［自動右］や［自動左］が設定されていても回転しません。
ページを追加できない。	**200 ページを超えるページを追加しようとしている。** ［ページ］に 200 が表示されていないか確認してください。追加する場合は、不要なページを削除し、ページ数を減らしてからページを追加してください。
［ページ］に表示されている総ページが 200 未満なのにページを追加できない。	**ページを追加すると実際の総ページ数が 200 ページを超えてしまう。** EPPLayout で作成できるページ数は 200 ページですが、パッケージに“複数ページのテンプレート”が含まれていても、1 パッケージを 1 ページとカウントし［ページ］に表示します。パッケージ内のページも含めて、実際の総ページ数が 200 を超えない範囲で追加してください。
写真を用紙の中央に配置できない。（［フリーレイアウト］モードのとき）	**写真サイズが画像印刷領域を超えている。** 写真サイズを小さくすると中央に配置できます。［解像度］または［サイズ］をクリックして、印刷品質領域に収まるように写真サイズを小さくすると、写真を中央に配置できます。 写真サイズを変更したくない場合は、画像印刷領域を拡張します。［環境設定］をクリックし、［環境設定］画面で［画像印刷領域を拡張する］をチェックします。画像印刷領域が拡張され、写真を中央に配置できます。ただし、印刷品質領域外の部分は画質が低下することがあります。 **画像印刷領域を拡張しても中央に配置できない。** 写真サイズを小さくするしかありません。［解像度］または［サイズ］をクリックして、画像印刷領域に収まるように写真サイズを小さくすると、写真を中央に配置できます。

EPPTemplate に関するトラブルと解決方法

状態	対処方法
パッケージに入っていたテンプレートがなくなっている。	**テンプレートが［サーバ内テンプレート］から削除されている。** テンプレートを削除すると、そのテンプレートが入っていたすべてのパッケージから削除されます（144 ページ）。
［パッケージ管理］画面でパッケージを削除したのに、中に入っていたテンプレートが削除されない。	**［パッケージ管理］画面でパッケージを削除しても、中に入っていたテンプレートは削除されません。** テンプレートを削除する場合は、144 ページ「［サーバ内テンプレート］からテンプレートやパッケージファイルを削除する」
パッケージをローカルフォルダに保存できない。	**パッケージはローカルフォルダに保存できません。** テンプレートだけを保存できます（126 ページ）。
ほかのユーザーがロックしたファイルを解除できない。	**ユーザーが Studiomaster ではない。** Studiomaster はほかのユーザーがロックしたファイルを解除できます。

EPPWorks(Windows のみ)に関するトラブルと解決方法

状態	対処方法
フォルダを選択してもサムネイルが表示されない。	**画像ファイルの形式が、本製品で使用できないファイル形式になっている。** 使用できるファイル形式を確認してください。（42 ページ）。
画像ファイルを開くと［画像のプロファイルの指定］画面が表示される。	**画像ファイルに ICC プロファイルが添付されていない。** ［画像のプロファイルの指定］画面で使用する色空間を指定してください。 ☞ EPPWorks ヘルプ「付録」ー「［環境設定］」
［一覧］モードからほかのモードへ切り替えると［プロファイル変換］画面が表示される。	**［カラーマネージメントの設定］の［画像読み込み時に色空間の変換の確認をする］がチェックされている。** チェックを外すと［プロファイル変換］の画面は表示されません。 ☞ EPPWorks ヘルプ「付録」ー「［環境設定］」

EPPMonitor に関するトラブルと解決方法

状態	対処方法
EPPMonitor を起動できない。	**［既に本ソフトウェアが起動しているか、他の TCP/IP アプリケーションが指定ポートを使用中です。ポート：####］のメッセージ画面が表示される。** ネットワークエラーが起きています。専用ヘルプデスクにお問い合わせください。 **［ジョブデータベースが開けません。］が表示される。** 印刷履歴などを管理するジョブデータベースに異常があります。専用ヘルプデスクにお問い合わせください。
［印刷状況］画面に何も表示されない。	**印刷ジョブリストが更新されていない。** ［更新］をクリックして印刷ジョブリストの更新を行ってください（195 ページ）。

5 ヘルプについて

ここでは、本システムのソフトウェア EPPLayout、EPPWorks、EPPMonitor に用意されているヘルプの使い方を説明しています。

ヘルプの使い方.....290

ヘルプの使い方

EPPWorks、EPPLayout および EPPMonitor は、それぞれのヘルプを備えています。

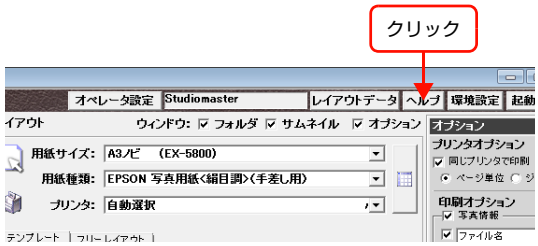
ヘルプを起動する

ヘルプを起動するには、EPPWorks、EPPLayout および EPPMonitor の画面右上の［ヘルプ］をクリックします。

EPPWorks（Windows のみ）



EPPLayout



EPPMonitor



ブラウザが起動し、「ヘルプ」画面が表示されます。



重要 Microsoft Internet Explorer 6.0 以上または Safari 2.0 以上がインストールされているか確認してください。これ以下のバージョンではヘルプが正確に表示されないことがあります。

索引

数字

「1 ページごとにカット」（EPPServer）... 226
「2 項目調整」（EPPWorks）... 65

E

EGG ファイル（EPPWorks）... 70
「EGGファイルに画像編集記録を保存」(EPPWorks）... 69, 71
EPPLayout ... 38, 147
EPPMonitor ... 38, 190, 207
EPPServer ... 38, 190, 211
EPPServer からログアウトする ... 222
EPPServer にログインする ... 221
EPPServer のバージョン ... 264
EPPStatus ... 38, 190, 209, 281
「EPPStatus で通知」（EPPLayout）... 184
EPPTemplate ... 38, 72
EPPWorks ... 38, 41
「EPSON サンプルテンプレート」（EPPTemplate）... 138

I

ICC プロファイル ... 42

J

「JPEG ファイルに書き出し」（EPPWorks）... 69

L

「LAN 接続の設定」（EPPServer）... 257

S

Studiomaster のパスワード（EPPMonitor）... 273

T

「TIFF ファイルに書き出し」（EPPWorks）... 69

あ

「明るさ」（EPPLayout）... 169
「明るさ」（EPPWorks）... 68

い

「位置」（EPPLayout）... 177
「一覧」モード（EPPWorks）... 46
「入込み」（EPPLayout）... 161, 175
色褪せ ... 216
「色造り」（EPPLayout）... 168
「印刷」（EPPLayout）... 187
印刷可能領域（EPPTemplate）... 89
「印刷可能領域の表示」（EPPTemplate）... 88
印刷した後 ... 215
印刷終了のメッセージ（EPPStatus）... 210
「印刷状況」エリア（EPPMonitor）... 193
「印刷ジョブ削除」（EPPMonitor）... 203
「印刷ジョブ種別」（EPPMonitor）... 193
印刷ジョブの一時停止を解除する（EPPMonitor）... 199
印刷ジョブの削除（EPPMonitor）... 205
印刷ジョブの自動削除（EPPServer）... 250
印刷ジョブリスト（EPPMonitor）... 193
印刷ジョブを一時停止する（EPPMonitor）... 199
印刷ジョブを検索して更新する (EPPMonitor）... 195, 196
印刷ジョブを再印刷する（EPPMonitor）... 204
印刷ジョブを削除する（EPPMonitor）... 201
印刷ジョブを自動削除する（EPPServer）... 248
「印刷済み」（EPPMonitor）... 195
「印刷済」（EPPStatus）... 210
「印刷済み（データなし）」（EPPMonitor）... 195
印刷品質領域（EPPTemplate）... 89
「印刷品質領域の表示」（EPPTemplate）... 88
印刷部数（EPPLayout）... 186
印刷を中止（EPPLayout）... 188

う

ウィンドウを非表示（EPPLayout）... 156, 172
ウィンドウを表示（EPPLayout）... 156, 172
「上書き保存」（EPPTemplate）... 88

え

エラー ... 281
「エラー」（EPPStatus）... 210
エラーメッセージ（EPPLayout）... 188

お

お問い合わせいただく前に ... 281
「同じプリンタで印刷」（EPPLayout）... 179
「オペレータ名」（EPPMonitor）... 193

か

「解像度」（EPPLayout）... 176
解像度を落とす（EPPLayout）... 185
「回転」（EPPLayout）... 160, 161, 166, 174, 175
「回転」を一括設定する（EPPLayout）... 167
ガイド（EPPTemplate）... 89
ガイドライン（EPPTemplate）... 118
「ガイドを表示」（EPPTemplate）... 88
書き出しツール（EPPWorks）... 60
「書き出し」モード（EPPWorks）... 69
「拡大表示」（EPPTemplate）... 88
確認する間隔（EPPStatus）... 210
「カスタムトリミング比率設定」（EPPWorks）... 55
「画像情報」（EPPWorks）... 69
「画像データ」（EPPMonitor）... 198
画像データをサーバから削除する（EPPLayout）... 184
画像データをサーバに登録する（EPPLayout）... 184
「画像データ削除」（EPPMonitor）... 206
「画像ファイル情報」エリア（EPPWorks）... 48
「画像ファイルの解像度情報を使用」（EPPLayout）... 176
「カット」（EPPTemplate）... 88
「カラー」（EPPLayout）... 169
「カラー」ツールバー（EPPLayout）... 170
カラー / トーンツール（EPPWorks）... 60
「カラー / トーン」モード（EPPWorks）... 61
「カラーバランス」（EPPLayout）... 169
「カラーマネージメント設定」（EPPWorks）... 51
「簡易色調整」画面（EPPLayout）... 169
「簡易色調整」を適用する（EPPLayout）... 169
「簡易色調整」を保存する（EPPLayout）... 169
「間隔」（EPPTemplate）... 100
「環境設定」画面（EPPLayout）... 150

き

「記憶色補整」（EPPWorks）... 68
起動（EPPLayout）... 149, 266
起動（EPPMonitor）... 191, 267
起動（EPPServer）... 73, 148, 266
起動（EPPStatus）... 209
起動（EPPTemplate）... 74
起動（EPPWorks）... 45
「ギャップ調整」（EPPServer）... 235
「吸着オプション」（EPPTemplate）... 111
吸着機能（EPPTemplate）... 111
「切り取り線印刷」（EPPServer）... 226
切り取り線を印刷する（EPPServer）... 226

く

クライアントコンピュータ ... 275
クリーニング ... 232
グリッド（EPPTemplate）... 89
グリッドの間隔（EPPTemplate）... 112
「グリッドの設定」（EPPTemplate）... 88
「グリッド表示」（EPPWorks）... 56
「グリッドを表示」（EPPTemplate）... 88
「グループ」（EPPTemplate）... 102
「グレーバランス」（EPPWorks）... 68

け

「経過期間」（EPPServer）... 249
警告メッセージ ... 281
警告メッセージ（EPPStatus）... 210
権限（EPPMonitor）... 268

こ

「効果ツール」（EPPWorks）... 58
「更新」（EPPMonitor）... 195
更新間隔（EPPMonitor）... 196
「顧客名」（EPPLayout）... 181
「顧客名」（EPPMonitor）... 193
「子テンプレート枠印刷」（EPPLayout）... 181
異なる写真用のテンプレートに写真を割り付ける（EPPLayout）... 162
「コピー」（EPPMonitor）... 193
「コピー」（EPPTemplate）... 88
「コピー枚数」（EPPMonitor）... 198
困ったとき ... 280
「コントラスト」（EPPLayout）... 169
「コントラスト」（EPPWorks）... 68
「コンピュータ名」（EPPMonitor）... 193
コンピュータを追加する ... 275

さ

サーバ ID（EPPServer）... 262
「サーバ設定」（EPPServer）... 248
サーバから画像データを削除する（EPPLayout）... 184
「サーバからダウンロード」（EPPTemplate）... 81
「サーバ識別 ID」（EPPServer）... 263
「サーバ設定」（EPPServer）... 250, 252, 256, 262
「サーバ内テンプレート」（EPPTemplate）... 138
サーバに画像データを登録する（EPPLayout）... 184
「再印刷」（EPPMonitor）... 204
「再印刷設定」タブ（EPPServer）... 248
「最近使ったフォルダ」（EPPWorks）... 46
「サイズ」（EPPWorks）... 50
「彩度」（EPPWorks）... 68
「再表示」（EPPStatus）... 210
「削除」（EPPLayout）... 164
「削除」（EPPTemplate）... 88
削除（EPPMonitor）... 205
サムネイル（EPPWorks）... 48
「サムネイル」ウィンドウ（EPPLayout）... 156, 172
サムネイルツール（EPPWorks）... 50
サムネイルに写真情報を表示する（EPPLayout）... 173
サムネイルに写真情報を表示する（EPPLayout）... 157
サムネイルにファイルマークを付ける（EPPLayout）... 156, 172
サムネイルの回転（EPPWorks）... 49
サムネイルのサイズを変更する（EPPLayout）... 173
サムネイルのサイズを変更する（EPPLayout）... 157
サムネイルの表示方法を設定する（EPPLayout）... 173
サムネイルの表示方法を設定する（EPPLayout）... 157
「残ディスク容量」（EPPServer）... 249
「サンプル数」（EPPWorks）... 65

し

色調（EPPWorks）... 61
システム動作環境（Mac OS）... 275
システム動作環境（Windows）... 275
「自然なコントラストに（印刷時の白飛び防止）」（EPPWorks）... 69
「自動画像調整」フィルタ（EPPWorks）... 62
「自動更新」（EPPMonitor）... 196
自動削除（EPPServer）... 248
自動削除する条件を設定する（EPPServer）... 250
「自動選択」（EPPLayout）... 179, 186
「自動トリム」（EPPLayout）... 161, 175
「自動左」回転（EPPLayout）... 161, 166, 175
「自動フィッティング」（EPPLayout）... 176
「自動右」回転（EPPLayout）... 161, 166, 175
「シャープネス」（EPPWorks）... 68
写真ガイドライン（EPPLayout）... 159
写真ガイドライン（EPPTemplate）... 89, 118
「写真ガイドライン設定」（EPPTemplate）... 118
写真サイズ（EPPLayout）... 176
「写真情報」（EPPLayout）... 179
写真情報表示（EPPWorks）... 56, 60
「写真情報枠」（EPPTemplate）... 103
写真情報枠（EPPTemplate）... 89, 120
写真情報枠の位置やサイズを変更する（EPPTemplate）... 120
写真情報枠のサイズや位置を変更する（EPPTemplate）... 122
「写真情報枠の設定」画面（EPPTemplate）... 103
写真情報枠を削除する（EPPTemplate）... 121
写真情報枠を付ける（EPPTemplate）... 121
写真情報をサムネイルに表示する（EPPLayout）... 157, 173
写真の扱い ... 214
写真の寿命 ... 216
写真の取り扱い ... 214
写真の保管 ... 215
写真の割り付けを中止する（EPPLayout）... 162
「写真枠」（EPPLayout）... 180
写真枠（EPPTemplate）... 87, 89
「写真枠」エリア（EPPTemplate）... 91
「写真枠間隔」（EPPTemplate）... 100
写真枠サイズを追加（EPPTemplate）... 92, 96
写真枠サイズを変更（EPPTemplate）... 108
「写真枠の追加」（EPPTemplate）... 93
写真枠のアルファベット（EPPTemplate）... 89, 116
写真枠のアルファベットを変更する（EPPTemplate）... 116
写真枠の位置（EPPTemplate）... 94, 99
「写真枠の一括追加」（EPPTemplate）... 95
写真枠の数（EPPTemplate）... 98
写真枠番号（EPPTemplate）... 89, 101, 113
「写真枠番号順次指定」（EPPTemplate）... 114
写真枠番号を 1 から付け直す（EPPTemplate）... 114
写真枠番号をひとつずつ変更する（EPPTemplate）... 113
写真枠を移動（EPPTemplate）... 107
写真枠を削除（EPPTemplate）... 95, 107
写真枠を整列（EPPTemplate）... 110
「写真枠番号設定」（EPPTemplate）... 113
写真を移動する（EPPLayout）... 163
写真を置き換える（EPPLayout）... 163
写真を飾る ... 216
写真を削除する（EPPLayout）... 163
写真を割り付ける（EPPLayout）... 161, 178
「写真情報枠付き」（EPPTemplate）... 93
終了（EPPLayout）... 151
終了（EPPMonitor）... 192
終了（EPPTemplate）... 76
「終了時間（推定）」（EPPMonitor）... 193
終了メッセージ（EPPLayout）... 184
「縮小表示」（EPPTemplate）... 88
「手動」（EPPLayout）... 166
「手動」回転（EPPLayout）... 161, 175
定規（EPPTemplate）... 89
「詳細に設定」（EPPWorks）... 51
「状態」（EPPMonitor）... 193
「状態」に表示されるマーク（EPPMonitor）... 194
「情報」（EPPWorks）... 50
「初期化」（EPPWorks）... 56
「ジョブ ID」（EPPMonitor）... 193
「ジョブ数」（EPPServer）... 249
「ジョブ整理設定」タブ（EPPServer）... 250
「ジョブ単位」（EPPLayout）... 179
「ジョブモニタを起動」（EPPMonitor）... 191
ジョブリスト（EPPMonitor）... 193
「新規テンプレート」（EPPTemplate）... 77, 79

す

「ズーム」（EPPTemplate）... 88
「ズーム」（EPPWorks）... 60
「スクローラ」（EPPWorks）... 60
スタジオ名（EPPServer）... 262
「スタジオ名」（EPPServer）... 263
ステータスメッセージ（EPPStatus）... 210
「ステップ」（EPPWorks）... 65
すべての写真枠を同じアルファベットに変更する（EPPTemplate）... 117
すべての写真枠を異なるアルファベットに変更する（EPPTemplate）... 117
「すべての写真枠を同写真に」（EPPTemplate）... 117
すべてのページと写真を削除する（EPPLayout）... 164
「スライド台」（EPPWorks）... 54, 58, 62

せ

「整列対象」（EPPTemplate）... 110
「設定コピー」（EPPLayout）... 166
「設定変更」画面（EPPMonitor）... 197
「全削除」（EPPLayout）... 164
「全体表示」（EPPTemplate）... 88

そ

「操作権限」（EPPMonitor）... 268
操作権限を変更する（EPPMonitor）... 270
「ソート順」（EPPWorks）... 50
「その他設定」タブ（EPPServer）... 262
ソフトウェア ... 38
ソフトウェアをインストールする ... 276

た

「単位」（EPPTemplate）... 88

ち

「チェック」（EPPStatus）... 210
「中止」（EPPLayout）... 188

つ

「追加」（EPPLayout）... 164
「ツール」ウィンドウ（EPPTemplate）... 87
ツールバー（EPPTemplate）... 87, 88

て

「適用量」（EPPWorks）... 58
「手差し」（EPPServer）... 224
「テスト印刷用に TIFF で保存」（EPPWorks）... 66
「テストチャートの印刷」（EPPServer）... 239
電源を切る ... 218
テンプレート（EPPLayout）... 159
テンプレート（EPPTemplate）... 72
テンプレートウィンドウ（EPPTemplate）... 87
テンプレートからページを削除する（EPPLayout）... 164
「テンプレート管理」（EPPTemplate）... 138
「テンプレート情報」（EPPTemplate）... 124
「テンプレート」タブ（EPPLayout）... 157
テンプレートにページを追加する（EPPLayout）... 164
テンプレートの名称（EPPTemplate）... 124
テンプレートのロックを解除する（EPPTemplate）... 145
テンプレート編集画面（EPPTemplate）... 87
「テンプレート名称」（EPPLayout）... 181
「テンプレート」モード（EPPLayout）... 154
テンプレートやパッケージを選択する（EPPLayout）... 158
テンプレートを上書き保存する（EPPTemplate）... 127
テンプレートをコピーする（EPPTemplate）... 139
テンプレートをサーバに保存する（EPPTemplate）... 128
テンプレートを削除する（EPPTemplate）... 144
テンプレートを選択するには（EPPTemplate）... 84
テンプレートを別名で保存する（EPPTemplate）... 127
テンプレートを変更する（EPPLayout）... 163
テンプレートを保存する（EPPTemplate）... 126

と

同一写真用のテンプレートに写真を割り付ける（EPPLayout）... 161
動作環境 ... 278
「同写真」（EPPTemplate）... 102
「トーンカーブ表示」（EPPWorks）... 68
「特定色調整」（EPPWorks）... 68
トラブル ... 281
トラブル（EPPLayout）... 286
トラブル（EPPMonitor）... 288
トラブル（EPPServer）... 286
トラブル（EPPTemplate）... 288
トラブル（EPPWorks）... 288
トラブル（プリンタ）... 282
トラブル（プリント画質）... 283
トラブル（用紙）... 285
「取り消し」（EPPTemplate）... 88
「取り消し」（EPPWorks）... 56
トリミング（EPPLayout）... 165
トリミング時の回転（EPPWorks）... 54
トリミングツール（EPPWorks）... 56
「トリミング比率」（EPPWorks）... 54
「トリミング」モード（EPPWorks）... 53
「トリム」（EPPLayout）... 161, 165, 175
「トリム」を一括設定する（EPPLayout）... 166
「トンボ」（EPPLayout）... 180

な

「名前を付けて保存」（EPPTemplate）... 126, 127, 128

ね

「ネットワーク設定」タブ（EPPServer）... 256
ネットワークを設定する（EPPServer）... 256

の

ノズルチェック ... 230
「ノズルチェック」（EPPServer）... 230
ノズルチェックパターン（EPPServer）... 231

は

パスワード（EPPMonitor）... 268
パスワードを変更する（EPPMonitor）... 270
パッケージ（EPPLayout）... 159
パッケージ（EPPTemplate）... 130
パッケージからテンプレートを削除する（EPPTemplate）... 132, 135
「パッケージ管理」（EPPTemplate）... 130
パッケージにテンプレートを追加する（EPPTemplate）... 135
パッケージの新規作成（EPPTemplate）... 131
パッケージのテンプレートを並び替える（EPPTemplate）... 132, 136
パッケージをコピーする（EPPTemplate）... 139
パッケージを削除する（EPPTemplate）... 137, 144
パッケージを選択する（EPPLayout）... 158
パッケージを選択するには（EPPTemplate）... 84
パッケージを編集する（EPPTemplate）... 134
パラメータ（EPPWorks）... 65
「バリエーション」シート（EPPWorks）... 61
「バリエーション」タブ（EPPWorks）... 64
「番号」（EPPTemplate）... 101
「ハンドツール」（EPPWorks）... 60

ひ

ヒストグラム（EPPWorks）... 68
「左上の位置」（EPPTemplate）... 99
「ピッチ」（EPPTemplate）... 100
評価のファイルマーク（EPPLayout）... 156, 172
「表示」（EPPWorks）... 50, 56, 60
表示順序（EPPLayout）... 157, 173
「表示設定」（EPPWorks）... 60
「表示の設定」（EPPWorks）... 56
「表示フィルタ」エリア（EPPMonitor）... 195
「表示方式」（EPPWorks）... 50

ふ

ファイルの一覧表示にする（サムネイル画像を表示しない）（EPPLayout）... 157, 173
ファイルの送信を中止（EPPLayout）... 188
ファイルマークを付ける（EPPLayout）... 156, 172
「ファイル名」（EPPLayout）... 180
「ファイル名」（EPPMonitor）... 193
「フォルダ」ウィンドウ（EPPLayout）... 156, 172
「フォルダ選択」（EPPWorks）... 47
「フォルダ選択」ウィンドウ（EPPWorks）... 46
「フォルダ / ファイル名」（EPPLayout）... 180
「付随情報」（EPPTemplate）... 101, 102
「部数」（EPPLayout）... 186
ブラウザの設定（EPPMonitor）... 191
「ブラウズ時のバック色」（EPPTemplate）... 125
「ブラシ設定」（EPPWorks）... 59
「フリーサイズ」（EPPLayout）... 176
「フリーレイアウト」タブ（EPPLayout）... 174
「フリーレイアウト」モード（EPPLayout）... 154
「プリセット」シート（EPPWorks）... 61
「プリセット」タブ（EPPWorks）... 62
「プリンタ」（EPPLayout）... 186

「プリンタ」（EPPMonitor）... 193, 198
「プリンタ状態」エリア（EPPServer）... 211
「プリンタ情報」（EPPMonitor）... 207
プリンタの状態（EPPMonitor）... 194
プリンタヘッドのクリーニング ... 232
プリンタヘッドを調整する ... 235
プリンタを無効にする（EPPServer）... 212
プリンタを有効にする（EPPServer）... 212
「プリントサーバの画像データ」（EPPLayout）... 184
フレーム（EPPLayout）... 159
フレーム（EPPTemplate）... 87
フレームから写真を削除する（EPPLayout）... 163
フレームの位置（EPPLayout）... 177
「プロキシの設定」（EPPServer）... 257
「プロパティ」ウィンドウ（EPPTemplate）... 87
「分散プリント」（EPPLayout）... 186

へ

「ペイントツール」（EPPWorks）... 58
「ページ」（EPPMonitor）... 193
「ページ情報」（EPPLayout）... 181
ページ情報枠（EPPLayout）... 182
ページ情報枠（EPPTemplate）... 89, 122
「ページ情報枠付き」（EPPTemplate）... 93, 122
ページ情報枠を削除する（EPPTemplate）... 122
「ページ単位」（EPPLayout）... 179
ページ枠（EPPLayout）... 160, 175
ページを削除（EPPLayout）... 164
ページを追加する（EPPLayout）... 164
「ペースト」（EPPTemplate）... 88
「別写真」（EPPTemplate）... 102
「ヘッドクリーニング」（EPPServer）... 232
ヘッドのクリーニング ... 232
ヘッドを調整 ... 235
「変更」（EPPServer）... 223

ほ

「ポーズ」（EPPMonitor）... 200
「ポーズ解除」（EPPMonitor）... 200
保管 ... 215
保存（EPPWorks）... 69
「ポリシー A」（EPPWorks）... 51
「ポリシー B」（EPPWorks）... 51
「ポリシー C」（EPPWorks）... 51

ま

「マーク」（EPPWorks）... 49
「マニュアル」シート（EPPWorks）... 61
「マニュアル」タブ（EPPWorks）... 67

め

「メモ」（EPPLayout）... 181
「メンテナンス」(EPPServer）... 226, 230, 232, 235, 239

も

「モノトーン化」（EPPWorks）... 68

や

「やり直し」（EPPTemplate）... 88
「やり直し」（EPPWorks）... 56

ゆ

ユーザーが作業できる権限（EPPMonitor）... 268
ユーザーを追加する（EPPMonitor）... 266
ユーザーを削除する（EPPMonitor）... 271
「ユーザ設定」（EPPMonitor）... 267
「優先度」（EPPLayout）... 186
「優先度」（EPPMonitor）... 193, 198

よ

「用紙サイズ」（EPPLayout）... 152, 153
「用紙サイズ」（EPPMonitor）... 193
「用紙サイズ」（EPPServer）... 252
用紙サイズを指定する（EPPServer）... 252
「用紙種類」（EPPLayout）... 152, 153
「用紙種類」（EPPMonitor）... 193, 198
「用紙種類」（EPPServer）... 252
用紙種類（EPPServer）... 252
「用紙設定」タブ（EPPServer）... 252
用紙のサイズを表示（EPPServer）... 211
用紙の種類を表示（EPPServer）... 211
用紙の設定を変更する（EPPServer）... 223
「用紙の中央」（EPPTemplate）... 99

れ

レイアウト（EPPLayout）... 147, 154
「レイアウト」ウィンドウ（EPPLayout）... 153
レイアウトデータを保存する ... 184, 189
レイアウトデータを読み込む ... 189
レタッチツール（EPPWorks）... 60
「レタッチ」モード（EPPWorks）... 57
劣化 ... 216

ろ

「ローカルファイルから開く」（EPPTemplate）... 84
ロール紙に切り取り線を印刷する（EPPServer）... 226
ロール紙をカットする（EPPServer）... 226
「ログアウト」（EPPServer）... 222
「ログイン」（EPPServer）... 221
ロック（EPPTemplate）... 84
「ロック（削除しないで保持）」（EPPLayout）... 184
ロックされている印刷ジョブ（EPPLayout）... 184

わ

割り付けた写真を回転する（EPPLayout）... 166
割り付ける（EPPLayout）... 161, 178
割り付けを中止する（EPPLayout）... 162